

2. 区民のごみ減量に対する意識調査

2.1 調査概要

2.1.1 調査の目的

区民のごみ減量に対する意識調査は、施策の効果や認知度、区民の意見等を把握し、区のごみ処理における課題の抽出や、施策の検討等に利用する基礎情報の取得を目的として実施した。

2.1.2 調査内容

墨田区民を対象とした意識調査は、これまでに2回（平成17年度及び平成21年度）実施されている。

今年度の意識調査においては、区が実施している施策の効果や認知度、経年の調査結果との比較、区のごみ処理における課題、区民の意見等を取得できる設問とした。

各設問のねらいを表2.1.1に示す。

表 2.1.1 各設問のねらい

設問	ねらい
問1	燃やすごみ排出量の把握、燃やさないごみ排出量の把握
問2	資源物の排出方法の把握
問3	ごみに関する情報の入手先の把握
問4	区のごみ処理や情報公開に関する満足度の把握
問5	ごみへの関心度の把握
問6	ごみに関する行動の把握
問7	食品ロスに関する認知度、取り組み意欲の把握 (区民への「食品ロス削減」の啓発を兼ねている)
問8	容器包装プラスチック分別収集への協力の把握
問9	容器包装プラスチックの拠点回収への協力の把握
問10	区の施策の認知度及び協力状況の把握
問11	ごみの分別に関する問題の把握
問12	区のごみ、資源物収集頻度に関する満足度の把握
問13	区の施策に関する満足度の把握
問14	区の清潔さに関する満足度の把握
問15	自由意見の収集

2.1.3 調査対象

調査対象は、墨田区が住民基本台帳（令和元年9月1日現在）から無作為に抽出（抽出方法：層化2段階無作為抽出法）した1,500人とした。

なお、抽出結果の詳細は資料編に掲載する。

2.1.4 調査期間

アンケートの発送	: 2019年10月30日(水)
アンケート回収期限	: 2019年11月18日(月)
お礼状の発送	: 2019年11月13日(水)
アンケートのとりまとめ・分析	: 2019年11月18日(月)～12月27日(金)

2.2 調査方法

調査の実施フローを図2.2.1に示す。

区民に対して、郵送によりアンケート用紙を配布し、返信された回答用紙についてデータ整理を行った。

また、回収率の向上を目的として、お礼状をアンケート発送の2週間後に実施した。

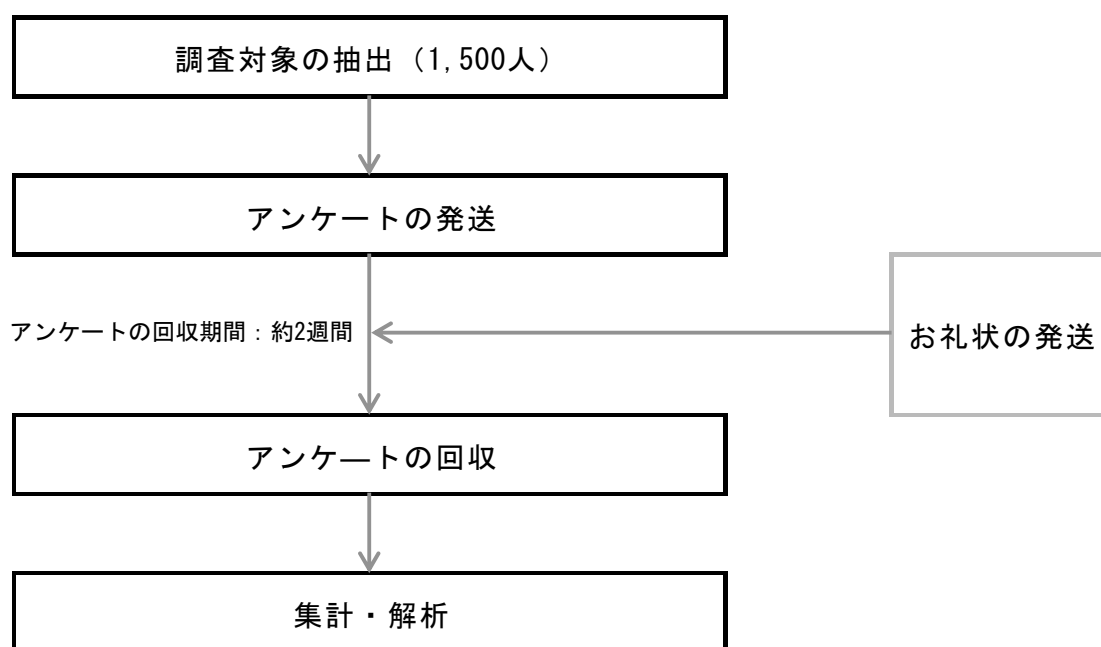


図 2.2.1 アンケートの実施フロー

表 2.2.1 アンケートの回収状況

項目	値	算出式
アンケート発送数	1,500	
無効数 (宛先不明等)	12	
有効数	1,488	(アンケート発送数) - (無効数)
アンケート回収数	606	
アンケート回収率	40.7%	(アンケート回収数) / (有効数)

2.3 調査結果

区民のごみ減量に対する意識調査の結果を以下に示す。なお、構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

2.3.1 回答者の属性

(1) 居住地域

回答者の居住地域について、北部と南部で比較すると、北部が55.8%、南部が44.2%と、北部がやや多い結果となった。

表 2.3.1 居住地域別回答数

区分	町名	回答数	割合	回答数	割合
1. 北部	向島	38	6.3%	338	55.8%
	東向島	56	9.2%		
	堤通	11	1.8%		
	墨田	42	6.9%		
	押上	23	3.8%		
	京島	36	5.9%		
	文花	19	3.1%		
	八広	55	9.1%		
	立花	56	9.2%		
	東墨田	2	0.3%		
2. 南部	両国	15	2.5%	268	44.2%
	千歳	13	2.1%		
	緑	30	5.0%		
	立川	7	1.2%		
	菊川	16	2.6%		
	江東橋	20	3.3%		
	横網	1	0.2%		
	亀沢	21	3.5%		
	石原	15	2.5%		
	本所	18	3.0%		
	東駒形	16	2.6%		
	吾妻橋	17	2.8%		
	錦糸	15	2.5%		
	太平	25	4.1%		
	横川	17	2.8%		
	業平	22	3.6%		
合計		606	100.0%	606	100.0%

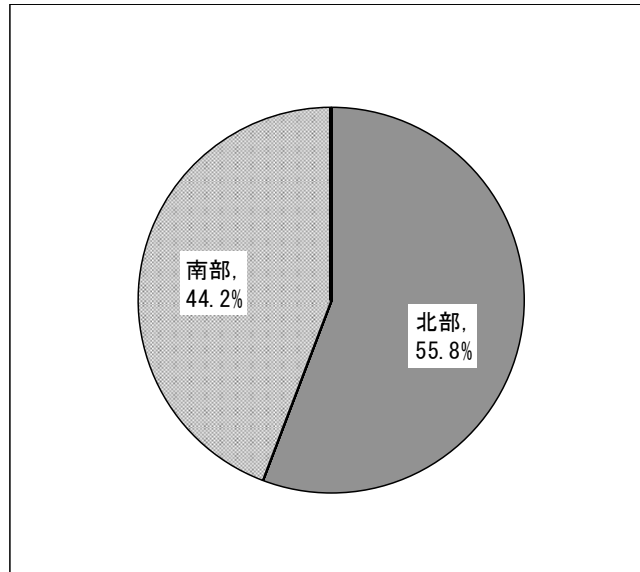


図 2.3.1 居住地域別回答数

(2) 性別

回答者の性別についてみると、男性が34.8%、女性が64.0%と、女性が約2/3を占める結果となった。

表 2.3.2 性別回答数

項目	回答数	割合
男性	211	34.8%
女性	388	64.0%
その他	2	0.3%
回答しない	5	0.8%
無回答	0	0.0%
合計	606	100%

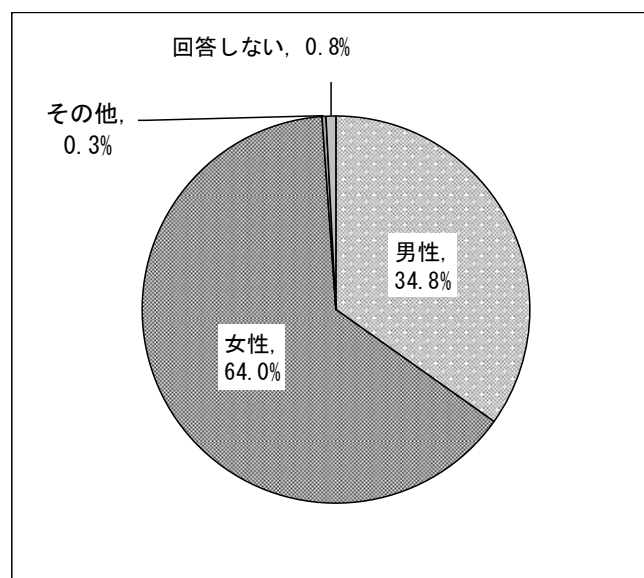


図 2.3.2 性別回答数

(3) 年代

回答者の年代についてみると、30代と40代が22.1%と最も多く、次いで50代が18.2%であった。また、20代が最も割合が少なく、9.7%であった。

表 2.3.3 年代別回答数

項目	回答数	割合
20代	59	9.7%
30代	134	22.1%
40代	134	22.1%
50代	110	18.2%
60代	77	12.7%
70代	92	15.2%
無回答	0	0.0%
合計	606	100%

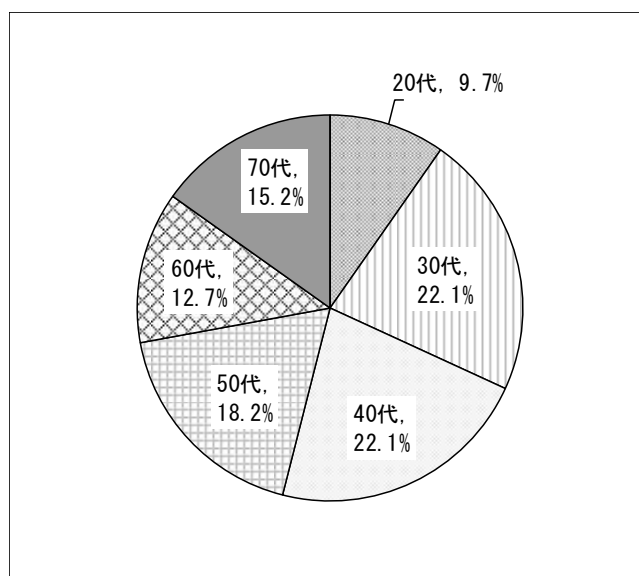


図 2.3.3 年代別回答数

(4) 世帯人数

回答者の世帯人数（回答者を含む）についてみると、2人が38.8%と最も割合が高く、次いで3人が23.8%、1人が23.1%の順であった。

表 2.3.4 世帯人数別回答数

項目	回答数	割合
1人	140	23.1%
2人	235	38.8%
3人	144	23.8%
4人	61	10.1%
5人	20	3.3%
6人以上	6	1.0%
無回答	0	0.0%
合計	606	100%

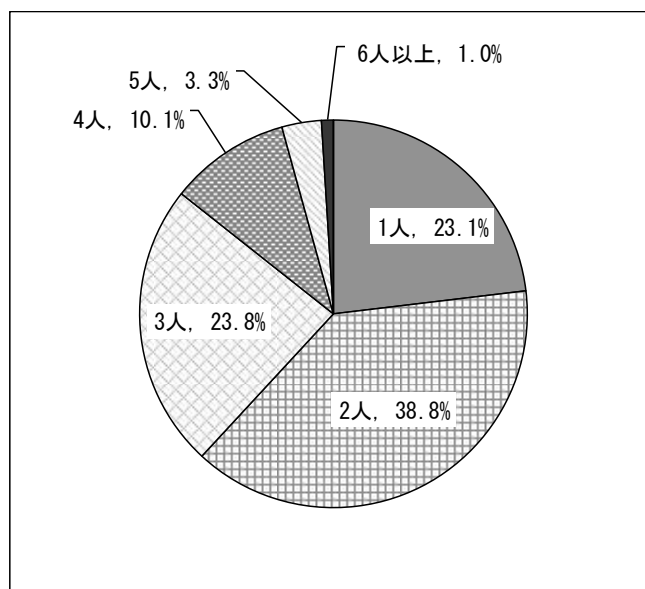


図 2.3.4 世帯人数別回答数

(5) 居住年数

回答者の居住年数についてみると、20年以上が35.0%と最も割合が高く、次いで3年以上～10年未満が23.9%、1年以上～3年未満が16.7%の順であった。

表 2.3.5 居住年数別回答数

項目	回答数	割合
1年未満	50	8.3%
1年以上～3年未満	101	16.7%
3年以上～10年未満	145	23.9%
10年以上～20年未満	97	16.0%
20年以上	212	35.0%
無回答	1	0.2%
合計	606	100%

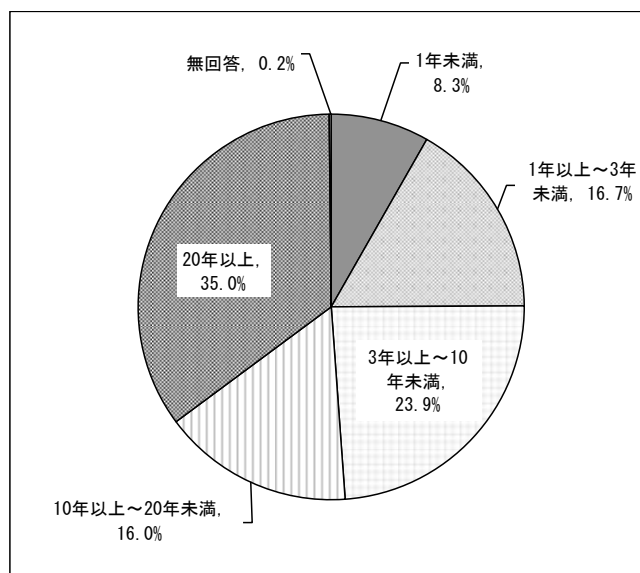


図 2.3.5 居住年数別回答数

(6) 居住形態

回答者の居住形態についてみると、ごみ集積所のある集合住宅（マンション・団地）が 58.6%と最も割合が高く、次いで戸建て住宅が 25.6%、ごみ集積所のない集合住宅（マンション・団地）が 12.2%の順であった。また、自宅兼事業所と回答した 12 人のごみの処分方法をみると、ごみ集積所に出しているが 75%を占めていた。

表 2.3.6 居住形態別回答数

項目	回答数	割合
戸建て住宅	155	25.6%
ごみ集積所のある集合住宅(マンション・団地)	355	58.6%
ごみ集積所のない集合住宅(マンション・団地)	74	12.2%
寮、官舎、下宿等	8	1.3%
自宅兼事業所	12	2.0%
無回答	2	0.3%
合計	606	100%

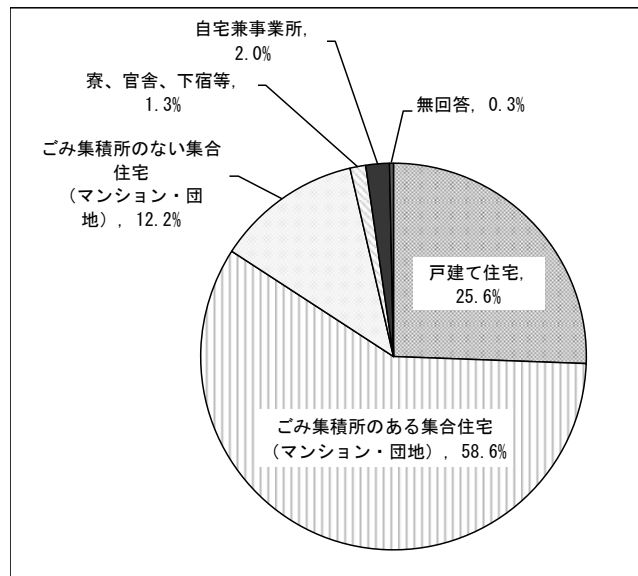


図 2.3.6 居住形態別回答数

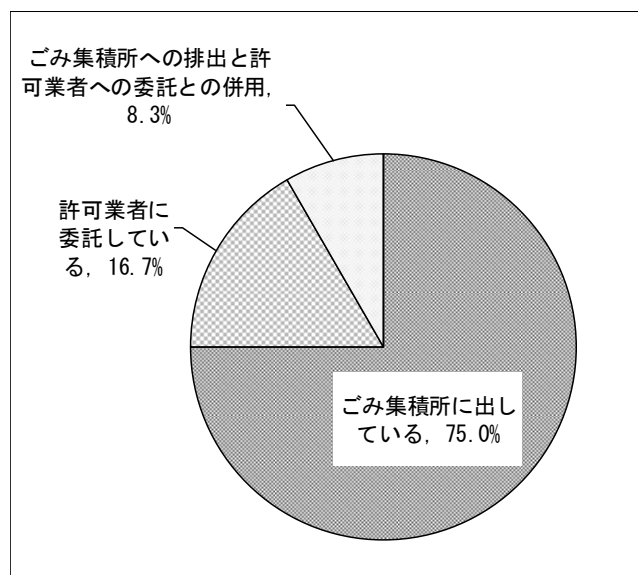


図 2.3.7 「自宅兼事業所」回答者のごみの処分方法

(7) 回答者の属性に関する経年変化

回答者の属性の経年変化は以下のとおりである。

性別についてみると、男性の回答者の割合が高くなっている。また、年代についてみると、60代の回答者の割合が低くなり、20代の回答者の割合が高くなっている。

世帯人数についてみると、4人以上の回答者の割合が低くなり、1人の回答者の割合が高くなっている。また、居住年数についてみると、20年以上の回答者の割合が低くなっている。

表 2.3.7 回答者属性の経年変化

属性項目	(%)		
	平成17年度	平成21年度	今回調査 (令和元年度)
(1) 居住地域			
北部	59.5	55.9	55.8
南部	40.4	41.1	44.2
無回答	0.1	3.0	0
(2) 性別			
男性	26.6	28.1	34.8
女性	73.0	69.0	64.0
その他	-	-	0.3
回答しない	-	-	0.8
無回答	0.5	2.9	0
(3) 年齢			
20代	7.2	6.4	9.7
30代	17.2	15.4	22.1
40代	14.7	17.7	22.1
50代	22.0	19.4	18.2
60代	38.7	38.9	12.7
70代	-	-	15.2
無回答	0.1	2.2	0
(4) 世帯人数			
1人	12.5	13.6	23.1
2人	29.0	32.4	38.8
3人	26.0	23.2	23.8
4人	19.4	18.9	10.1
5人	8.4	6.5	3.3
6人以上	4.1	3.0	1.0
無回答	0.7	2.4	0
(5) 居住年数			
1年未満	3.2	3.9	8.3
1年以上～3年未満	6.0	6.3	16.7
3年以上～10年未満	15.7	15.5	23.9
10年以上～20年未満	10.2	12.7	16.0
20年以上	64.5	59.4	35.0
無回答	0.3	2.2	0.2
(6) 居住形態			
戸建て住宅	47.1	42.8	25.6
ごみ集積所のある集合住宅 (マンション・団地)	35.5	39.4	58.6
ごみ集積所のない集合住宅 (マンション・団地)	13.6	13.8	12.2
寮、官舎、下宿等	3.4	1.5	1.3
自宅兼事業所	-	-	2.0
無回答	0.5	2.5	0.3

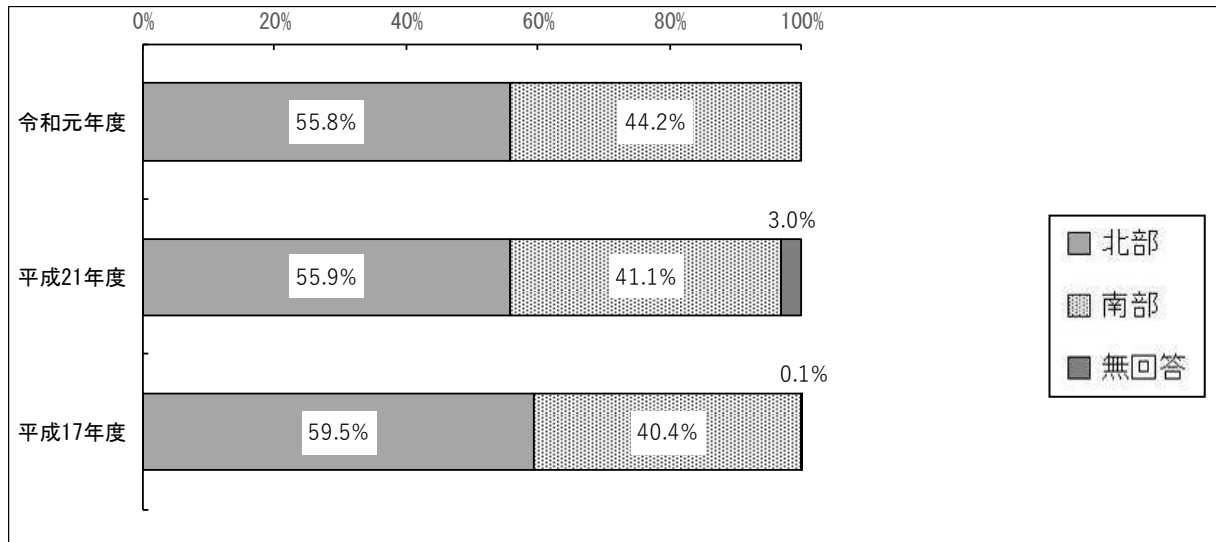


図 2.3.8 居住地域別回答数の経年変化

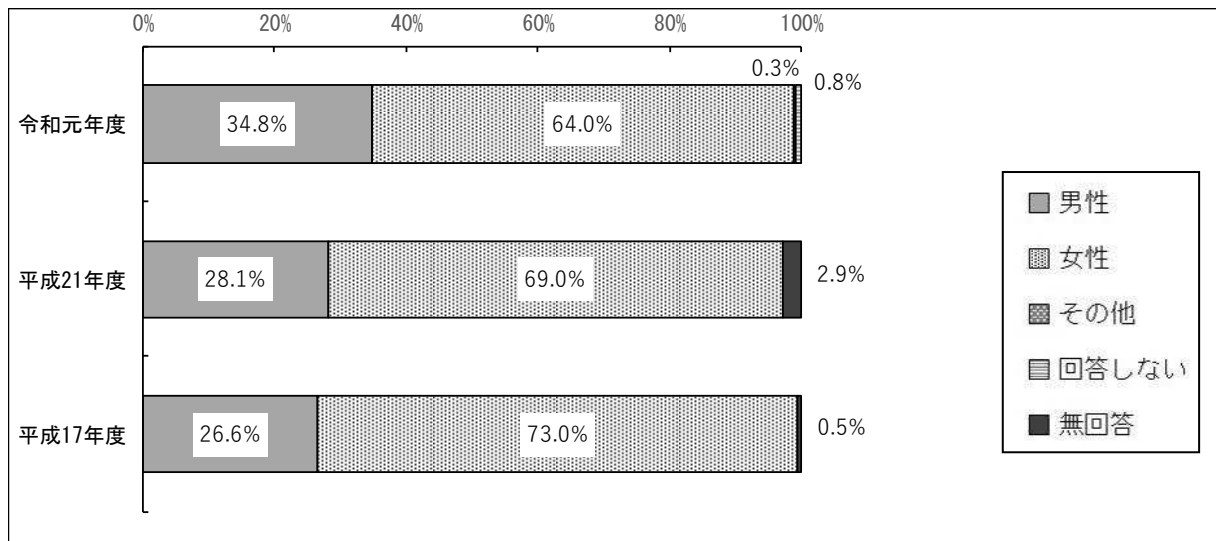


図 2.3.9 性別回答数の経年変化

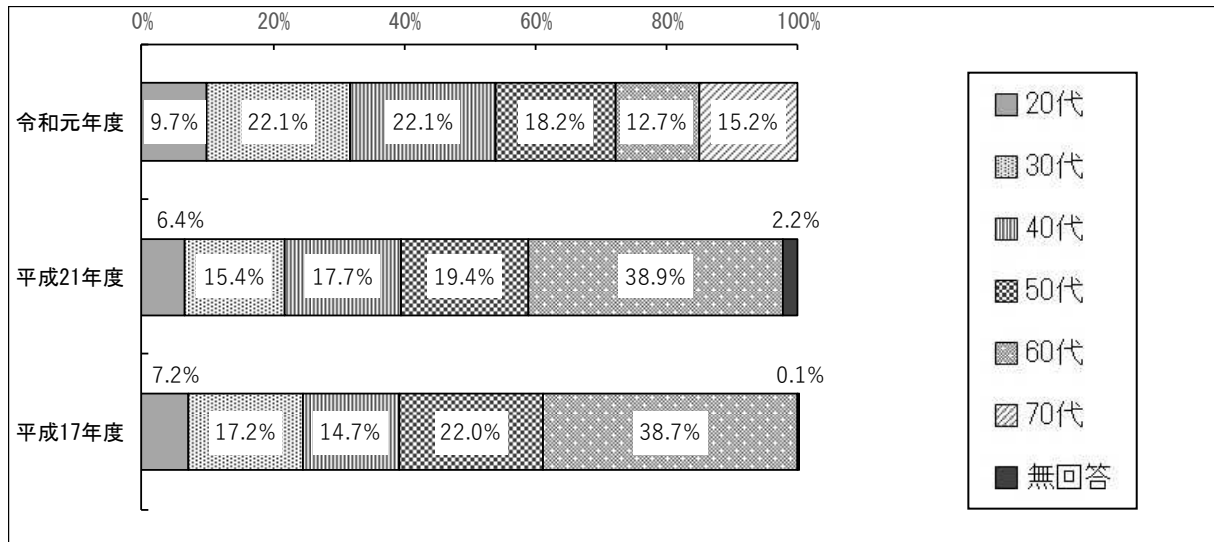


図 2.3.10 年代別回答数の経年変化

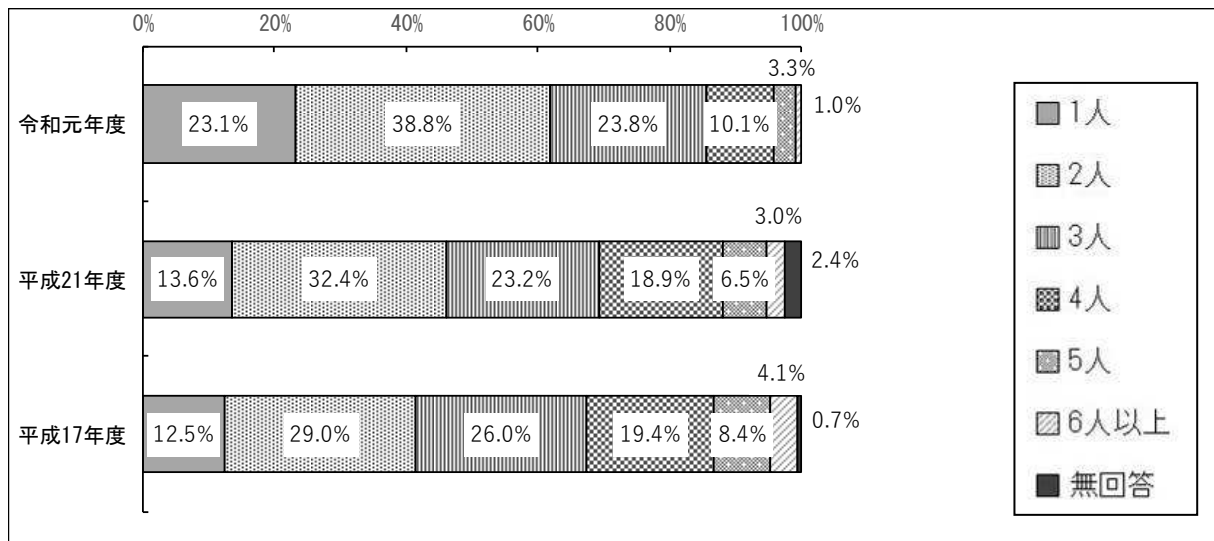


図 2.3.11 世帯人数別回答数の経年変化

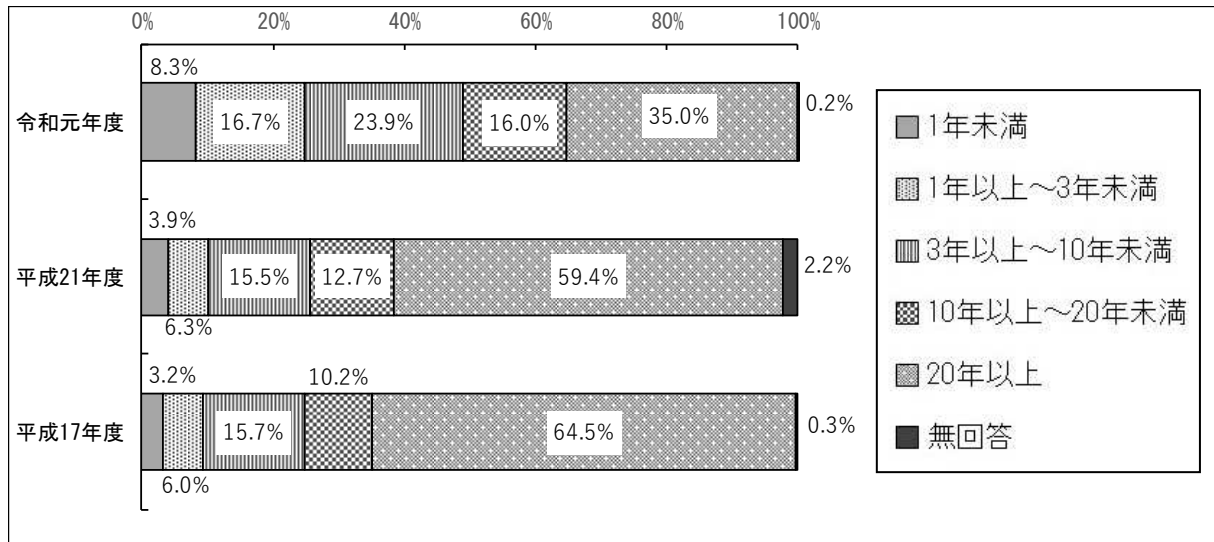


図 2.3.12 居住年数別回答数の経年変化

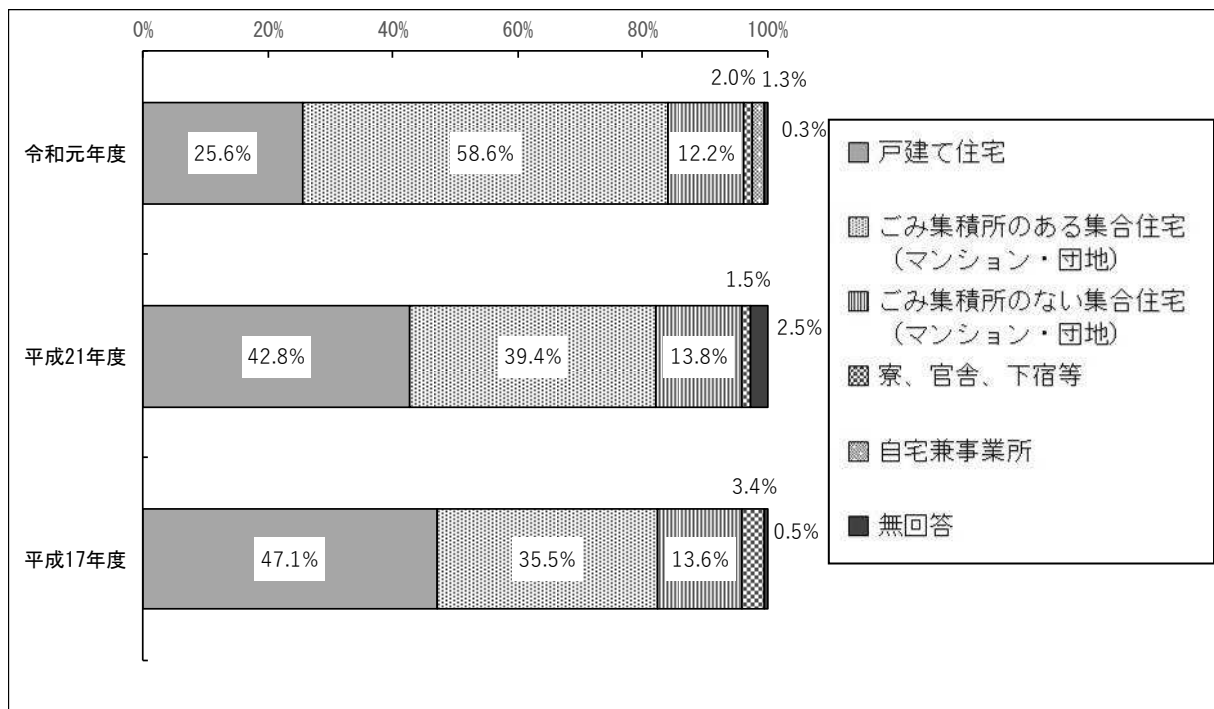


図 2.3.13 居住形態別回答数の経年変化

2.3.2 問1 燃やすごみ、燃やさないごみの排出量

(1) 燃やすごみの排出量

燃やすごみの排出量についてみると、1回に出すごみの量は、レジ袋大（約15L）で、「約1袋」が30.4%と最も割合が高く、次いで「約2袋」が24.4%、「約3袋」が23.8%の順であり、この3項目で3/4以上を占める結果であった。

表 2.3.8 燃やすごみの排出量

項目	回答数	割合
1.出さない	1	0.2%
2.約0.5袋	51	8.4%
3.約1袋	184	30.4%
4.約2袋	148	24.4%
5.約3袋	144	23.8%
6.約4袋	41	6.8%
7.約6袋	16	2.6%
無回答	21	3.5%
合計	606	100%

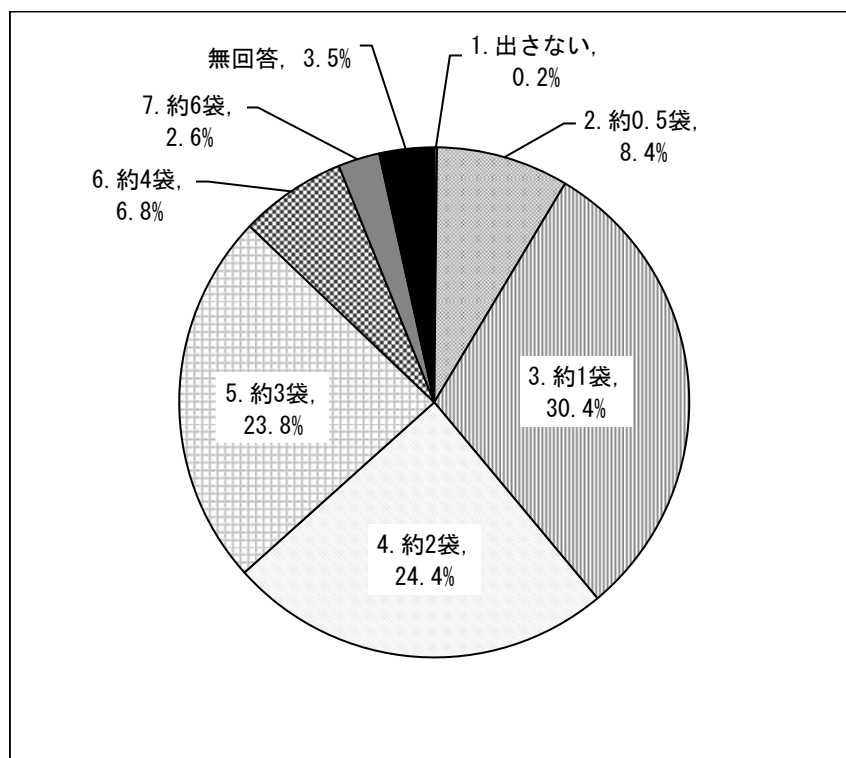


図 2.3.14 燃やすごみの排出量

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.15～図 2.3.19 に示す。

世帯人数が増加するにつれて排出量は増加するものと考えられるが、世帯人数が 5 人と回答した回答者の排出量は少なくなっている。

また、居住年数が長くなるほど排出量が多くなっている。

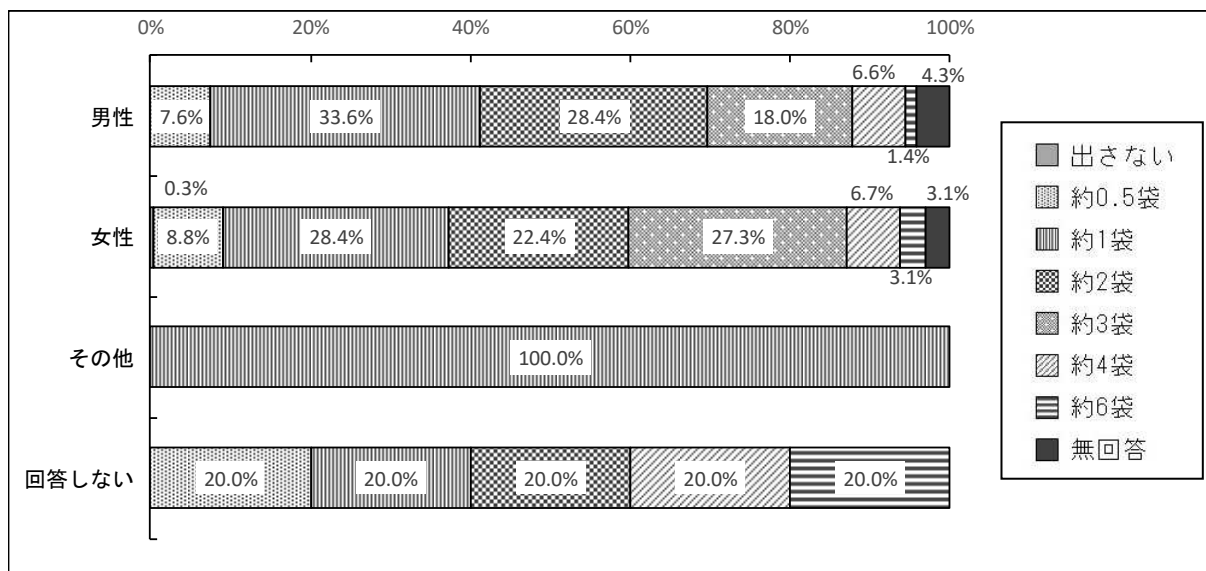


図 2.3.15 燃やすごみの排出量（性別）

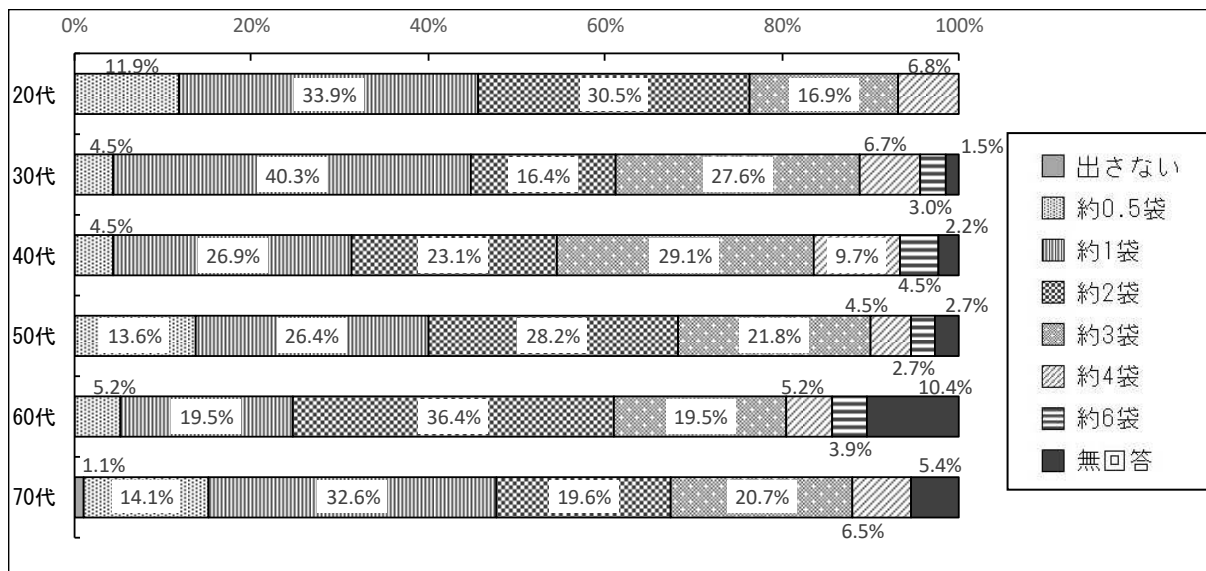


図 2.3.16 燃やすごみの排出量（年代別）

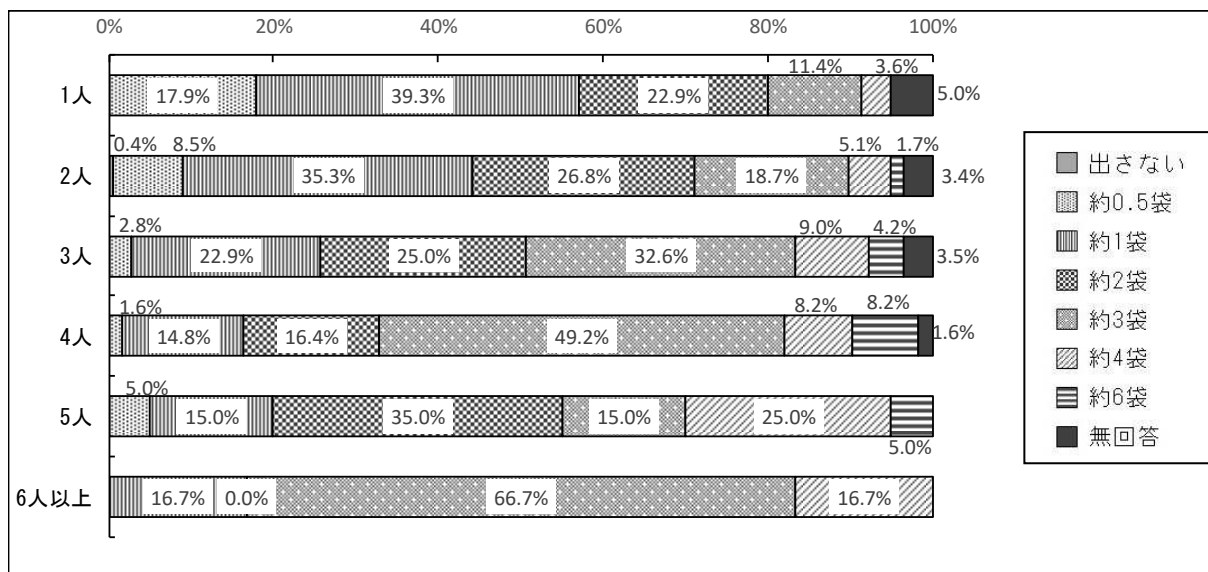


図 2.3.17 燃やすごみの排出量（世帯人数別）

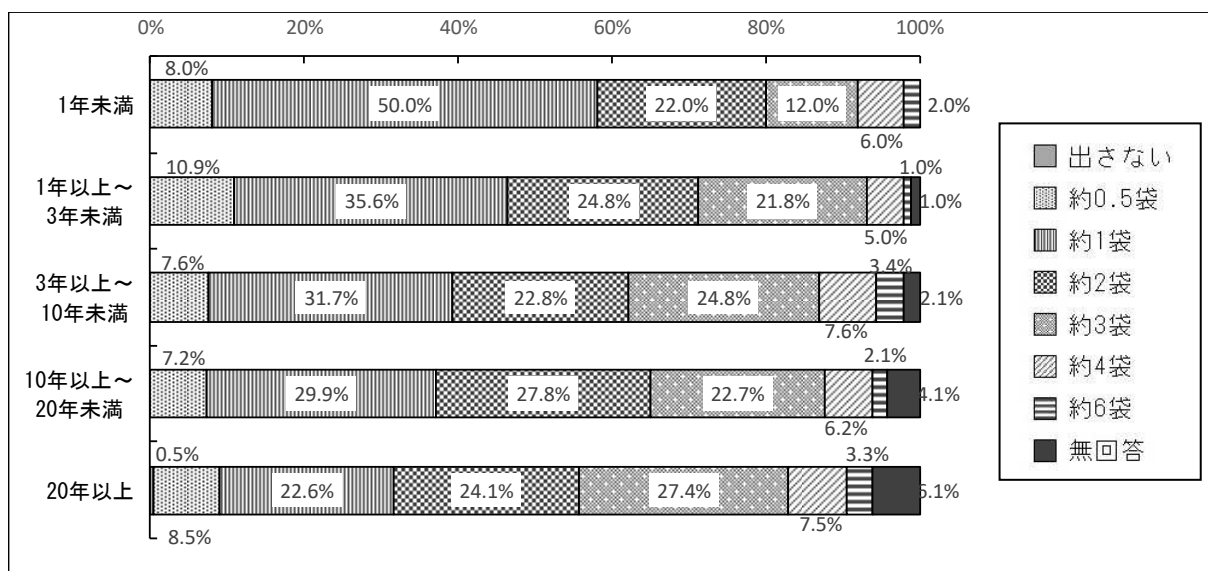


図 2.3.18 燃やすごみの排出量（居住年数別）

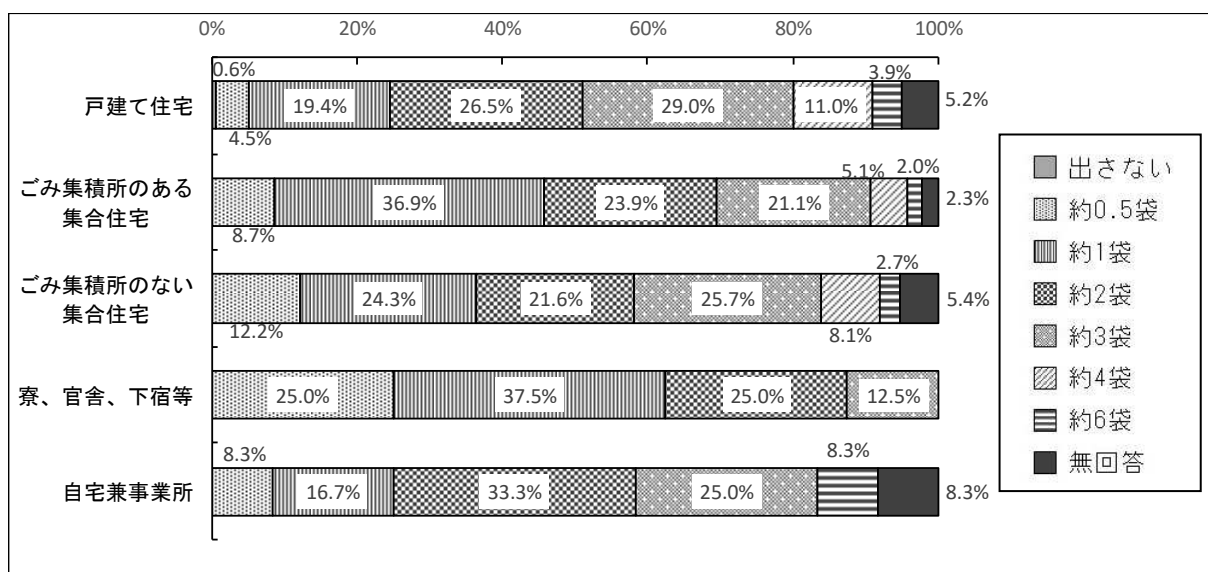


図 2.3.19 燃やすごみの排出量（居住形態別）

(2) 燃やさないごみの排出量

燃やさないごみの排出量についてみると、1回に出すごみの量は、レジ袋大（約15L）で、「約0.5袋」が55.9%と最も割合が高く、次いで「約1袋」が17.5%、「出さない」が15.2%の順であり、この3項目で80%以上を占める結果であった。

表 2.3.9 燃やさないごみの排出量

項目	回答数	割合
1.出さない	92	15.2%
2.約0.5袋	339	55.9%
3.約1袋	106	17.5%
4.約2袋	22	3.6%
5.約3袋	6	1.0%
6.約4袋	2	0.3%
7.約6袋	2	0.3%
無回答	37	6.1%
合計	606	100%

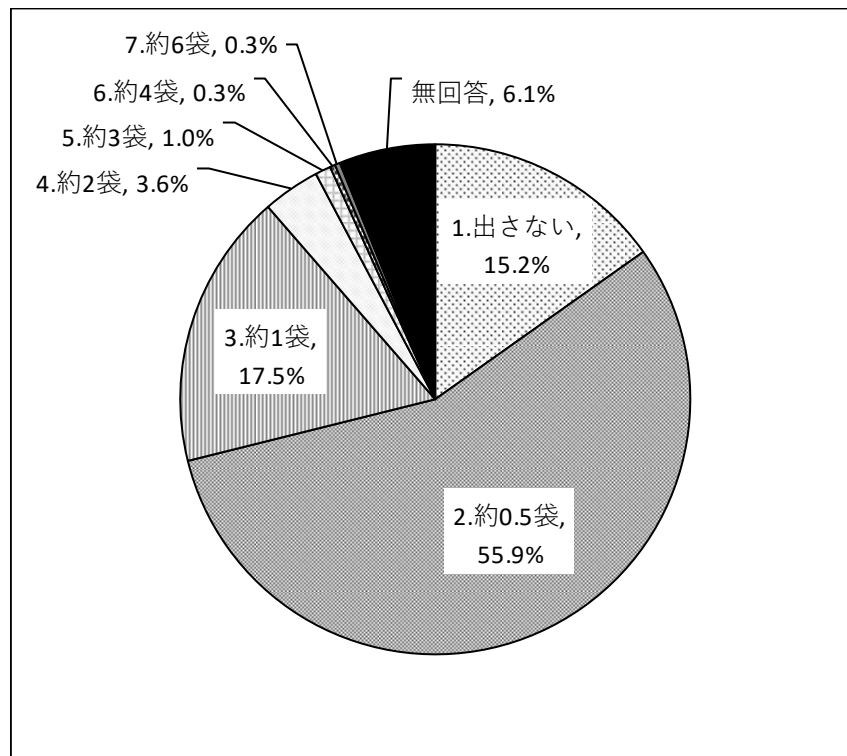


図 2.3.20 燃やさないごみの排出量

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.21～図 2.3.25 に示す。

世帯人数が増加するにつれて排出量も増加しているが、世帯人数が 5 人未満の回答者の中には、燃やさないごみを出さないと回答している回答者も一定数みられた。

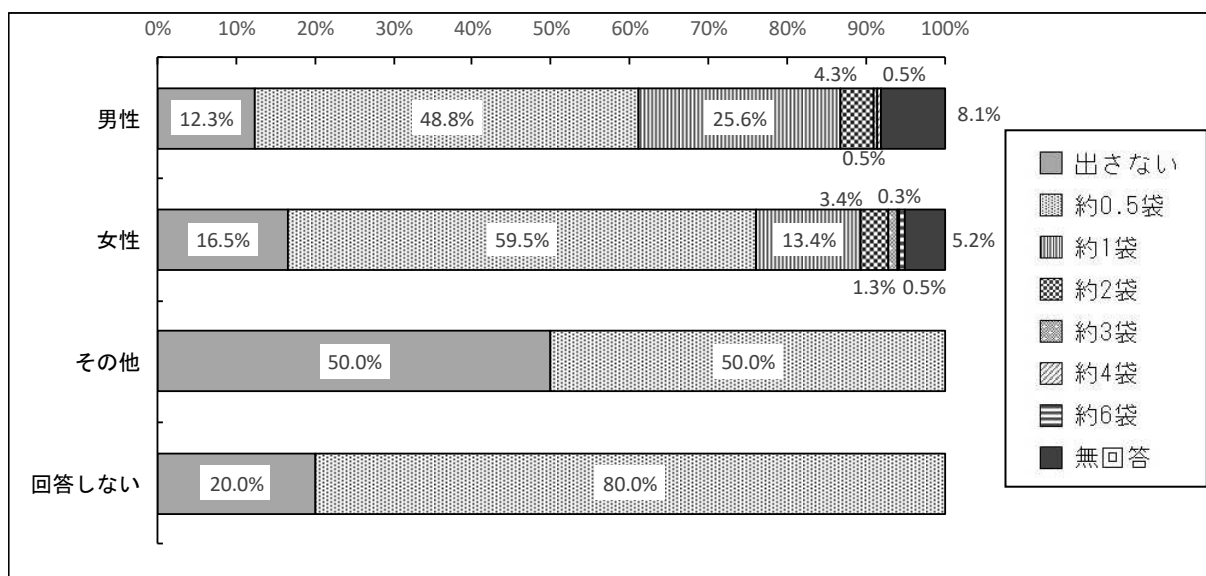


図 2.3.21 燃やさないごみの排出量（性別）

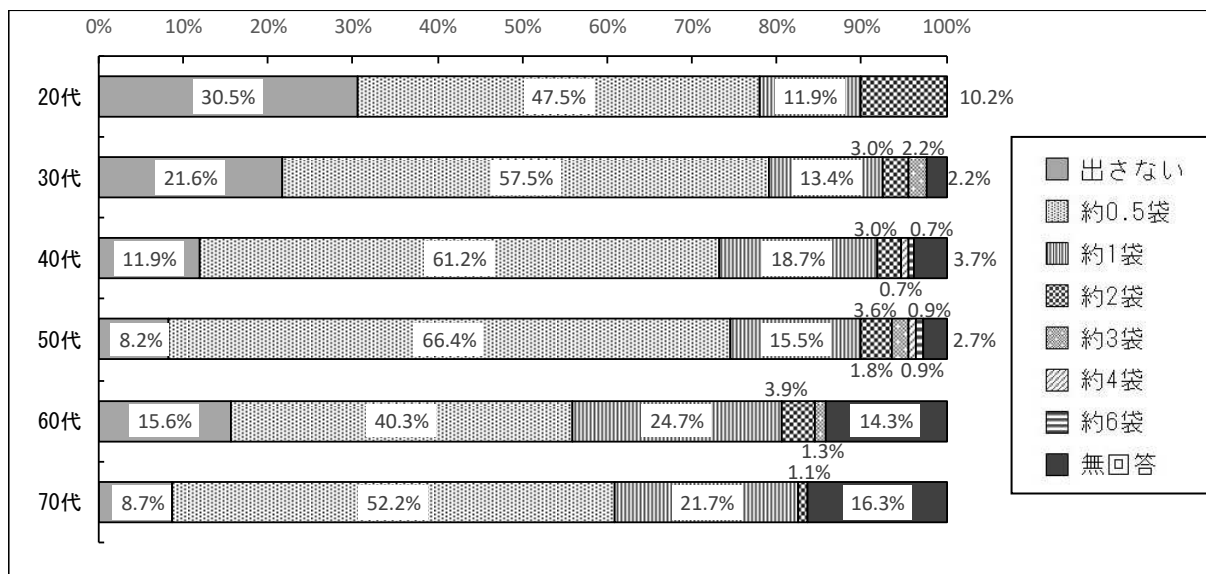


図 2.3.22 燃やさないごみの排出量（年代別）

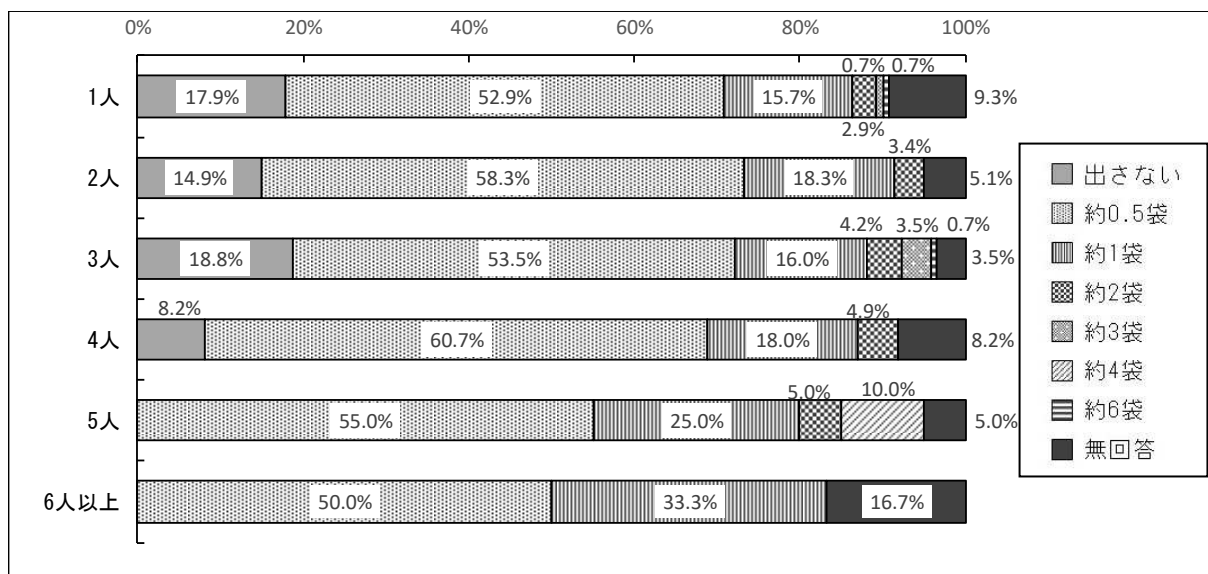


図 2.3.23 燃やさないごみの排出量（世帯人数別）

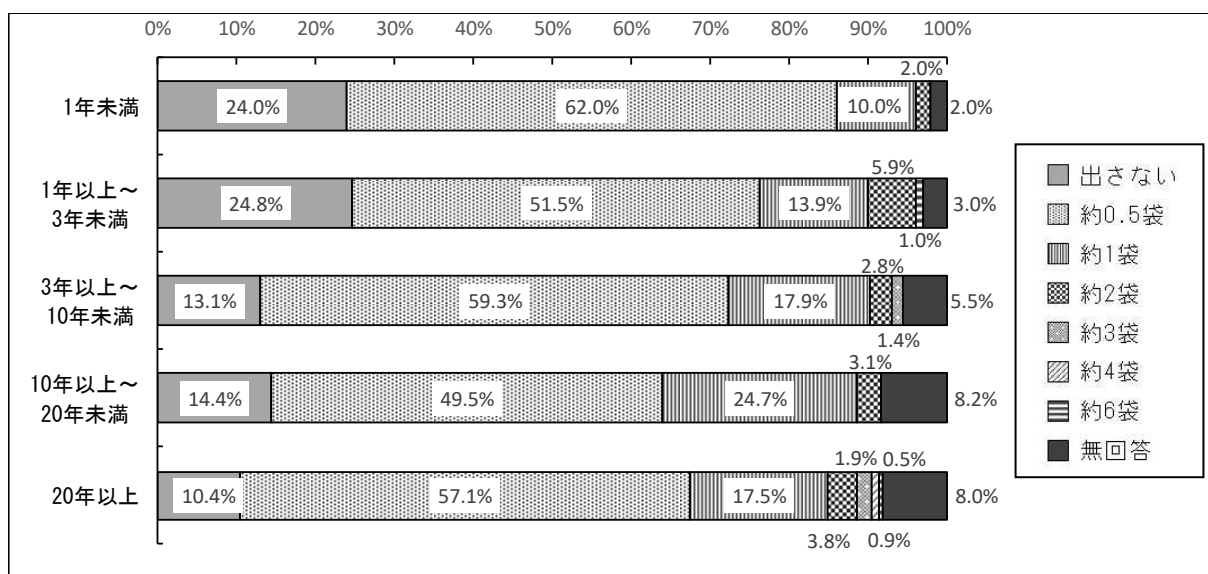


図 2.3.24 燃やさないごみの排出量（居住年数別）

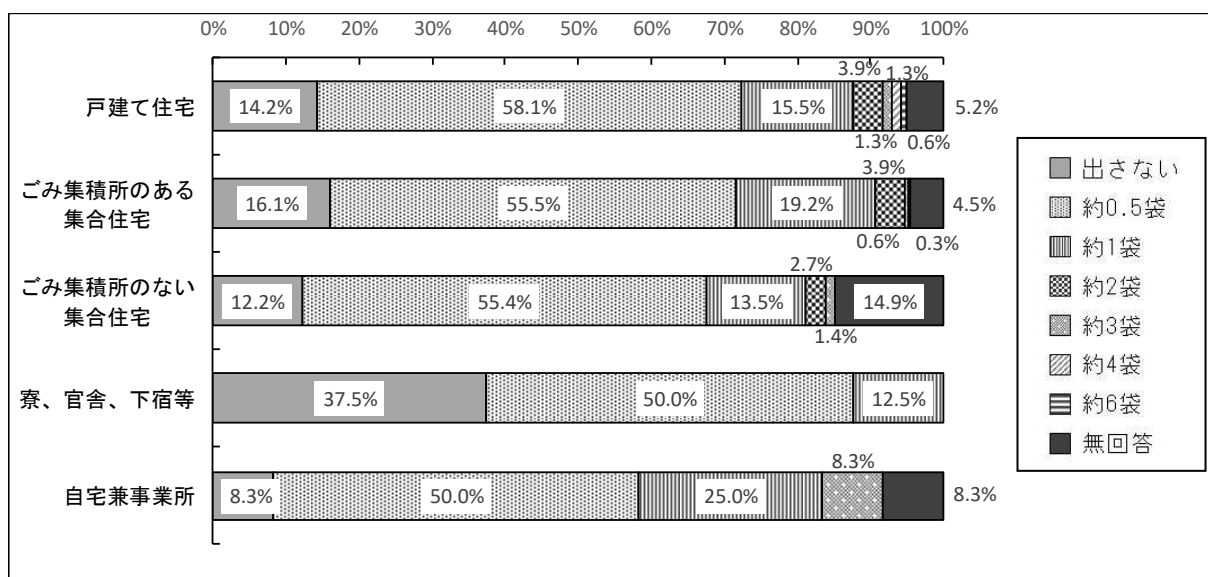


図 2.3.25 燃やさないごみの排出量（居住形態別）

2.3.3 問2 資源物の排出方法

(1) 新聞・雑誌・段ボール・紙パック・雑がみ

新聞・雑誌・段ボール・紙パック・雑がみの排出方法についてみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」が71.1%と最も割合が高く、次いで「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」が9.5%、「集団回収に出している。」が7.4%の順であった。

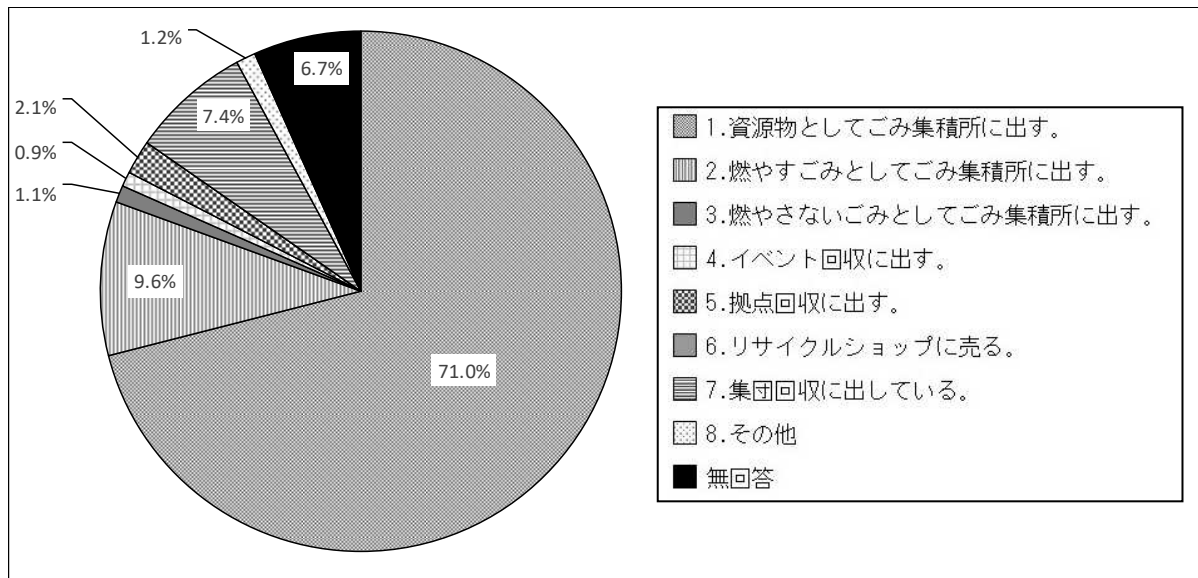


図 2.3.26 新聞・雑誌・段ボール・紙パック・雑がみの排出方法

(2) 缶

缶の排出方法についてみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」が74.4%と最も割合が高く、次いで「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」が8.9%、「集団回収に出している。」が4.5%の順であった。

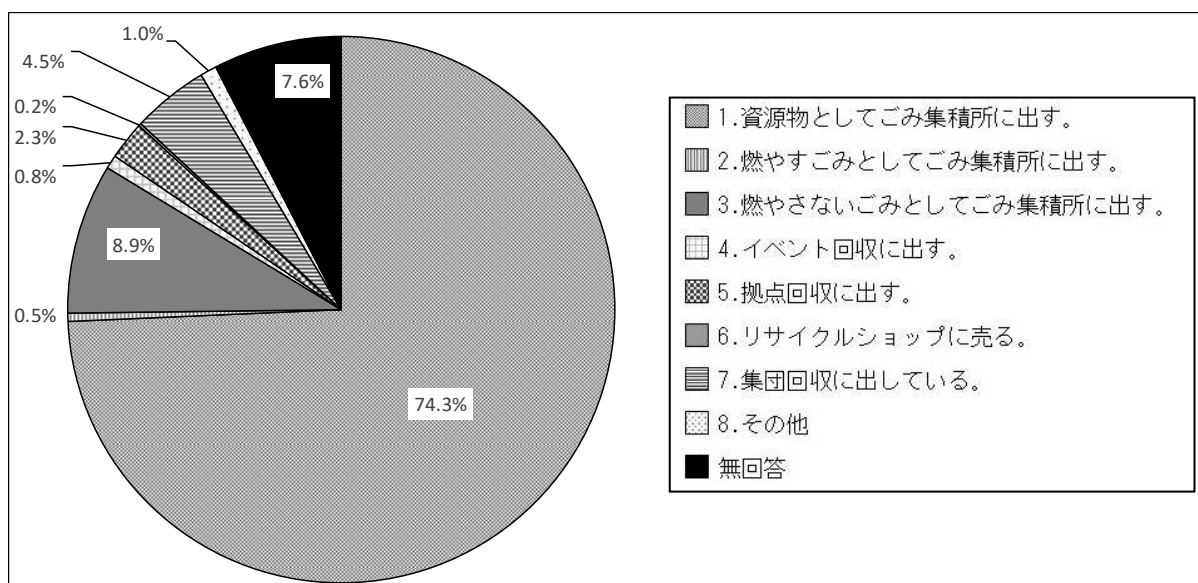


図 2.3.27 缶の排出方法

(3) びん

びんの排出方法についてみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」が76.0%と最も割合が高く、次いで「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」が8.3%、「集団回収に出している。」が3.4%の順であった。

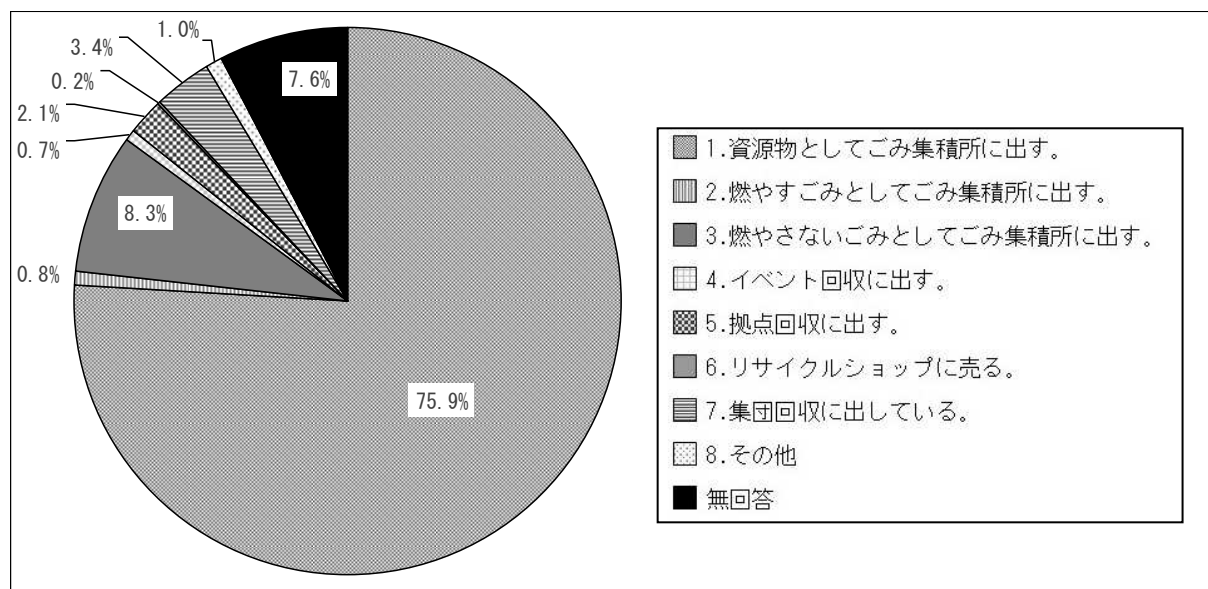


図 2.3.28 びんの排出方法

(4) ペットボトル

ペットボトルの排出方法についてみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」が74.7%と最も割合が高く、次いで「拠点回収に出す。」が5.0%、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」、「集団回収に出している。」が3.6%の順であった。

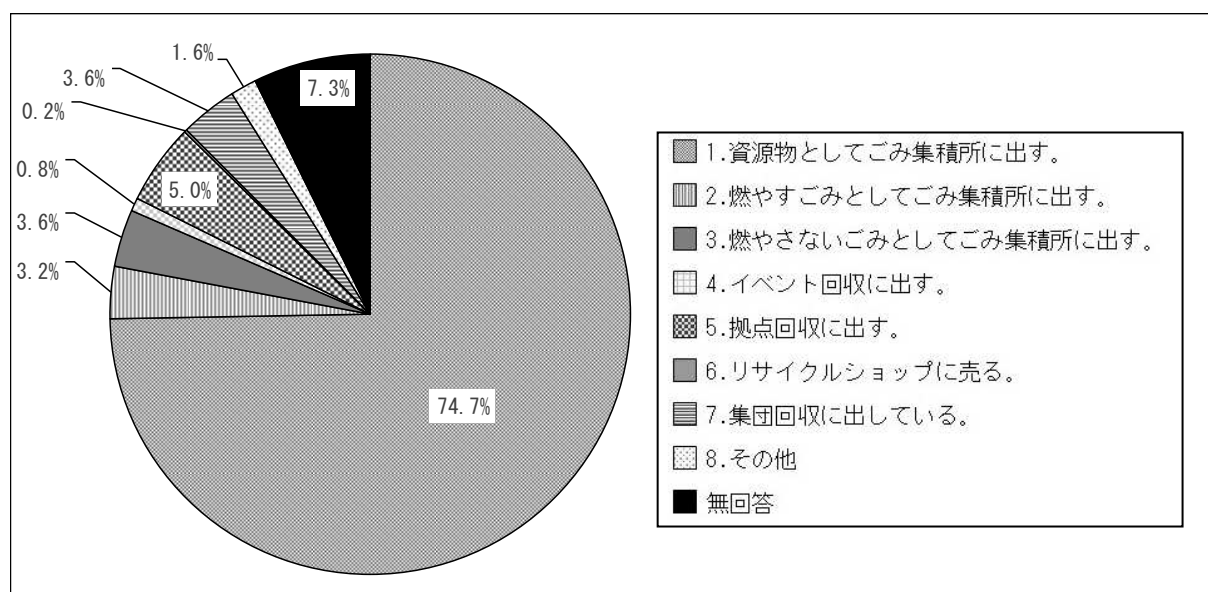


図 2.3.29 ペットボトルの排出方法

(5) 食品トレー

食品トレーの排出方法についてみると、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」が39.8%と最も割合が高く、次いで「資源物としてごみ集積所に出す。」が37.3%、「拠点回収に出す。」が4.3%の順であった。

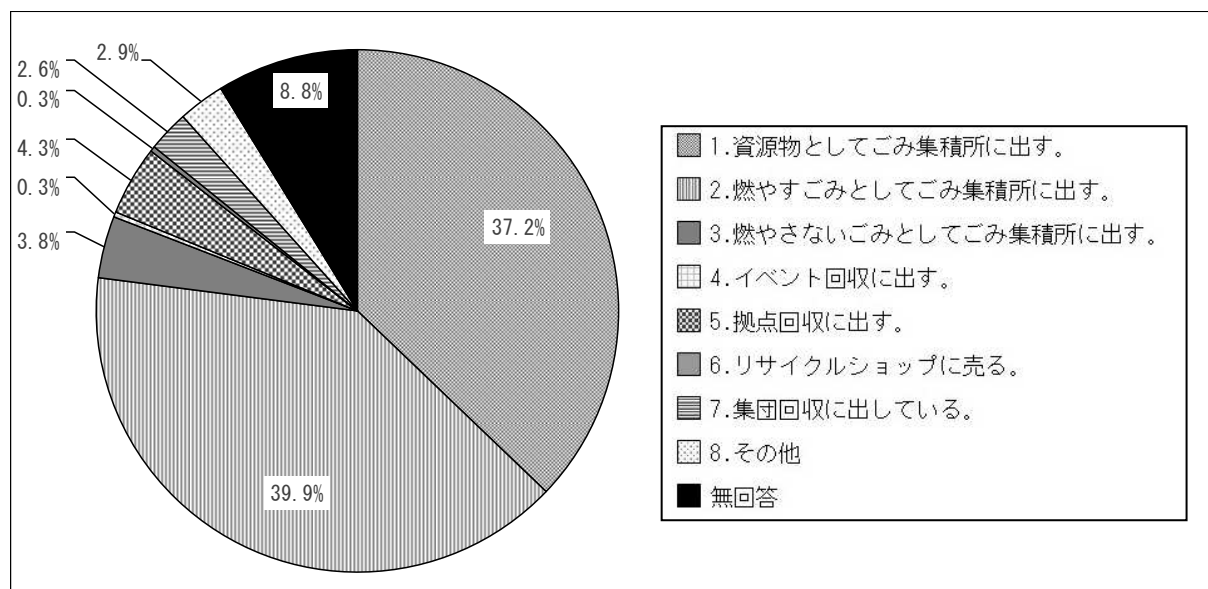


図 2.3.30 食品トレーの排出方法

(6) 古布、古着

古布、古着の排出方法についてみると、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」が56.2%と最も割合が高く、次いで「リサイクルショップに売る。」が10.9%、「資源物としてごみ集積所に出す。」が6.8%の順であった。

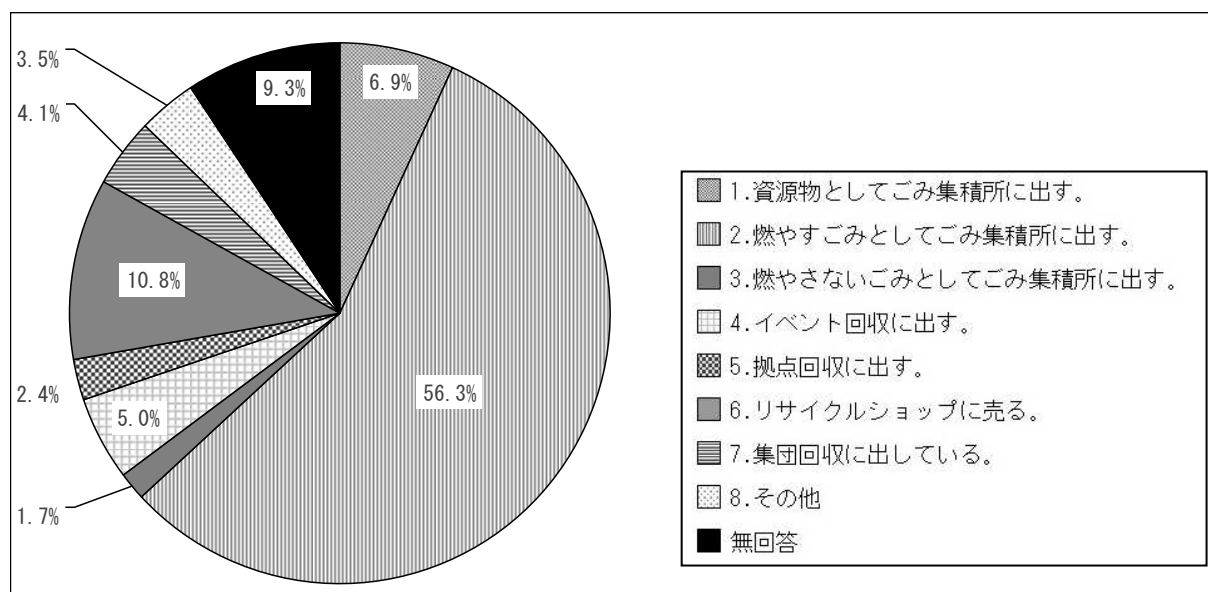


図 2.3.31 古布、古着の排出方法

(7) 金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）

金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）の排出方法についてみると、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」が68.8%と最も割合が高く、次いで「資源物としてごみ集積所に出す。」が5.7%、「その他」が3.3%の順であった。「その他」の回答としては、「ごみとして出したことがない。」等の回答がみられた。

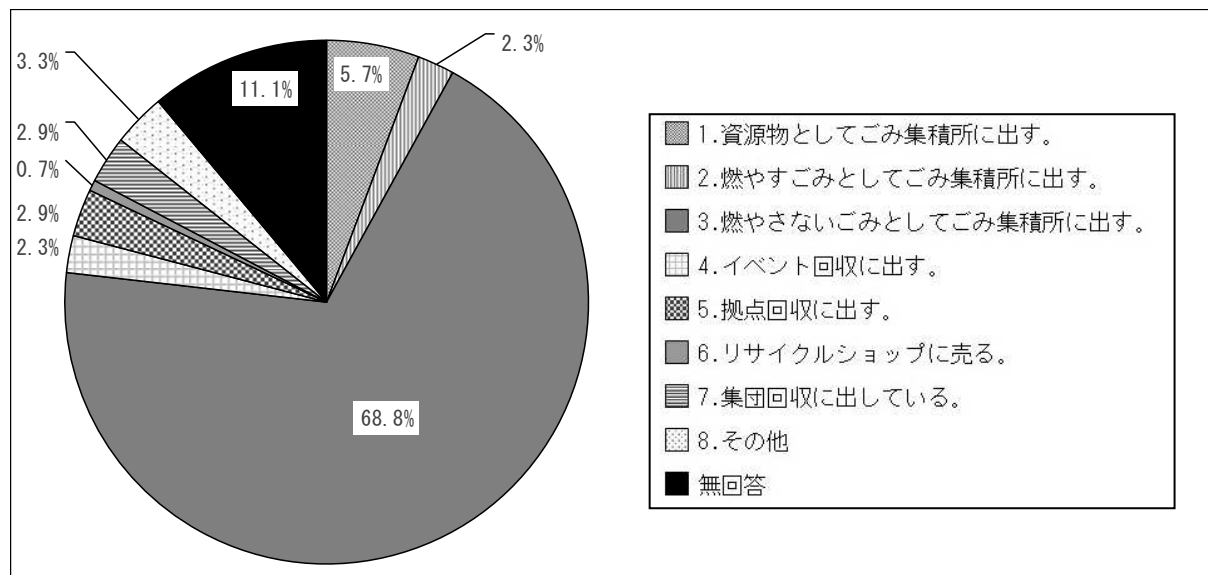


図 2.3.32 金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）の排出方法

(8) 乾電池

乾電池の排出方法についてみると、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」が36.5%と最も割合が高く、次いで「拠点回収に出す。」が27.2%、「資源物としてごみ集積所に出す。」が10.6%の順であった。

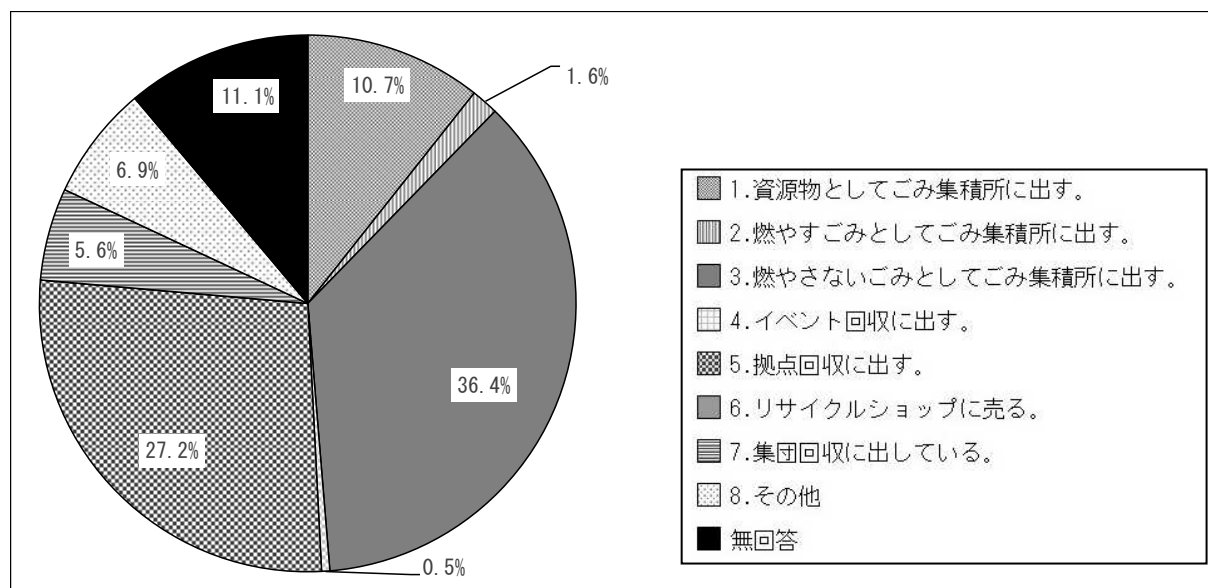


図 2.3.33 乾電池の排出方法

(9) 廃食油（天ぷら油等の食用油）

廃食油（天ぷら油等の食用油）の排出方法についてみると、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」が46.6%と最も割合が高く、次いで「その他」が21.1%、「資源物としてごみ集積所に出す。」が4.6%の順であった。「その他」の回答としては、「油固化剤等で固めて捨てる」等の回答がみられた。

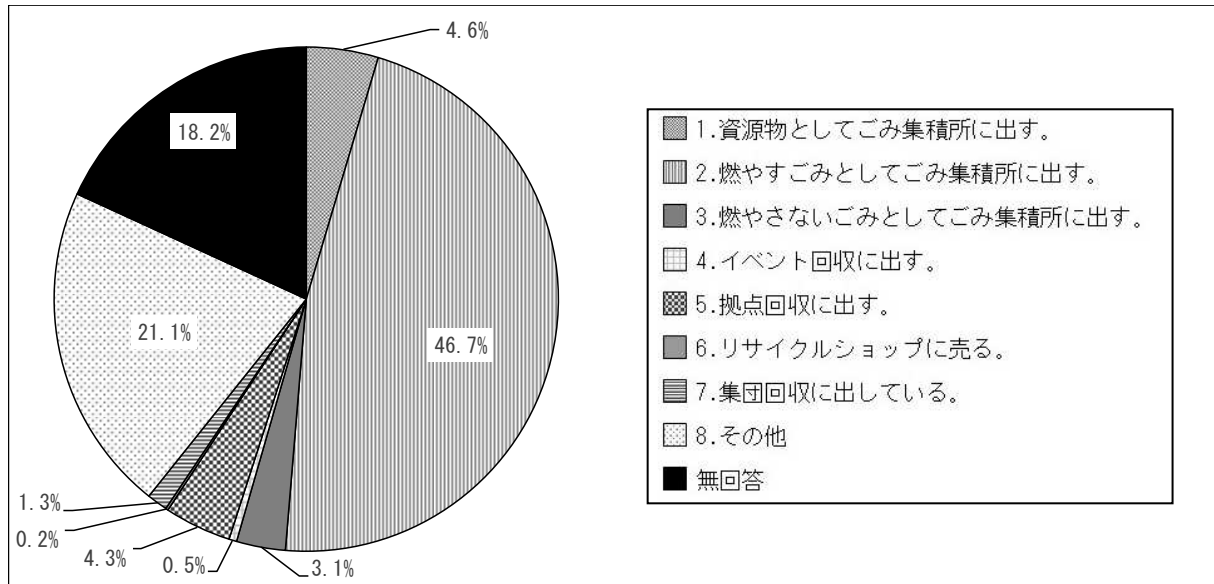


図 2.3.34 廃食油（天ぷら油等の食用油）の排出方法

(10) 小型家電

小型家電の排出方法についてみると、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」が29.6%と最も割合が高く、次いで「その他」が17.4%、「拠点回収に出す。」が15.8%の順であった。「その他」の回答としては、「人に譲る」等の回答がみられた。

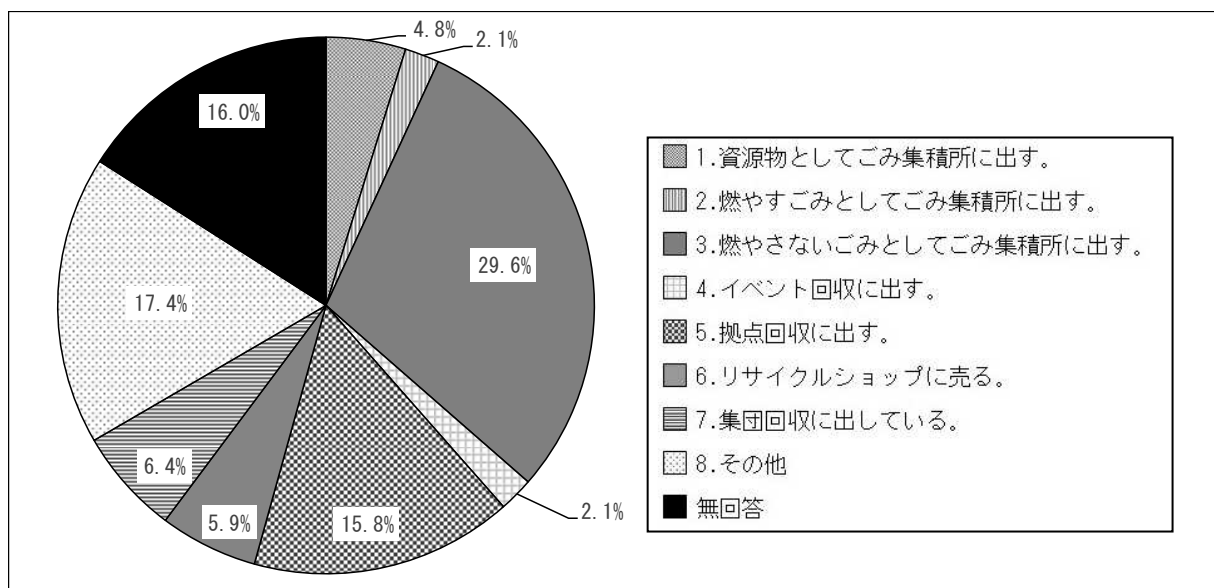


図 2.3.35 小型家電の排出方法

2.3.4 問3 ごみに関する情報の入手先

ごみに関する情報の入手先についてみると、「資源物とごみの分け方・出し方パンフレット」が47.5%と最も割合が高く、次いで「墨田区のホームページ(資源・ごみ・リサイクル関連のページ)」が43.4%、「資源物とごみの収集カレンダー」が42.6%の順であった。

表 2.3.10 ごみに関する情報の入手先

項目	回答数	割合
1. 墨田区のホームページ(資源・ごみ・リサイクル関連のページ)	263	43.4%
2. 墨田区のホームページ(チャットボット※案内キャラクター)	21	3.5%
3. すみだ区報	134	22.1%
4. 資源物とごみの収集カレンダー	258	42.6%
5. 資源物とごみの分け方・出し方パンフレット	288	47.5%
6. 東京二十三区清掃一部事務組合のホームページ	6	1.0%
7. その他	34	5.6%
無回答	5	0.8%
合計	1009	-

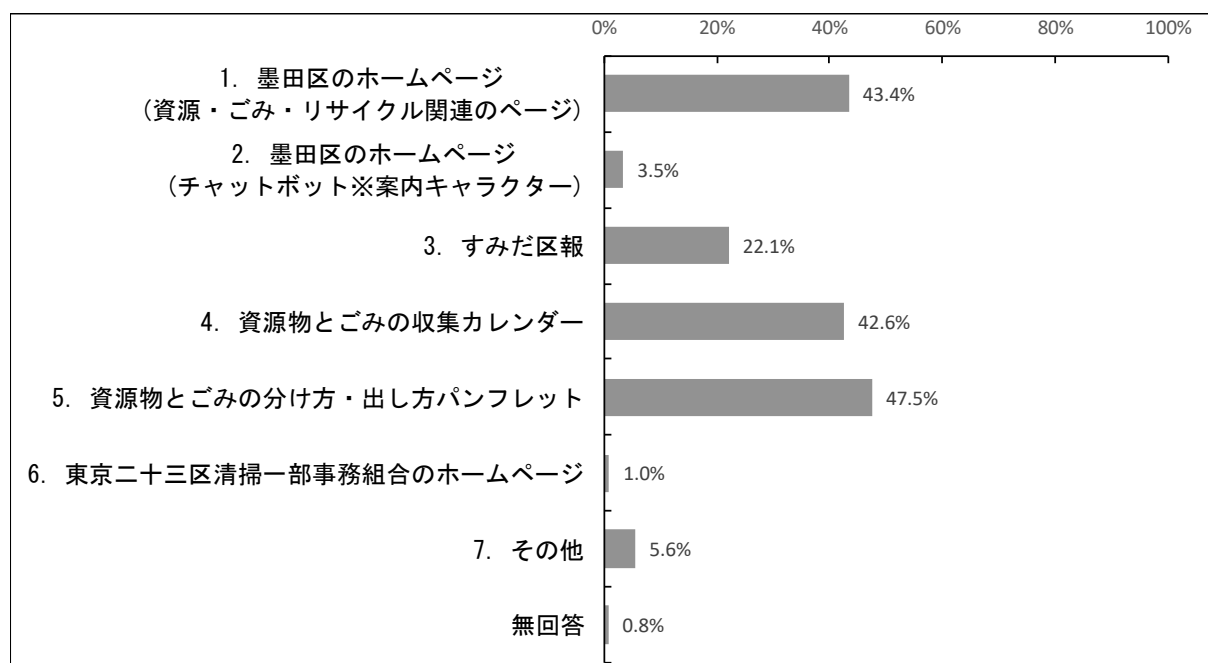


図 2.3.36 ごみに関する情報の入手先

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.37～図 2.3.41 に示す。

年代が上がるほど「資源物とごみの分け方・出し方パンフレット」、「すみだ区報」で情報を入手している回答者が多くなっている。また、居住年数が 10 年未満の回答者は「墨田区のホームページ」で情報を入手している割合が高くなっている。

「墨田区のホームページ(資源物・リサイクル関連のページ)」で情報を入手しているのは 30 代が最も多く、次いで 40 代、20 代の順となっている。

「資源物とごみの収集カレンダー」で情報を入手しているのは 50 代が最も多く、次いで 70 代、60 代の順となっている。

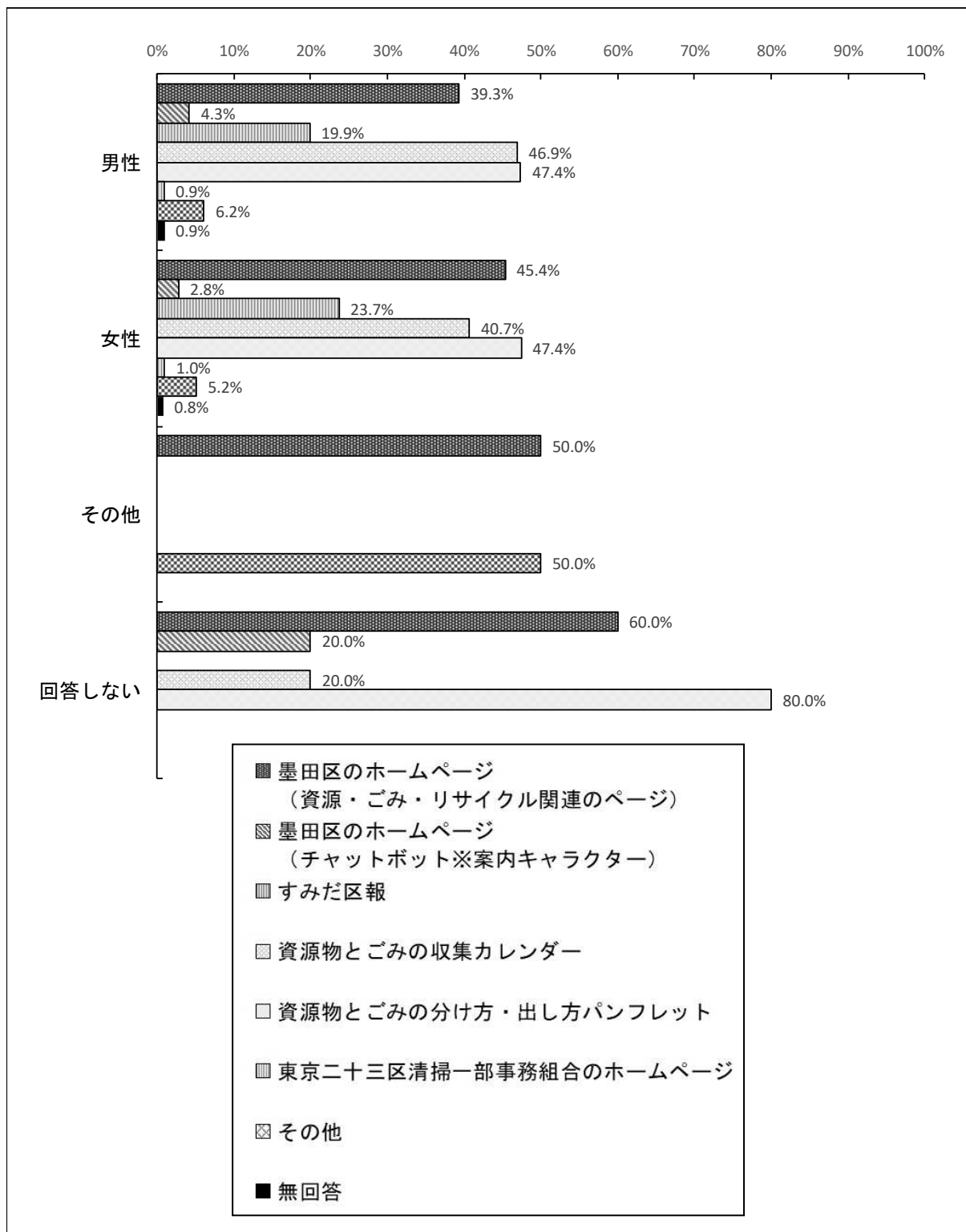


図 2.3.37 ごみに関する情報の入手先（性別）

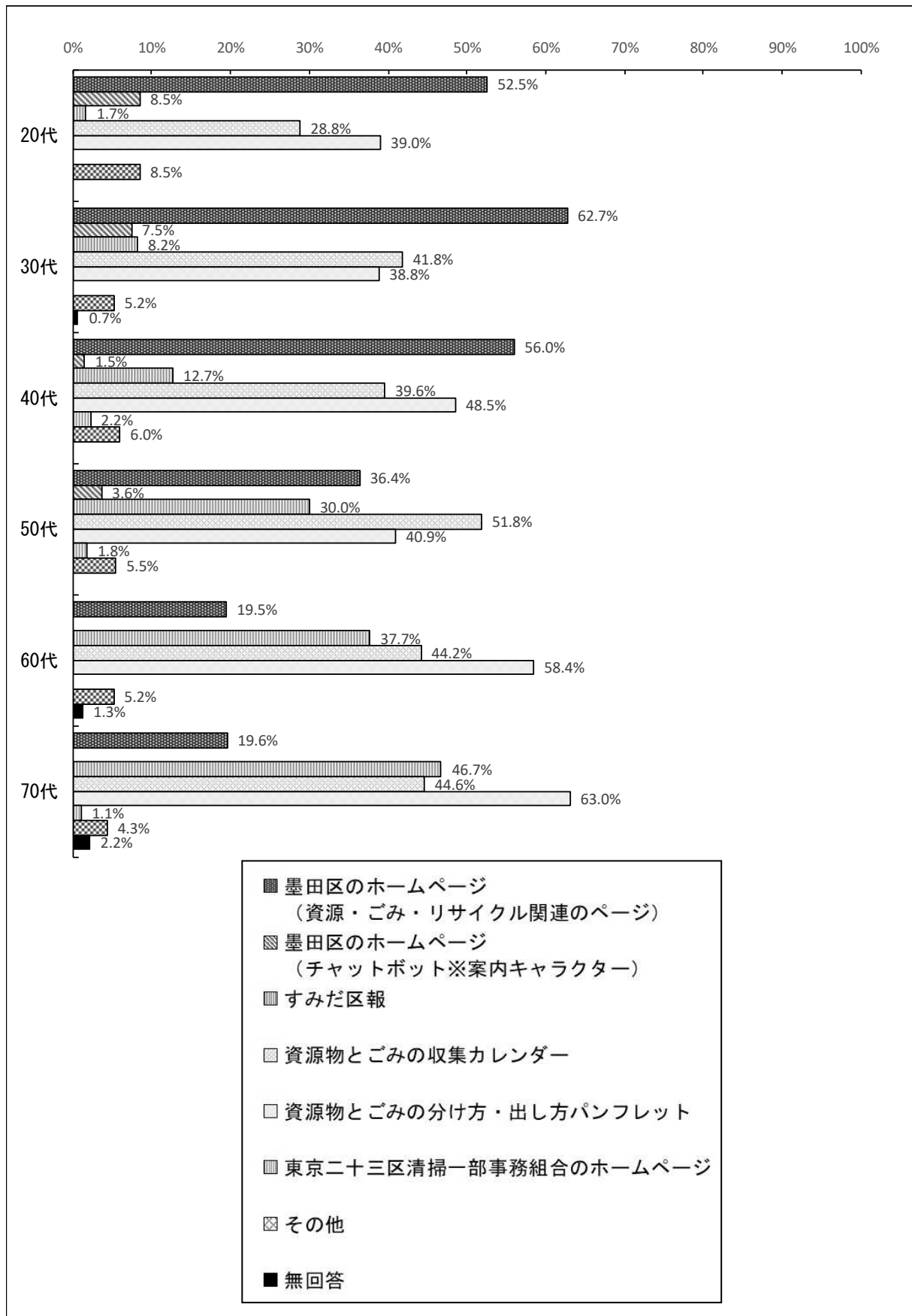


図 2.3.38 ごみに関する情報の入手先 (年代別)

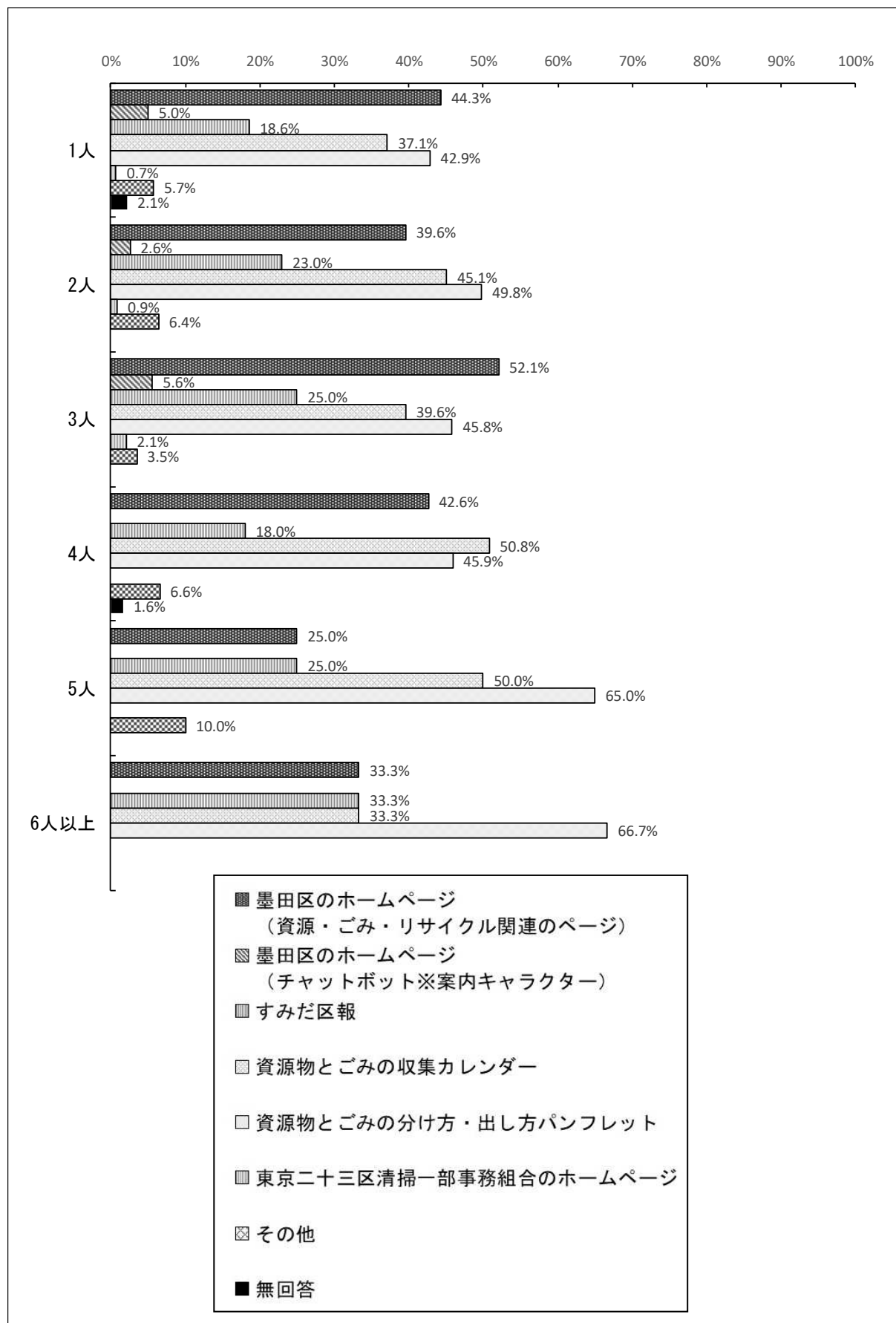


図 2.3.39 ごみに関する情報の入手先 (世帯人数別)

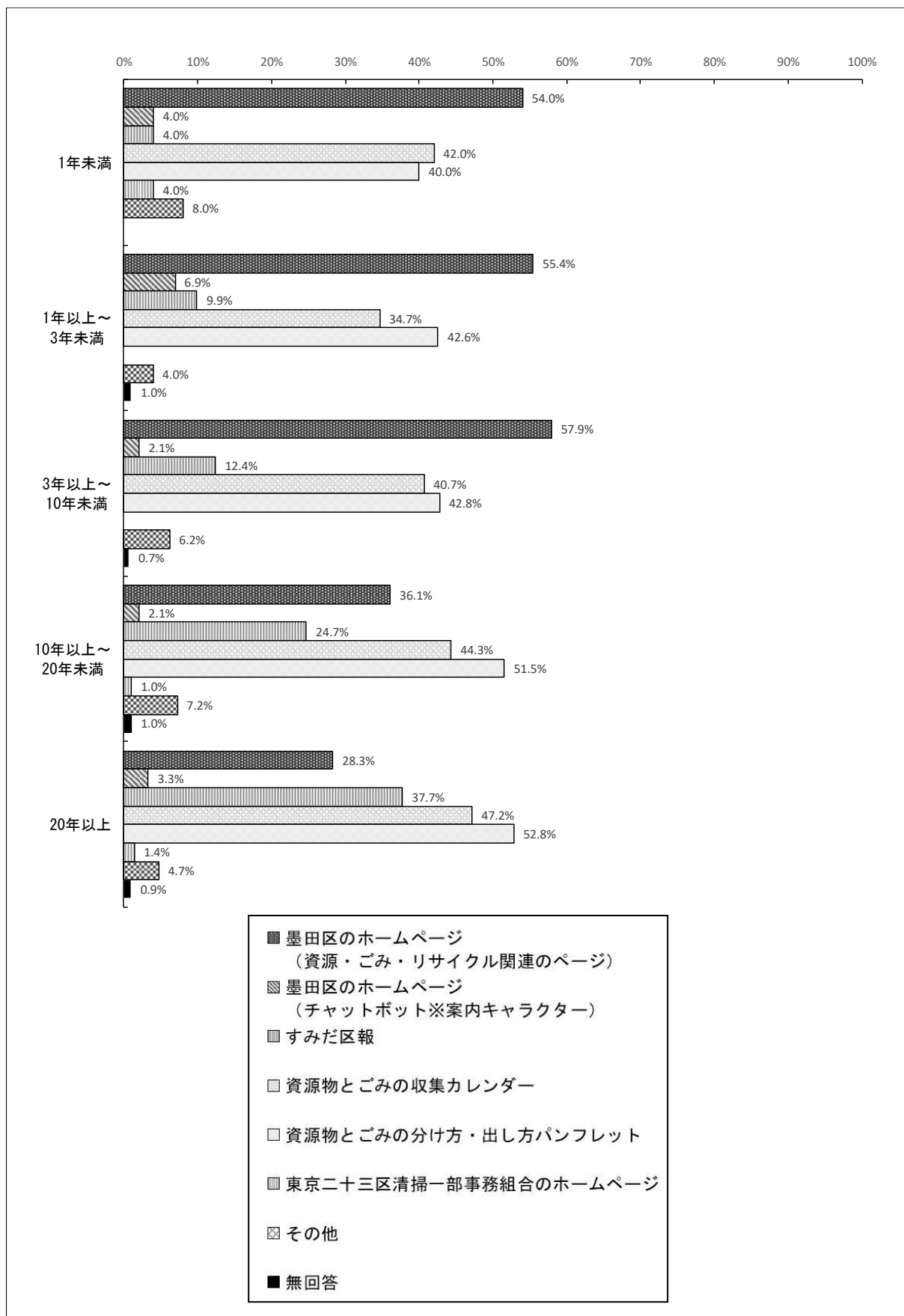


図 2.3.40 ごみに関する情報の入手先 (居住年数別)

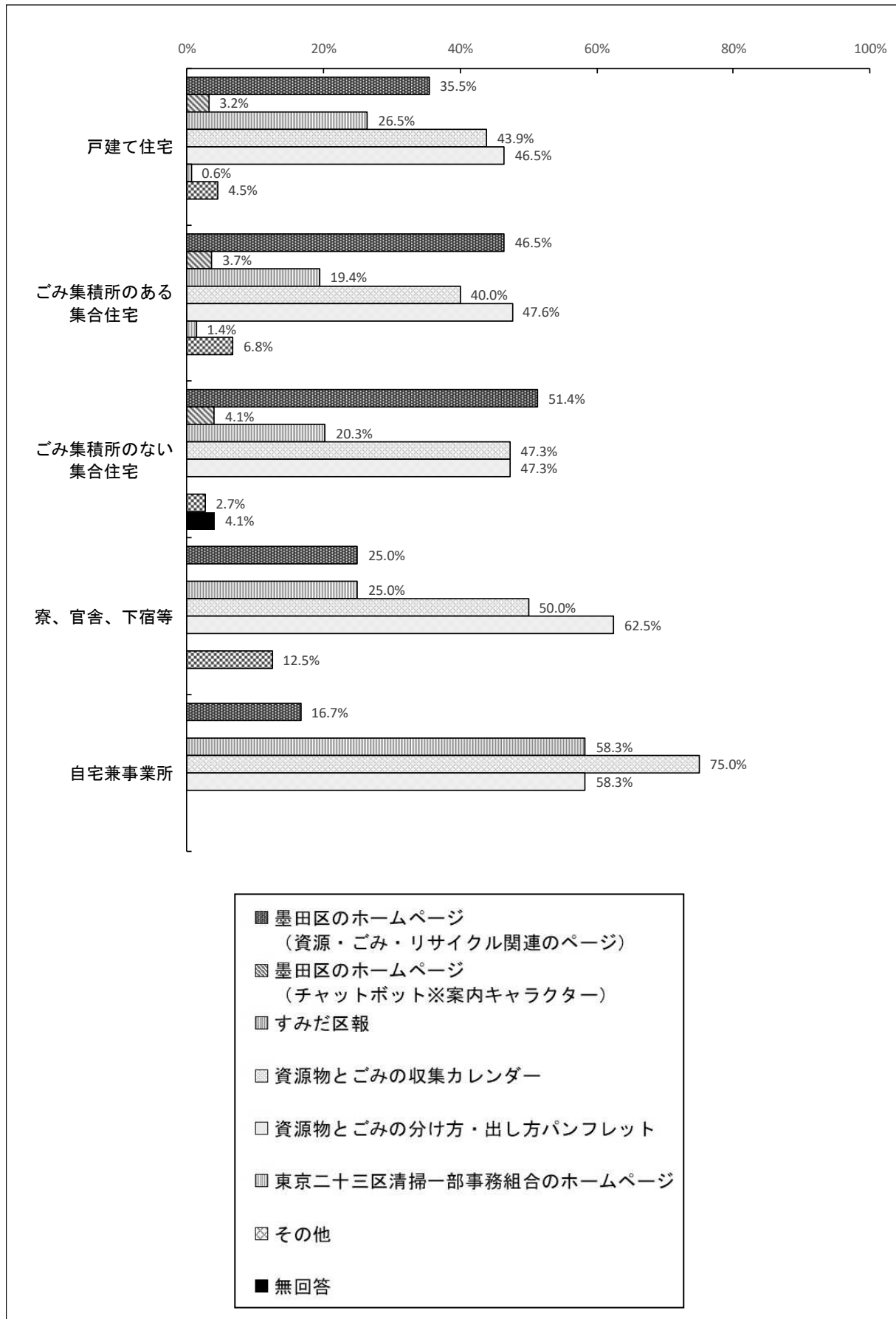


図 2.3.41 ごみに関する情報の入手先 (居住形態別)

2.3.5 問4 区のごみ処理や情報公開に関する満足度

区のごみ処理や情報公開に関する満足度についてみると、「満足しているか」という質問に対して、「どちらかといえばそう思う。」が35.1%と最も割合が高く、次いで「分からない。」が30.0%、「そう思う。」が19.0%の順であった。

表 2.3.11 区のごみ処理や情報公開に関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	115	19.0%
2.どちらかといえばそう思う。	213	35.1%
3.どちらかといえばそう思わない。	53	8.7%
4.そう思わない。	35	5.8%
5.分からない。	182	30.0%
無回答	8	1.3%
合計	606	100%

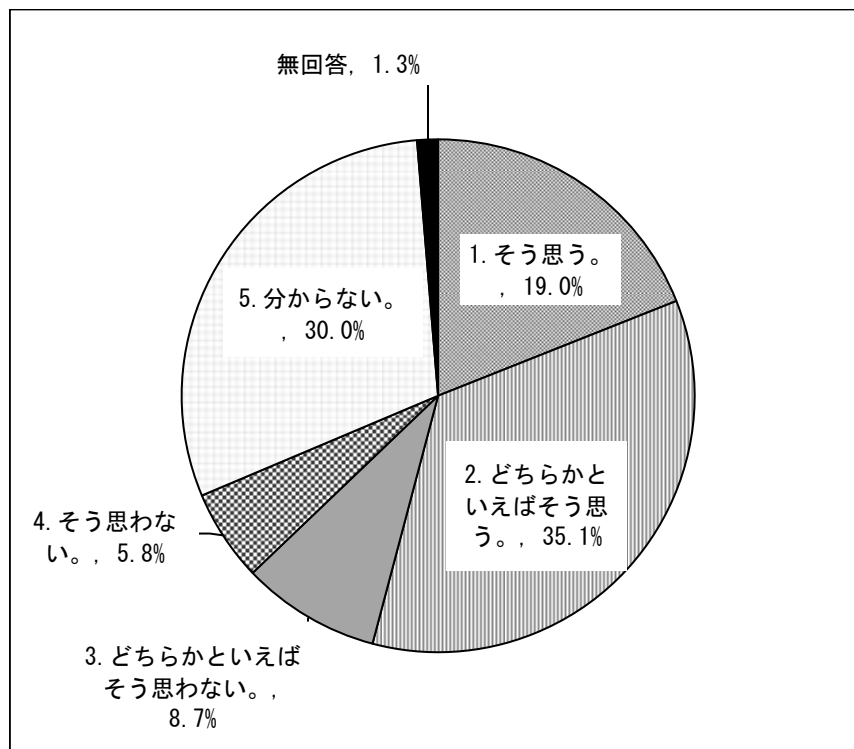


図 2.3.42 区のごみ処理や情報公開に関する満足度

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.43～図 2.3.47 に示す。

年代が上がるほど「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」とする回答者が多くなる傾向がみられるが、30代では「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の合計が42.6%と、他の年代と比較して低くなっている。

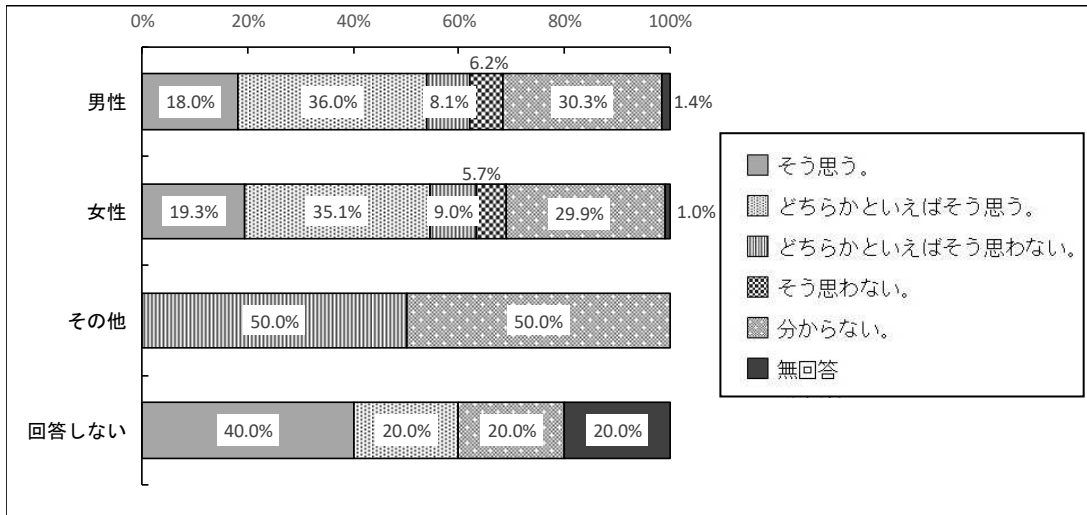


図 2.3.43 区のごみ処理や情報公開に関する満足度（性別）

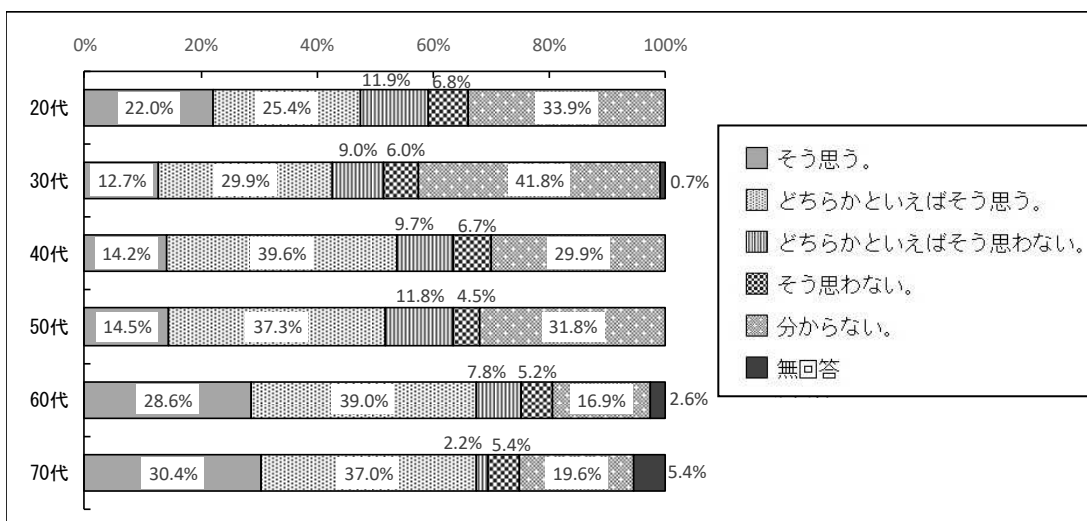


図 2.3.44 区のごみ処理や情報公開に関する満足度（年代別）

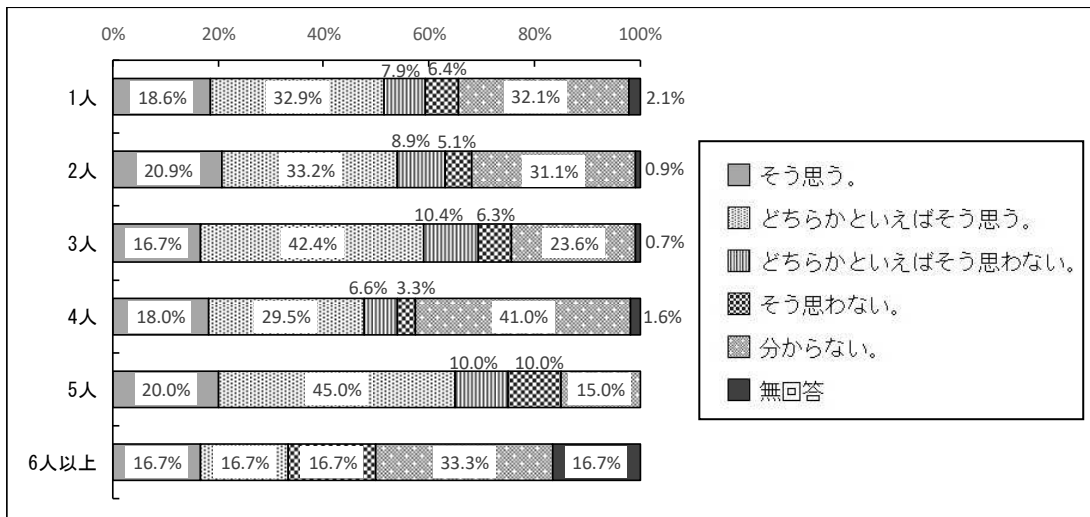


図 2.3.45 区のごみ処理や情報公開に関する満足度（世帯人数別）

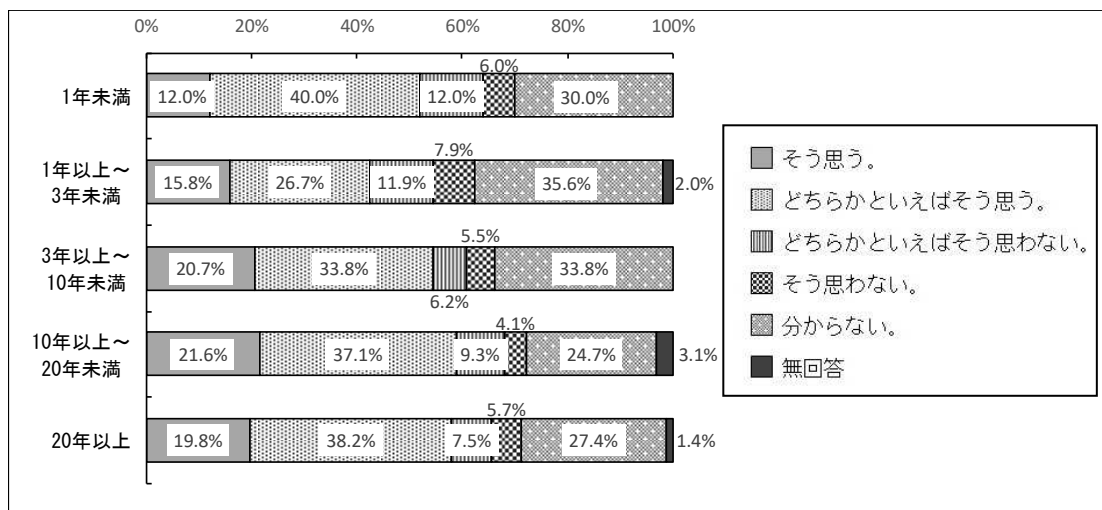


図 2.3.46 区のごみ処理や情報公開に関する満足度（居住年数別）

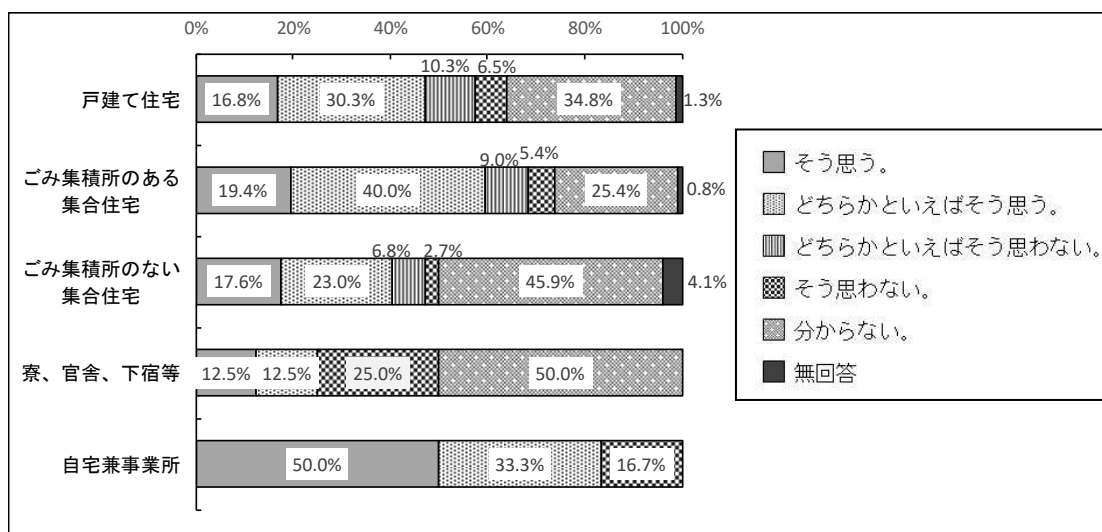


図 2.3.47 区のごみ処理や情報公開に関する満足度（居住形態別）

2.3.6 問5 ごみへの関心度

ごみへの関心度についてみると、「関心があり、普段からごみの減量や分別等を心がけて行動している。」が44.4%と最も割合が高く、次いで「関心があり、時々のごみの減量や分別等を心がけて行動している。」が35.0%と、この2項目で約80%を占めている。

表 2.3.12 ごみへの関心度

項目	回答数	割合
1. 関心があり、普段からごみの減量や分別等を心がけて行動している。	269	44.4%
2. 関心があり、時々のごみの減量や分別等を心がけて行動している。	212	35.0%
3. 関心はあるが、ごみの減量や分別等の方法が分からないので行動していない。	39	6.4%
4. 関心はあるが、ごみの減量や分別に手間がかかるので行動していない。	18	3.0%
5. どちらともいえない。	40	6.6%
6. 特に関心がない。	24	4.0%
無回答	4	0.7%
合計	606	100%

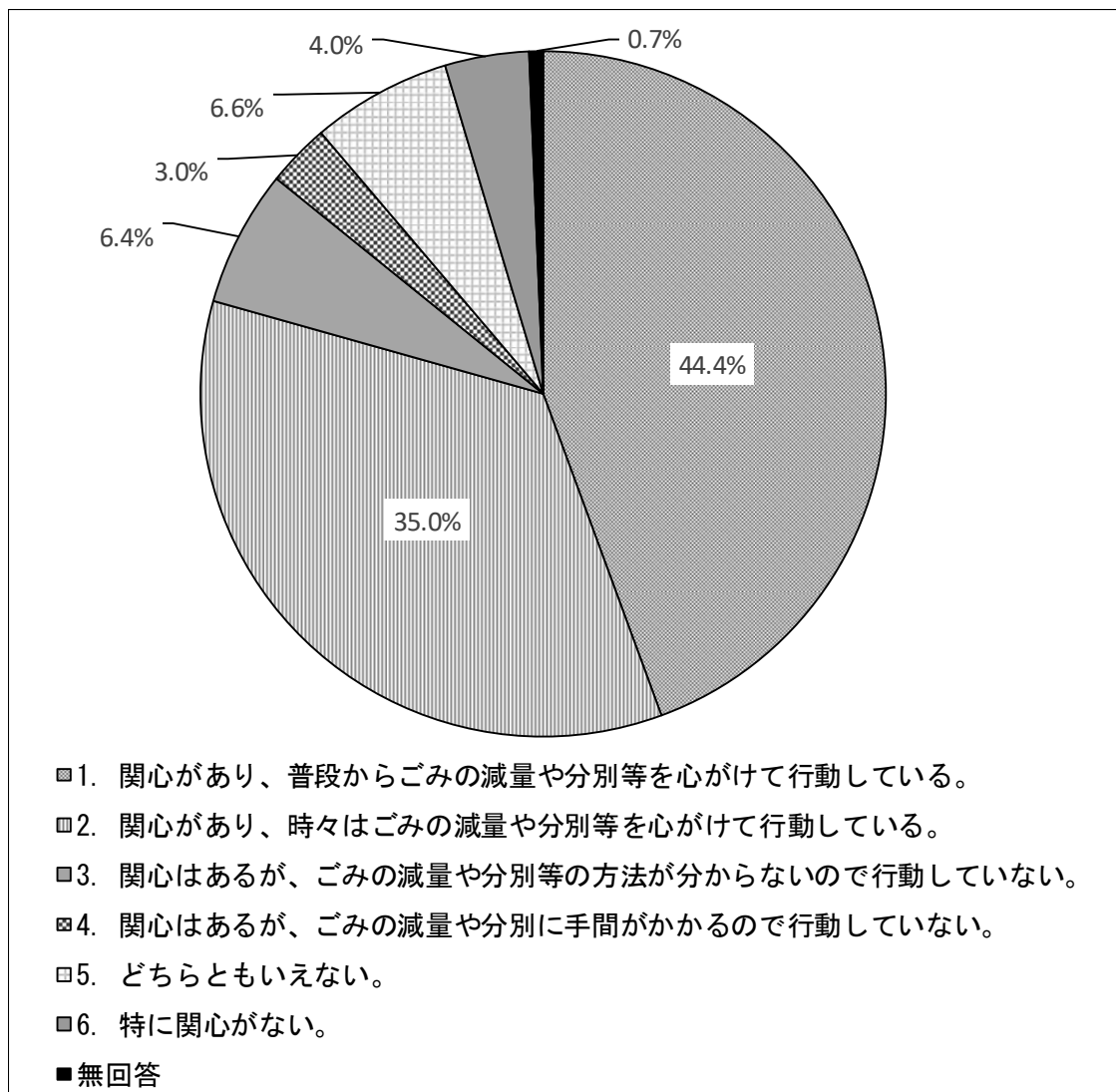


図 2.3.48 ごみへの関心度

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.49～図 2.3.53 に示す。

年代が上がるほど「関心があり、普段からごみの減量や分別等を心がけて行動している。」、「関心があり、時々のごみの減量や分別等を心がけて行動している。」とする回答者が多くなっている。

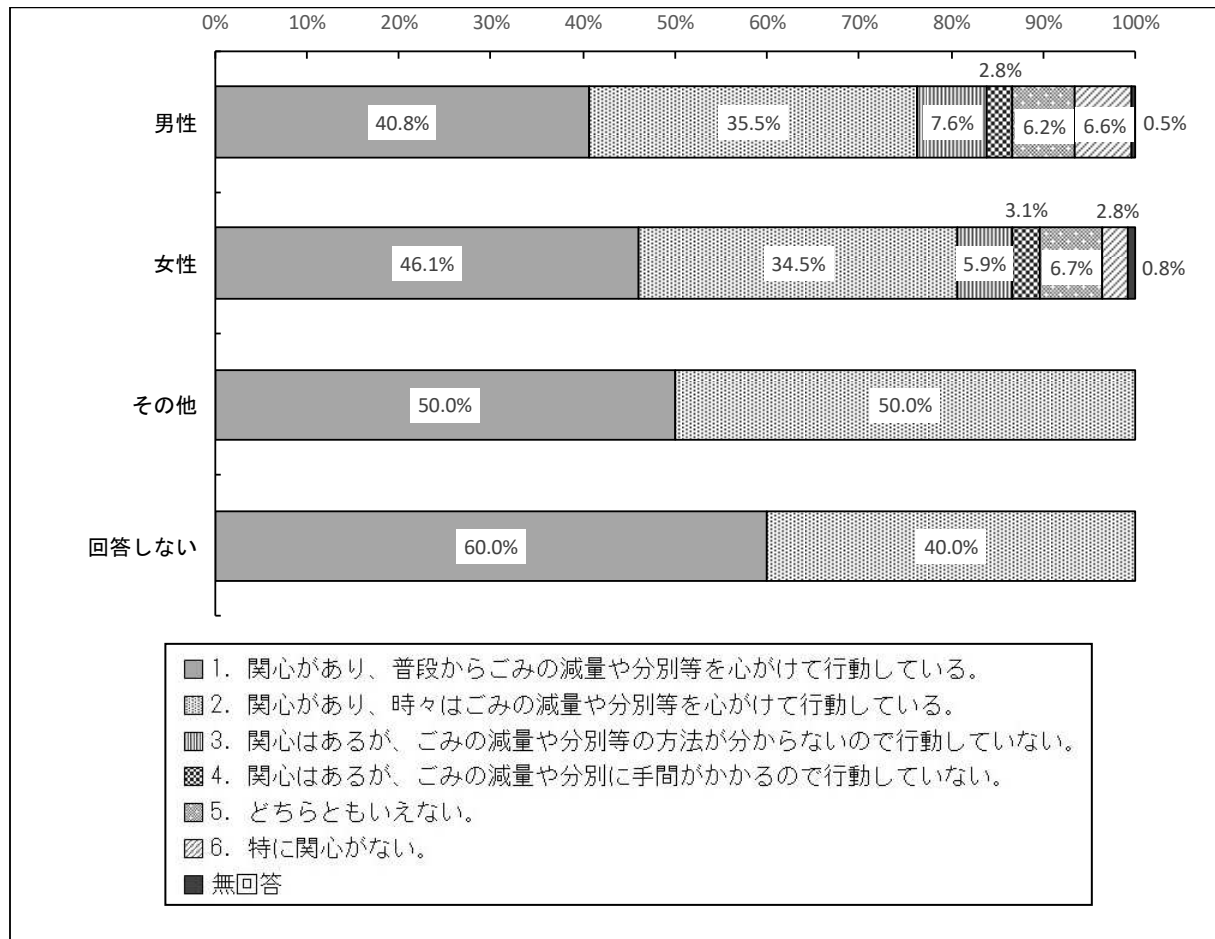


図 2.3.49 ごみへの関心度（性別）

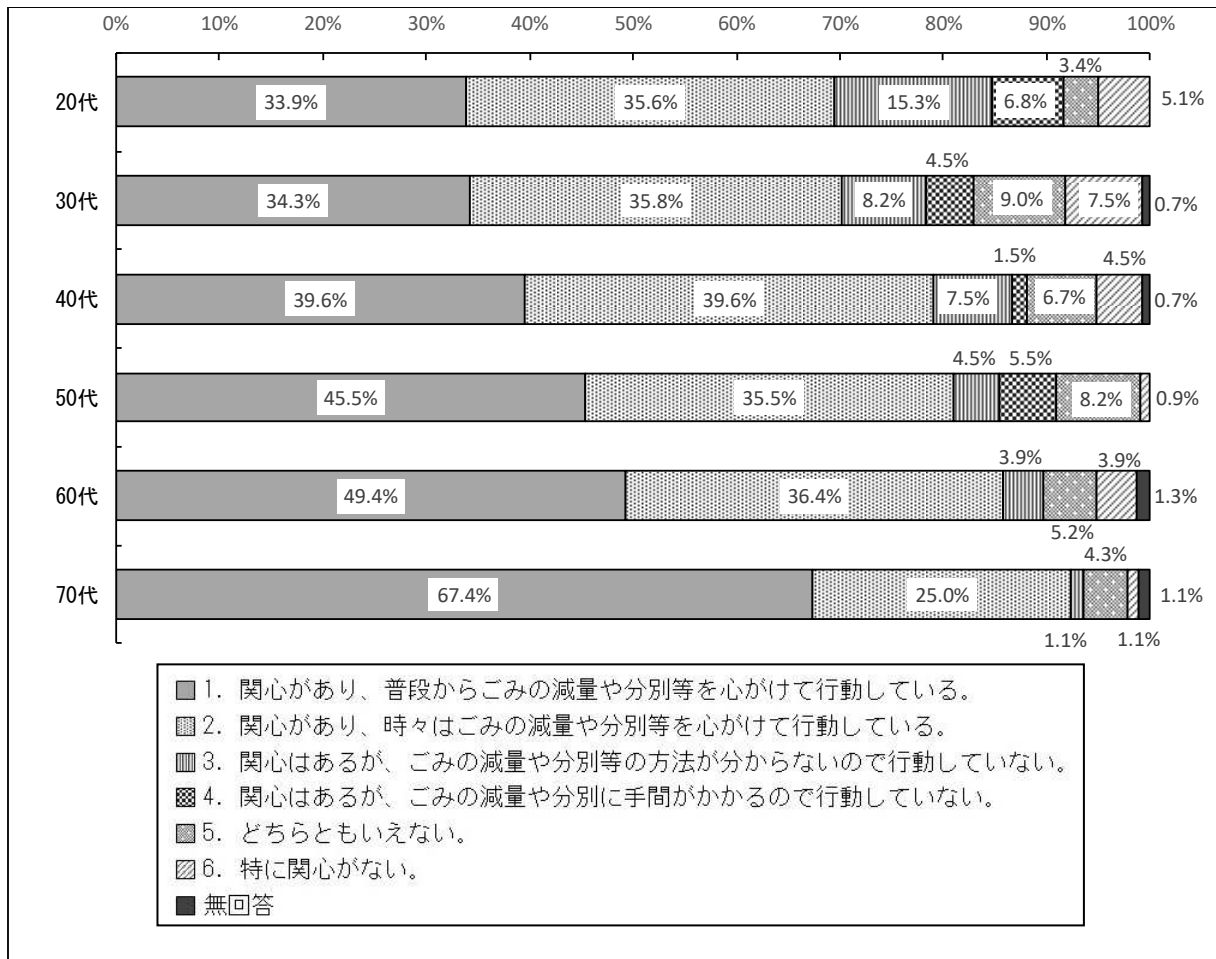


図 2.3.50 ごみへの関心度（年代別）

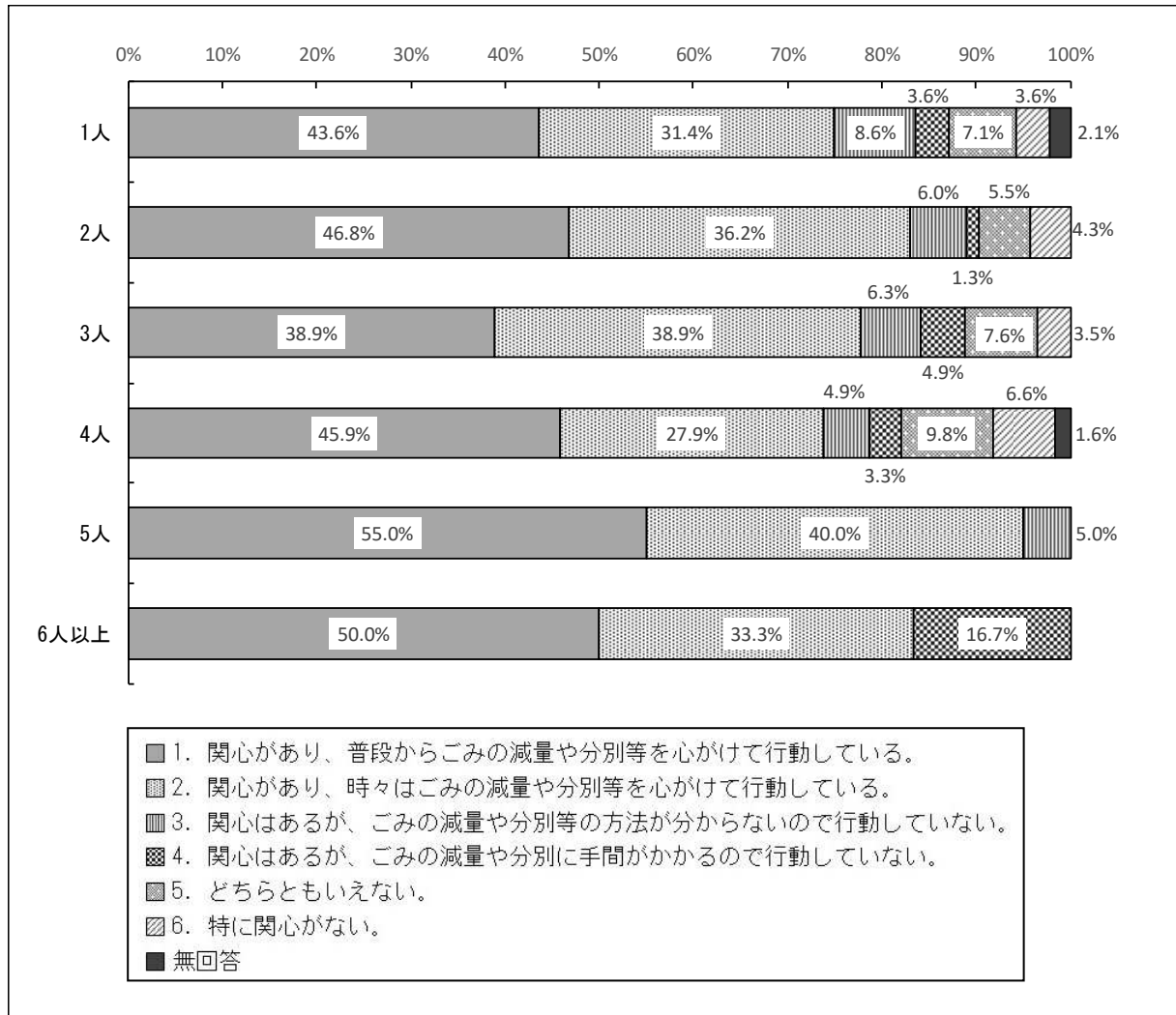


図 2.3.51 ごみへの関心度（世帯人数別）

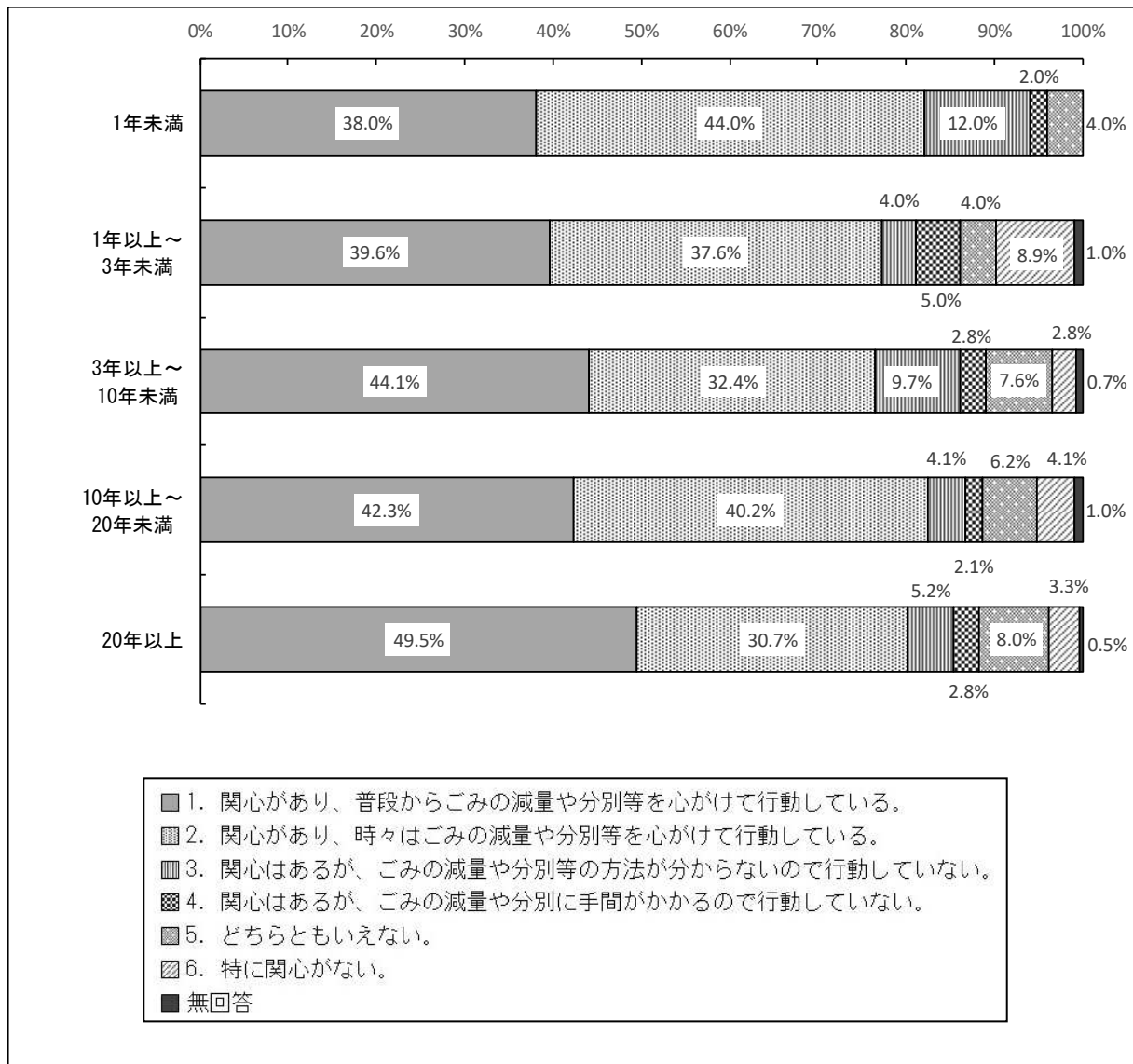


図 2.3.52 ごみへの関心度（居住年数別）

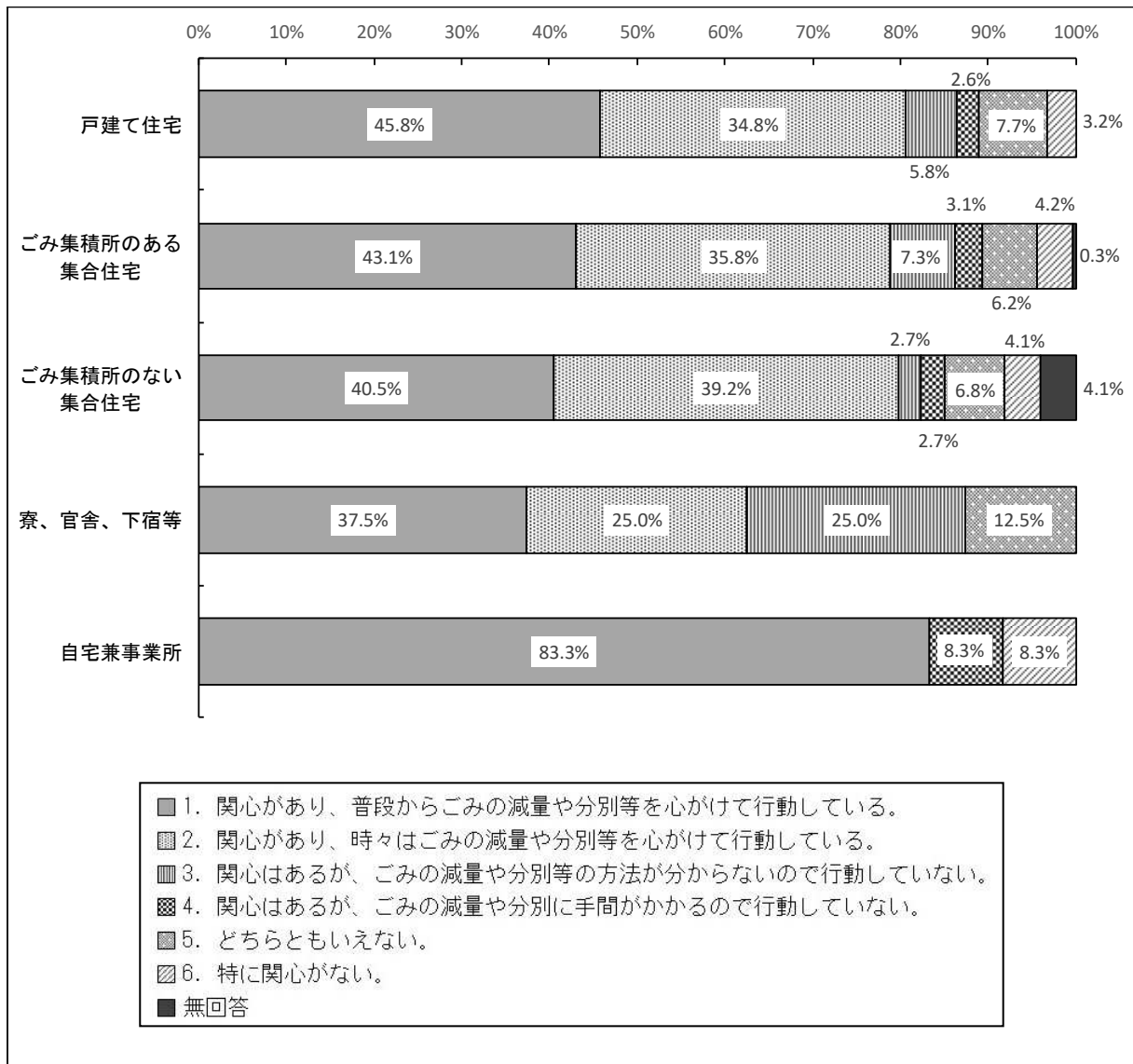


図 2.3.53 ごみへの関心度（居住形態別）

2.3.7 問6 ごみに関する行動

ごみに関する行動についてみると、「資源物とごみの分別をしている。」が79.9%と最も割合が高く、次いで「生ごみは水をよく切って出している。」が59.9%、「買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない。」が55.1%の順となっている。

表 2.3.13 ごみに関する行動

項目	回答数	割合
1. 余分な物をなるべく購入しないようにしている。	282	46.5%
2. 使い捨ての容器や商品をなるべく使わない。(詰め替え商品を買う。)	304	50.2%
3. 買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない。	334	55.1%
4. 過剰な包装は断る。	291	48.0%
5. はかり売りや少量売りの商品を買う。	65	10.7%
6. 故障してもなるべく修理して使う。	140	23.1%
7. リサイクルショップやフリーマーケットを積極的に利用する。	94	15.5%
8. リサイクル材料を使用した商品を優先して購入している。	32	5.3%
9. 生ごみは水をよく切って出している。	363	59.9%
10. 調理の際に、できるだけ食べ残しやごみが出ないように工夫している。	271	44.7%
11. 資源物とごみの分別をしている。	484	79.9%
12. 資源物の店頭回収、拠点回収、集団回収を利用している。	226	37.3%
13. 生ごみを生ごみ処理機等でたい肥化している。	11	1.8%
14. 区の実施するふれあい指導や出前講座等を受けて、ごみについて学んでいる。	1	0.2%
15. 特になし。	12	2.0%
16. その他	2	0.3%
無回答	10	1.7%
合計	2922	-

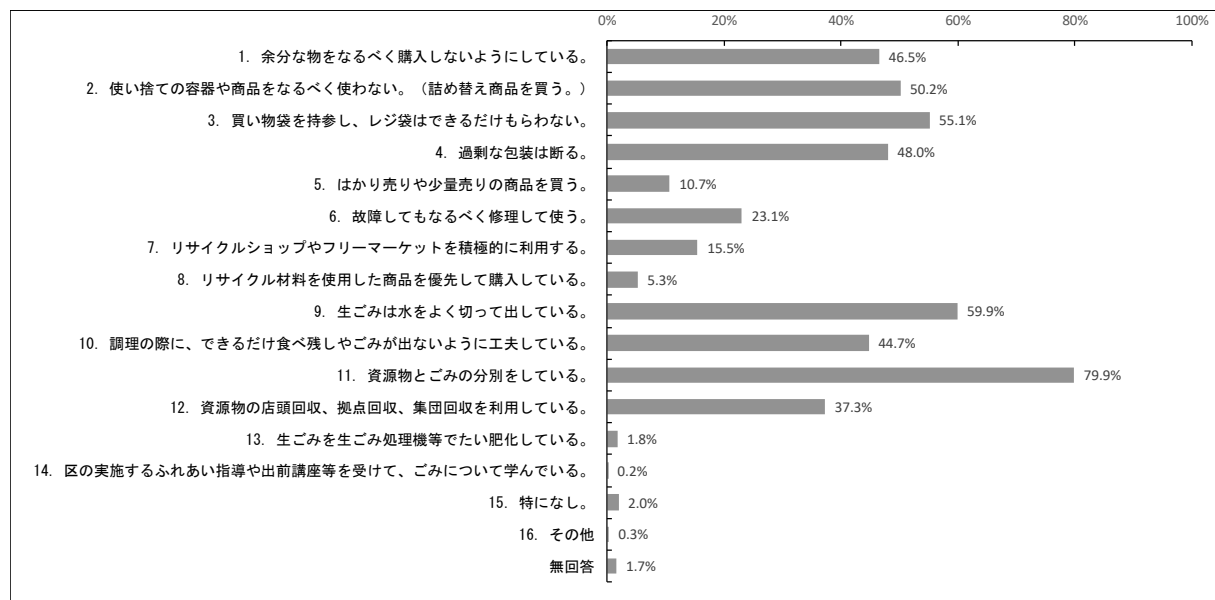


図 2.3.54 ごみに関する行動

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.55～図 2.3.59 に示す。

「資源物とごみの分別をしている。」はどの年代でも高い結果となっている。

また、年代が上がるほど「生ごみは水をよく切って出している。」とする回答者が多くなる傾向にあるが、30代は20代よりも「生ごみは水をよく切って出している。」とする回答者の割合が低くなっている。

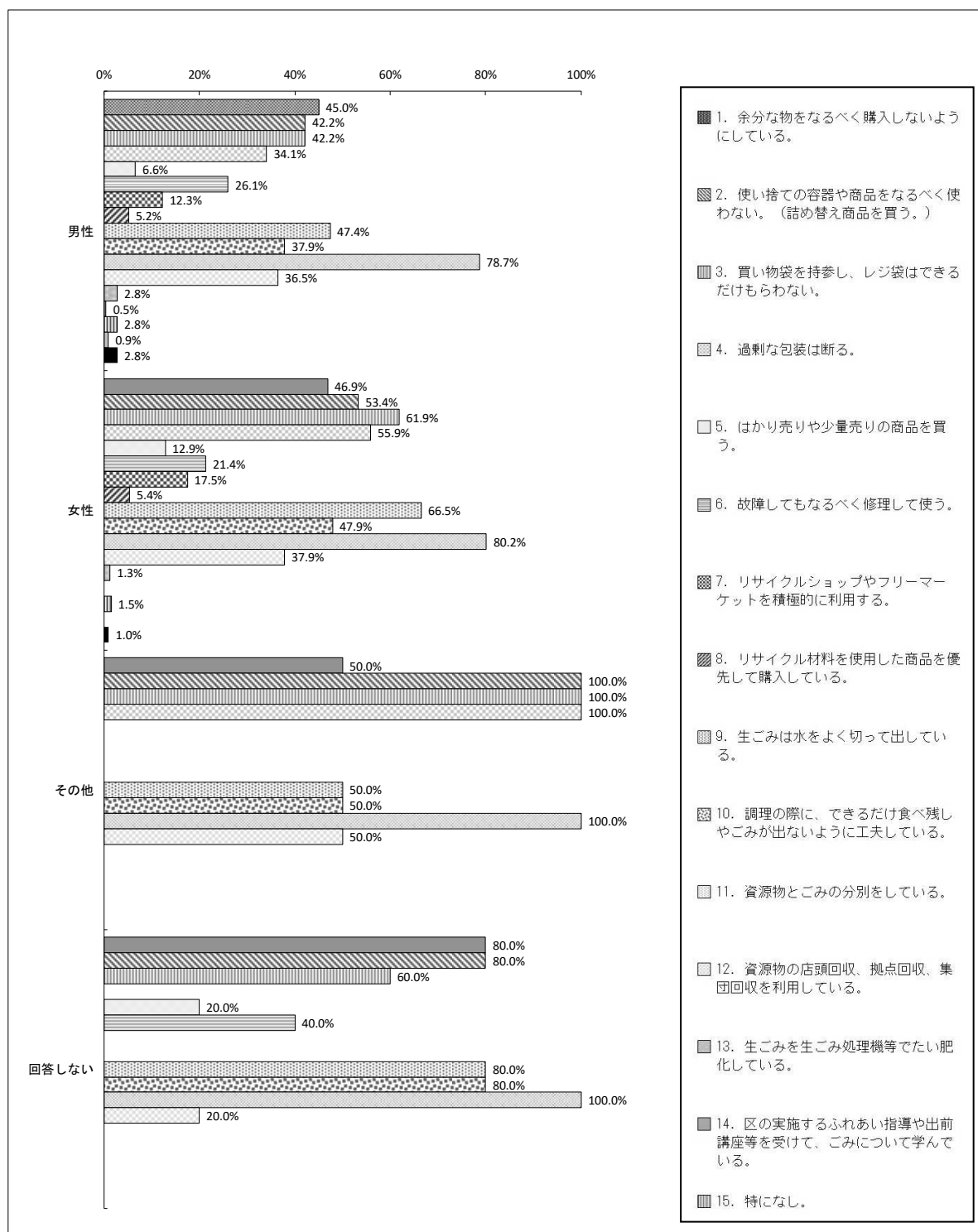


図 2.3.55 ごみに関する行動 (性別)

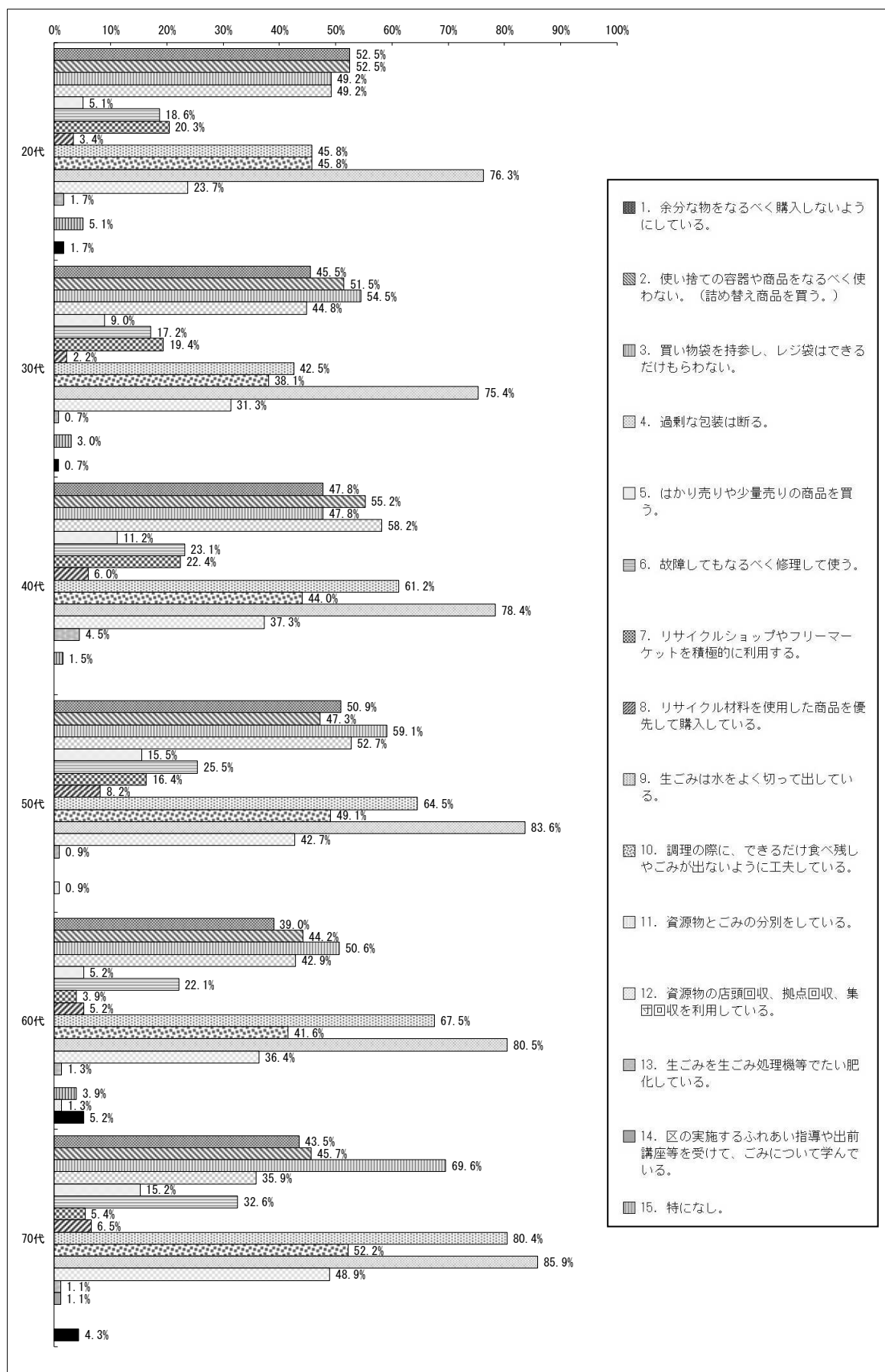


図 2.3.56 ごみに関する行動（年代別）

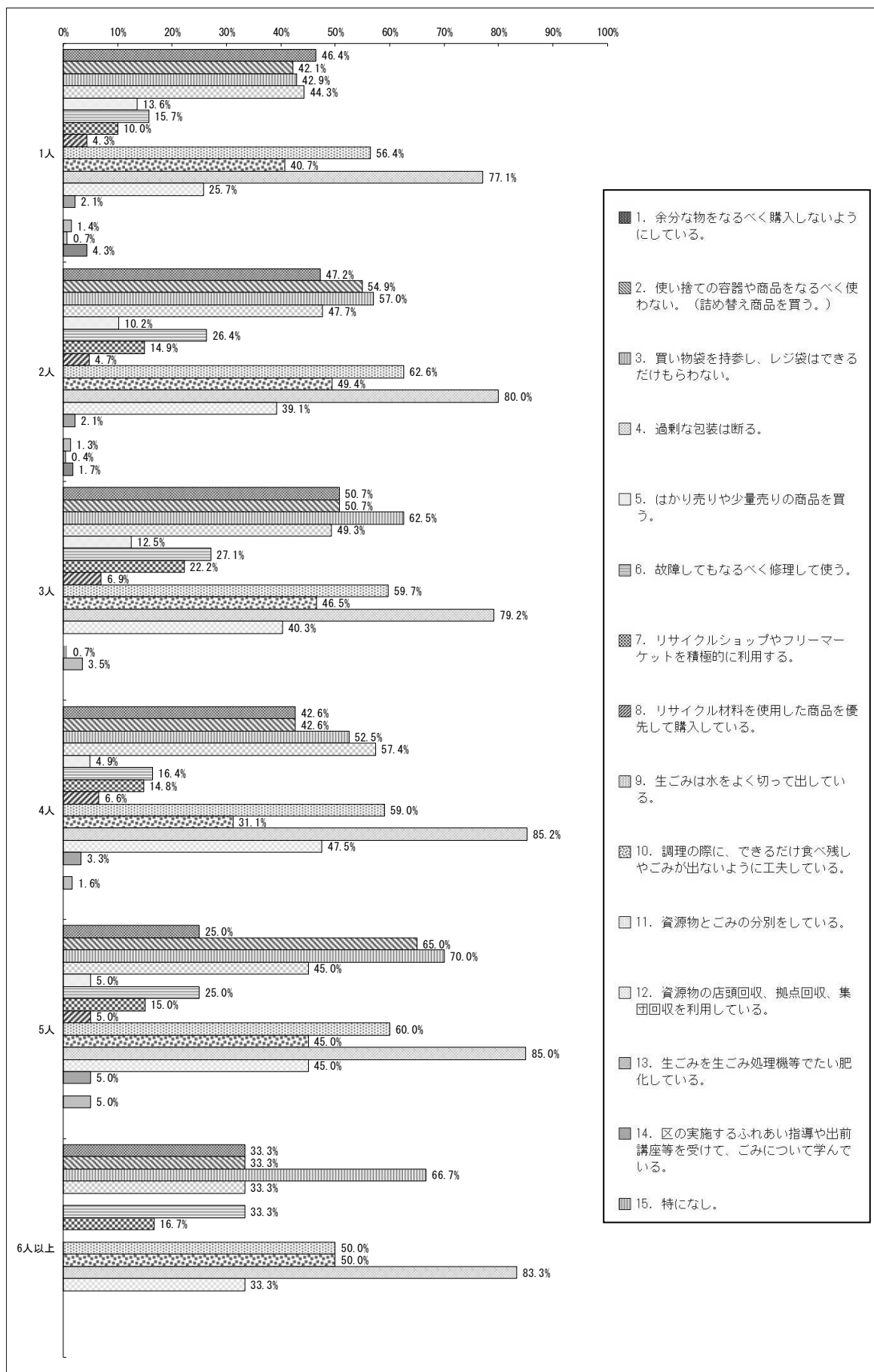


図 2.3.57 ごみに関する行動（世帯人数別）

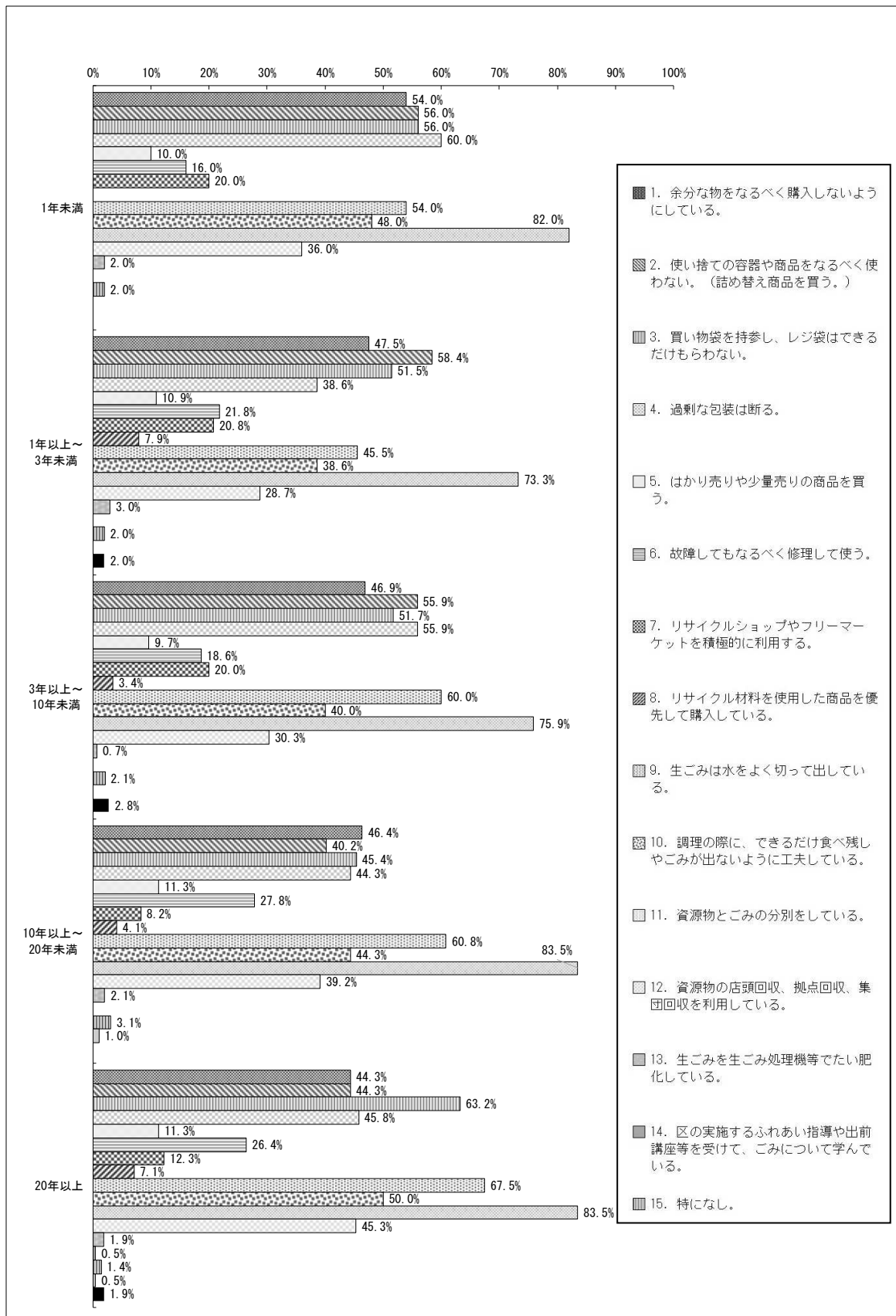


図 2.3.58 ごみに関する行動（居住年数別）

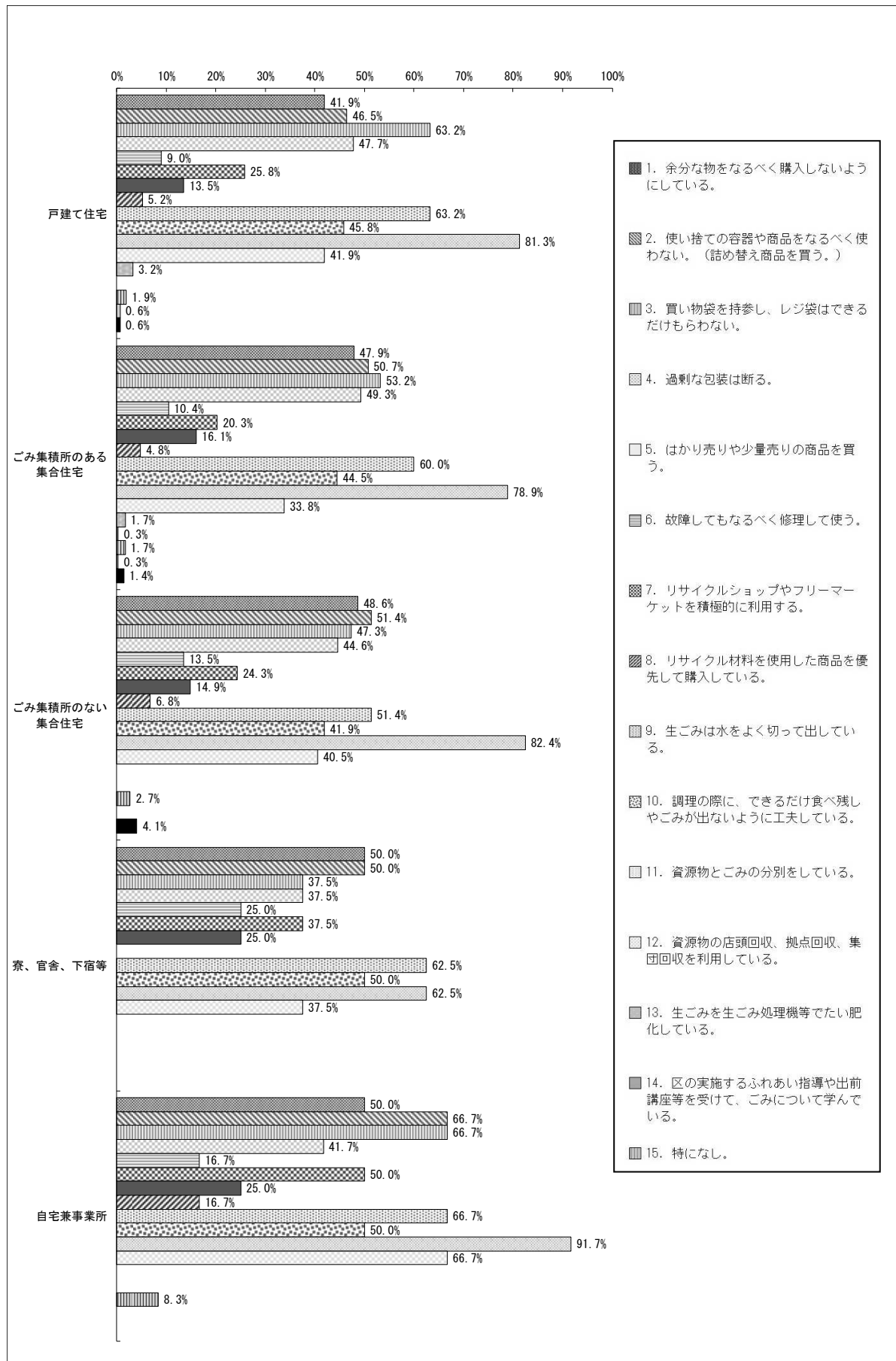


図 2.3.59 ごみに関する行動（居住形態別）

2.3.8 問7 食品ロスに関する認知度

(1) 食品ロスの定義の認知度

食品ロスの定義の認知度についてみると、正解である「本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品」とした回答者は48.7%であった。

表 2.3.14 食品ロスの定義の認知度

項目	回答数	割合
1. 食卓にのぼった食品で、食べきらずに廃棄されたもの	29	4.8%
2. 賞味期限切れ等により使用・提供されず、手つかずのまま廃棄されたもの	235	38.8%
3. 食品調理の際に、不可食部分を除去する際に過剰に除去された過食部分	7	1.2%
4. 本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品	295	48.7%
無回答	40	6.6%
合計	606	100%

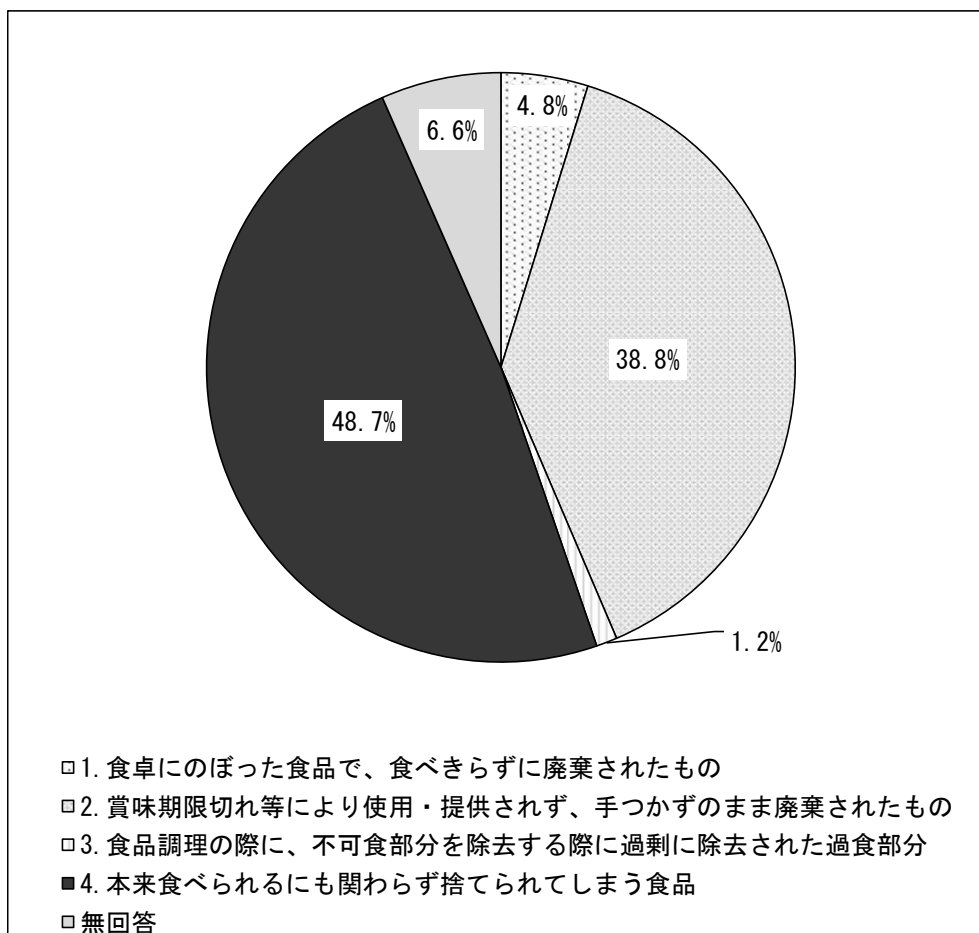


図 2.3.60 食品ロスの定義の認知度

(2) 食品ロス発生量の認知度

食品ロス発生量の認知度についてみると、正解である「お茶碗1杯分（約139g）」とした回答者は90.9%であった。

表 2.3.15 食品ロス発生量の認知度

	回答数	%
1.お茶碗1杯分(約139g)	551	90.9%
2.たまご(L)1個分(約60g)	28	4.6%
3.大さじ1杯(約15g)	7	1.2%
無回答	20	3.3%
合計	606	100%

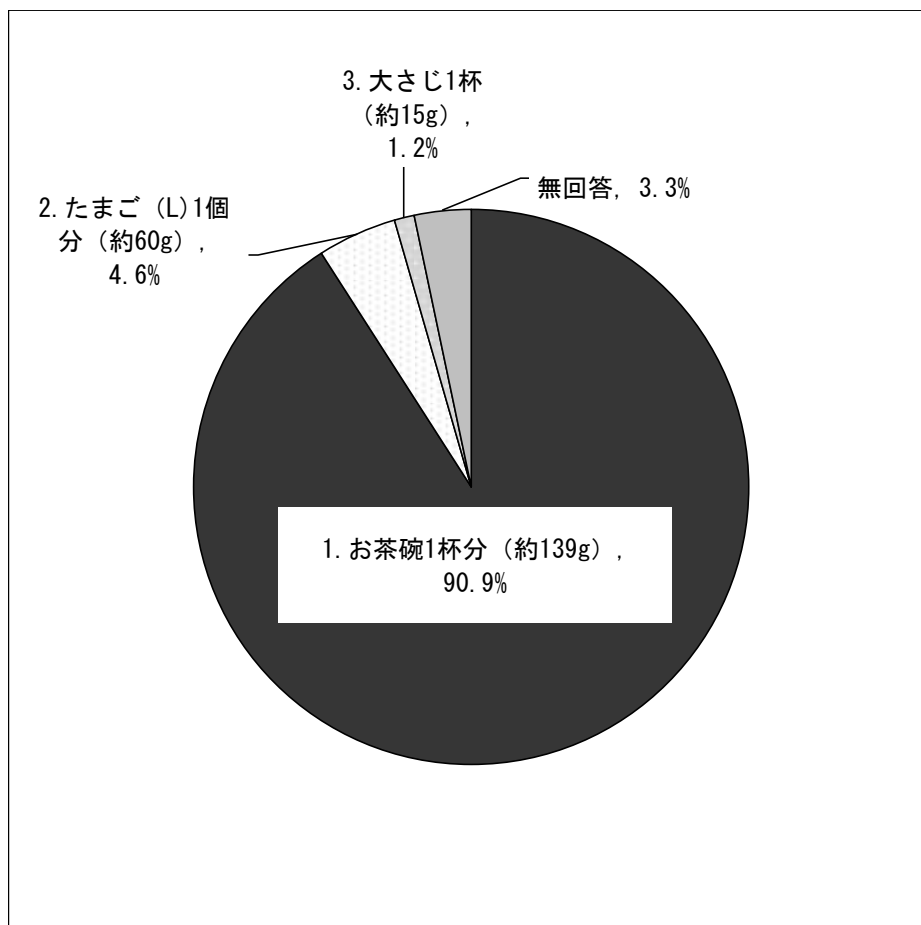


図 2.3.61 食品ロス発生量の認知度

(3) 食品ロスを減らすために取り組めること

食品ロスを減らすために取り組めることについてみると、「冷凍保存を活用する。」が64.9%と最も割合が高く、次いで「残さず食べるようにする。」が61.4%、「賞味期限」を過ぎてもすぐには捨てず、自分で食べられるかを判断する。」が56.3%の順となっている。

表 2.3.16 食品ロスを減らすために取り組めること

項目	回答数	割合
1. 料理を作りすぎないようにする。	323	53.3%
2. 残さず食べるようにする。	372	61.4%
3. 残った料理を別の料理に作り替える。	218	36.0%
4. 冷凍保存を活用する。	393	64.9%
5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する。	333	55.0%
6. 「賞味期限」を過ぎてもすぐには捨てず、自分で食べられるかを判断する。	341	56.3%
7. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する。	255	42.1%
8. 飲食店等で注文し過ぎない。	243	40.1%
9. フードドライブに協力する。	56	9.2%
10. 取り組めることはない。	3	0.5%
11. その他	16	2.6%
無回答	10	1.7%
合計	2563	-

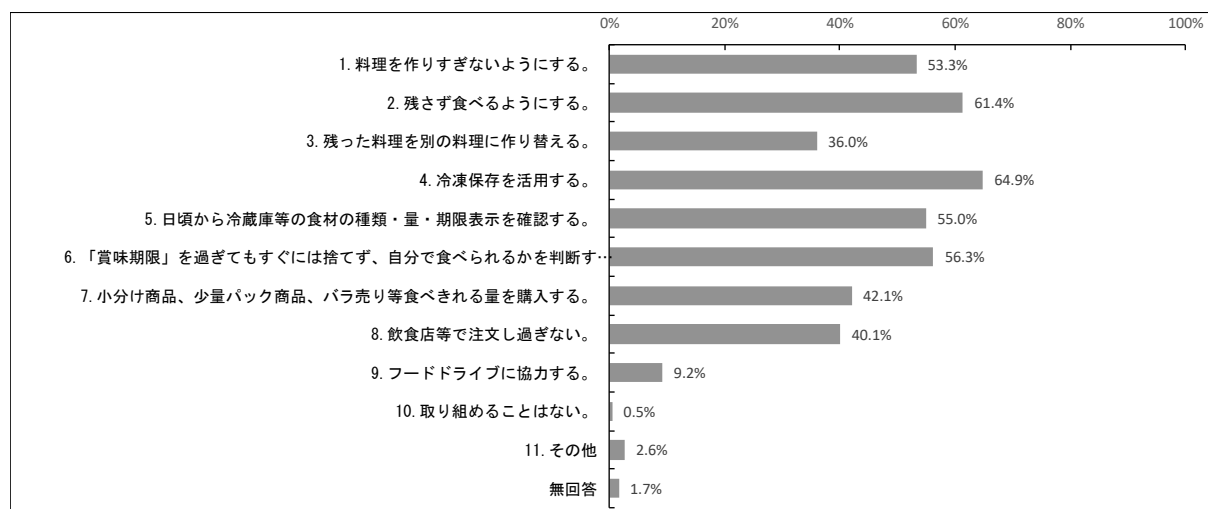


図 2.3.62 食品ロスを減らすために取り組めること

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.63～図 2.3.67 に示す。

「冷凍保存を活用する。」、「残さず食べるようにする。」、「賞味期限」を過ぎてもすぐには捨てず、自分で食べられるかを判断する。」はどの年代でも高くなっている。

また、年代が上がるほど「料理を作りすぎないようにする。」とする回答者が多くなっている。

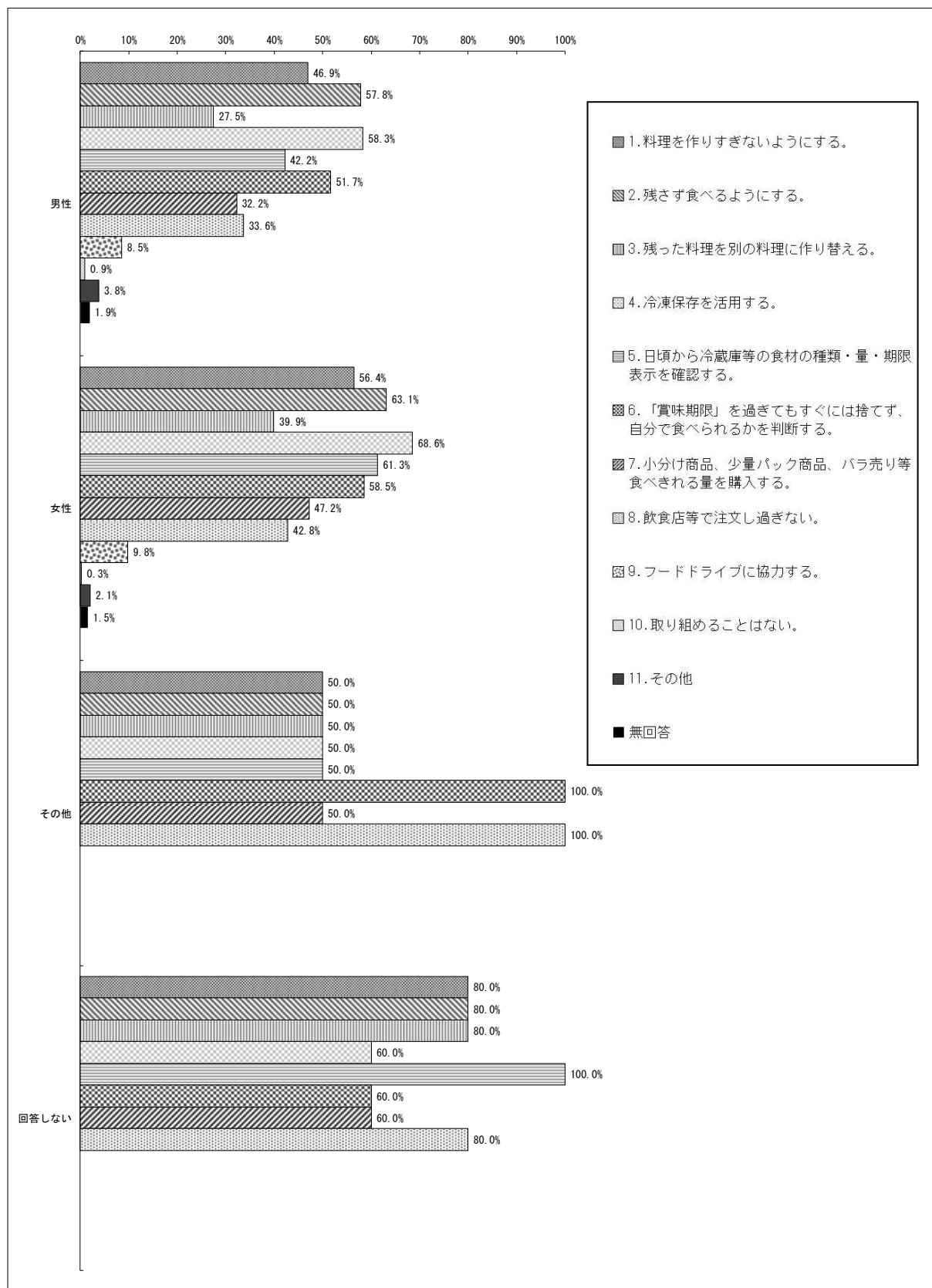


図 2.3.63 食品ロスを減らすために取り組めること（性別）

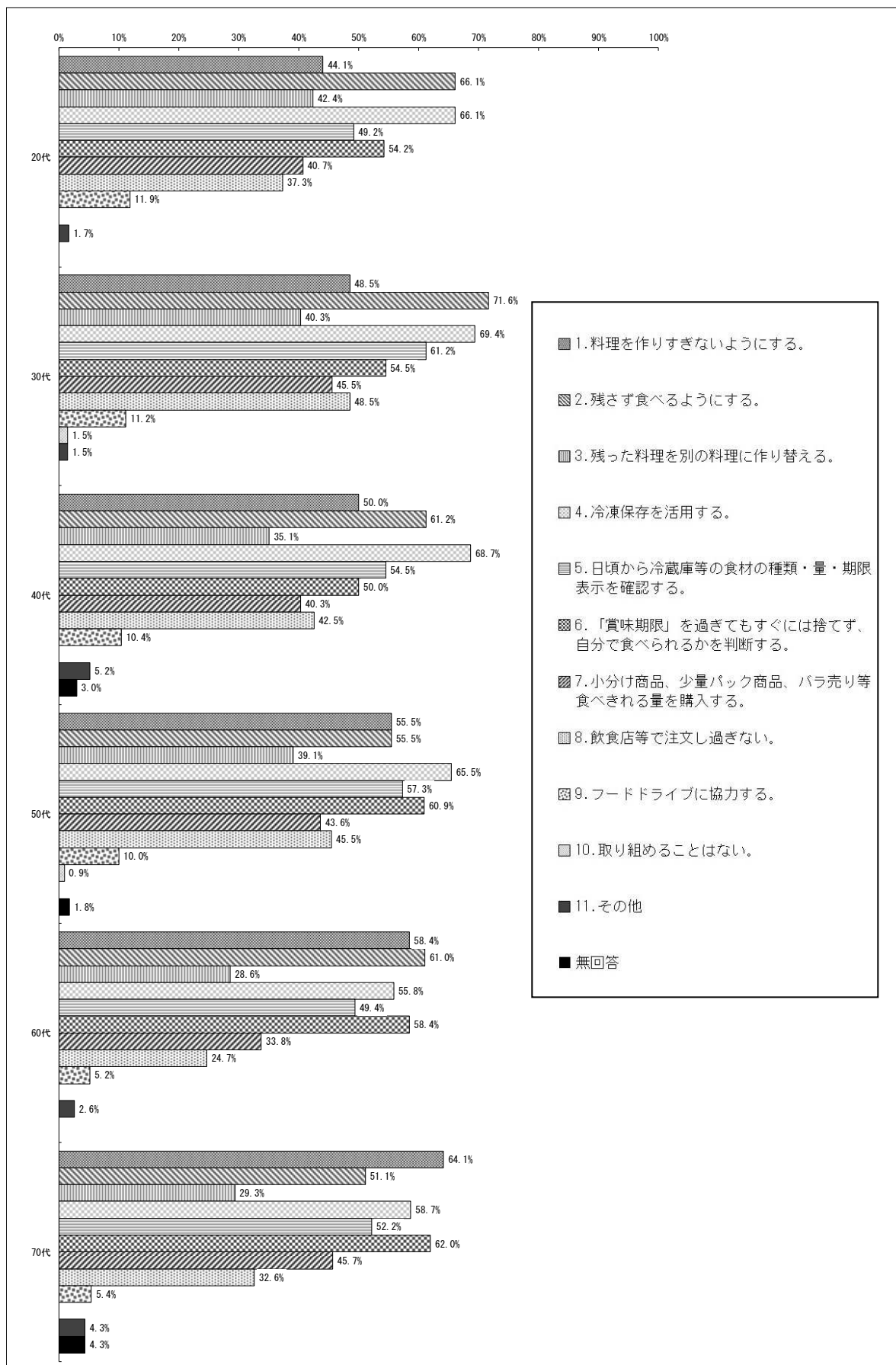


図 2.3.64 食品ロスを減らすために取り組めること（年代別）

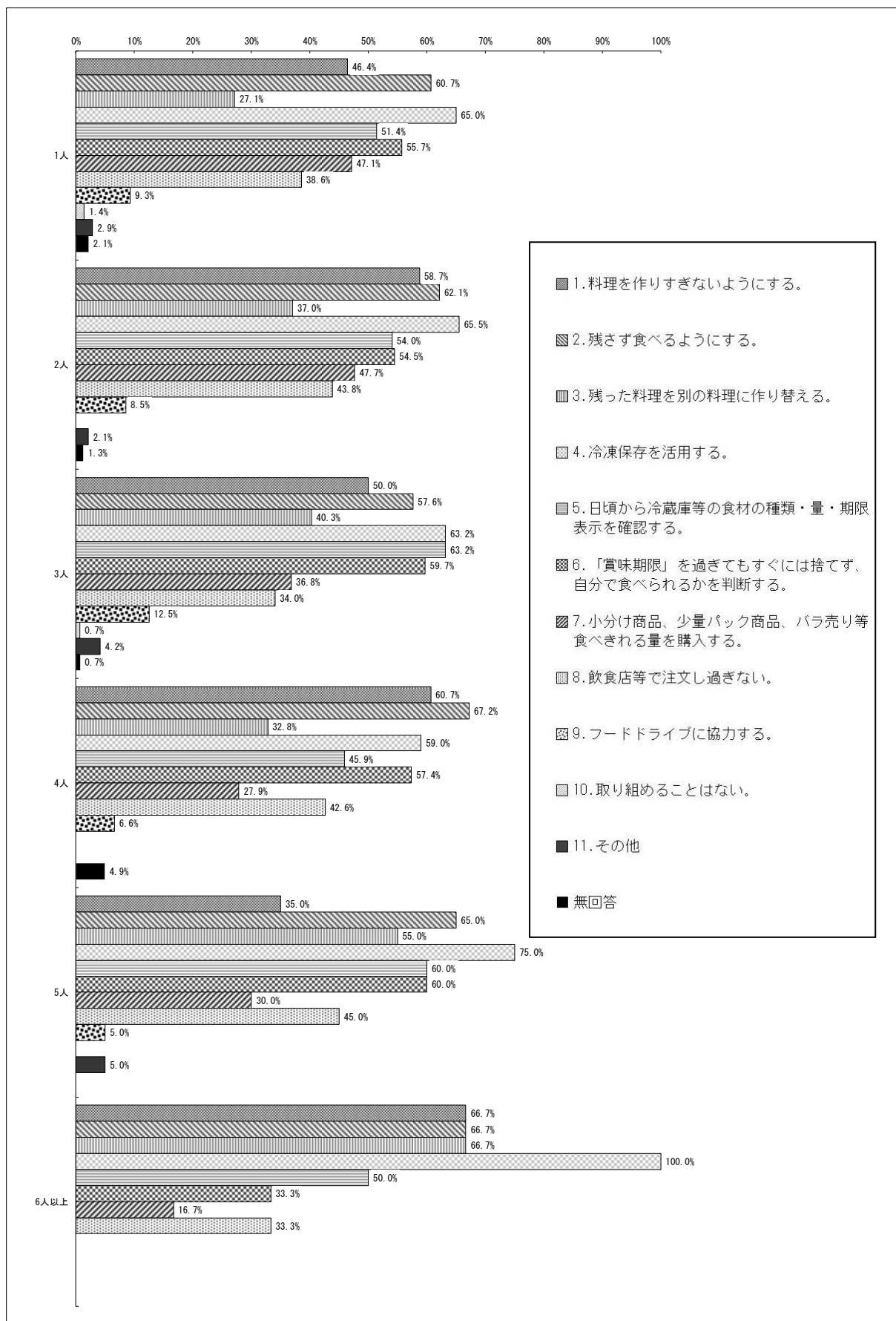


図 2.3.65 食品ロスを減らすために取り組めること（世帯人数別）

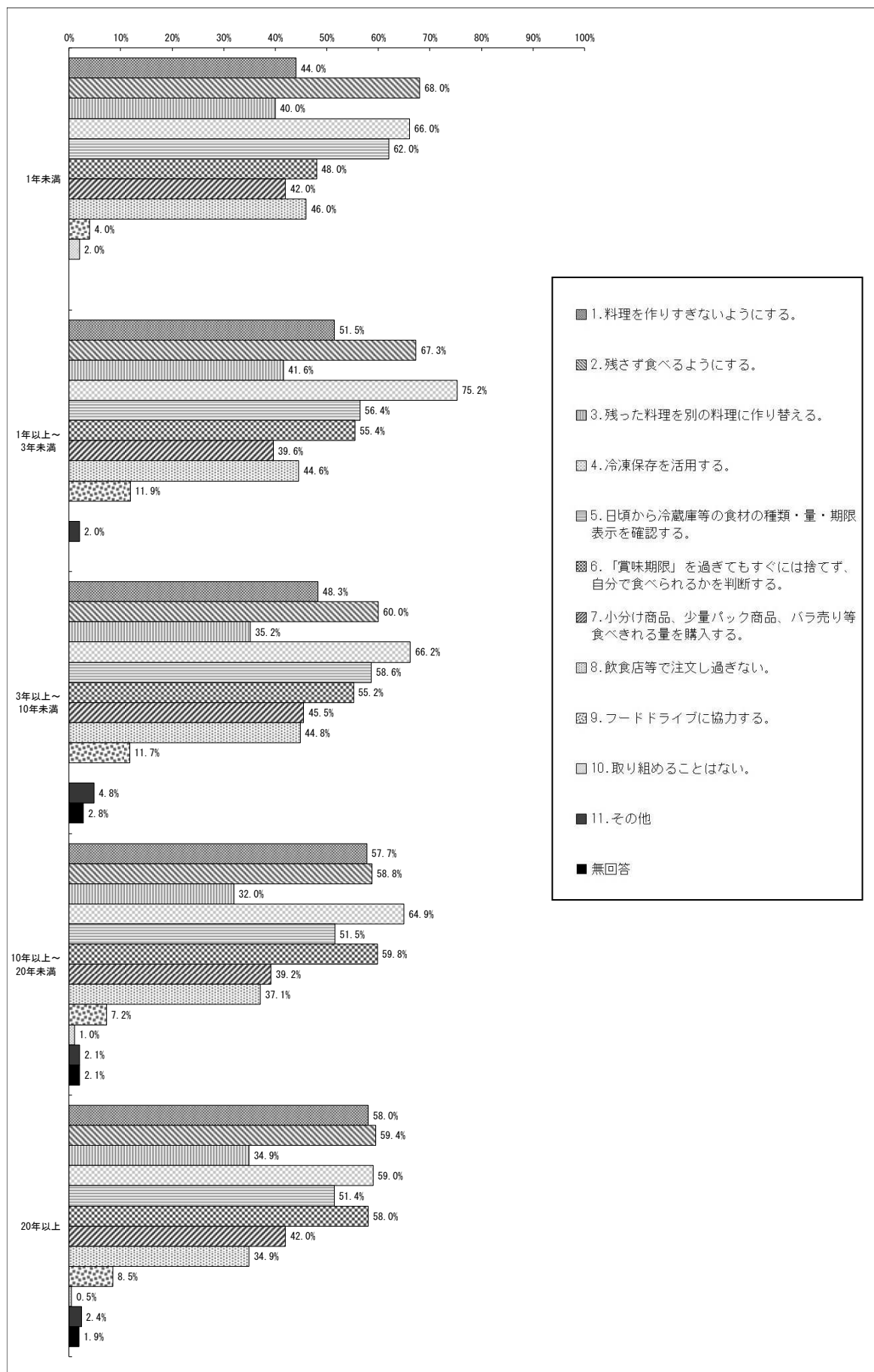


図 2.3.66 食品ロスを減らすために取り組めること（居住年数別）

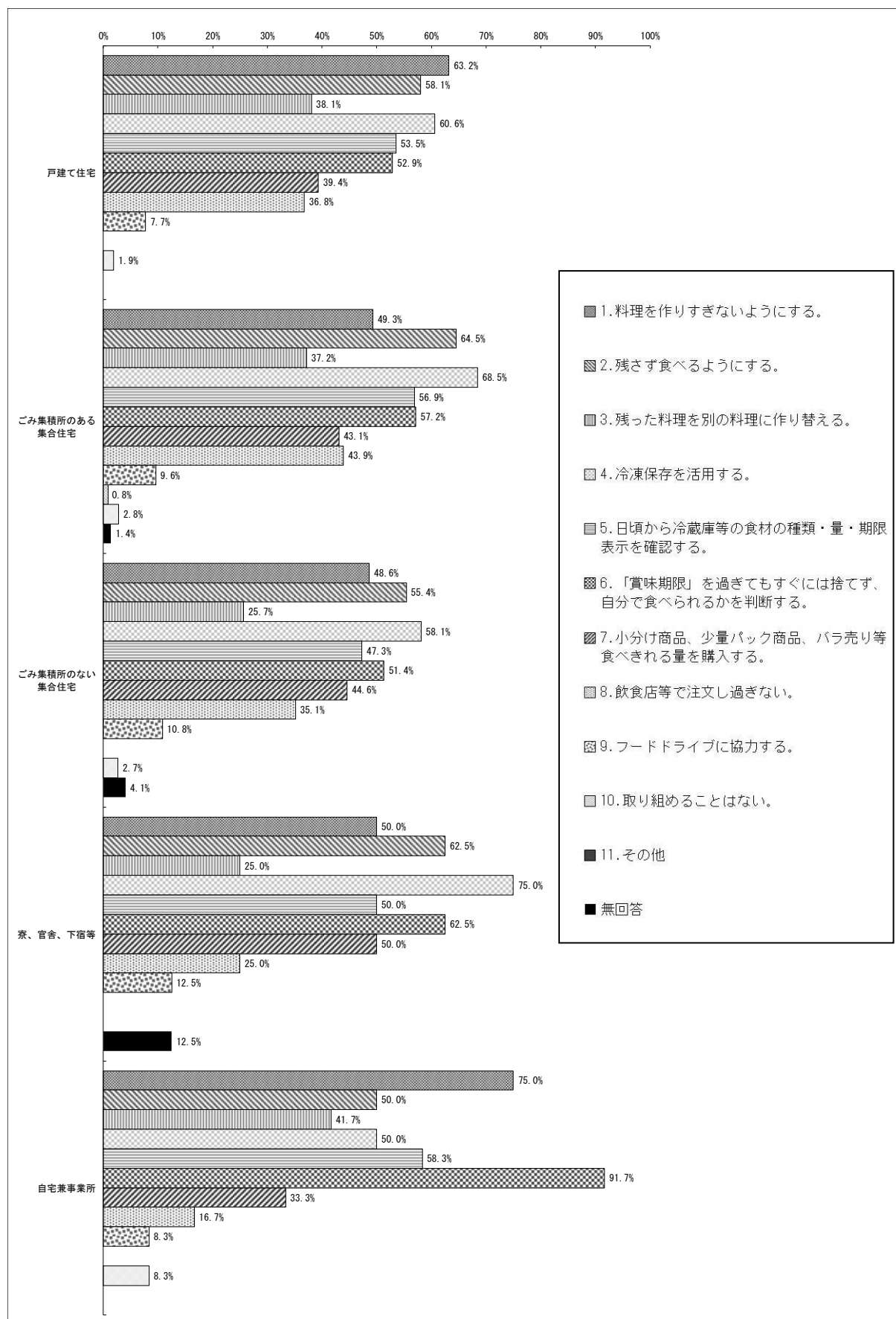


図 2.3.67 食品ロスを減らすために取り組めること（居住形態別）

2.3.9 問8 容器包装プラスチック分別収集への協力

容器包装プラスチック分別収集への協力についてみると、「できる範囲で協力したい。」が45.4%と最も割合が高く、次いで「積極的に分別に協力したい。」が43.1%と、この2項目で約90%となっている。

表 2.3.17 容器包装プラスチック分別収集への協力

項目	回答数	割合
1.積極的に分別に協力したい。	261	43.1%
2.できる範囲で協力したい。	275	45.4%
3.協力したくない。	29	4.8%
4.どちらともいえない。	23	3.8%
5.その他	9	1.5%
無回答	9	1.5%
合計	606	100%

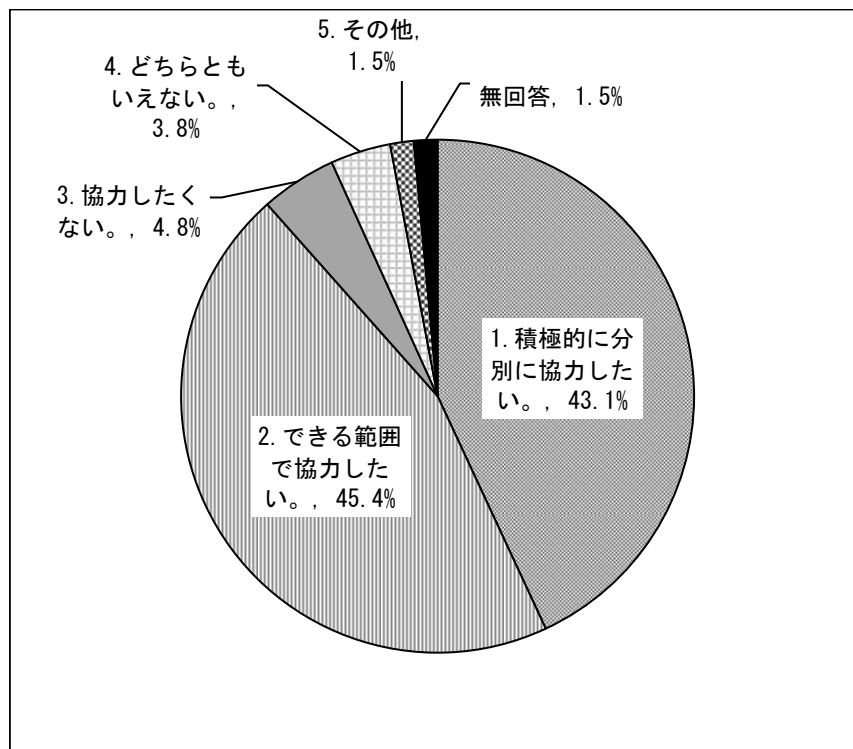


図 2.3.68 容器包装プラスチック分別収集への協力

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.69～図 2.3.73 に示す。

「積極的に分別に協力したい。」「できる範囲で協力したい。」の合計が最も高いのは60代であったが、20代も比較的高くなっており、関心の高さが伺える。一方で、30代の「積極的に分別に協力したい。」「できる範囲で協力したい。」の合計は80.6%と、他の年代と比較して低くなっている。

他の属性をみると、「ごみ集積所のない集合住宅」の回答者は、「できる範囲で協力したい。」「積極的に分別に協力したい。」の合計が77.0%と低くなっている。

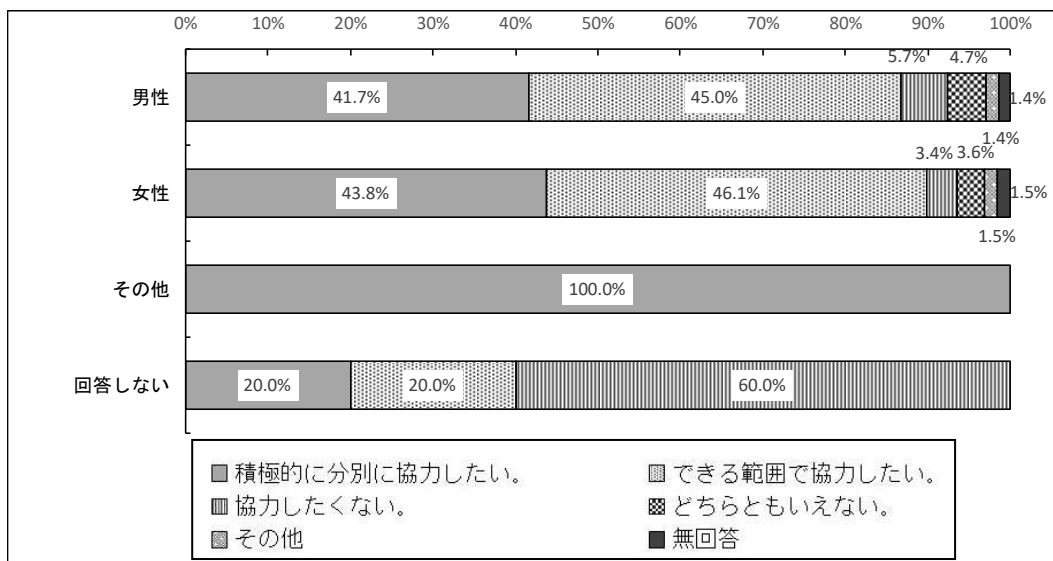


図 2.3.69 容器包装プラスチック分別収集への協力（性別）

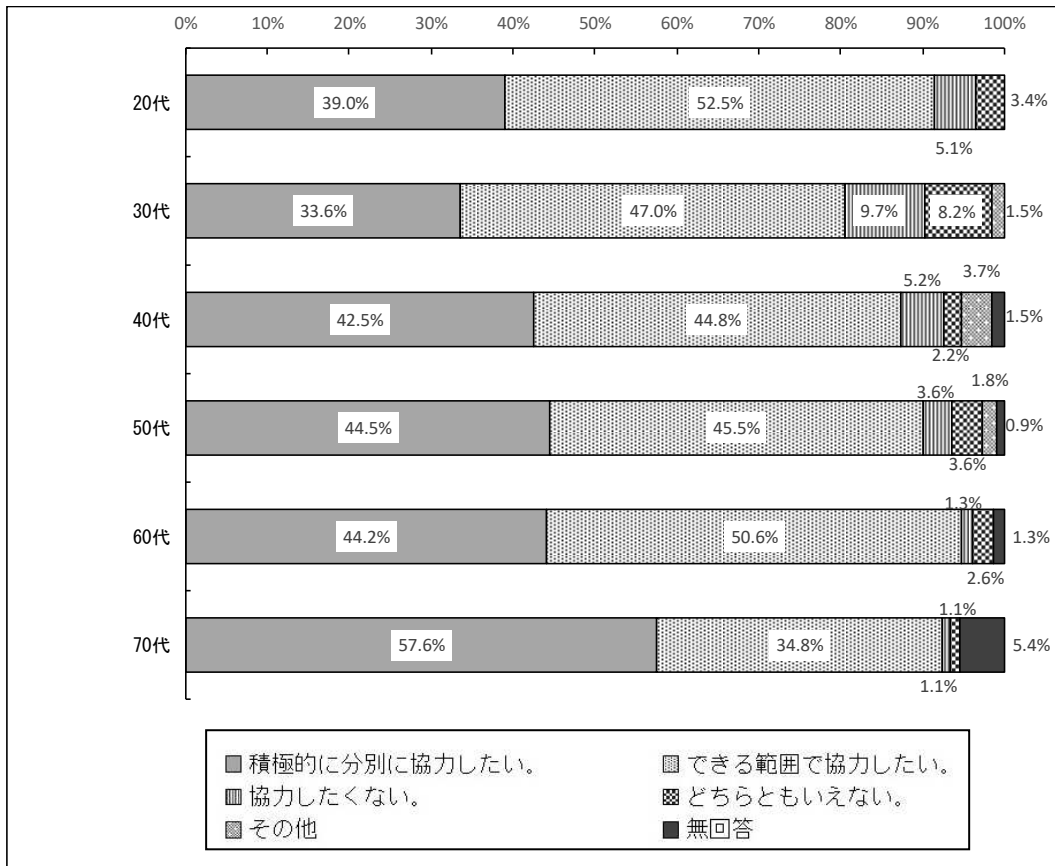


図 2.3.70 容器包装プラスチック分別収集への協力（年代別）

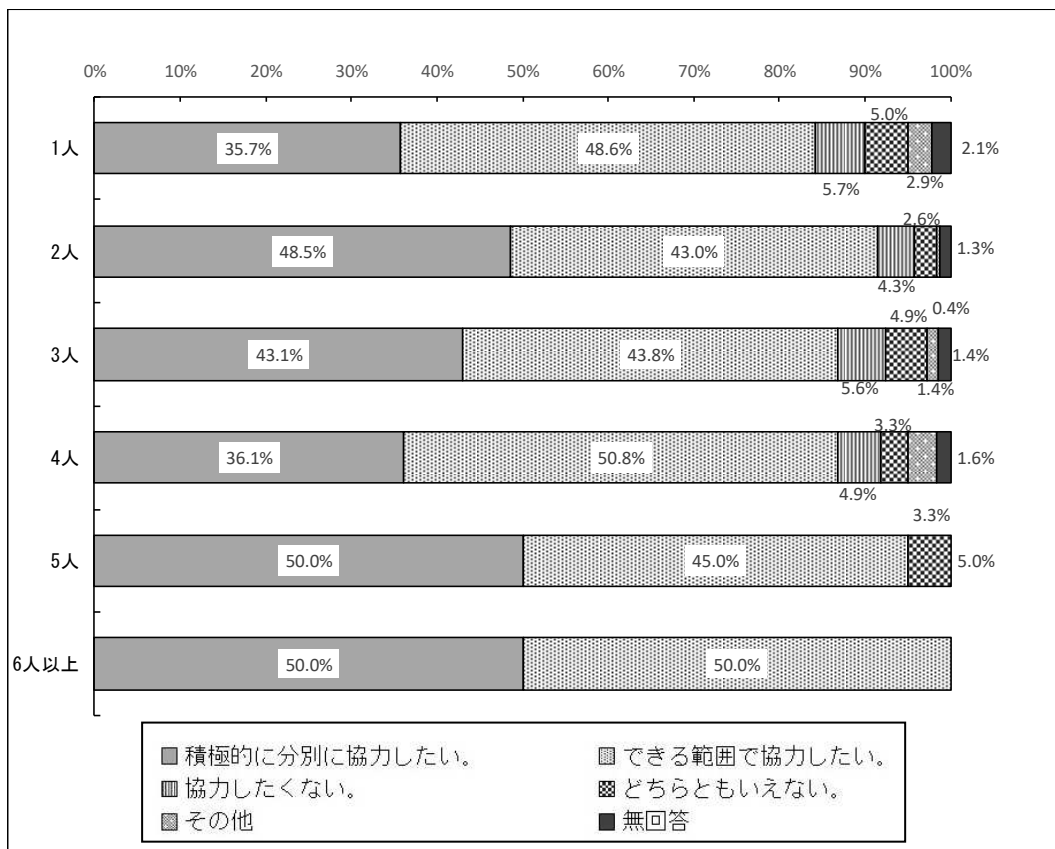


図 2.3.71 容器包装プラスチック分別収集への協力（世帯人数別）

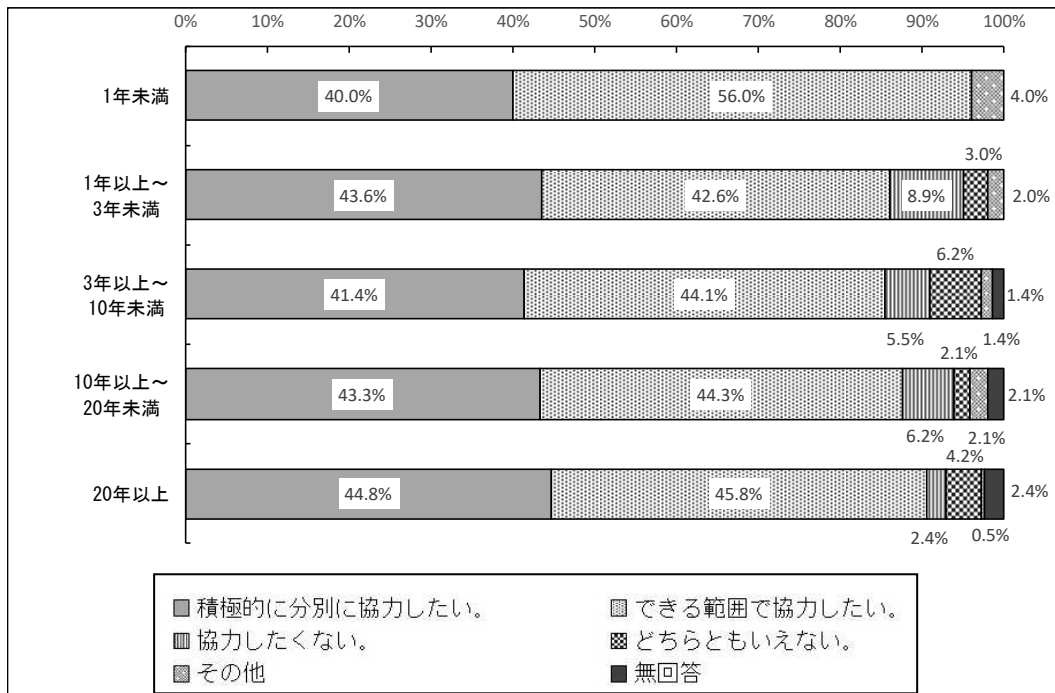


図 2.3.72 容器包装プラスチック分別収集への協力（居住年数別）

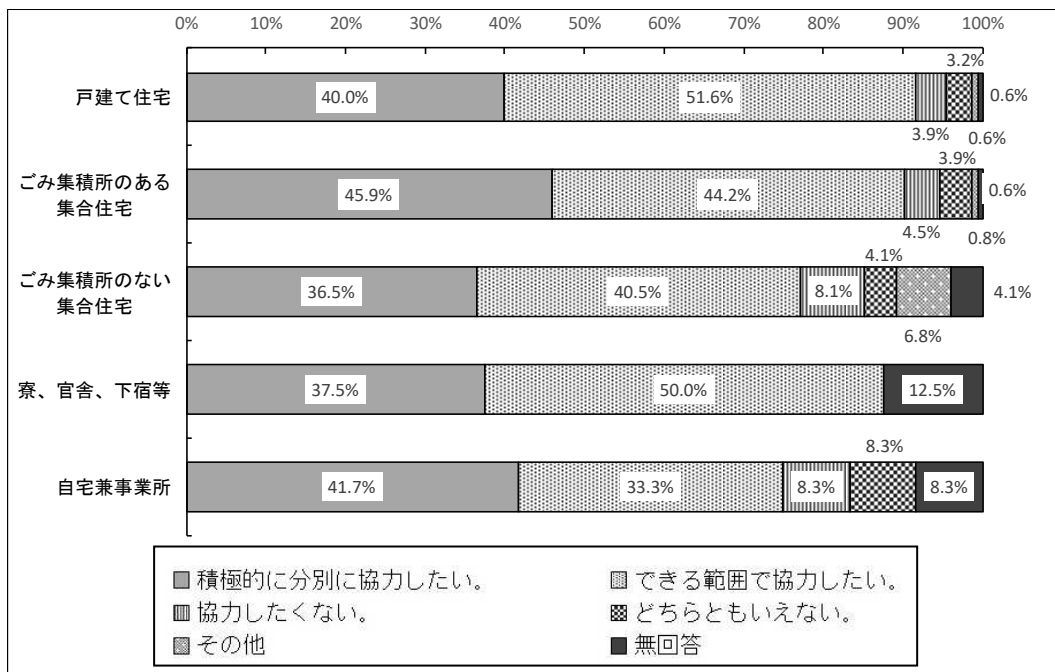


図 2.3.73 容器包装プラスチック分別収集への協力（居住形態別）

2.3.10 問9 容器包装プラスチックの拠点回収への協力

容器包装プラスチックの拠点回収への協力についてみると、「できる範囲で協力したい。」が43.9%と最も割合が高く、次いで「積極的に分別に協力したい。」が42.6%と、この2項目で80%以上となっている。

表 2.3.18 容器包装プラスチックの拠点回収への協力

項目	回答数	割合
1.積極的に分別に協力したい。	258	42.6%
2.できる範囲で協力したい。	266	43.9%
3.協力したくない。	34	5.6%
4.どちらともいえない。	27	4.5%
5.その他	14	2.3%
無回答	7	1.2%
合計	606	100%

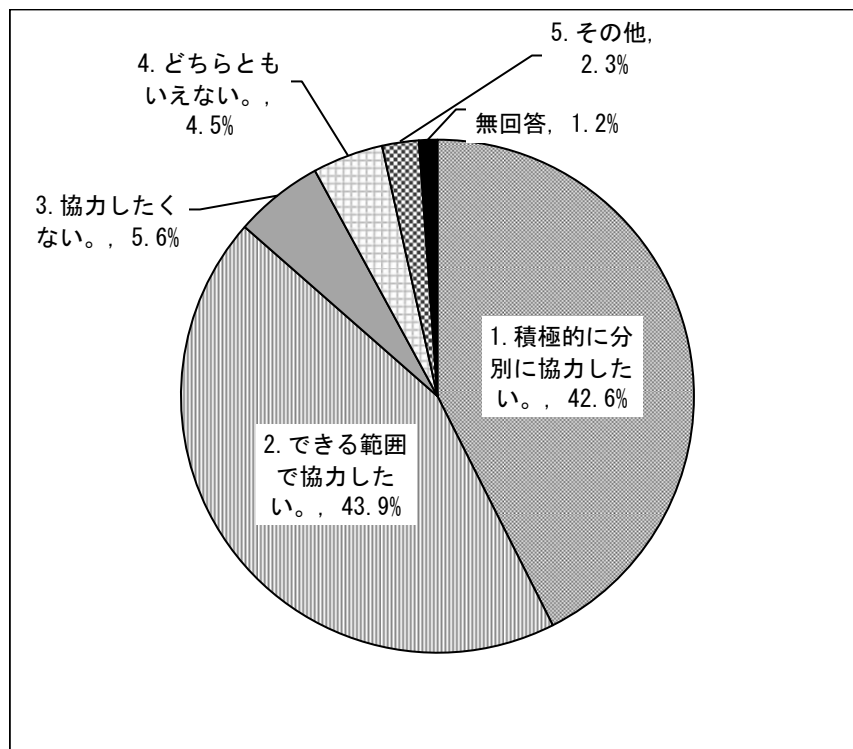


図 2.3.74 容器包装プラスチックの拠点回収への協力

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.75～図 2.3.79 に示す。

年代が高くなるほど「積極的に分別に協力したい。」、「できる範囲で協力したい。」の合計が高くなる傾向があり、最も高いのは60代であった。

他の属性をみると、「ごみ集積所のない集合住宅」の回答者は、「積極的に分別に協力したい。」、「できる範囲で協力したい。」の合計が77.0%と低くなっている。

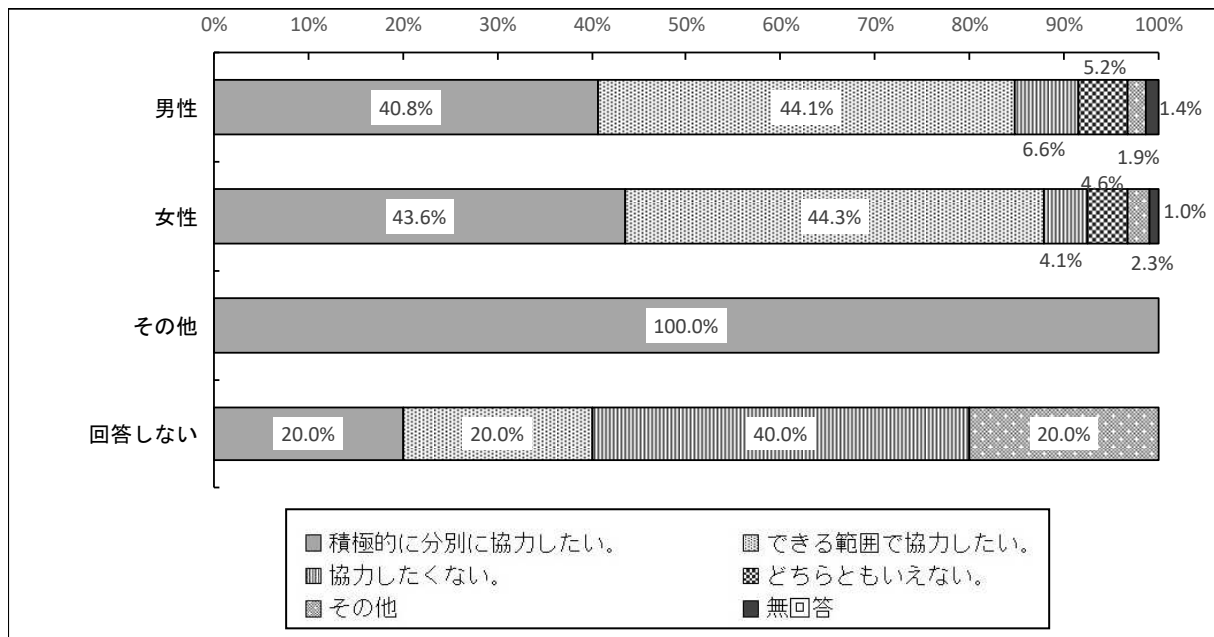


図 2.3.75 容器包装プラスチックの拠点回収への協力（性別）

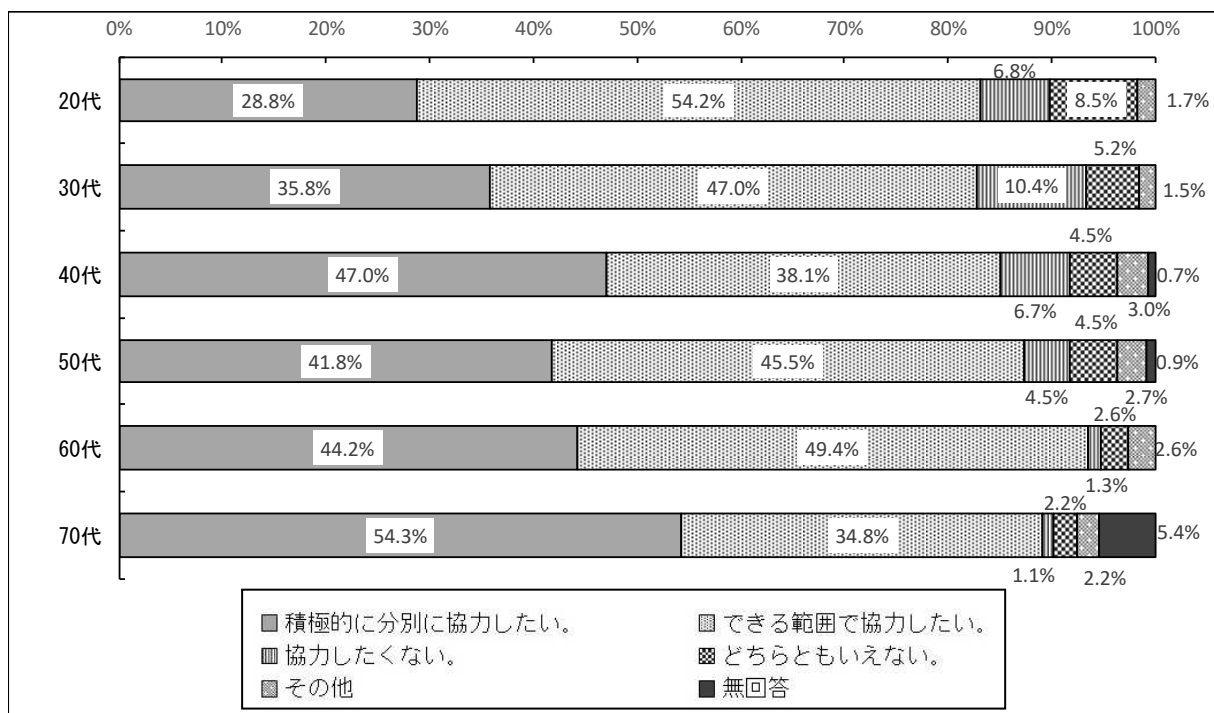


図 2.3.76 容器包装プラスチックの拠点回収への協力（年代別）

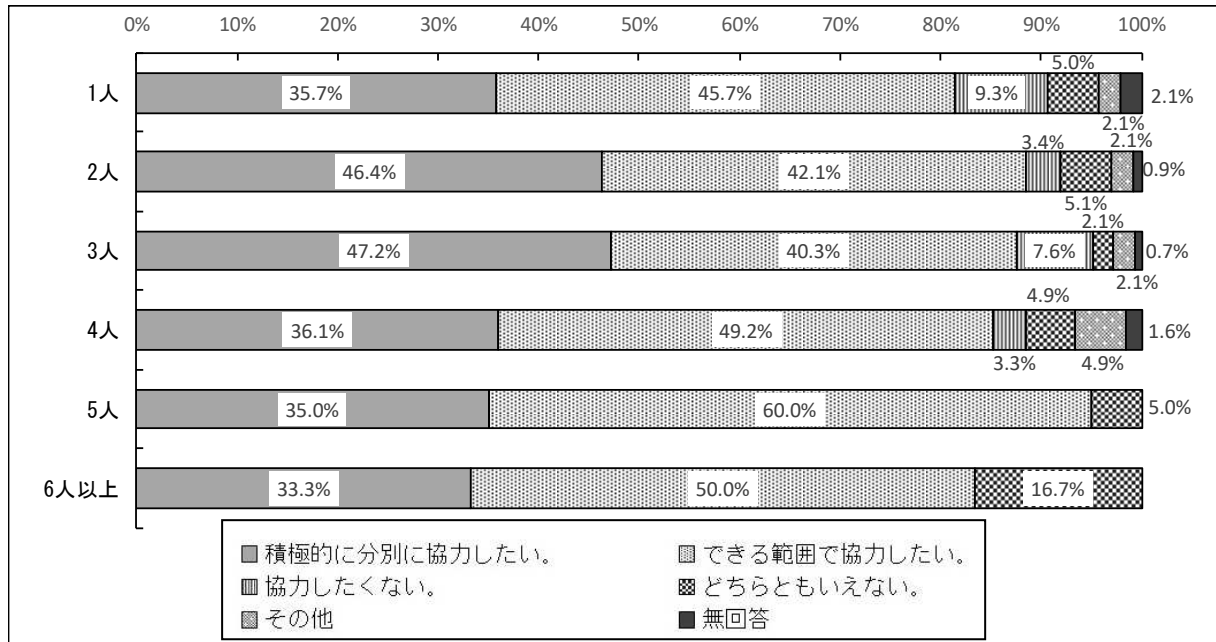


図 2.3.77 容器包装プラスチックの拠点回収への協力（世帯人数別）

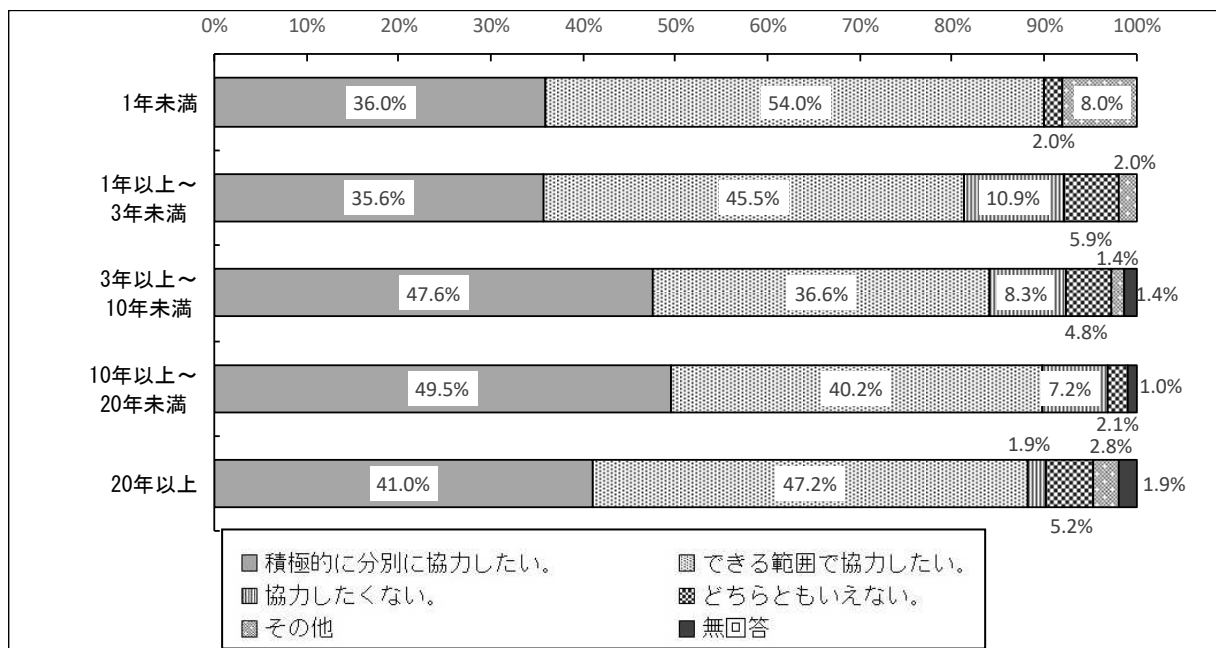


図 2.3.78 容器包装プラスチックの拠点回収への協力（居住年数別）

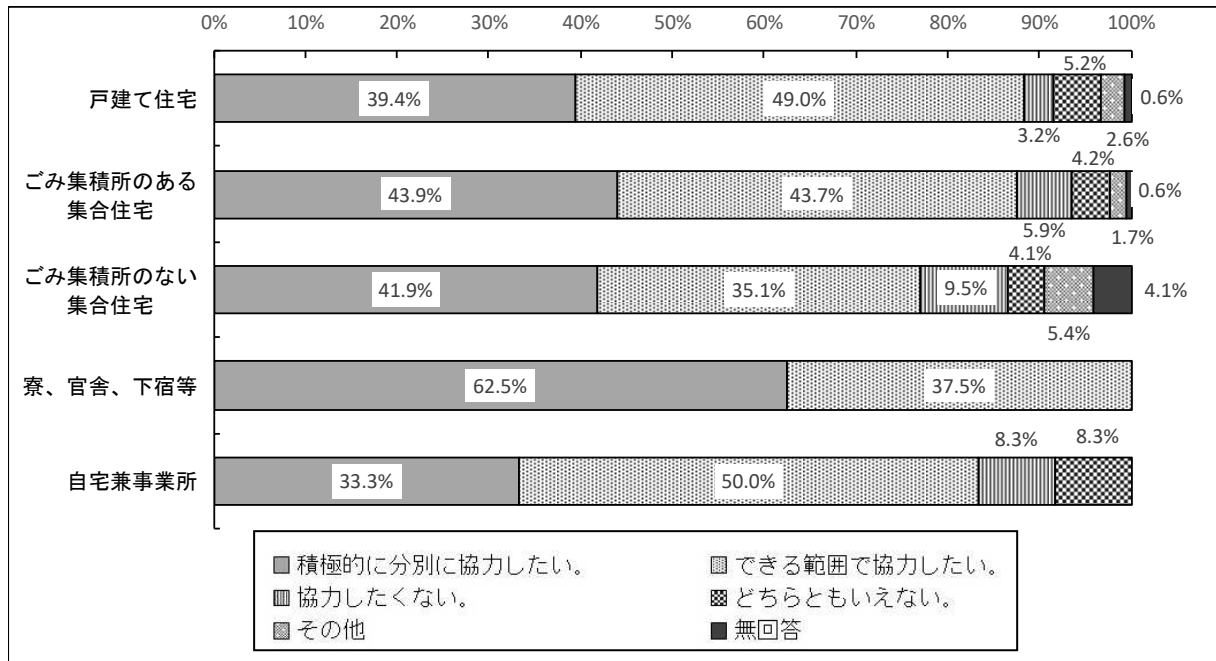


図 2.3.79 容器包装プラスチックの拠点回収への協力（居住形態別）

2.3.11 問10 区の施策の認知度及び協力状況

(1) 施策の認知度

区の施策の認知度についてみると、「生ごみの水切り励行」が26.6%と最も割合が高く、次いで「拠点回収の実施」が24.3%、「雑がみの資源物排出の協力強化」が22.3%の順であった。

表 2.3.19 区の施策の認知度

項目	回答数	割合
1. 生ごみの水切り励行	161	26.6%
2. 雑がみの資源物排出の協力強化	135	22.3%
3. ピックアップ回収の実施	78	12.9%
4. イベント回収の実施	119	19.6%
5. パソコンの無料回収事業	47	7.8%
6. 「すみだ独自の「R」づくり」推進	27	4.5%
7. 高齢者世帯等への収集施策	31	5.1%
8. 食品ロス削減に向けた啓発	33	5.4%
9. ICTを活用したごみに関する普及・啓発	27	4.5%
10. 拠点回収の実施	147	24.3%
11. 集団回収の実施	116	19.1%
12. 防鳥用ネットの貸し出し	70	11.6%
13. 資源物回収用コンテナ・ネットの貸し出し	83	13.7%
14. 「エコストア」の認定	9	1.5%
15. 家庭用生ごみ処理容器の購入あっせん	28	4.6%
16. フリーマーケット開催の案内	72	11.9%
17. 自転車のリユース・リサイクル	34	5.6%
合計	1217	-

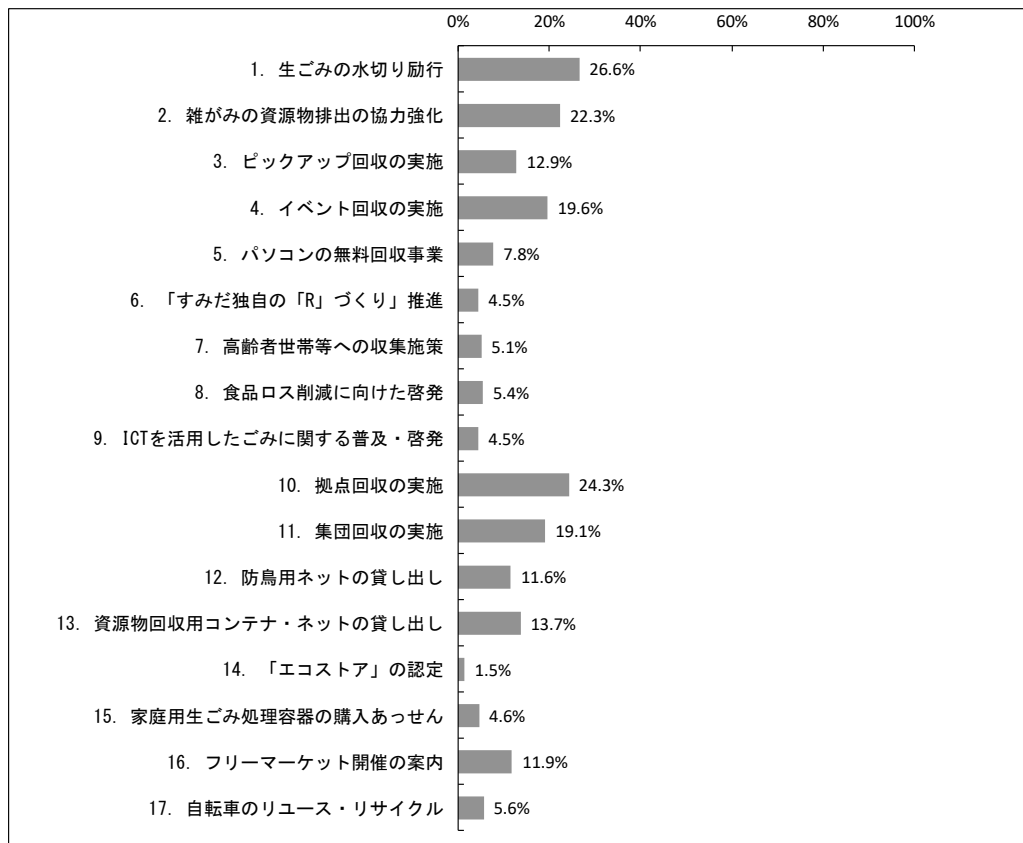


図 2.3.80 区の施策の認知度

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.81～図 2.3.85 に示す。

50 代以上では「生ごみの水切り励行」の認知度が 30%以上となっているが、40 代以下では 30%以下となっている。

「生ごみの水切り励行」、「拠点回収の実施」の認知度は 50 代で最も高くなっている。一方、20 代の施策の認知度は総じて低くなっている。

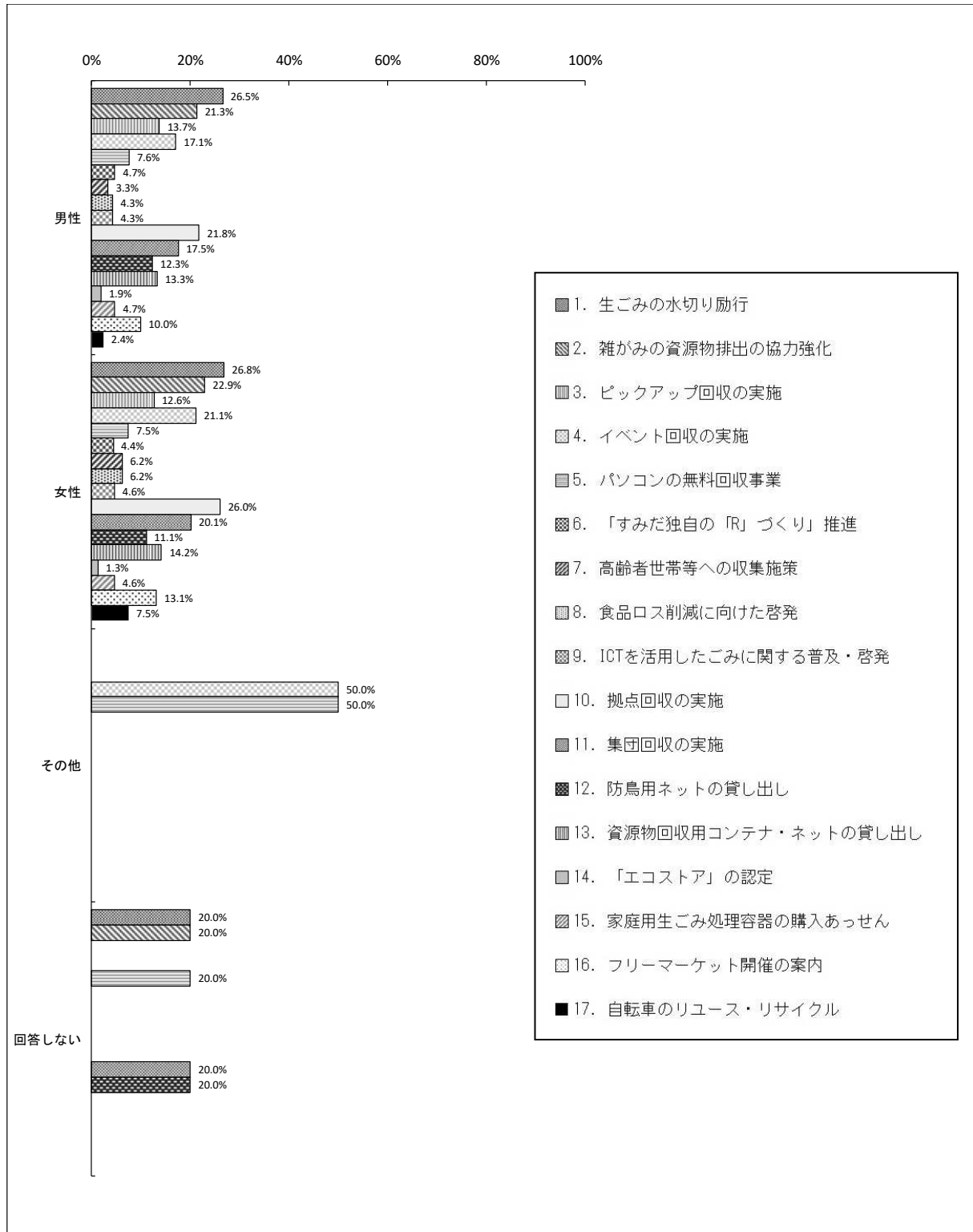


図 2.3.81 区の施策の認知度（性別）



図 2.3.82 区の施策の認知度（年代別）

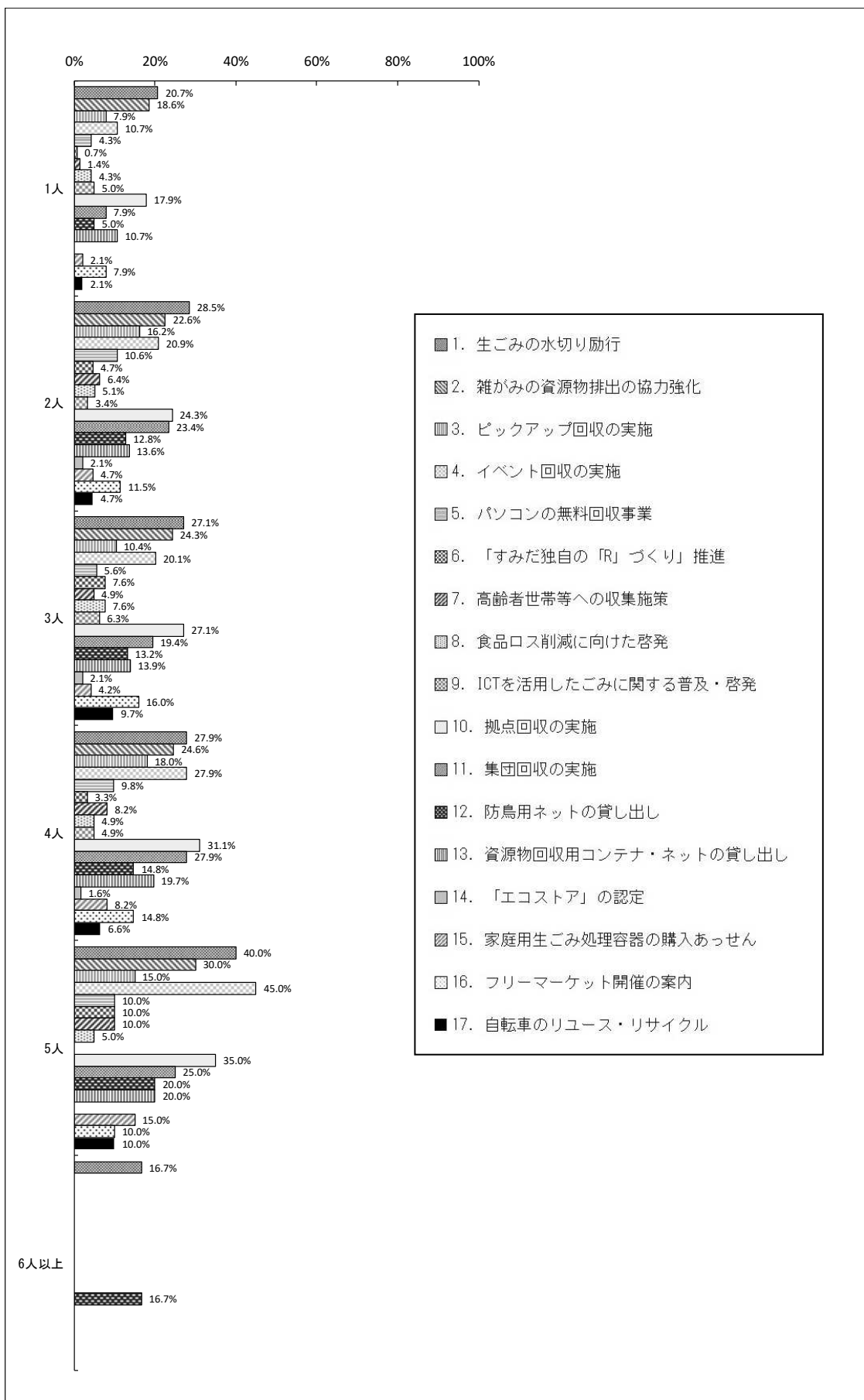


図 2.3.83 区の施策の認知度（世帯人数別）

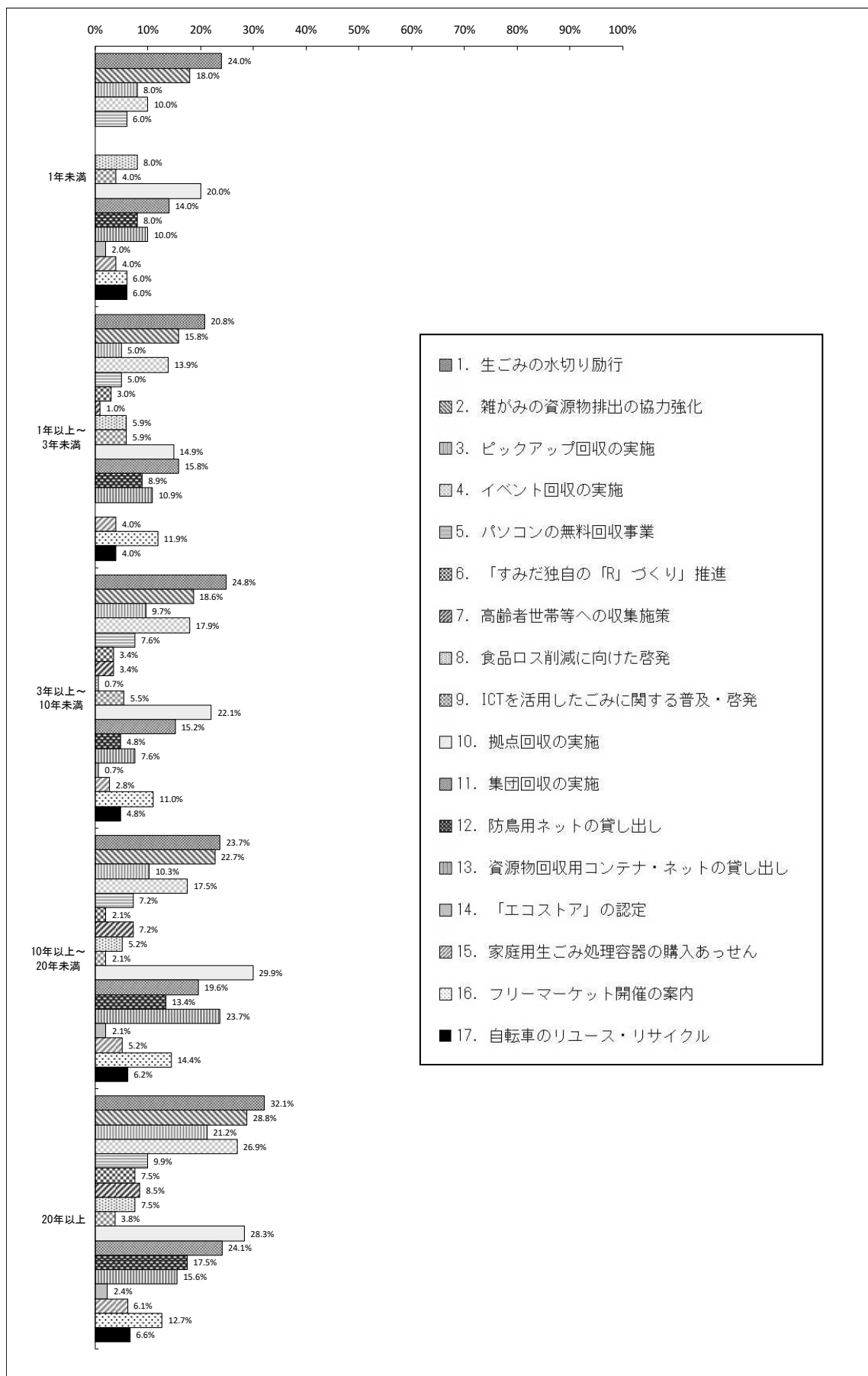


図 2.3.84 区の施策の認知度（居住年数別）

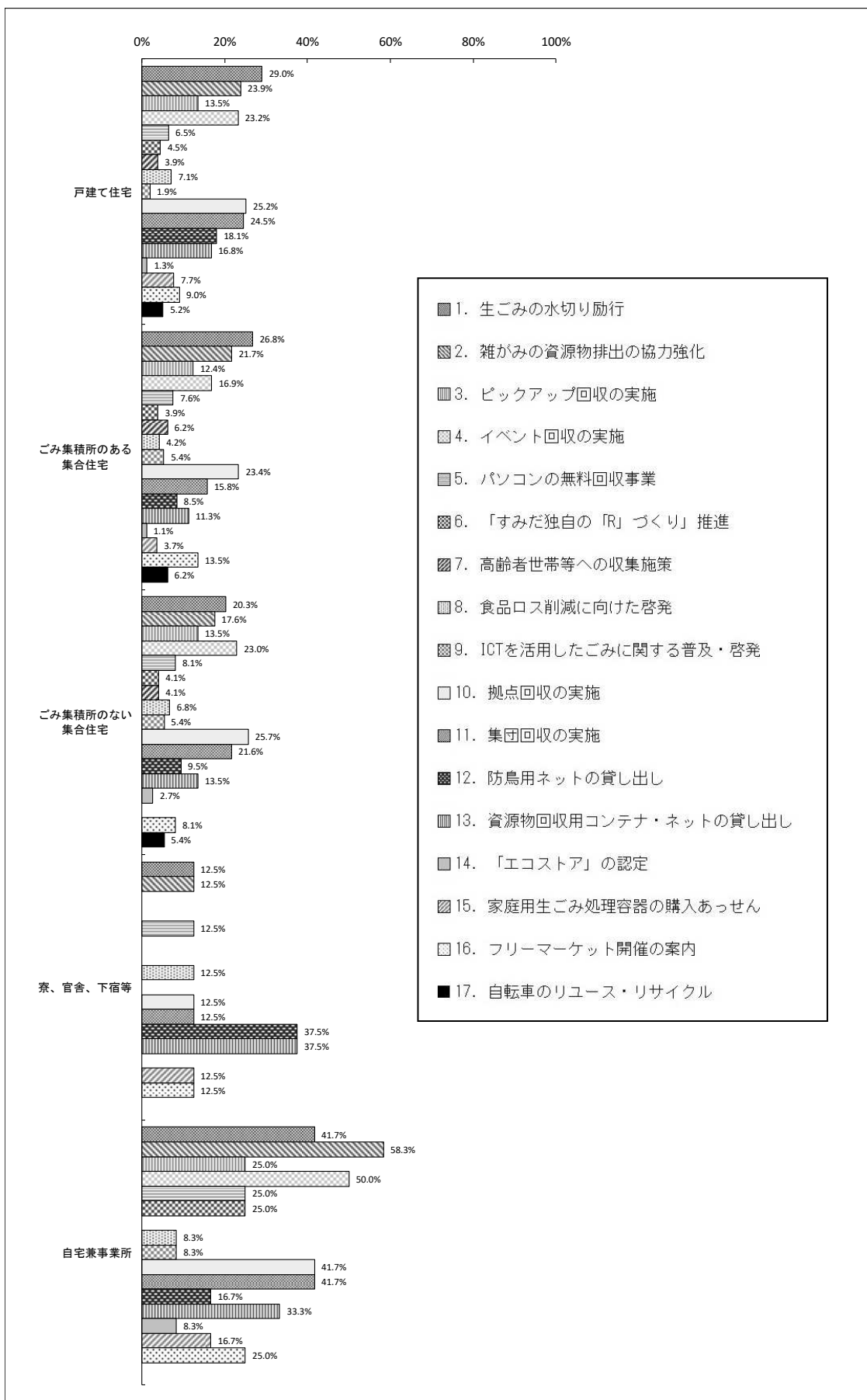


図 2.3.85 区の施策の認知度（居住形態別）

(2) 施策への協力

施策への協力についてみると、全体的に「無回答」の割合が高くなっている。

ア) 生ごみの水切り励行

生ごみの水切り励行への協力についてみると、「協力または利用している」が 54.8%と最も割合が高く、次いで「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 19.6%、「協力または利用したことはないが、今後もしたくない」が 2.1%の順となっている。

表 2.3.20 生ごみの水切り励行への協力

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	332	54.8%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	119	19.6%
3. 協力または利用したことはないが、今後もしたくない	13	2.1%
4. その他	7	1.2%
無回答	135	22.3%
合計	606	100%

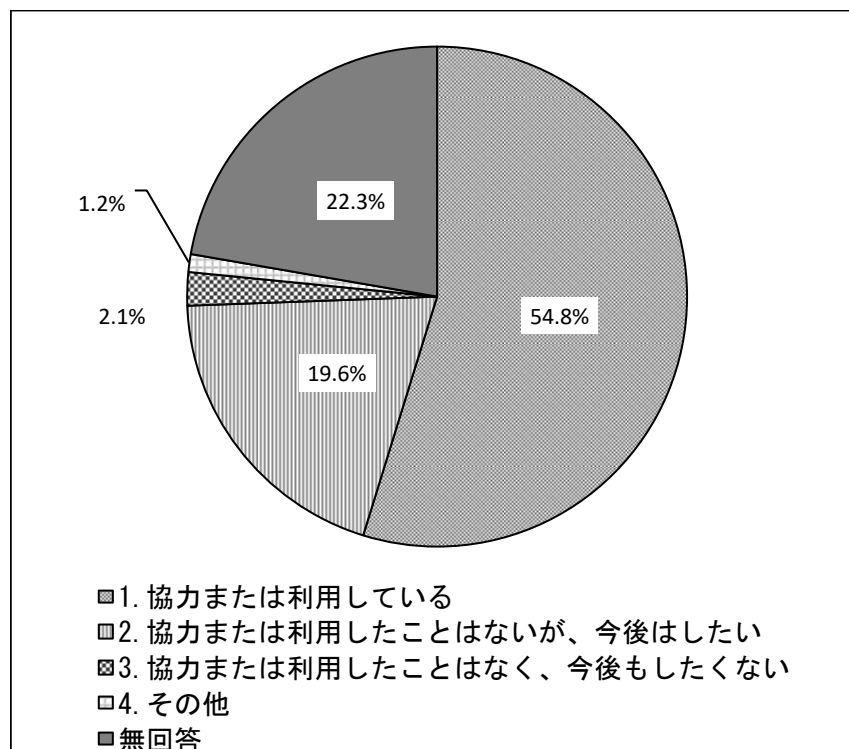


図 2.3.86 生ごみの水切り励行への協力

イ) 雑がみの資源物排出の協力強化

雑がみの資源物排出の協力強化への協力についてみると、「協力または利用している」が38.9%と最も割合が高く、次いで「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が31.8%、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が2.8%の順となっている。

表 2.3.21 雑がみの資源物排出の協力強化への協力

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	236	38.9%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	193	31.8%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	17	2.8%
4. その他	5	0.8%
無回答	155	25.6%
合計	606	100%

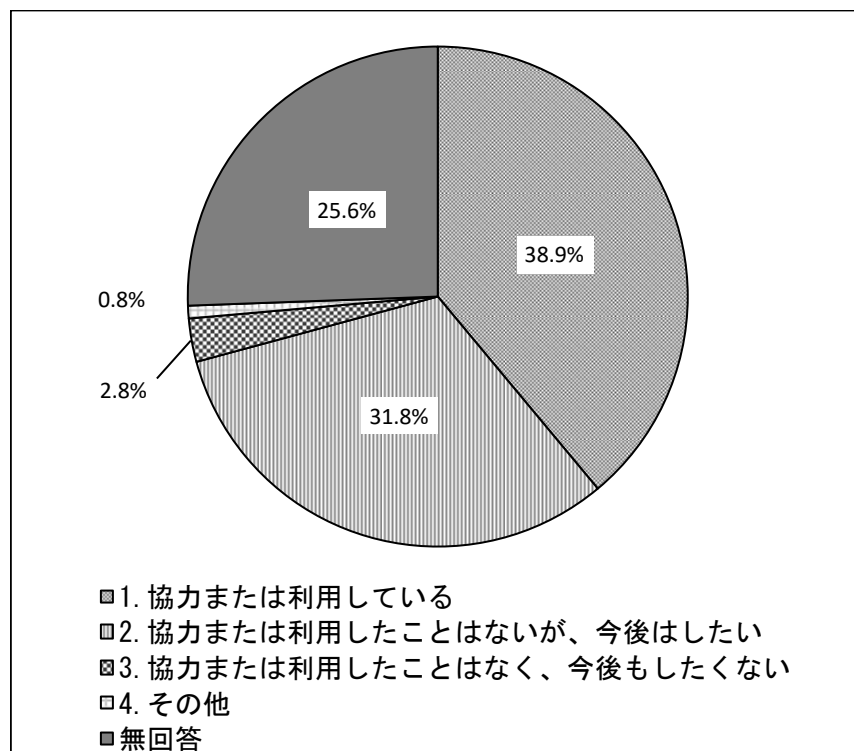


図 2.3.87 雑がみの資源物排出の協力強化への協力

ウ) ピックアップ回収の実施（不燃ごみから陶磁器・蛍光灯等を選別しリサイクルへ）

ピックアップ回収の実施への協力についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が43.7%と最も割合が高く、次いで「協力または利用している」が20.6%、「協力または利用したことはないが、今後もしたくない」が4.8%の順となっている。

表 2.3.22 ピックアップ回収の実施への協力

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	125	20.6%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	265	43.7%
3. 協力または利用したことはないが、今後もしたくない	29	4.8%
4. その他	5	0.8%
無回答	182	30.0%
合計	606	100%

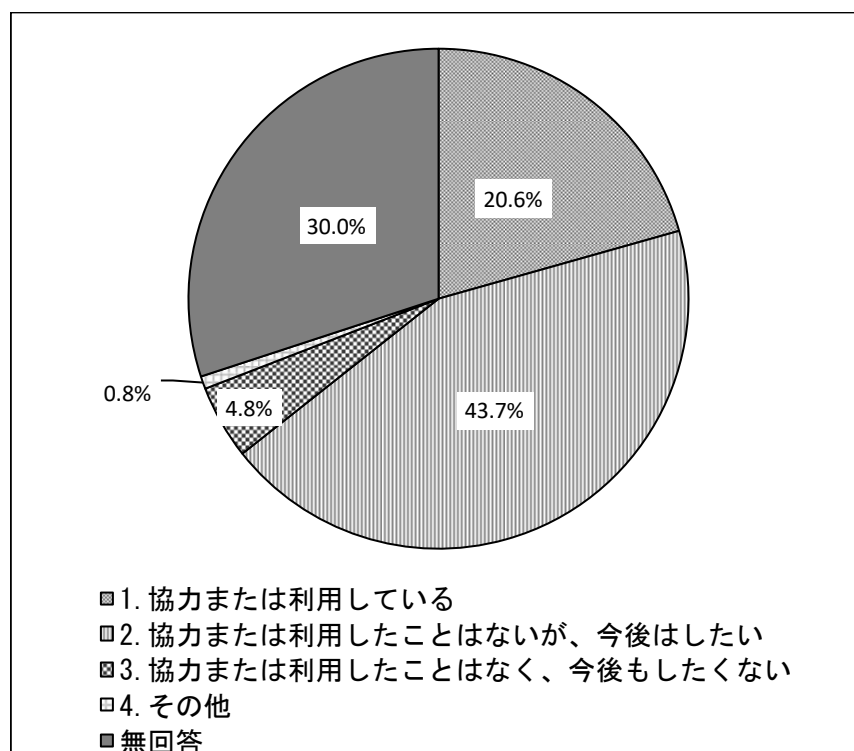


図 2.3.88 ピックアップ回収の実施への協力

エ) イベント回収の実施（古着や金属製調理器具の回収）

イベント回収の実施への協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 47.5%と最も割合が高く、次いで「協力または利用している」が 14.2%、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が 8.4%の順となっている。

表 2.3.23 イベント回収の実施への協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	86	14.2%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	288	47.5%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	51	8.4%
4. その他	8	1.3%
無回答	173	28.5%
合計	606	100%

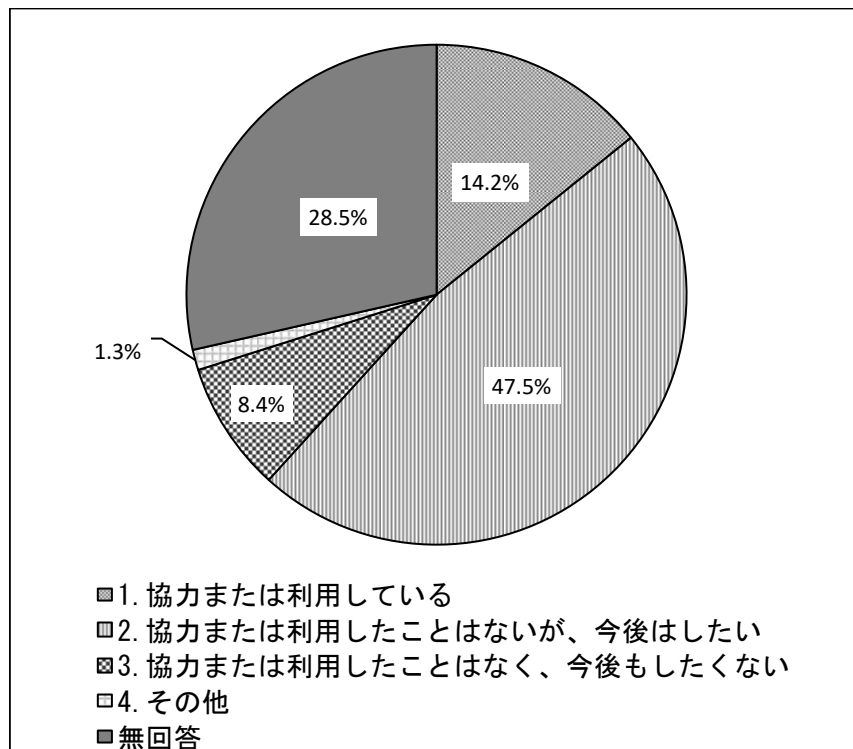


図 2.3.89 イベント回収の実施への協力・利用

オ) パソコンの無料回収事業

パソコンの無料回収事業への協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 53.5%と最も割合が高く、次いで「協力または利用したことはないが、今後もしたくない」が 6.4%、「協力または利用している」が 5.8%の順となっている。

表 2.3.24 パソコンの無料回収事業への協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	35	5.8%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	324	53.5%
3. 協力または利用したことはないが、今後もしたくない	39	6.4%
4. その他	21	3.5%
無回答	187	30.9%
合計	606	100%

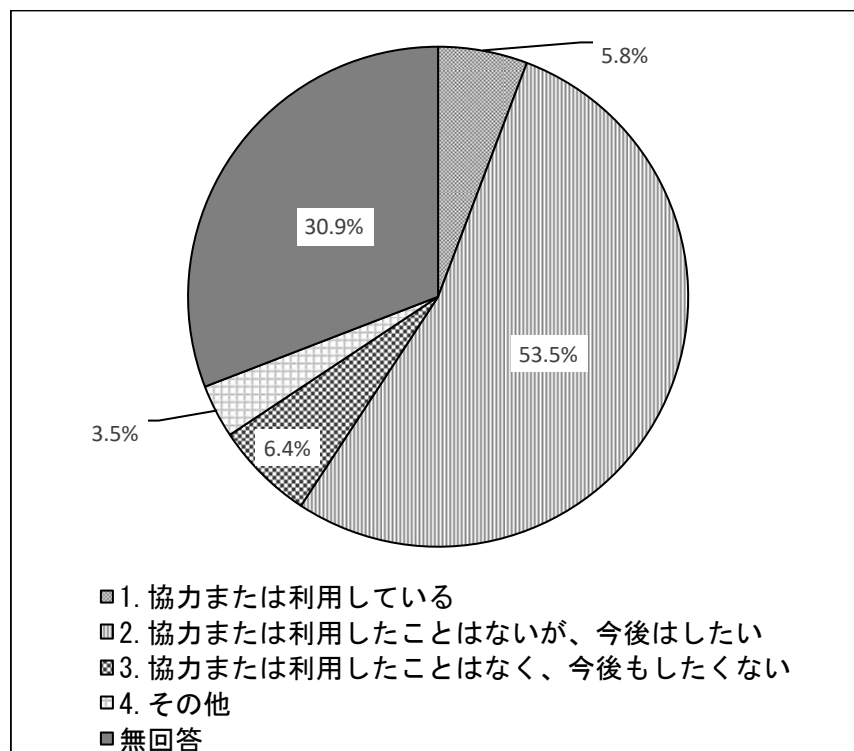


図 2.3.90 パソコンの無料回収事業への協力・利用

カ) 「すみだ独自の「R」づくり」推進

「すみだ独自の「R」づくり」推進への協力についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が46.7%と最も割合が高く、次いで「その他」が6.3%、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が5.1%の順となっており、施策の認知度は低いですが、協力したいという回答が多くなっている。

「その他」の回答としては、「知らなかった」という回答等がみられた。

表 2.3.25 「すみだ独自の「R」づくり」推進への協力

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	30	5.0%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	283	46.7%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	31	5.1%
4. その他	38	6.3%
無回答	224	37.0%
合計	606	100%

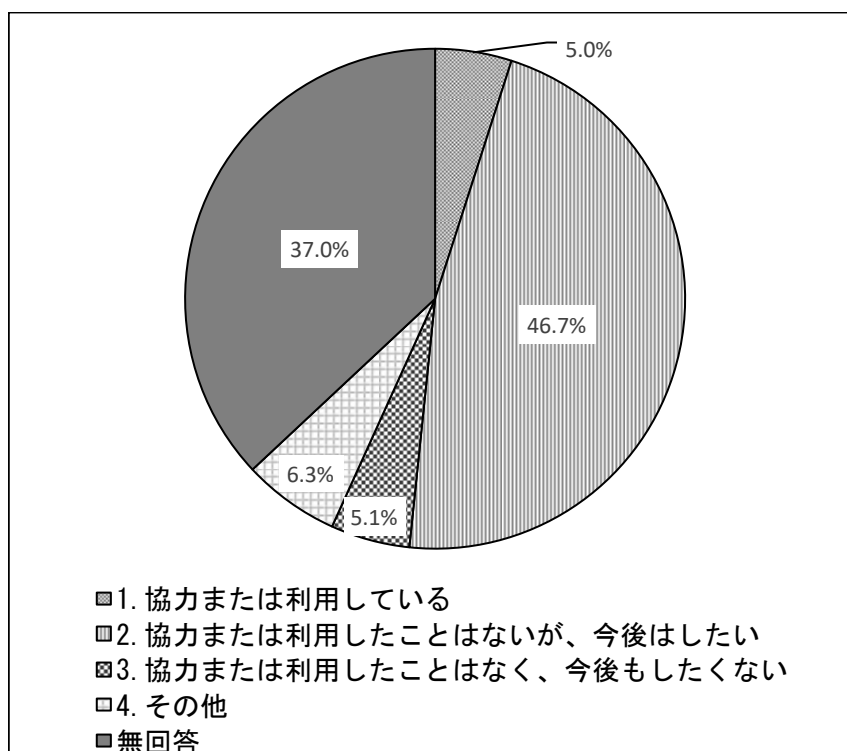


図 2.3.91 「すみだ独自の「R」づくり」推進への協力

キ) 高齢者世帯等への収集施策（ふれあい収集・粗大ごみ運びだし事業）

高齢者世帯等への収集施策への協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が48.8%と最も割合が高く、次いで「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が10.4%、「その他」が4.1%の順となっている。

「その他」の回答としては、「知らなかった」という回答がみられた。

表 2.3.26 高齢者世帯等への収集施策への協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	13	2.1%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	296	48.8%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	63	10.4%
4. その他	25	4.1%
無回答	209	34.5%
合計	606	100%

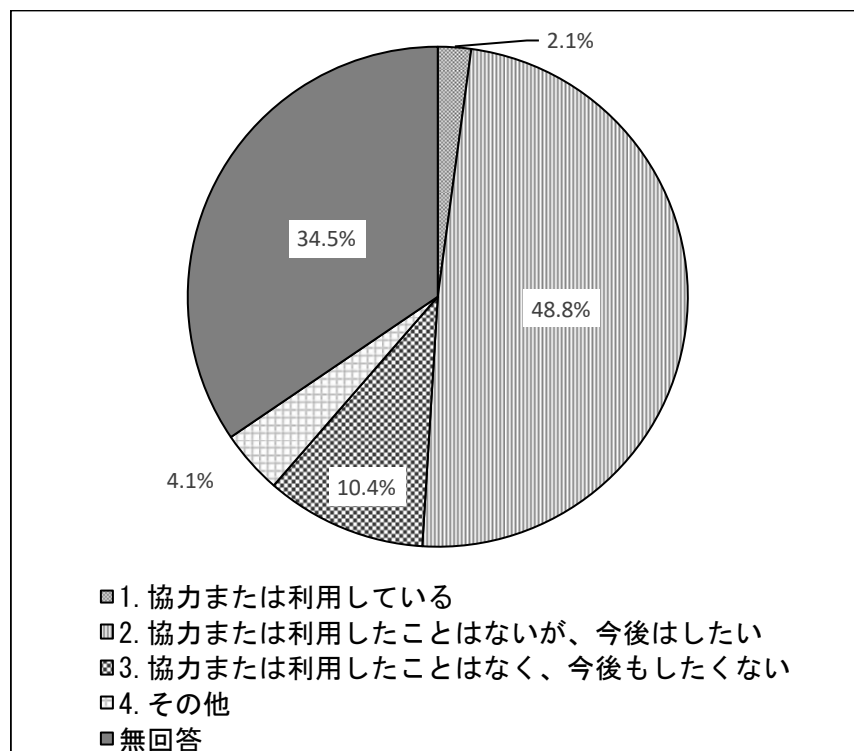


図 2.3.92 高齢者世帯等への収集施策への協力・利用

ク) 食品ロス削減に向けた啓発（フードドライブ、食べ切り推奨店の認定等）

食品ロス削減に向けた啓発への協力についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 49.5%と最も割合が高く、次いで「協力または利用している」が 6.9%、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が 5.9%、の順となっている。

表 2.3.27 食品ロス削減に向けた啓発への協力

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	42	6.9%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	300	49.5%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	36	5.9%
4. その他	16	2.6%
無回答	212	35.0%
合計	606	100%

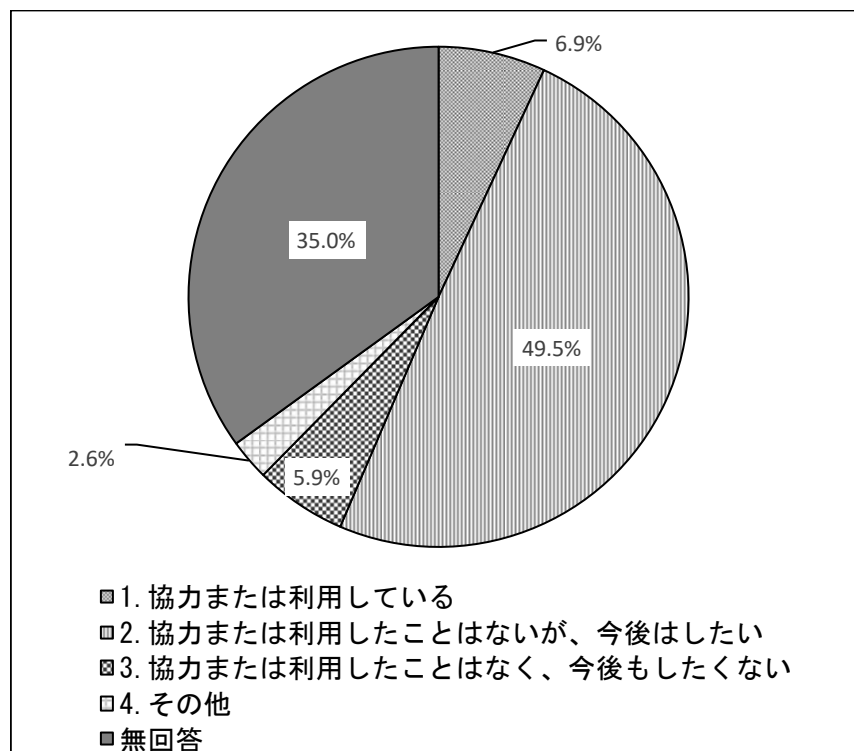


図 2.3.93 食品ロス削減に向けた啓発への協力

ケ) ICT を活用したごみに関する普及・啓発（チャットボット等）

ICT を活用したごみに関する普及・啓発（チャットボット等）の利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 45.5%と最も割合が高く、次いで「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が 8.9%、「その他」が 5.8%の順となっている。

「その他」の回答としては、「知らなかった」という回答がみられた。

表 2.3.28 ICT を活用したごみに関する普及・啓発（チャットボット等）の利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	25	4.1%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	276	45.5%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	54	8.9%
4. その他	35	5.8%
無回答	216	35.6%
合計	606	100%

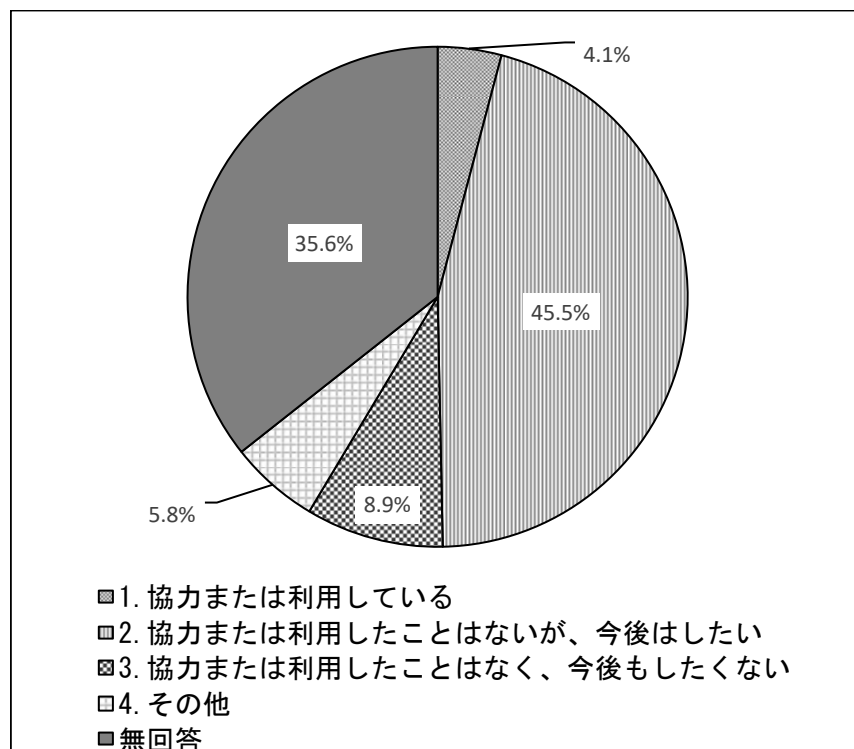


図 2.3.94 ICT を活用したごみに関する普及・啓発（チャットボット等）の利用

コ) 拠点回収の実施（乾電池や廃食油、小型家電等）

拠点回収の実施（乾電池や廃食油、小型家電等）への協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が39.4%と最も割合が高く、次いで「協力または利用している」が27.6%、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が4.3%の順となっている。

表 2.3.29 拠点回収の実施（乾電池や廃食油、小型家電等）への協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	167	27.6%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	239	39.4%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	26	4.3%
4. その他	8	1.3%
無回答	166	27.4%
合計	606	100%

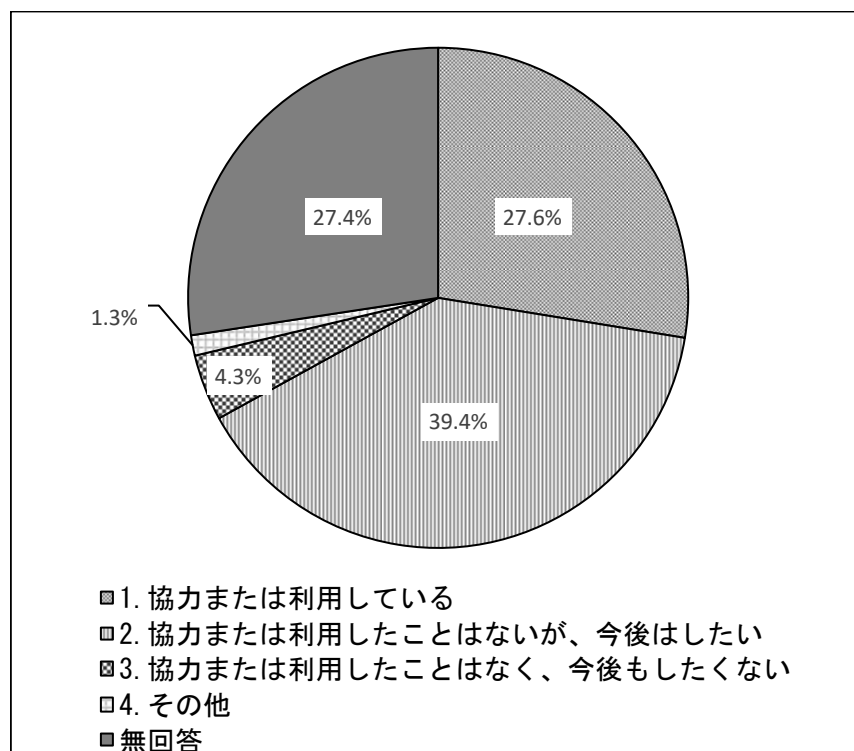


図 2.3.95 拠点回収の実施（乾電池や廃食油、小型家電等）への協力・利用

サ) 集団回収の実施

集団回収の実施への協力についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が35.0%と最も割合が高く、次いで「協力または利用している」が22.6%、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が7.3%の順となっている。

表 2.3.30 集団回収の実施への協力

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	137	22.6%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	212	35.0%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	44	7.3%
4. その他	19	3.1%
無回答	194	32.0%
合計	606	100%

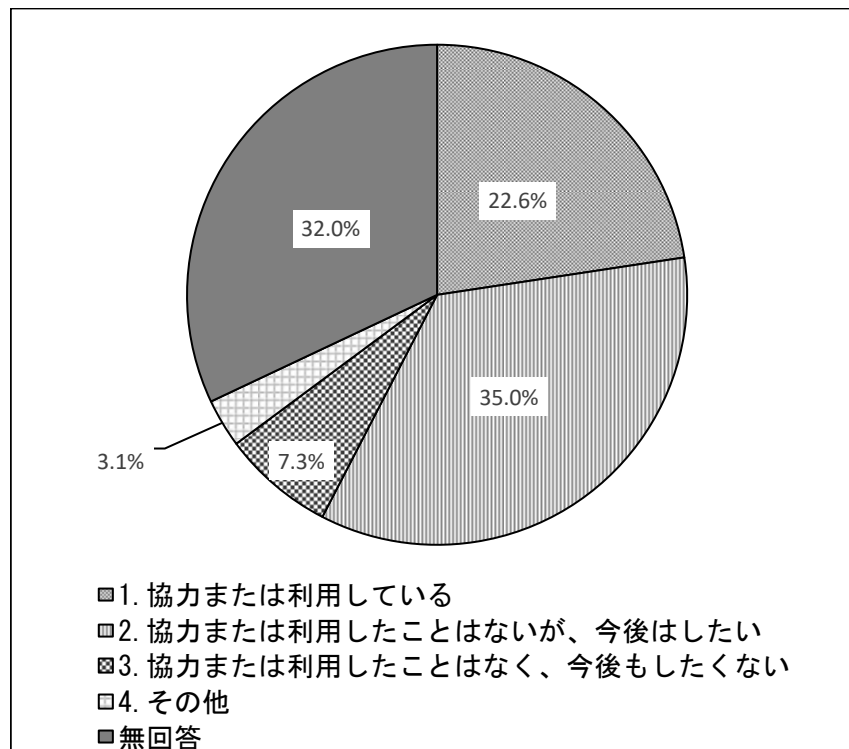


図 2.3.96 集団回収の実施への協力

シ) 防鳥用ネットの貸し出し

防鳥用ネットの貸し出しの利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が36.3%と最も割合が高く、次いで、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が14.4%、「協力または利用している」が10.2%の順となっている。

表 2.3.31 防鳥用ネットの貸し出しの利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	62	10.2%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	220	36.3%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	87	14.4%
4. その他	27	4.5%
無回答	210	34.7%
合計	606	100%

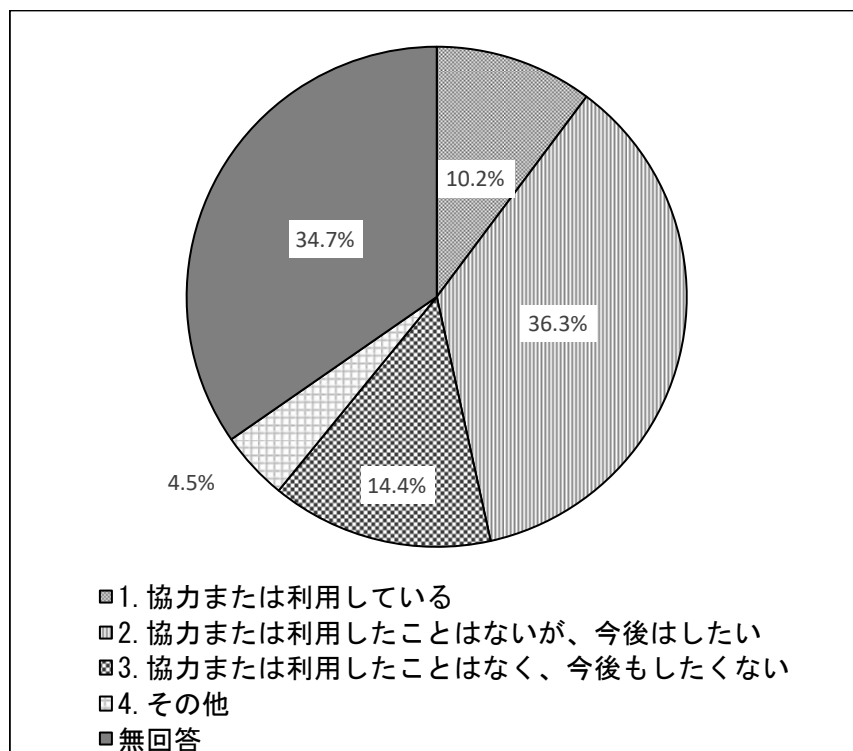


図 2.3.97 防鳥用ネットの貸し出しの利用

ス) 資源物回収用コンテナ・ネットの貸し出し

資源物回収用コンテナ・ネットの貸し出しの利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 32.7%と最も割合が高く、次いで、「協力または利用している」が 19.5%、「協力または利用したことはないが、今後もしたくない」が 9.9%の順となっている。

表 2.3.32 資源物回収用コンテナ・ネットの貸し出しの利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	118	19.5%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	198	32.7%
3. 協力または利用したことはないが、今後もしたくない	60	9.9%
4. その他	19	3.1%
無回答	211	34.8%
合計	606	100%

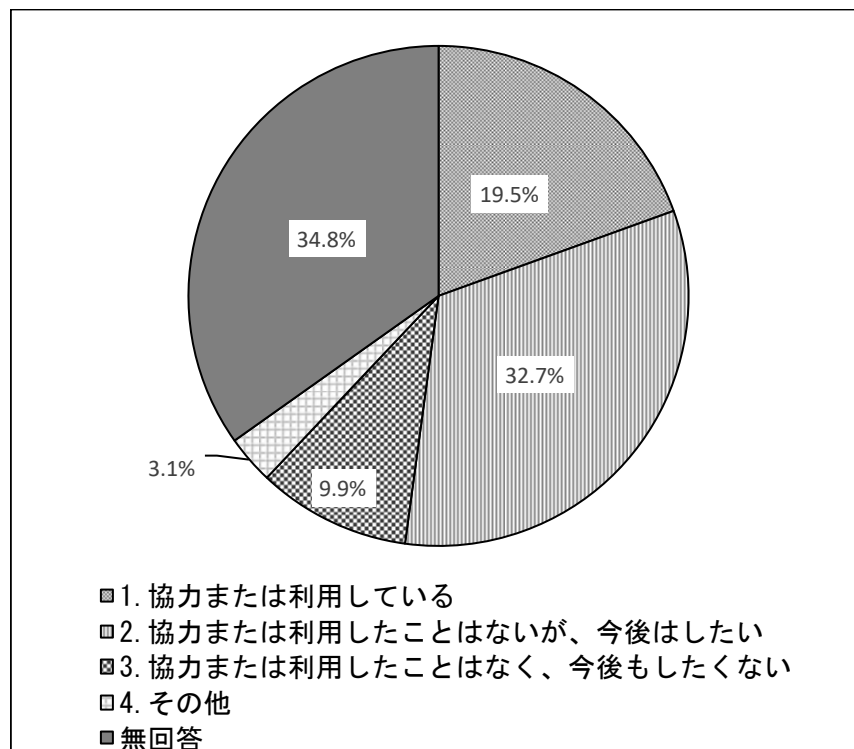


図 2.3.98 資源物回収用コンテナ・ネットの貸し出しの利用

セ) 「エコストア」の認定

「エコストア」の認定への協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が45.5%と最も割合が高く、次いで、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が9.4%、「その他」が5.6%の順となっている。

「その他」としては、「認定制度を知らなかった。」という回答がほとんどであった。

表 2.3.33 「エコストア」の認定への協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	13	2.1%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	276	45.5%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	57	9.4%
4. その他	34	5.6%
無回答	226	37.3%
合計	606	100%

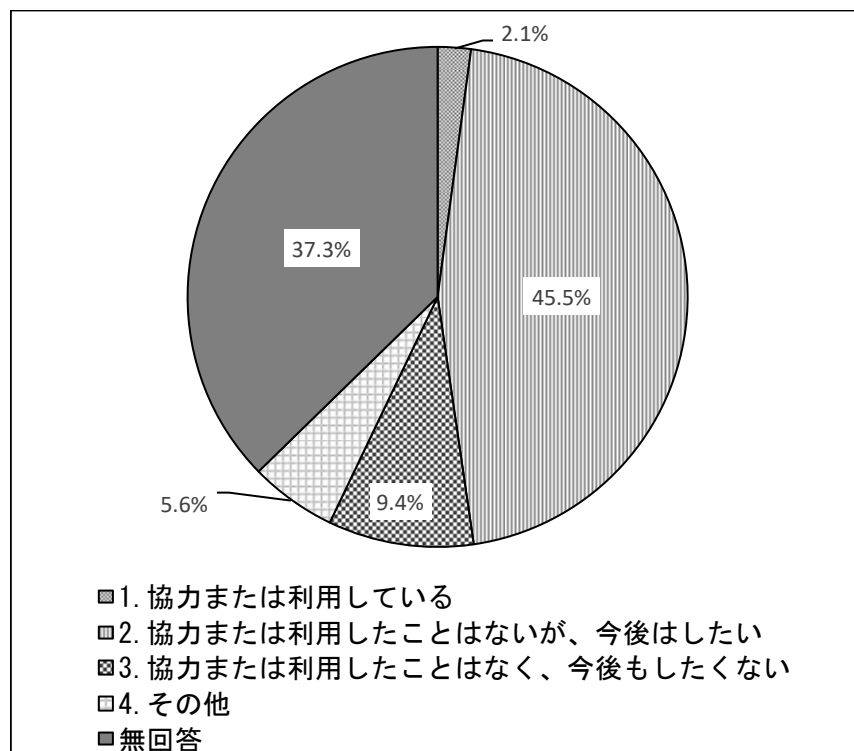


図 2.3.99 「エコストア」の認定への協力・利用

ソ) 家庭用生ごみ処理容器の購入あっせん

家庭用生ごみ処理容器の購入あっせんへの協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 37.6%と最も割合が高く、次いで、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が 21.8%、「その他」が 3.3%の順となっており、施策の認知度は低い、協力したいという回答が多くなっている。

「その他」の回答としては、「知らなかった」という回答等がみられた。

表 2.3.34 家庭用生ごみ処理容器の購入あっせんへの協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	9	1.5%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	228	37.6%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	132	21.8%
4. その他	20	3.3%
無回答	217	35.8%
合計	606	100%

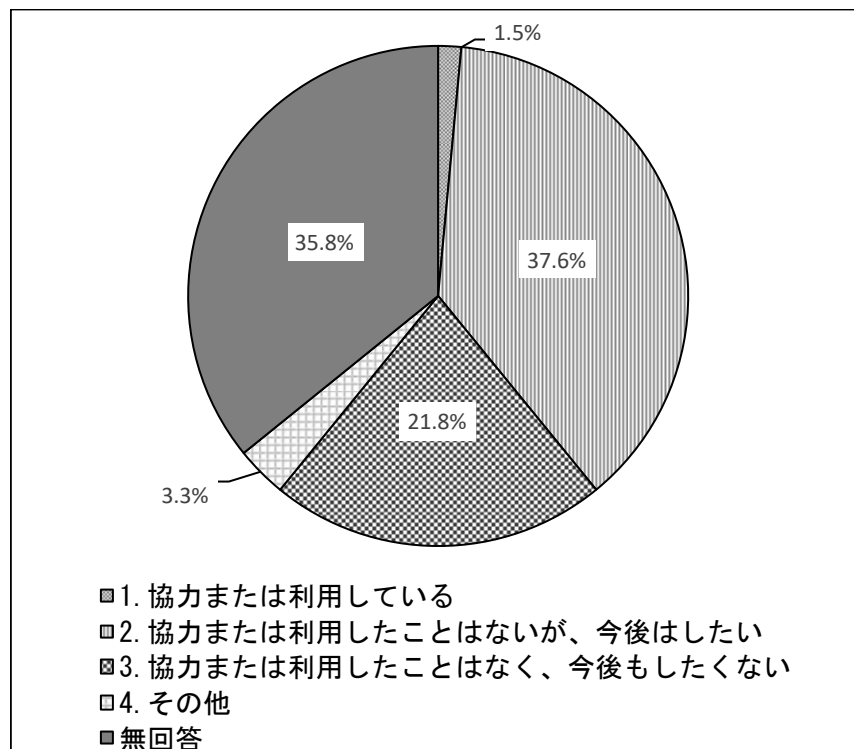


図 2.3.100 家庭用生ごみ処理容器の購入あっせんへの協力・利用

タ) フリーマーケット開催の案内

フリーマーケット開催の案内の協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が42.2%と最も割合が高く、次いで、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が18.6%、「協力または利用している」が5.3%の順となっている。

表 2.3.35 フリーマーケット開催の案内の協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	32	5.3%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	256	42.2%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	113	18.6%
4. その他	9	1.5%
無回答	196	32.3%
合計	606	100%

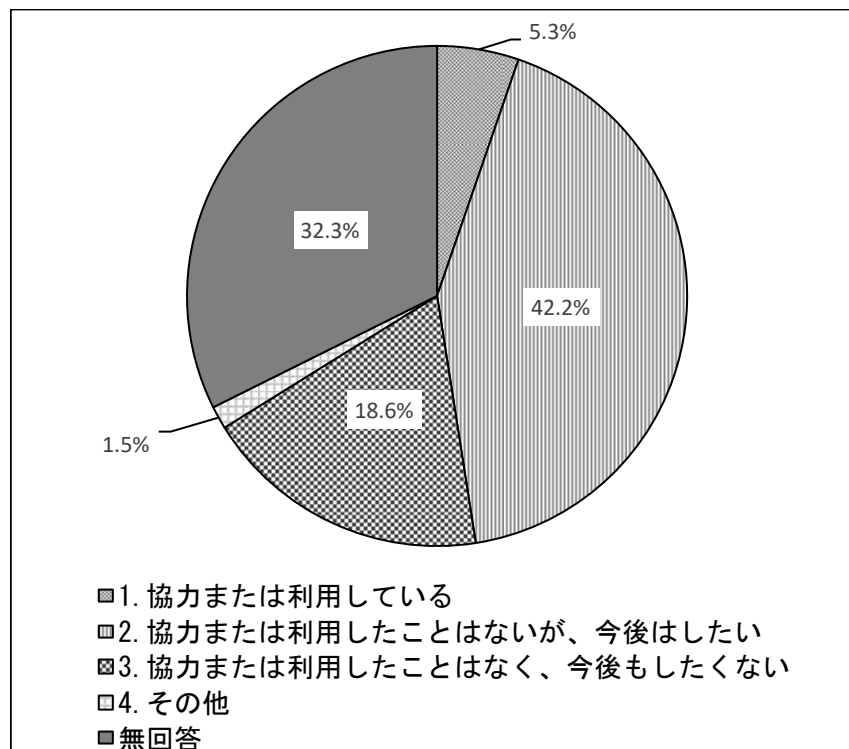


図 2.3.101 フリーマーケット開催の案内の協力・利用

チ) 自転車のリユース・リサイクル（海外供与）

自転車のリユース・リサイクル（海外供与）への協力・利用についてみると、「協力または利用したことはないが、今後はしたい」が 48.2%と最も割合が高く、次いで、「協力または利用したことはなく、今後もしたくない」が 11.4%、「協力または利用している」が 4.0%の順となっている。

表 2.3.36 自転車のリユース・リサイクル（海外供与）への協力・利用

項目	回答数	割合
1. 協力または利用している	24	4.0%
2. 協力または利用したことはないが、今後はしたい	292	48.2%
3. 協力または利用したことはなく、今後もしたくない	69	11.4%
4. その他	15	2.5%
無回答	206	34.0%
合計	606	100%

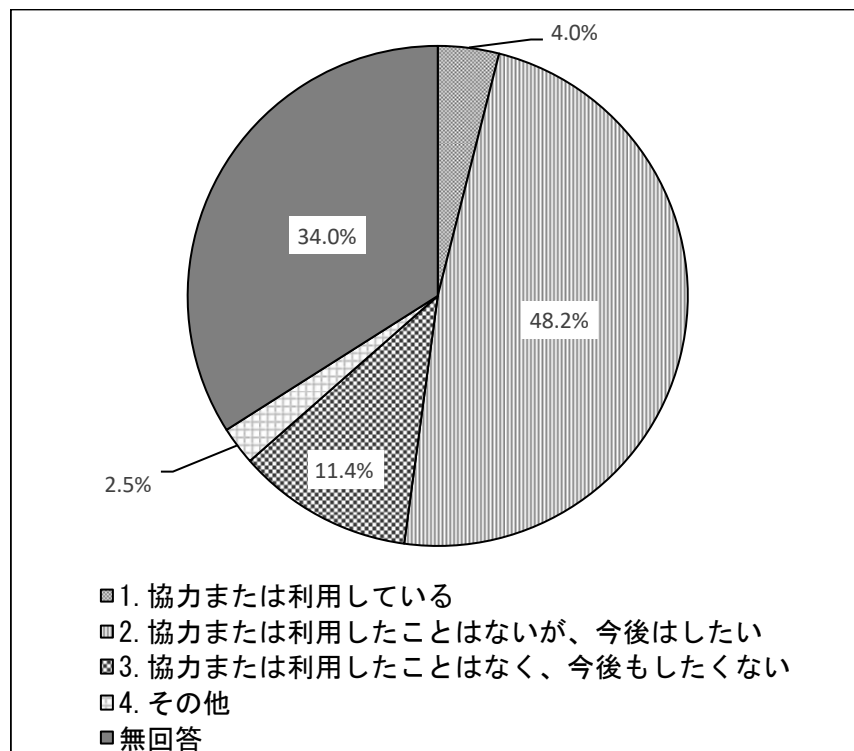


図 2.3.102 自転車のリユース・リサイクル（海外供与）への協力・利用

2.3.12 問11 ごみの分別に関する問題

(1) 燃やすごみ（生ごみ・プラスチック類を含む）

燃やすごみ（生ごみ・プラスチック類を含む）の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が91.3%と最も割合が高く、次いで「分別して出すのに手間がかかる。」が1.2%、「複数の素材があるため、分別できない。」が0.8%の順であった。

表 2.3.37 燃やすごみ（生ごみ・プラスチック類を含む）の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	553	91.3%
2. 分別区分が分からない。	3	0.5%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	7	1.2%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	5	0.8%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	1	0.2%
6. 保管しておく場所がない。	0	0.0%
7. ごみとして出していない。	0	0.0%
8. その他	2	0.3%
無回答	40	6.6%
合計	611	-

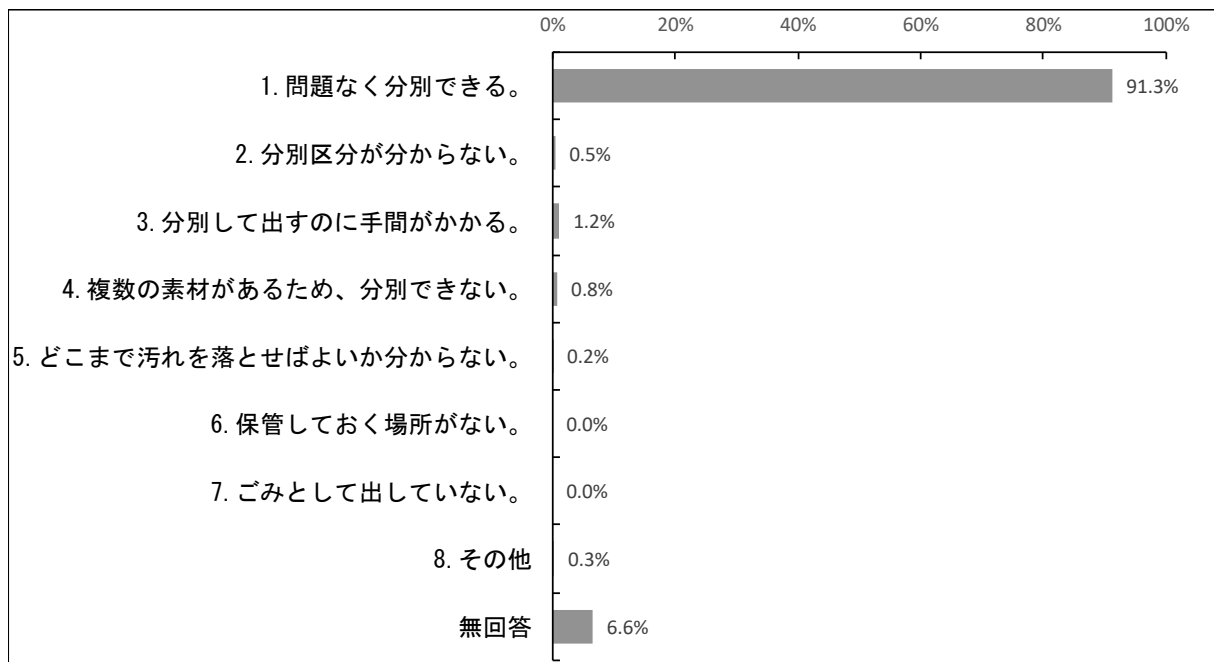


図 2.3.103 燃やすごみ（生ごみ・プラスチック類を含む）の分別に関する問題

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が75.6%と最も割合が高く、次いで「分別区分が分からない。」が11.7%、「複数の素材があるため、分別できない。」が3.1%の順であり、「分別区分が分からない。」の割合が他の項目と比較してやや高くなっている。

表 2.3.38 燃やさないごみの分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	458	75.6%
2. 分別区分が分からない。	71	11.7%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	13	2.1%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	19	3.1%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	1	0.2%
6. 保管しておく場所がない。	2	0.3%
7. ごみとして出していない。	2	0.3%
8. その他	2	0.3%
無回答	45	7.4%
合計	613	-

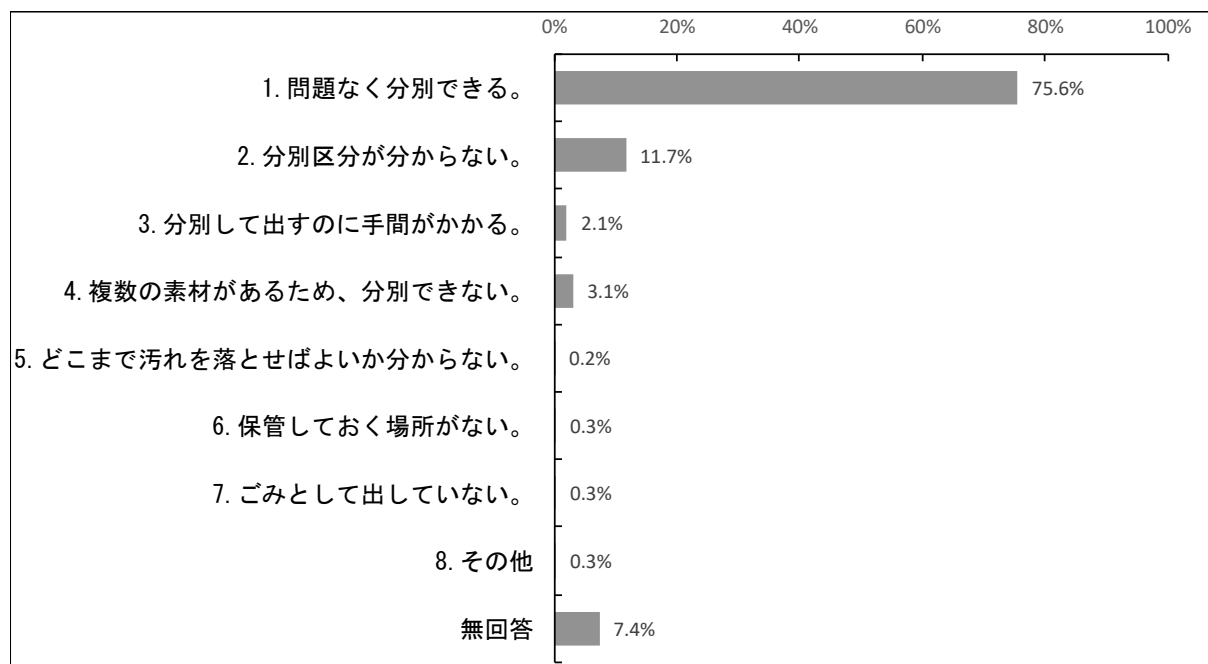


図 2.3.104 燃やさないごみの分別に関する問題

(3) 古紙（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）

古紙（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が83.8%と最も割合が高く、次いで「分別して出すのに手間がかかる。」が7.8%、「分別区分が分からない。」が2.0%の順であった。

表 2.3.39 古紙（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	508	83.8%
2. 分別区分が分からない。	12	2.0%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	47	7.8%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	6	1.0%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	0	0.0%
6. 保管しておく場所がない。	3	0.5%
7. ごみとして出していない。	8	1.3%
8. その他	0	0.0%
無回答	41	6.8%
合計	625	-

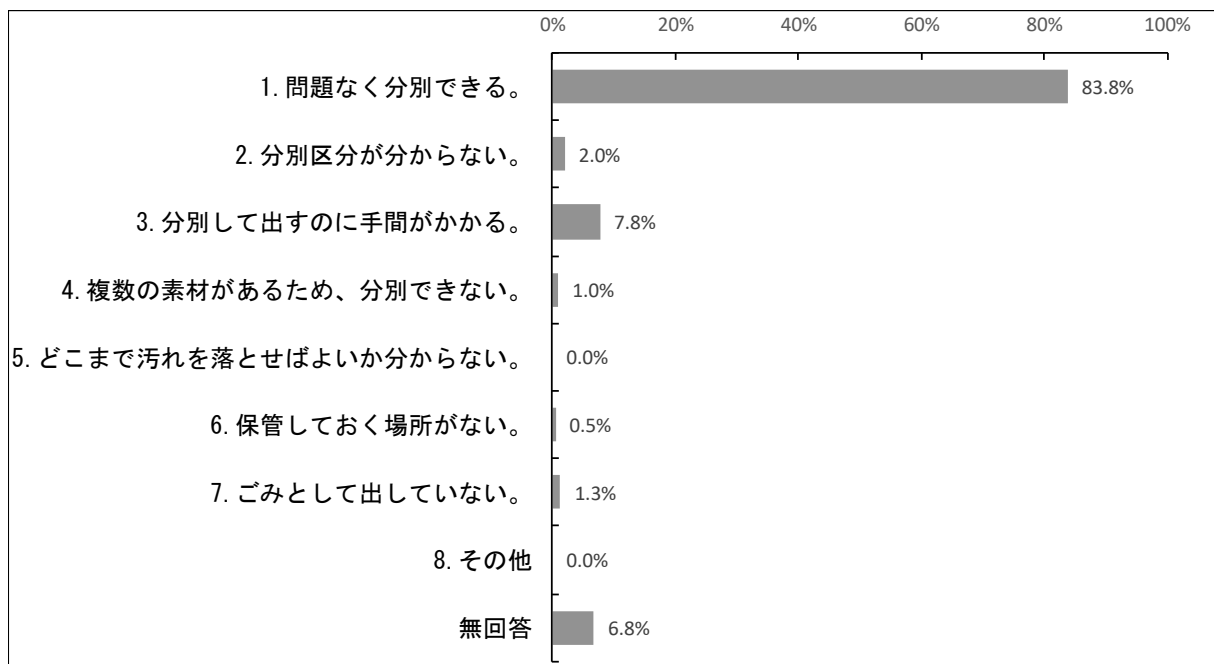


図 2.3.105 古紙（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）の分別に関する問題

(4) 缶

缶の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が90.4%と最も割合が高く、次いで「分別して出すのに手間がかかる。」が2.1%、「どこまで汚れを落とせばよいか分からない。」が1.7%の順であった。

表 2.3.40 缶の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	548	90.4%
2. 分別区分が分からない。	2	0.3%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	13	2.1%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	1	0.2%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	10	1.7%
6. 保管しておく場所がない。	1	0.2%
7. ごみとして出していない。	6	1.0%
8. その他	0	0.0%
無回答	39	6.4%
合計	620	-

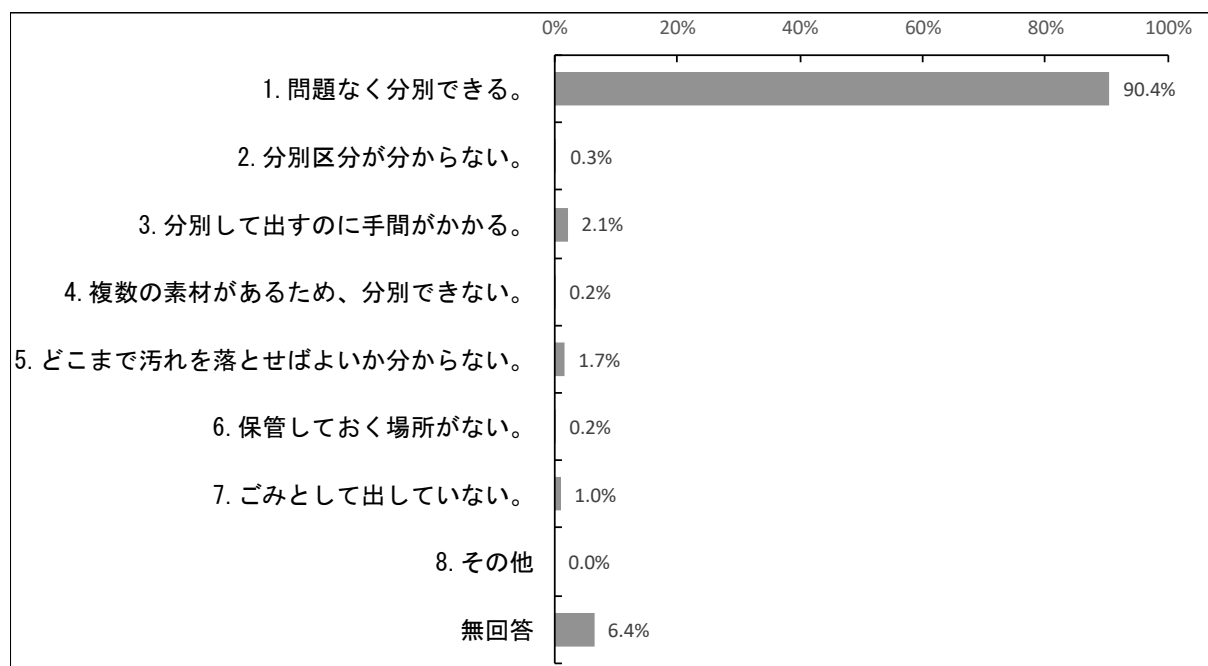


図 2.3.106 缶の分別に関する問題

(5) びん

びんの分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が89.8%と最も割合が高く、次いで「分別して出すのに手間がかかる。」が2.8%、「どこまで汚れを落とせばよいか分からない。」が2.1%の順であった。

表 2.3.41 びんの分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	544	89.8%
2. 分別区分が分からない。	2	0.3%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	17	2.8%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	1	0.2%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	13	2.1%
6. 保管しておく場所がない。	0	0.0%
7. ごみとして出していない。	5	0.8%
8. その他	1	0.2%
無回答	40	6.6%
合計	623	-

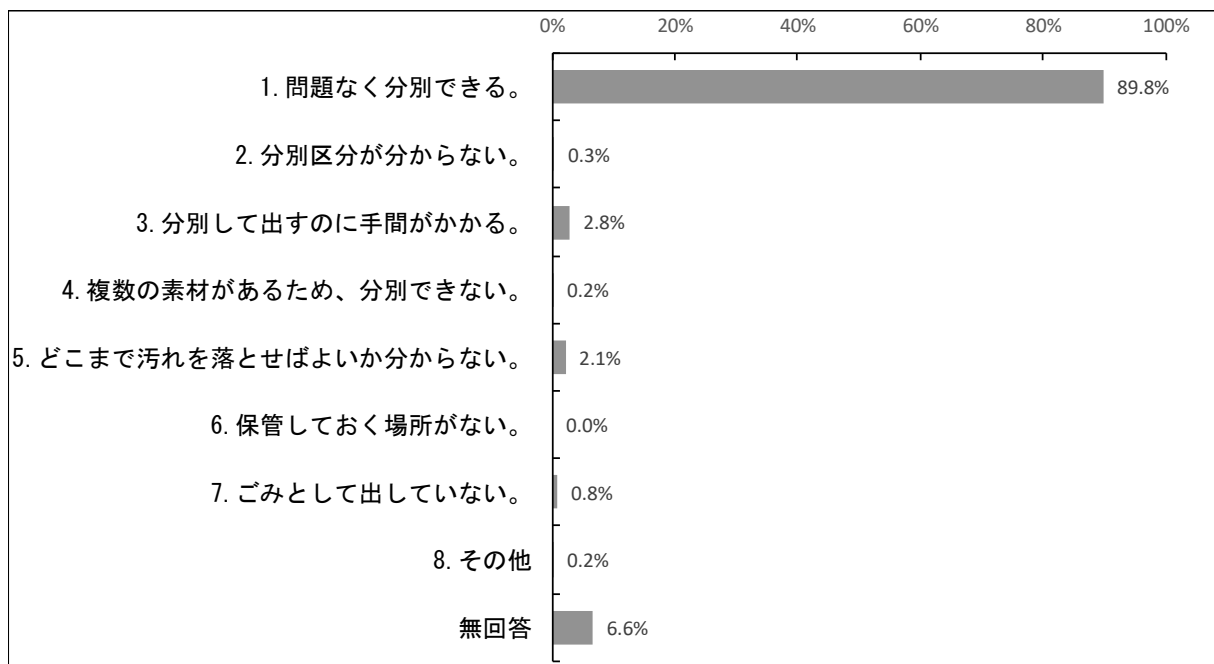


図 2.3.107 びんの分別に関する問題

(6) ペットボトル

ペットボトルの分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が89.8%と最も割合が高く、次いで「分別して出すのに手間がかかる。」が3.1%、「ごみとして出していない。」が1.3%の順であった。

表 2.3.42 ペットボトルの分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	544	89.8%
2. 分別区分が分からない。	2	0.3%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	19	3.1%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	1	0.2%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	7	1.2%
6. 保管しておく場所がない。	0	0.0%
7. ごみとして出していない。	8	1.3%
8. その他	1	0.2%
無回答	40	6.6%
合計	622	-

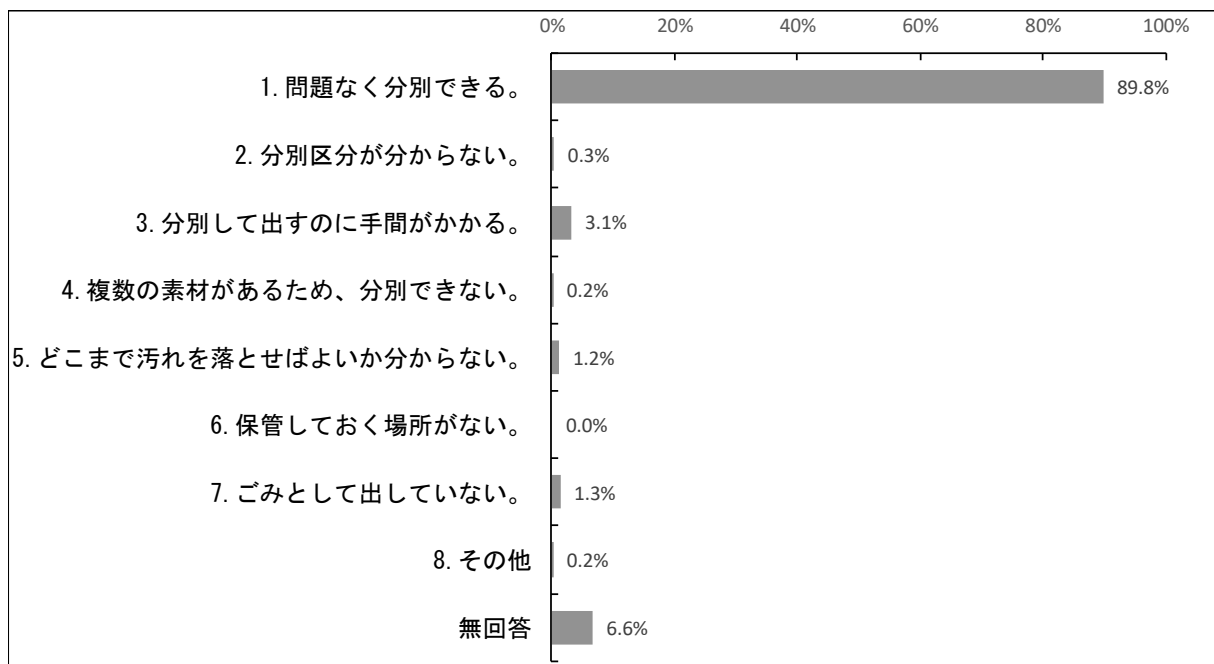


図 2.3.108 ペットボトルの分別に関する問題

(7) 食品トレー

食品トレーの分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が64.4%と最も割合が高く、次いで「分別して出すのに手間がかかる。」が16.2%、「分別区分が分からない。」が6.3%の順であった。

表 2.3.43 食品トレーの分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	390	64.4%
2. 分別区分が分からない。	38	6.3%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	98	16.2%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	9	1.5%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	31	5.1%
6. 保管しておく場所がない。	6	1.0%
7. ごみとして出していない。	14	2.3%
8. その他	7	1.2%
無回答	43	7.1%
合計	636	-

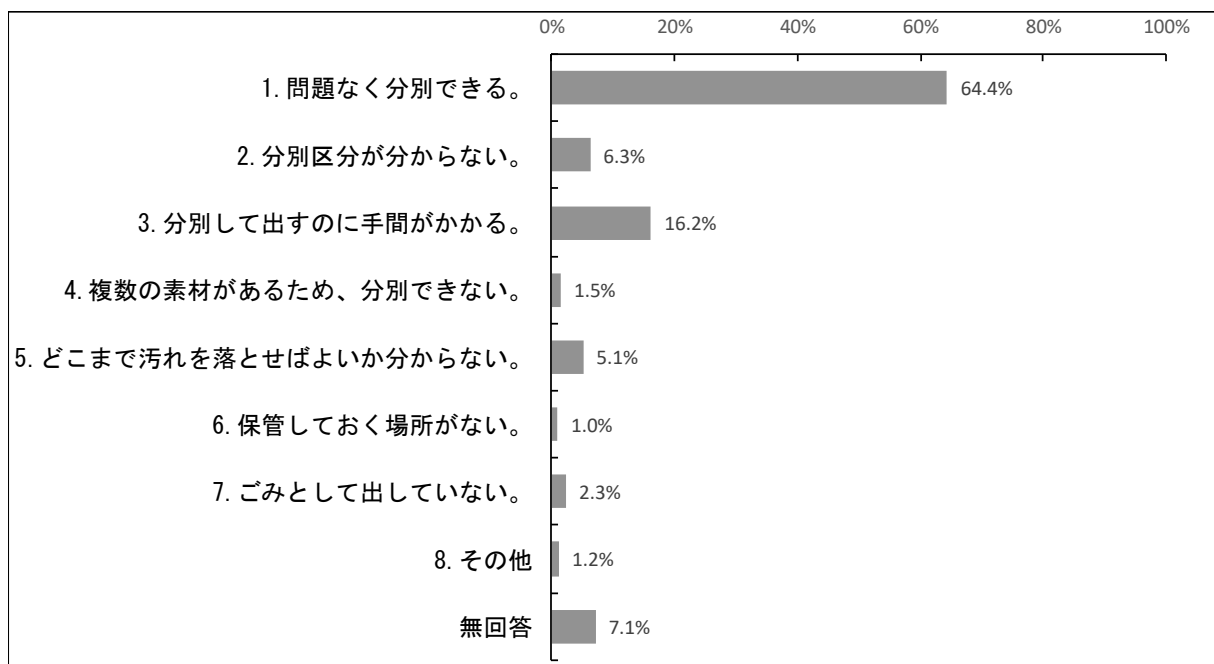


図 2.3.109 食品トレーの分別に関する問題

(8) 古布、古着

古布、古着の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が58.6%と最も割合が高く、次いで「分別区分が分からない。」が14.0%、「ごみとして出していない。」が7.3%の順であった。

表 2.3.44 古布、古着の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	355	58.6%
2. 分別区分が分からない。	85	14.0%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	26	4.3%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	17	2.8%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	7	1.2%
6. 保管しておく場所がない。	14	2.3%
7. ごみとして出していない。	44	7.3%
8. その他	15	2.5%
無回答	59	9.7%
合計	622	-

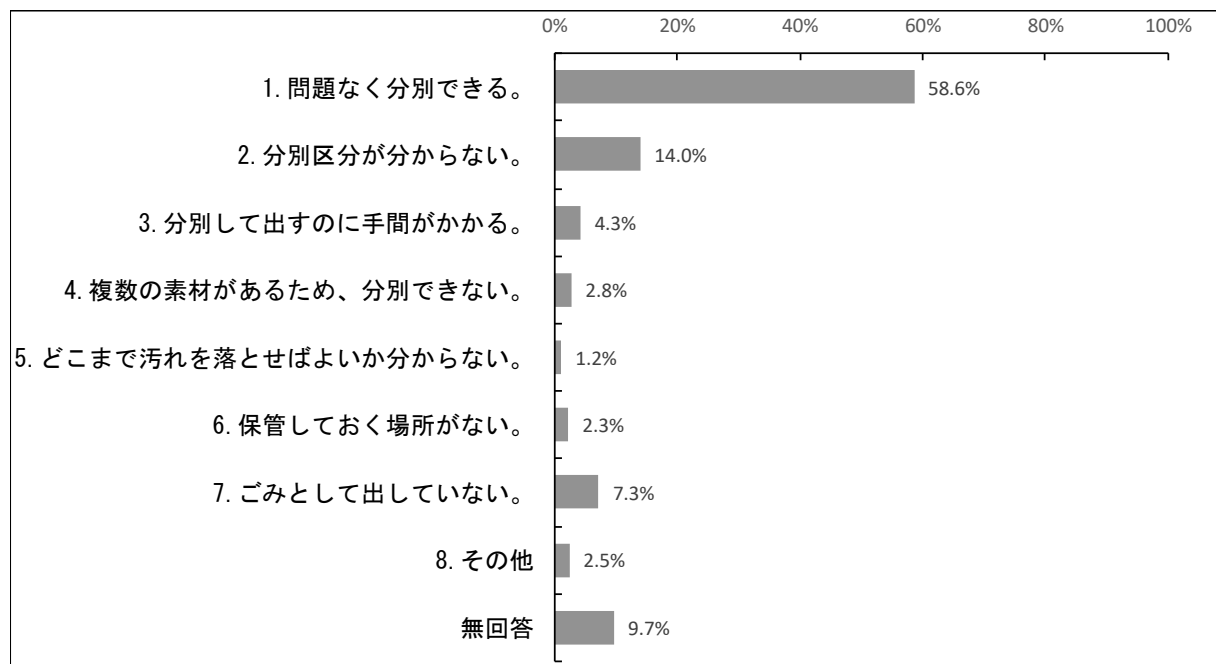


図 2.3.110 古布、古着の分別に関する問題

(9) 金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）

金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が71.5%と最も割合が高く、次いで「分別区分が分からない。」が10.9%、「ごみとして出していない。」が5.0%の順であった。

表 2.3.45 金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	433	71.5%
2. 分別区分が分からない。	66	10.9%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	6	1.0%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	15	2.5%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	1	0.2%
6. 保管しておく場所がない。	8	1.3%
7. ごみとして出していない。	30	5.0%
8. その他	5	0.8%
無回答	49	8.1%
合計	613	-

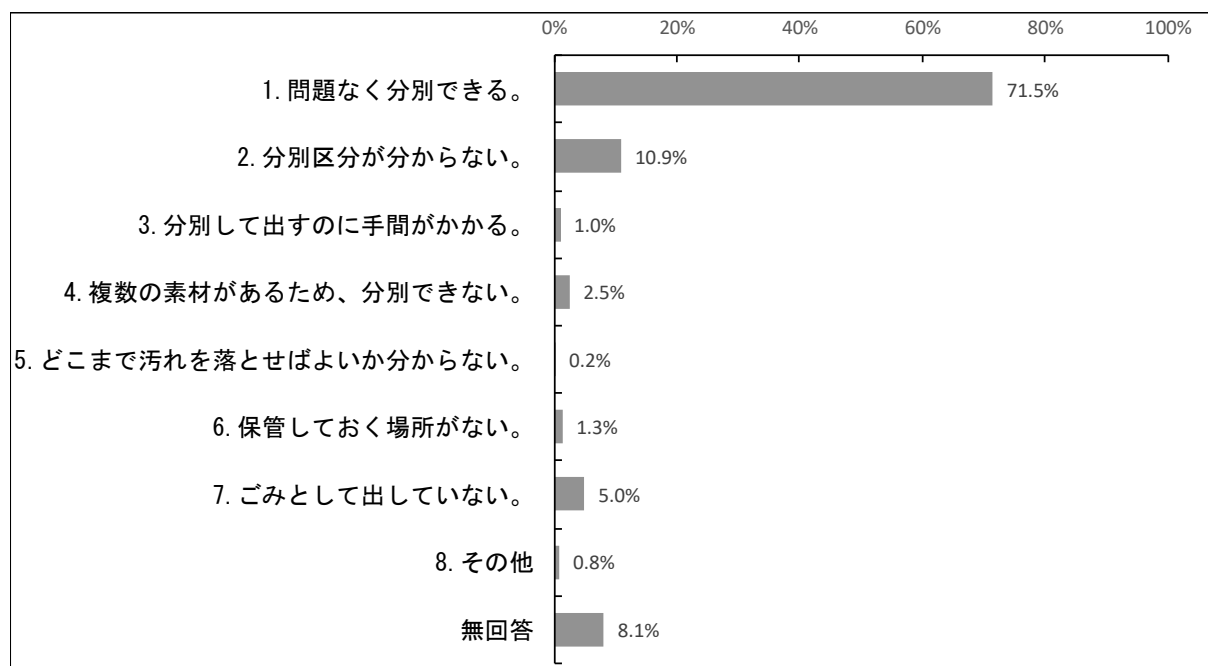


図 2.3.111 金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）の分別に関する問題

(10) 乾電池

乾電池の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が73.1%と最も割合が高く、次いで「分別区分が分からない。」が9.7%、「ごみとして出していない。」が5.6%の順であった。

表 2.3.46 乾電池の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	443	73.1%
2. 分別区分が分からない。	59	9.7%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	10	1.7%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	1	0.2%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	0	0.0%
6. 保管しておく場所がない。	6	1.0%
7. ごみとして出していない。	34	5.6%
8. その他	18	3.0%
無回答	47	7.8%
合計	618	-

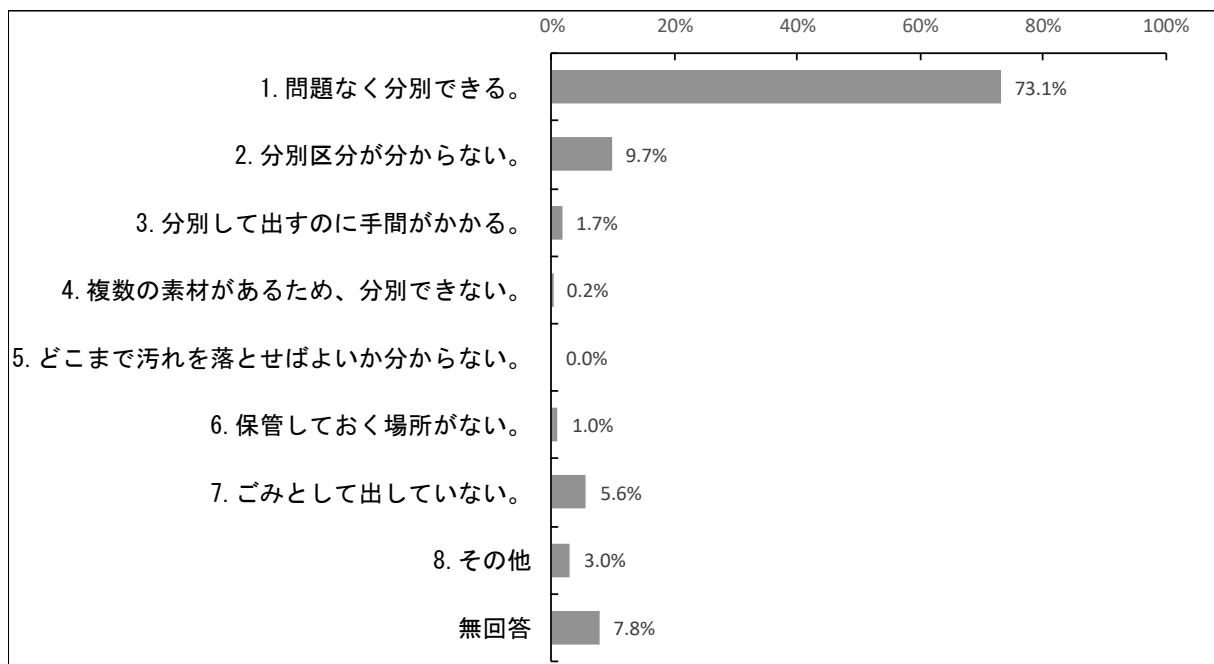


図 2.3.112 乾電池の分別に関する問題

(11) 廃食油（天ぷら油等の食用油）

廃食油（天ぷら油等の食用油）の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が45.0%と最も割合が高く、次いで「分別区分が分からない。」が14.4%、「ごみとして出していない。」が13.2%の順であり、他の項目と比較して「問題なく分別できる。」の割合が低くなっている。

表 2.3.47 廃食油（天ぷら油等の食用油）の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	273	45.0%
2. 分別区分が分からない。	87	14.4%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	47	7.8%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	2	0.3%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	5	0.8%
6. 保管しておく場所がない。	20	3.3%
7. ごみとして出していない。	80	13.2%
8. その他	38	6.3%
無回答	65	10.7%
合計	617	-

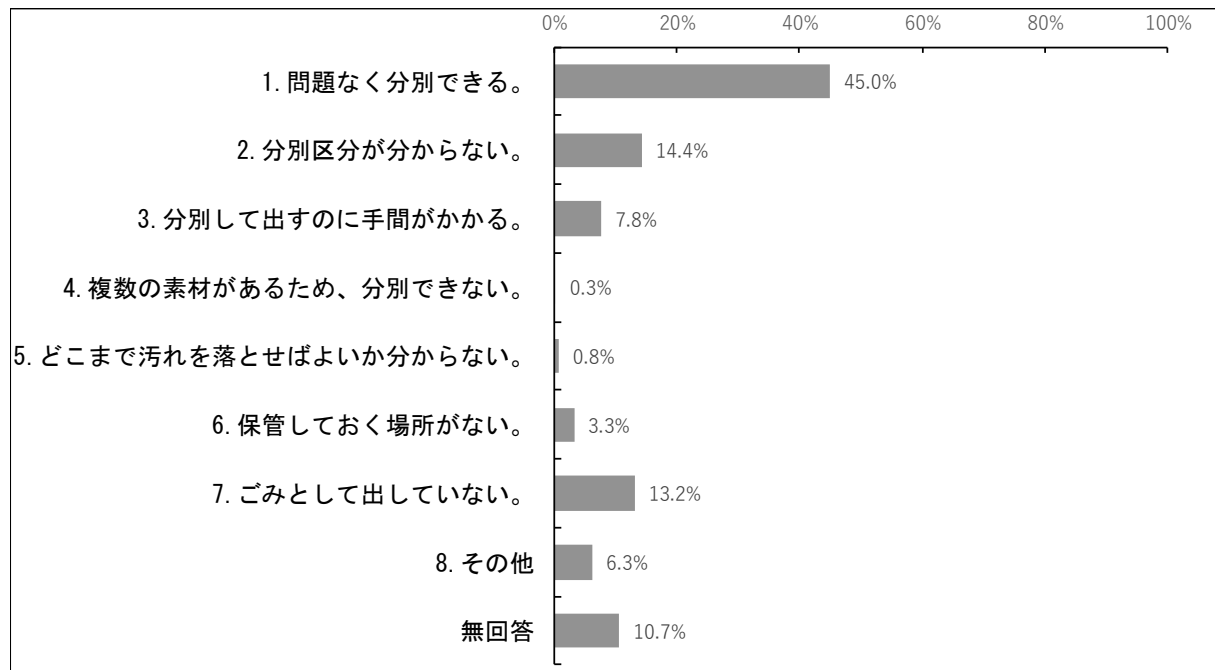


図 2.3.113 廃食油（天ぷら油等の食用油）の分別に関する問題

(12) 小型家電

小型家電の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が55.1%と最も割合が高く、次いで「分別区分が分からない。」が15.2%、「ごみとして出していない。」が13.0%の順であり、他の項目と比較して「問題なく分別できる。」の割合が低くなっている。

表 2.3.48 小型家電の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	334	55.1%
2. 分別区分が分からない。	92	15.2%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	10	1.7%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	17	2.8%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	0	0.0%
6. 保管しておく場所がない。	14	2.3%
7. ごみとして出していない。	79	13.0%
8. その他	21	3.5%
無回答	57	9.4%
合計	624	-

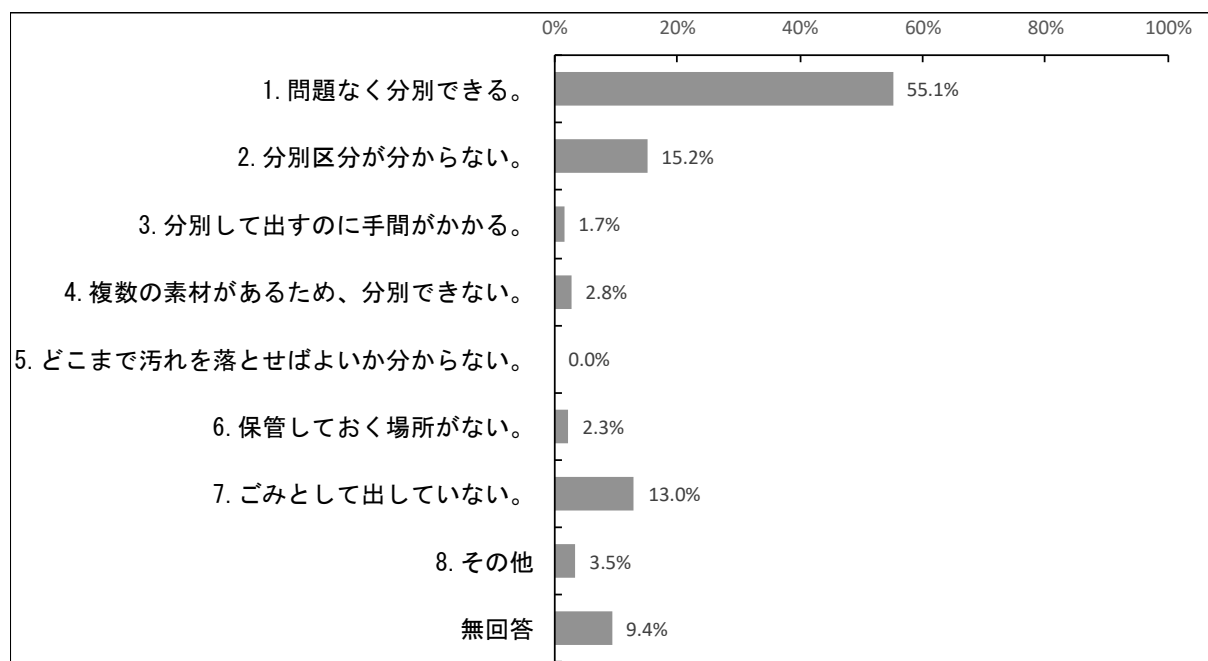


図 2.3.114 小型家電の分別に関する問題

(13) 粗大ごみ

粗大ごみの分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が70.6%と最も割合が高く、次いで「ごみとして出していない。」が8.3%、「分別区分が分からない。」が5.4%の順であった。

表 2.3.49 粗大ごみの分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	428	70.6%
2. 分別区分が分からない。	33	5.4%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	17	2.8%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	5	0.8%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	1	0.2%
6. 保管しておく場所がない。	19	3.1%
7. ごみとして出していない。	50	8.3%
8. その他	16	2.6%
無回答	50	8.3%
合計	619	-

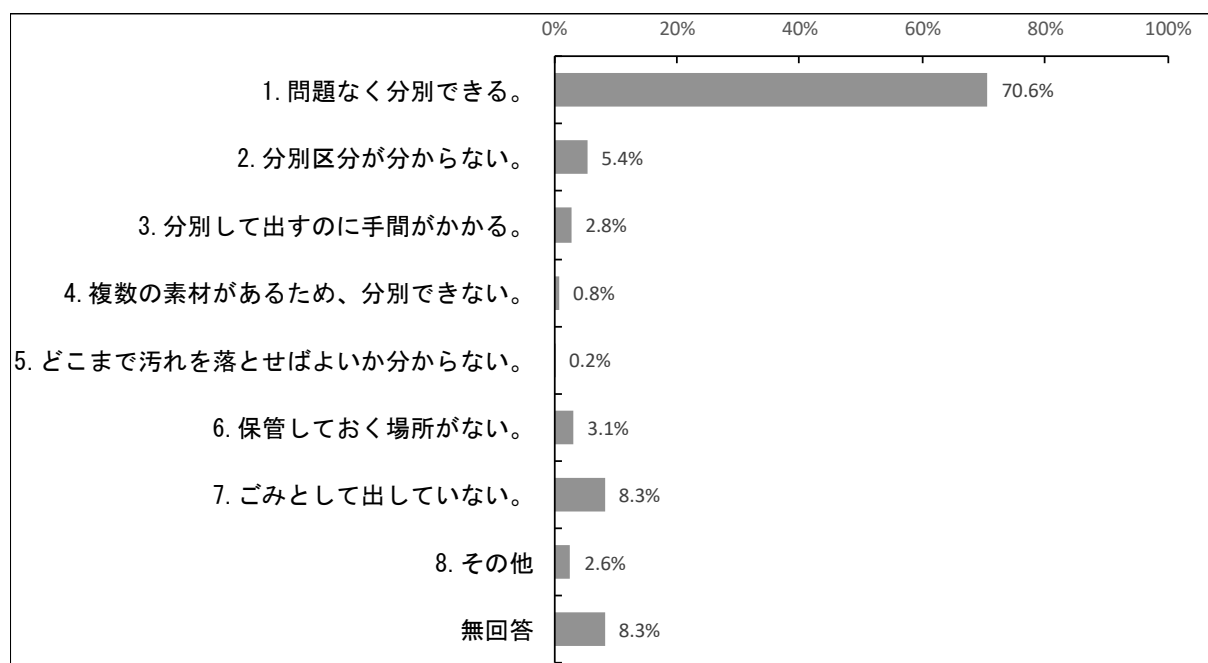


図 2.3.115 粗大ごみの分別に関する問題

(14) 家電リサイクル法対象品

家電リサイクル法対象品の分別に関する問題についてみると、「問題なく分別できる。」が59.1%と最も割合が高く、次いで「ごみとして出していない。」が16.2%、「その他」が5.6%の順であり、他の項目と比較して「問題なく分別できる。」の割合が低くなっている。

「その他」の回答としては、「新しい家電の購入時に引き取ってもらう」等の回答がみられた。

表 2.3.50 家電リサイクル法対象品の分別に関する問題

項目	回答数	割合
1. 問題なく分別できる。	358	59.1%
2. 分別区分が分からない。	32	5.3%
3. 分別して出すのに手間がかかる。	10	1.7%
4. 複数の素材があるため、分別できない。	3	0.5%
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。	1	0.2%
6. 保管しておく場所がない。	17	2.8%
7. ごみとして出していない。	98	16.2%
8. その他	34	5.6%
無回答	65	10.7%
合計	618	-

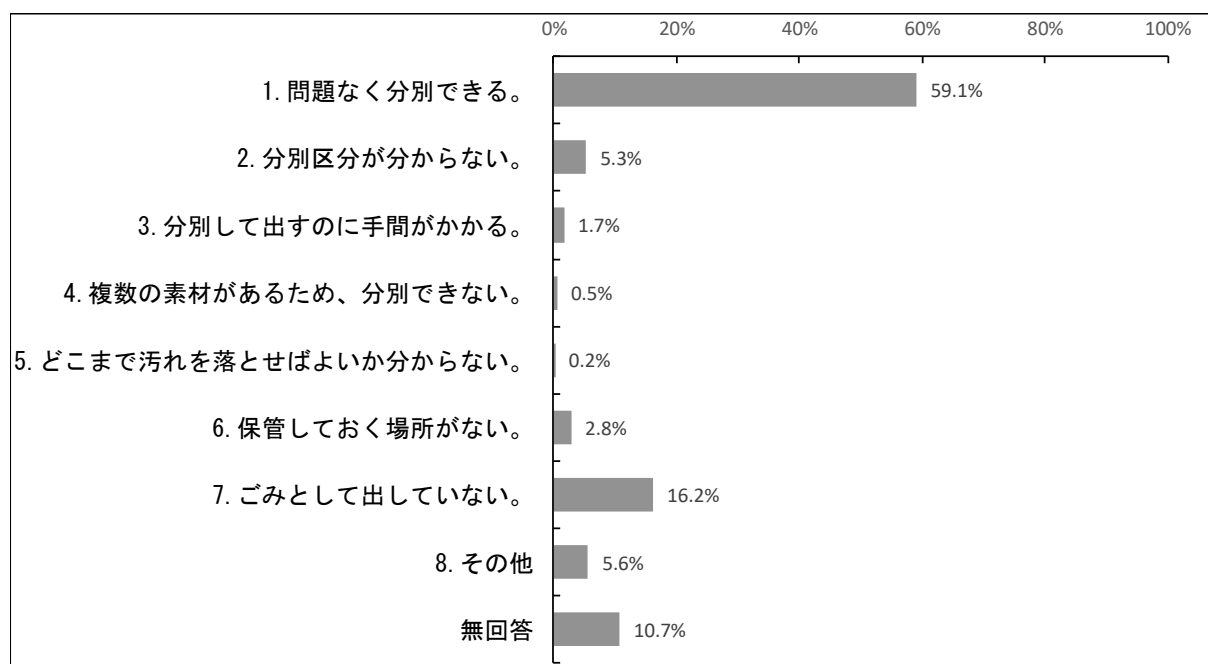


図 2.3.116 家電リサイクル法対象品の分別に関する問題

2.3.13 問12 区のごみ、資源物収集頻度に関する満足度

(1) 燃やすごみ

区の燃やすごみの収集頻度に関する満足度についてみると、「満足していますか」という質問に対して、「そう思う。」が74.3%と最も割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う。」が12.9%、「どちらかといえばそう思わない。」が3.0%、「どちらかといえばそう思わない。」が3.0%の順であった。

表 2.3.51 区の燃やすごみの収集頻度に関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	450	74.3%
2.どちらかといえばそう思う。	78	12.9%
3.どちらかといえばそう思わない。	18	3.0%
4.そう思わない。	10	1.7%
5.分からない。	8	1.3%
無回答	42	6.9%
合計	606	100%

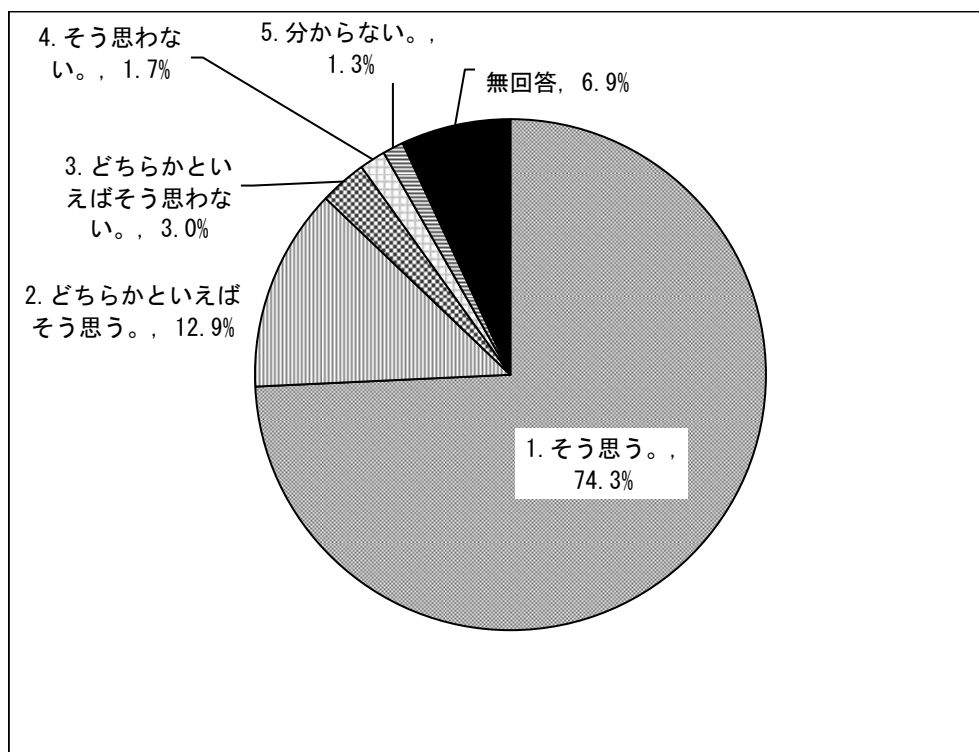


図 2.3.117 区の燃やすごみの収集頻度に関する満足度

(2) 燃やさないごみ

区の燃やさないごみの収集頻度に関する満足度についてみると、「満足していますか」という質問に対して、「そう思う。」が66.3%と最も割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う。」が17.8%、「どちらかといえばそう思わない。」が3.8%の順であった。

表 2.3.52 区の燃やさないごみの収集頻度に関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	402	66.3%
2.どちらかといえばそう思う。	108	17.8%
3.どちらかといえばそう思わない。	23	3.8%
4.そう思わない。	10	1.7%
5.分からない。	19	3.1%
無回答	44	7.3%
合計	606	100%

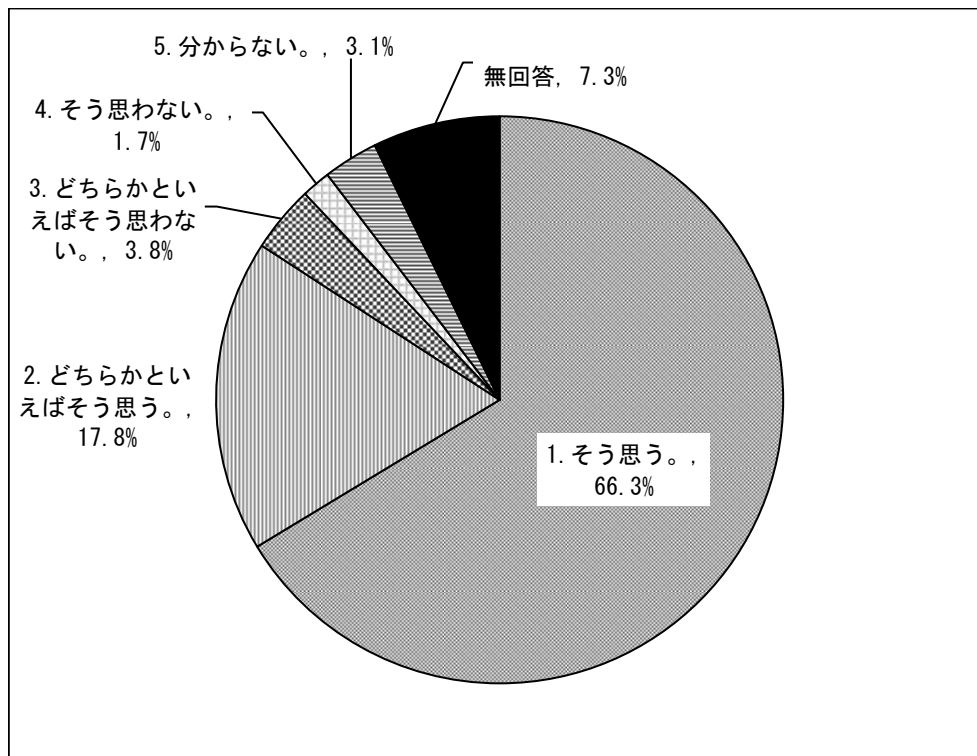


図 2.3.118 区の燃やさないごみの収集頻度に関する満足度

(3) 資源物

区の資源物の収集頻度に関する満足度についてみると、「満足していますか」という質問に対して、「そう思う。」が66.3%と最も割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う。」が16.8%、「どちらかといえばそう思わない。」が4.1%の順であった。

表 2.3.53 区の資源物の収集頻度に関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	402	66.3%
2.どちらかといえばそう思う。	102	16.8%
3.どちらかといえばそう思わない。	25	4.1%
4.そう思わない。	14	2.3%
5.分からない。	22	3.6%
無回答	41	6.8%
合計	606	100%

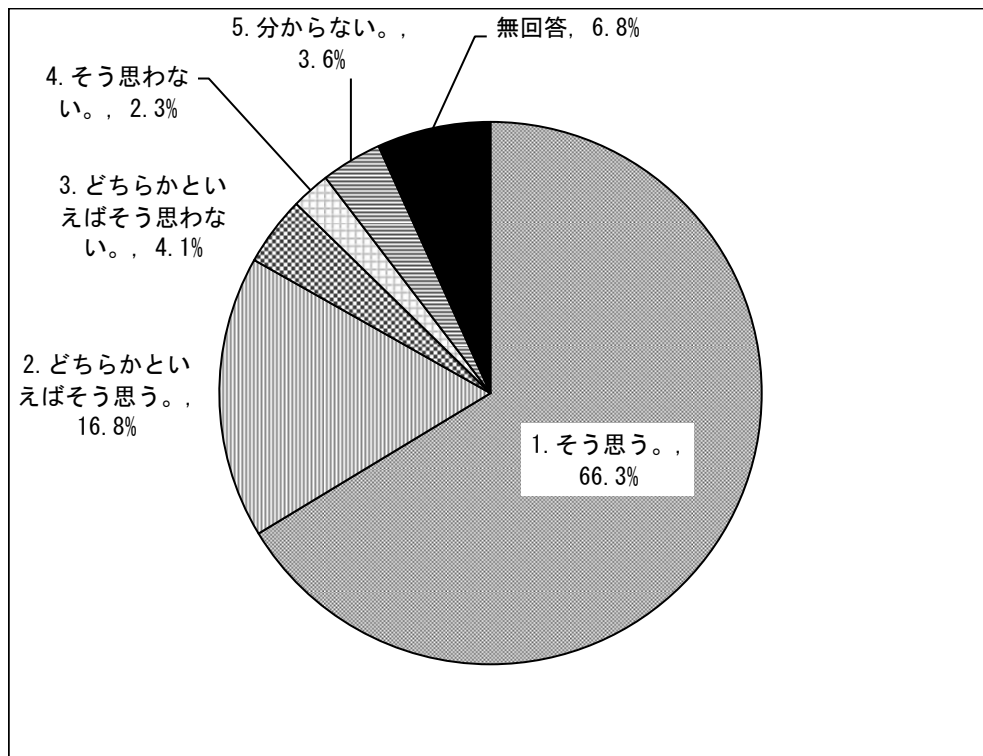


図 2.3.119 区の資源物の収集頻度に関する満足度

(4) 粗大ごみ

区の粗大ごみの収集に関する満足度についてみると、「満足していますか」という質問に対して、「そう思う。」が49.8%と最も割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う。」が19.6%、「分からない。」が9.2%の順であった。

表 2.3.54 区の粗大ごみの収集に関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	302	49.8%
2.どちらかといえばそう思う。	119	19.6%
3.どちらかといえばそう思わない。	44	7.3%
4.そう思わない。	38	6.3%
5.分からない。	56	9.2%
無回答	47	7.8%
合計	606	100%

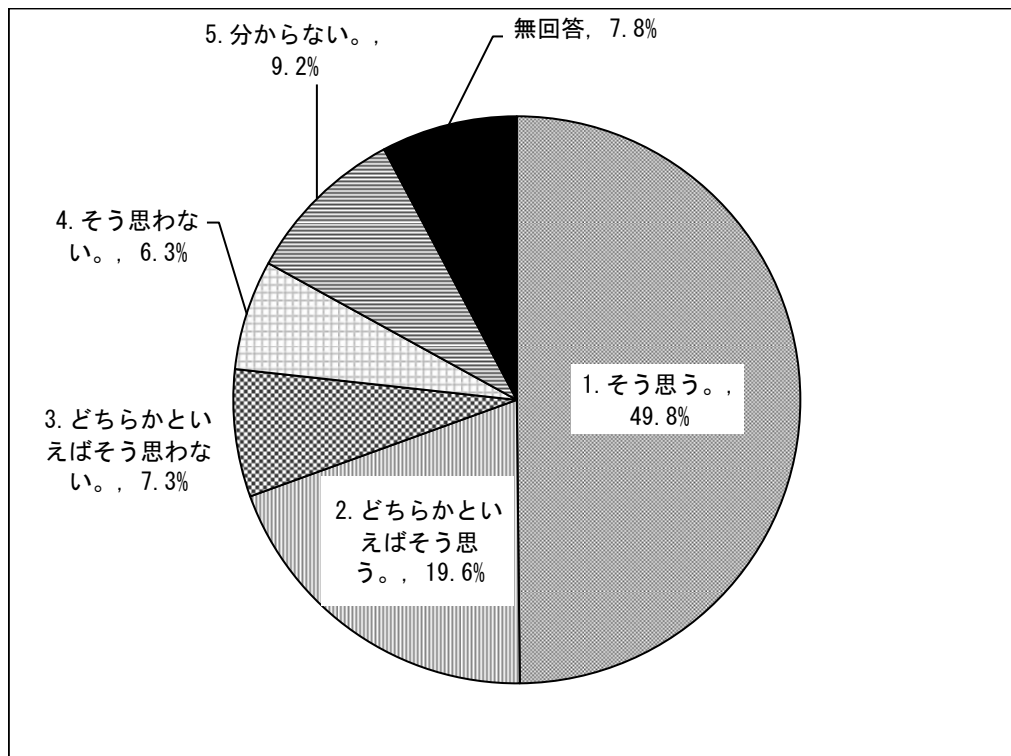


図 2.3.120 区の粗大ごみの収集に関する満足度

2.3.14 問13 区の施策に関する満足度

区の施策に関する満足度についてみると、「満足していますか」という質問に対して、「どちらかといえばそう思う。」が35.8%と最も割合が高く、次いで「分からない。」が32.5%、「そう思う。」が19.1%の順であり、「分からない。」の割合が他の満足度の項目と比較して高くなっている。

表 2.3.55 区の施策に関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	116	19.1%
2.どちらかといえばそう思う。	217	35.8%
3.どちらかといえばそう思わない。	33	5.4%
4.そう思わない。	18	3.0%
5.分からない。	197	32.5%
無回答	25	4.1%
合計	606	100%

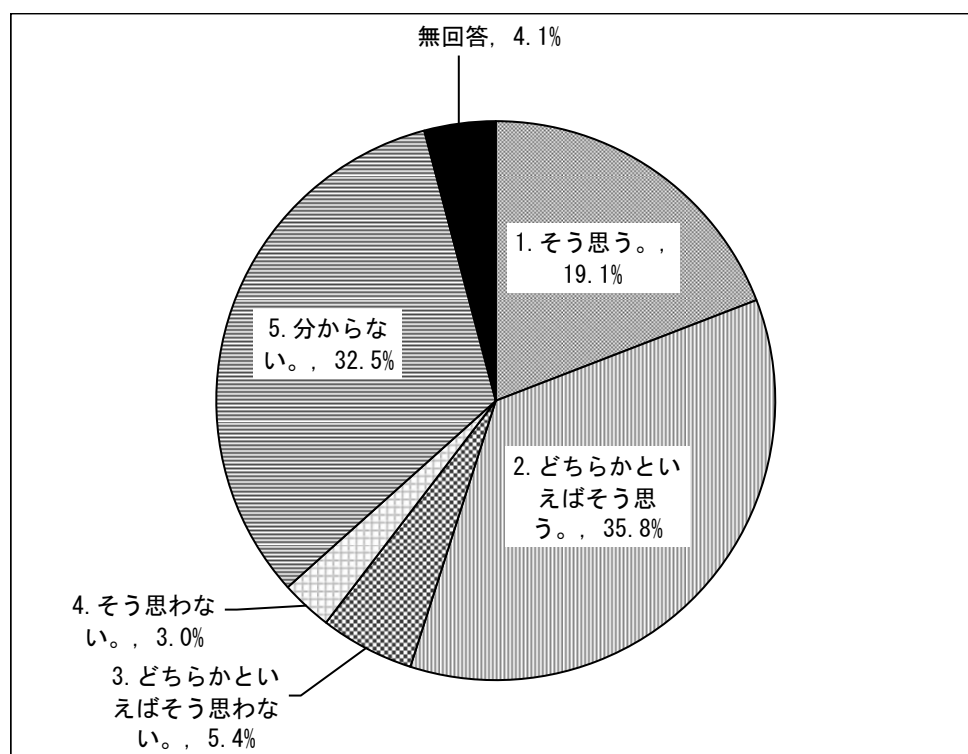


図 2.3.121 区の施策に関する満足度

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.122～図 2.3.126 に示す。

年代が上がるほど「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」とする回答者が多くなっている。一方、20代、30代では「分からない。」の割合が45%以上となっている。

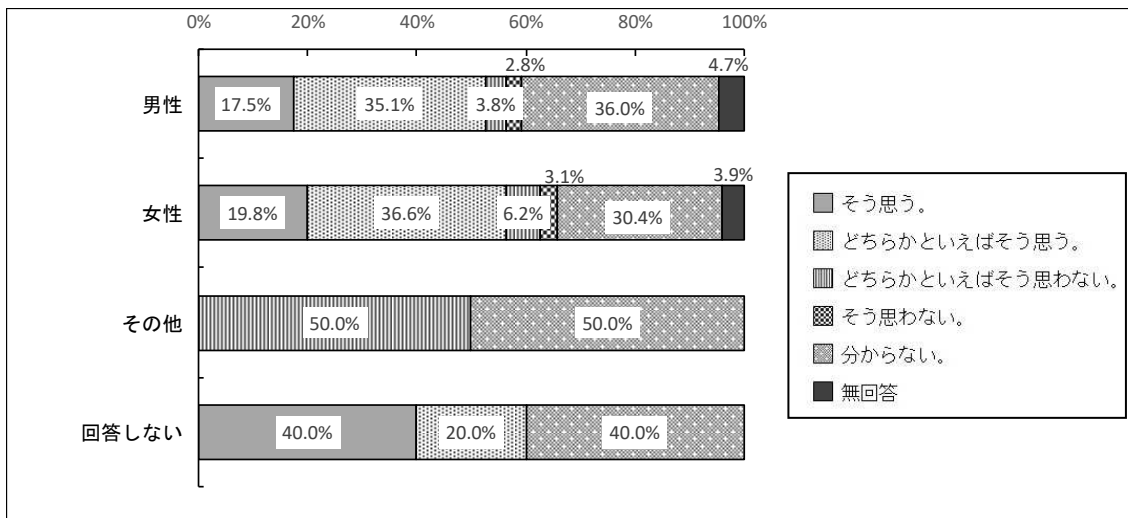


図 2.3.122 区の施策に関する満足度（性別）

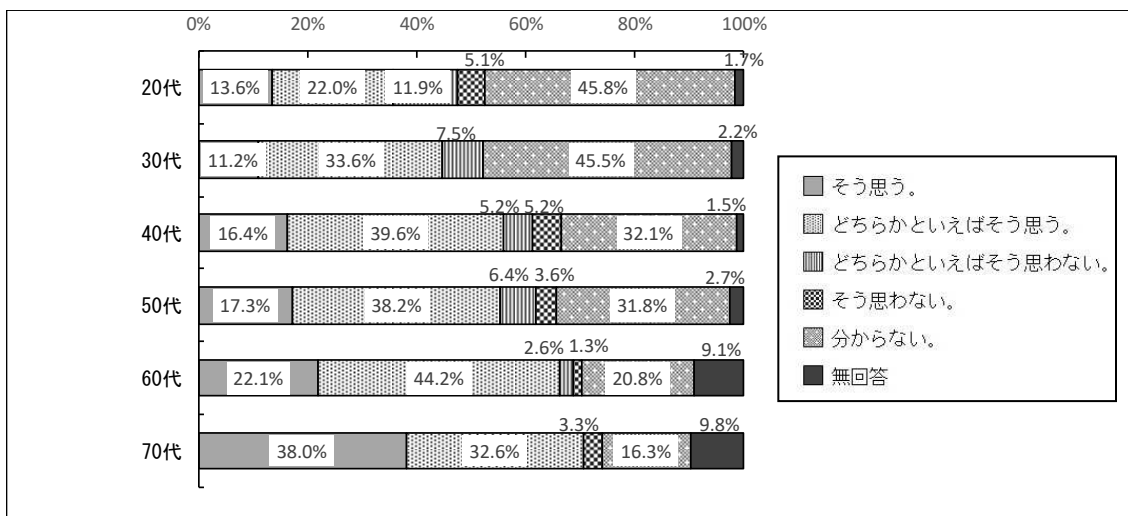


図 2.3.123 区の施策に関する満足度（年代別）

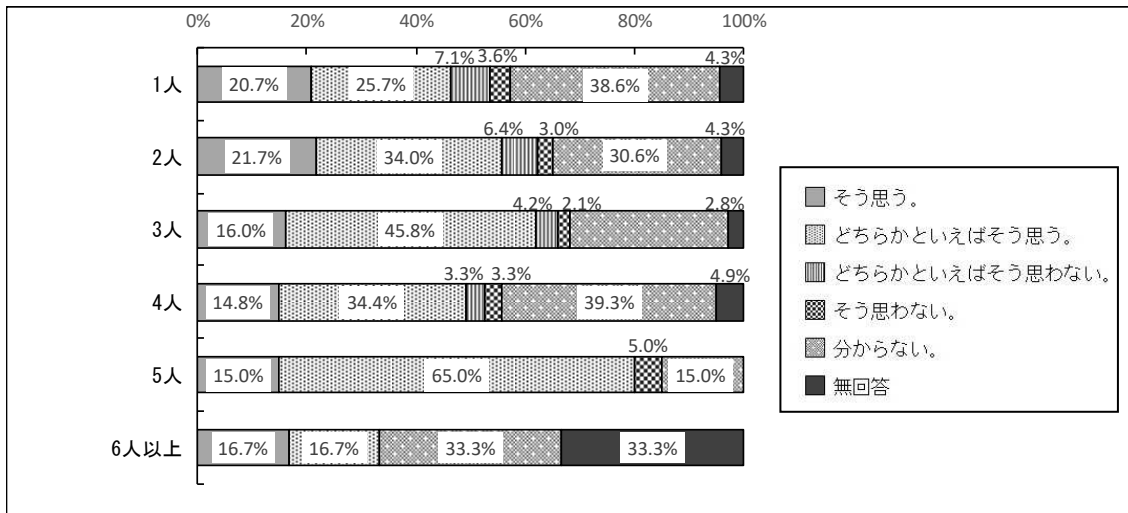


図 2.3.124 区の施策に関する満足度（世帯人数別）

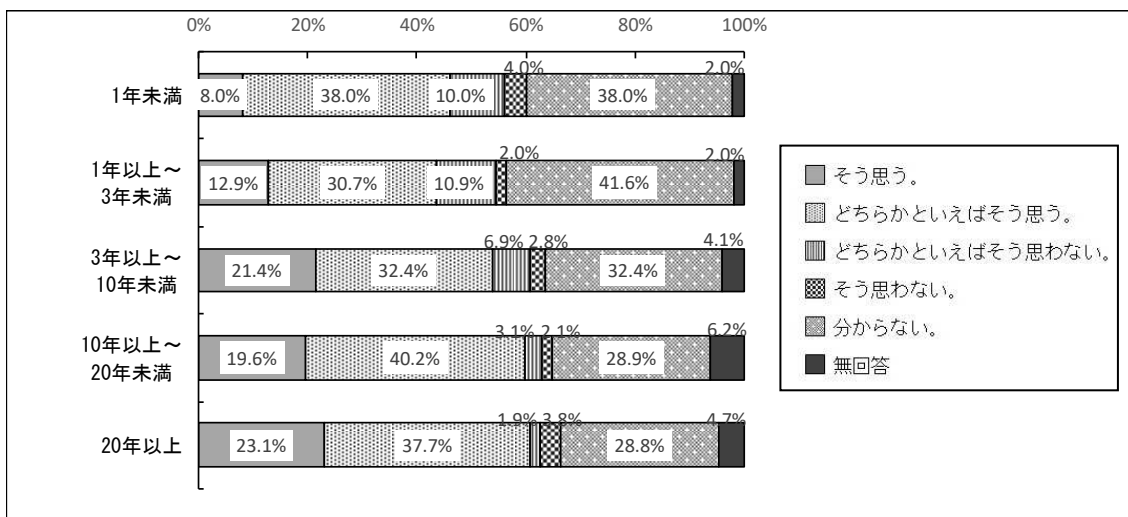


図 2.3.125 区の施策に関する満足度（居住年数別）

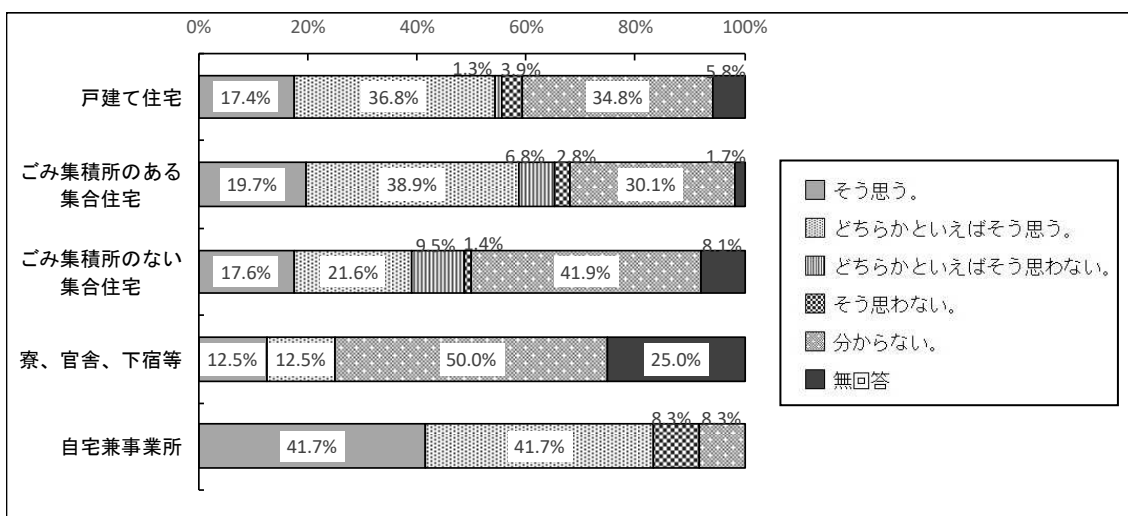


図 2.3.126 区の施策に関する満足度（居住形態別）

2.3.15 問14 区の清潔さに関する満足度

区の清潔さに関する満足度についてみると、「満足していますか」という質問に対して、「どちらかといえばそう思う。」が47.7%と最も割合が高く、次いで「そう思う。」が25.6%、「どちらかといえばそう思わない。」が9.6%の順であった。

表 2.3.56 区の清潔さに関する満足度

項目	回答数	割合
1.そう思う。	155	25.6%
2.どちらかといえばそう思う。	289	47.7%
3.どちらかといえばそう思わない。	58	9.6%
4.そう思わない。	51	8.4%
5.分からない。	30	5.0%
無回答	23	3.8%
合計	606	100%

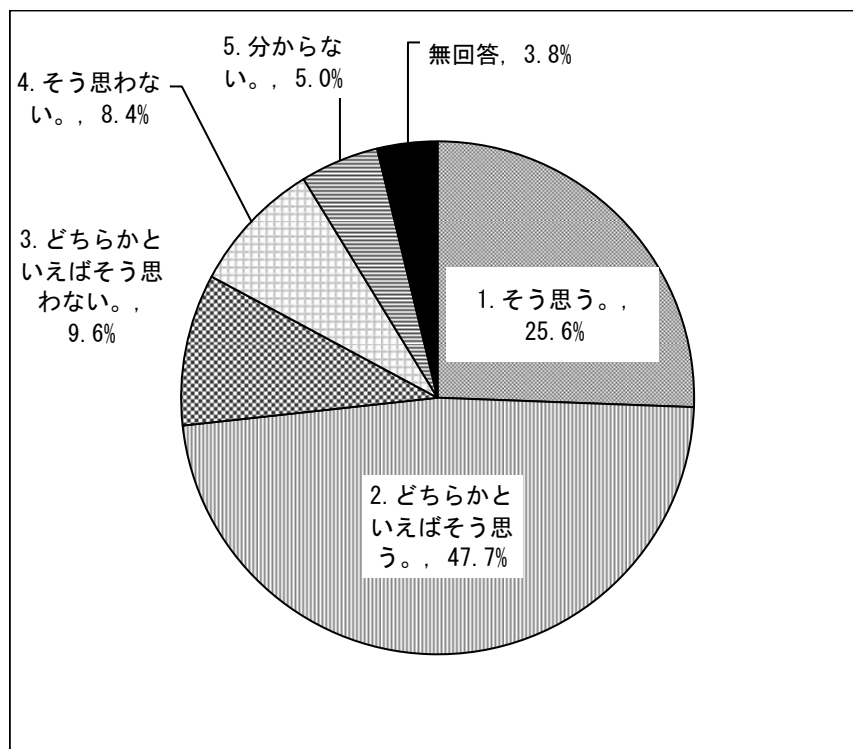


図 2.3.127 区の清潔さに関する満足度

【クロス集計結果】

属性別に集計した結果を図 2.3.128～図 2.3.132 に示す。

「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」とする回答者の割合が最も多いのは 40 代であった。

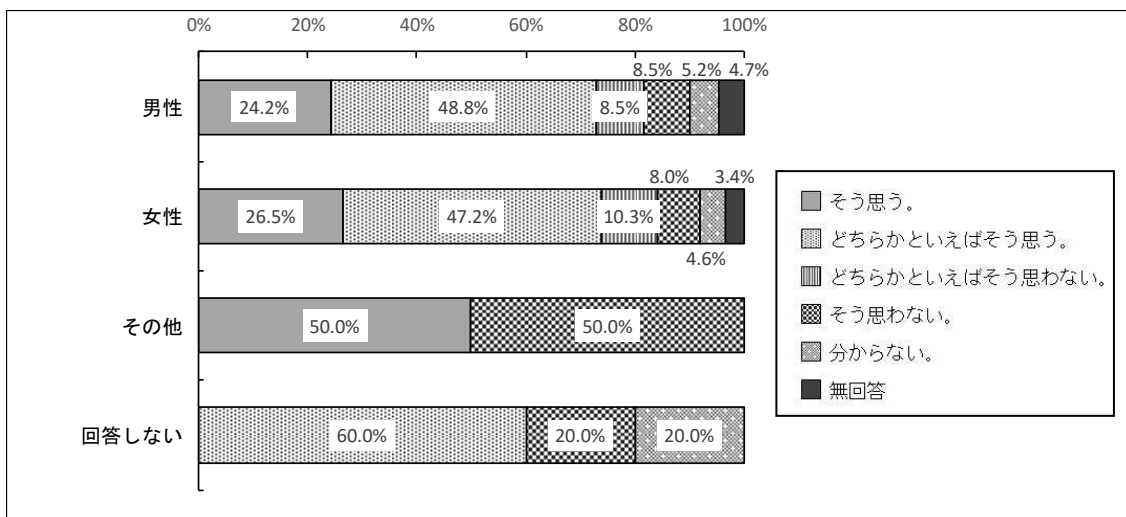


図 2.3.128 区の清潔さに関する満足度（性別）

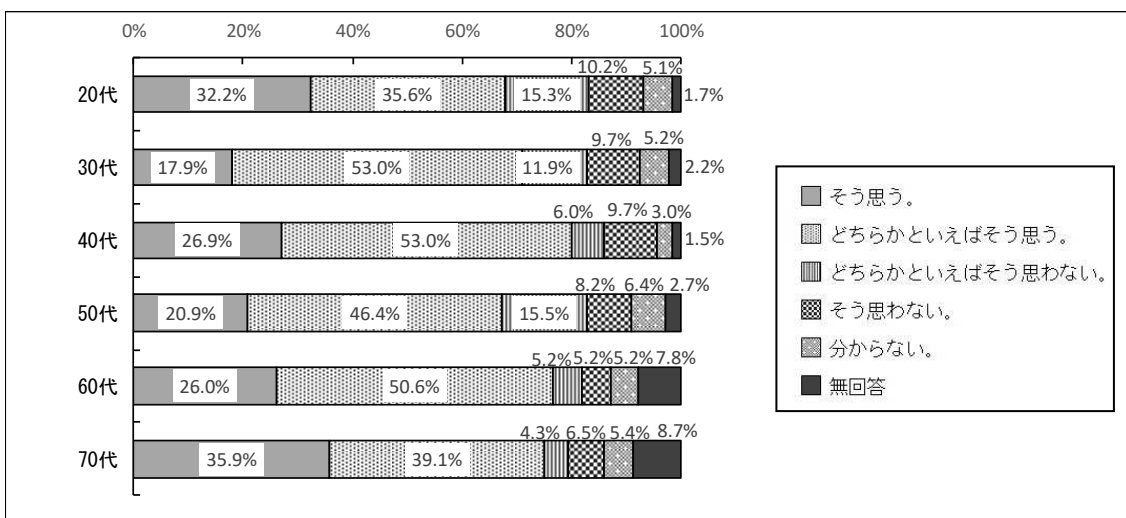


図 2.3.129 区の清潔さに関する満足度（年代別）

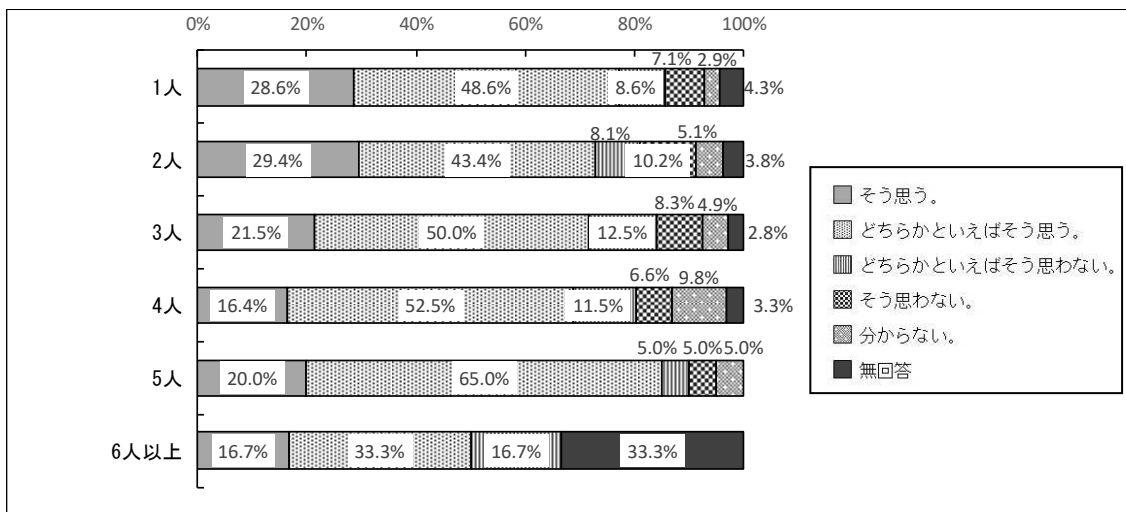


図 2.3.130 区の清潔さに関する満足度（世帯人数別）

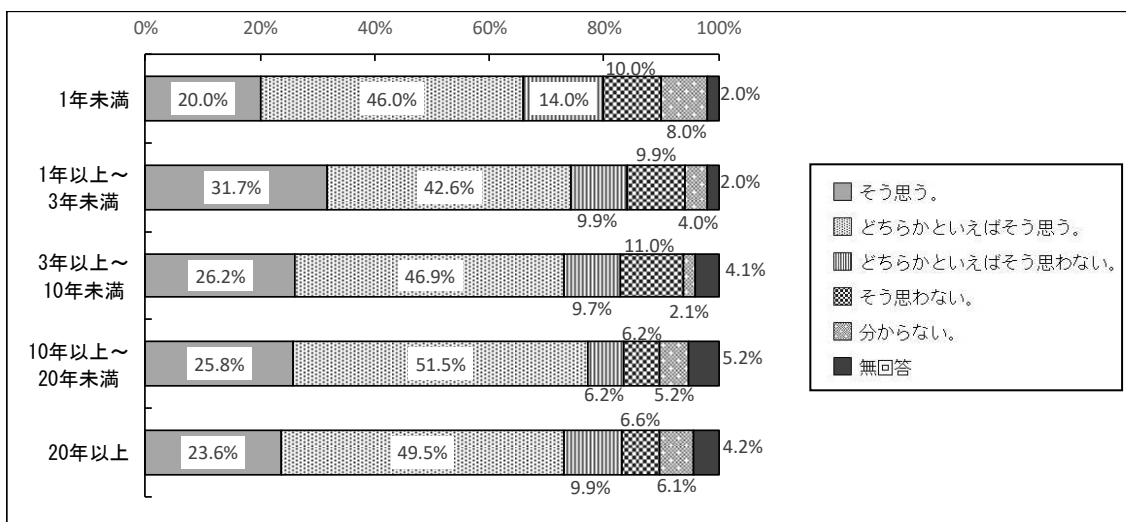


図 2.3.131 区の清潔さに関する満足度（居住年数別）

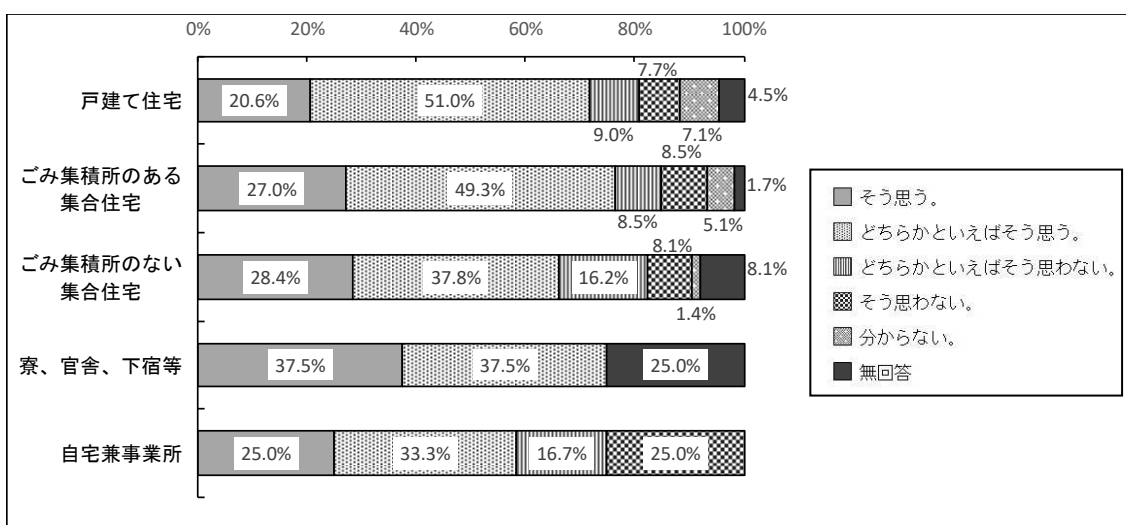


図 2.3.132 区の清潔さに関する満足度（居住形態別）

2.3.16 問 15 自由意見

自由意見について、記載内容を整理し、「(1) 区のごみ処理に対する意見」、「(2) 周辺環境に関する意見」、「(3) 店舗・企業に対しての意見」、「(4) 区のごみ処理に対する謝礼」、「(5) その他」に分類した。

また、「(1) 区のごみ処理に対する意見」については、内容によってさらに詳細な分類を行った。なお、明らかな誤字以外は、原文のまま掲載している。

(1) 区のごみ処理に対する意見

ア) 燃やすごみ、燃やさないごみの収集回数・体制・制度についての意見

- クリーンセンターの利便性の向上を求めます。物を持ち込めば（殆ど全て）受け取って頂けるなど。
- 昼過ぎ頃まで回収をしていないと、やはり気になる。ずっとごみが置いてあるには、火曜、金曜週 2 回あるので、収集場所ごみと回収同じくらいもう少し早い時間に回収していただけるとありがたいです。
- 燃えないゴミの回収日が少なく、出せない。
- 燃やすごみの収集日が水・土曜日なので、土日のごみが一番多く、水曜日までたいへん多くなってしまいます。月・木に変えてほしい。土曜日朝早くに集収にくるので、せつかくの休みの日に朝からいそがしいので遅い時間にしてほしい。水曜日は昼すぎにくるのに、すぐ近くの集収場所は土曜日が昼すぎだったりなので日にちを変更できないのであれば時間を年に何回かかえたりとかのくふうをしてほしいです。同じ区内でも他の日だったりもあるので不公平です。
- 燃やすごみが週に 2 回でなく 3 回にしてもらいたいです。
- 有料と一般の区分をもう少しはっきりしたほうがいいと思います。
- ベランダガーデニングやベランダ菜園をした際に土の処理にいつも困るので区で回収していただけると助かります。

イ) 資源物の収集回数・体制・制度についての意見

- 乾電池や廃油の廃棄が難（場所や回数が少ない）
- 古紙の回収をしているところを増やしてほしいです。
- イベント回収の頻度を増やしてほしい。
- 自分はずっと細かく分けたくてもマンションがやっていない。
- ペットボトルのキャップや牛乳パックや乾電池を資源物の日に回収箱（袋）があればいいと思います。
- 洋服のゴミなども、回収（資源の時）願いたいです。週 1or 月 2 ぐらいあると助かります。
- スーパーの店頭などに持参するのは手間がかかります。
- 着られなくなった服のリサイクルを区でやっているとお聞きしました。今後利用しようと思います。

ウ) プラスチックごみについての意見

- プラスチック製の物や、ビニール製の物、くつやかばんなども「燃やすごみ」に入っていてとても迷う。もう少し制限を作った方がいいのかとも思う。
- プラは分別した方が良くと思います。
- 燃やすごみとして収集されているプラスチック類は現在の方法を継続してほしい。
- プラスチックごみを分けるようになると、ゴミ置場にそのコーナーなどを増やさなくてはいけない。家でもゴミ箱の数が増えるのでできれば分けてほしくない。負担がかなり増える。
- プラごみの分別は可能なので、回収体制を整えて欲しい。
- 燃やすごみの対象プラスチック製品が多すぎる気がします。燃やしても問題がないからなのか。なるべく協力したいので、ペットボトルキャップ等は商業施設等の回収 BOX 等を利用するようにしています。
- 資源物の種類が増えたらもっと積極的に協力したいと思います。(プラやペットボトルキャップ回収など)
- プラスチックごみが多すぎる。スーパーなどの販売の仕方を何とかできないか。

エ) 粗大ごみの収集回数・体制・制度についての意見

- 粗大ごみは有料で構わないですが、巡回車を定期的にいただければさいわいです。
- 粗大ごみシールの運用を見直して欲しい。ネット購入・回収時の持込みなど。
- 粗大ごみの申し込みにおいて、粗大ごみの対象になる品物の一覧をもう少し細分化してほしい。
- 粗大ごみを出すのに名前をシールに記入しなくてはいけないのは、個人情報的に好ましくない。
- 粗大ごみの予約から引取りまでの時間がかかりすぎる。
- 粗大ごみの指定日がかなり先の日しか指定できない。
- 大型のゴミに関しては、いつでも持っていけて(現地で待ってもよいので)予約しなくても持ち込めば良しとなれば、良いと思います。
- 墨田の持ち込み処理は予約が必要だが、実施される日までが長いし、いつでも持ち込める体制にすべきで「ゴミ券」も公の場で購入出来るスピード感が必要と考える。
- 大きな粗大ごみ(家具や家電)の廃棄時に、マンション一階まで運ぶことができない。安価でのサービスを提供していただきたい。
- かさやちょっと大きなフライパンのように、ちょっと大きいだけで粗大ごみになってしまうものを捨てるのがとても面倒。対処法が欲しい。

オ) ごみ集積所に関する意見

- 燃やすごみが道路に広がってしまい、通行の邪魔になってしまうことが懸念されます。
- 乾電池の回収ボックスがあったら便利だと思います。
- ビン、カン回収のコンテナが汚い。
- ネットを利用してない場所もあるため猫やカラスの被害が気になる。

- ごみ置き場がいつも荒れている所が複数ある。指導して欲しい。
- ごみ置き場の改築などでも多大な費用がかかっている。区の方で助成金を支給していただくなど、考えていただけると助かる。
- ゴミ集積所がない戸建、マンションでも利用できるゴミコンテナを設置してほしい。24時間出せるように。
- 近所の同じ集積所にゴミをだす住人の中に、集収日、内容物について全くルールを守らないで好き勝手に出す人がいる（同一人物かも）
- 近くの工事現場の人が、お弁当のカラをペットボトルと一緒にコンビニ袋に入れて、ゴミ置き場に何人もおいていく。
- マンションの住民にゴミ出しマナーが非常に悪い者がおり、迷惑に感じることもある。部屋番表示制にしても良いと思う。（マナーの悪い人（部屋）は指導、アドバイスを行うなど）
- 近所の人じゃない人がゴミを捨てに来る事がある。
- 通りすがりの人が集積所にゴミや缶などを捨てていくので困っています。

カ) 拠点回収に関する意見

- 乾電池の回収拠点がとおい。駅や販売店、デパートなどにも置いてほしい。
- ペットボトルキャップや食品トレーについては、近くのスーパーで資源として回収されており、時間があれば持参しています。
- 拠点回収として墨田区役所を利用している。案内図を見ても、回収場所が見つけれなかったの、記載(あるいは分かりやすく)してほしい。
- 鍋や古着等の拠点回収場所に駐車場がないのにどうやって持っていくのか。

キ) 啓発・広報についての意見

- 資源物の回収について、よごれたまま、中身の入ったままのビン・缶、ペットボトルなどそのまま出ている。知らないのか出し方が徹底されていない。学校で教えるとか、転入して来た家庭に指導するとか、1回は必ずゴミの分別方法を教えるようにしてほしい。
- 資源物の持ち去り、指定日以外の置き去りがどれだけの迷惑をかけているのかもっとわからせる必要がある。犯罪として徹底するべき。「だめですよ。」などの文章はもはや役に立っていない。
- 飲食店のゴミは匂うので、バケツに入れるなどの喚起をしてほしい。朝から通勤時に匂ってくると不快です。
- 資源物収集してくれるのは助かるが、容器など洗っていない人もいるので分別や洗い方、どこまで洗うかなどもわかりやすく知らせておくのはどうか。
- アンケートをみて知らなかったことも多かった（チャットボット、3R やエコストア）広報の方法があまりよくないのでは？と思った。
- 墨田区に引越してきた時にもらった分別パンフレットしか情報がない。時々何ゴミかがわからないものがあつた時はネット検索するが、イマイチ内容がわかりにくい。
- 墨田区の施策がわからないため、施策について教えてもらう場所が欲しい。

- 紙袋とか資源物になるのを最近知った。HP でしっかり周知してほしい。フードドライブ、エコストアも同じ。駅とかチラシおけばいいのに。
- 墨田区としてゴミに対する施策を行っている事をこのアンケートで始めて知った。協力できる事はしていこうと思う。
- 粗大ごみの分類表が少しわかりにくいです。もっと細かいとありがたいです。
- 私も基本的なことは分かっているつもりでしたが、このアンケートに答えに迷う点もあり、さっそく「すみにゃーる」にアクセスし、再度ゴミのことを知り、もっと協力できるようにしていきたいと思いました。
- 資源物の集積所回収について、回収された資源物がどのようにリサイクルされているか、何に生まれ変わるのか情報が欲しいです。
- 雑紙回収もどうやって出したらいいのか、詳しくわかりやすく、パンフレットで配布してほしいです。
- すでに行われているかもしれませんが、SNS (Twitter や LINE) や YouTube などを通じて案内したものがあるといいと思いました。
- あえて区の HP や冊子を見る機会はないので、SNS 等で若者にも分かりやすく取り組みを発信しても良いと思います。
- 何でもホームページって？パソコンやらない人にはぜんぜんわからない。世の中パソコンをやる人ばかりではない。
- 便利な施策が出来た時はマンションに張り紙してほしい。ゴミ置き場とか。冊子は基本的に読まない。
- 粗大ゴミと、もやさないゴミ、小型家電の違いがあいまい。
- 分別がわからなくてパンフレットやホームページを見ても書いてないものもあって困ったことがある。ラケットが確か出てなかった。

ク) 高齢化社会についての意見

- 特に年配の方などでは自ら持ち出し、指定の場所へ運ぶのは困難だと思うので持ち出しを手伝ってくれるサービスがあればいいと思う。
- 自宅はマンションですので集積所で分別して保管場所がありますので不便でなく清潔ですが、一軒屋さん（特に高齢者）が多い所ではそのつど分別に雨でも出なければならぬようですので、空地（公園）等にゴミステーションを設置する案などはどうでしょうか。
- 今は特に困っていることはないが、年をとってからの生活（ごみ）に不安がある。具体的にはわからないが田舎の両親を見ているととても不安をおぼえる。

ケ) 外国人の方についての意見

- スカイツリーが出来てから道端、マンションの駐輪場にゴミが捨てられている事が多くなった。自販機のゴミ箱が分別されておらず、何でも入れられている。よって、箱から飛びだして外へ落ちている。外国人へのマナーやルールのご案内をしてほしい。
- 日本人より外国人は分別の仕方が分からないと思う。もえるゴミとペットボトルが一緒

に入っている袋をよく見る。

- 近隣住人の外国人のゴミの選別ができていない。

(2) 周辺環境に関する意見

- 家の前がバス停なので、缶やペットボトル、食べ物の放置が多い。
- ごみの捨て方もそうですが、ゴミのポイ捨ても何とかした方が良いと思います。錦糸公園のゴミのポイ捨てが多いので非常に残念です。
- スカイツリーの側で仕事をしています。土・日は食べ物の容器等があちこちに。これからもっとふえるように思います。
- 犬猫の糞は本当に多い。他県から来たが、こんなに毎日見る物だと思っていなかった。
- 隅田川花火大会の時、道路にブルーシートを広げ飲食し、終了後そのままにしていく人や、ブルーシートで酒瓶・食べ残しを丸めて捨てていく人がいる。汚くて困っている。
- 空き家(放置の家)のまわり、ゴミで汚い。きちんと管理してほしい。
- たばこのポイ捨てが多く、家の前は自分のものではないのにひろっています。たまに火がついたままのものもあります。

(3) 店舗・企業に対する意見

- ゴミ削減にはスーパー等売る側の努力が必要。回収場所をもっと設置してほしい。
- プラスチック袋→紙袋にかえる施策をしてほしい。コストが多くかかるかもしれないが有料にすればよい。そうした取組のお店に「推奨の店」認定を与えてほしい。利用します。
- フードロス是一般家庭より企業の事業計画による事が大。
- 食品を扱っている店にもっとフードロスの推奨の意識を高めてもらいたい(近くのパン屋さんですと17時以降は30%offを取り入れるようになりました)。
- 食品トレーは金や銀が入っていると回収できないのですか？だったら金や銀を入れないように業者に働きかけてほしい。

(4) 区のごみ処理に対する謝礼

- いつもゴミの回収ありがとうございます。近くに温水プールがあって、ゴミをもやした熱で温水プールができていますと聞きました。夏のあつい中回収されている方々本当にありがとうございます。
- 墨田区はゴミの分別方法がわかりやすいので助かります。収集後もきれいになっていて助かります。(ゴミの取り残しが無い)
- 資源物の回収ボックスやネットの前日配付と当日の回収に、特にお仕事量の多さと大変さと感謝が尽きません。ありがとうございます。ゴミを出しやすく、ステーションも清潔です。
- 収集に関しては良くやってくれていると感謝しています。出す方の私たちの認識がないと出しているゴミを見ていつも感じています。
- 家の前まで回収に来てもらっていて助かっています。
- ごみの回収については、収集日にはすみやかに回収して下さり、大変助かっています。

ポイ捨てでもあまりみられず、きれいな街だと思っています。これからも保持できるよう協力したいと思います。

- 分別コンテナとネットの貸出しは非常に助かっている。

(5) その他

- 今ではなんでもレジ袋やゴミ袋に入れて捨てればよいので手軽です。しかし、これからのことを考えると、捨て方が変わるのではないかと思います。具体的にはわかりませんが、いつまでビニール袋に捨てられるかと思う時もあります。
- 私がゴミを出している場所は、皆で協力しあい時間も守り、きちんと出しています。とてもうれしいです。
- マンションの管理人がゴミの管理をしているので問題はないが、こういった仕事をしている人たちが、仕事がしやすい様に協力体制などがあればよいと思う。
- 1人暮らしだと頻度の少ないゴミ(燃えないゴミ、電池、食品トレイ)を保管しておくのが面倒なので、燃えるゴミと一緒に出してしまうこともあります。
- 家庭で仕分けしたゴミを最終的に一括で燃やしているような事になるのであれば、無駄なことはさせないで欲しいので協力したくない。仕分けする事で大きな効果があるのであれば協力したい。
- ペットボトルや食品トレイの回収には協力がいるがきれいにしてから出す手間やきれいにするための水(運搬のガソリン、CO2、回収ネット、回収ネットから風などでとばされたときのそれを再回収する手間など)を考えたとき本当にエコ活動が必要なのか疑問。ゴミとして一気にやしてしまった方がいいのでは？その費用対効果の調査をしているのか？調査するためのお金がかかるならあえてやる必要がないかもしれないがざっくり計算してみても非効率的な気がする。
- 数年前に、ペットボトルをわざわざ洗ってリサイクルに出している事に疑問を感じ、問い合わせると、「100%リサイクルしており、燃やしたりはしていません。」と回答有り。ところがマスコミ発表では多量に燃やして処分している報告有り。そもそも中国へ輸出するにしてもリサイクル時に洗浄しているものを、コストをかけ家庭で綺麗に洗う必要も無い。
- 資源物をトラックが回収していたが、”すみだ区”のロゴがない。もしかして堂々と盗んでいたのかも？であれば残念なこと。もっと管理をしっかりしてほしい。
- 金属製の鍋を粗大ゴミとしてマンション前に出していたところ、区の回収前に何者かに持っていかれてしまいました。
- 不法投棄禁止・防止の対策を強化して欲しい。防犯カメラの設置他。
- 自販機横のゴミ箱に家庭ゴミが捨てられていることがある。
- 近所の外国飲食店が無分別に出しているので、清掃業者がいつもシールをはっている。
- 台風で飛んできたカーペットをうちが出さなきゃいかんのか？お金を払って。
- 空き家になってしまった家の、鉢植えなどが残されたままで景観が悪く、先日の台風の時に排水がうまくできずにあふれているところがあった。黒田区も浸水被害が起こるとハザードマップにもあるので、積極的に見回ってキレイにしてほしい。

2.3.17 経年変化

(1) ごみへの関心

ごみへの関心について経年変化をみると、平成21年度の調査時と質問内容及び回答の選択肢が多少変化しているが、「行動している。」と回答した割合は高くなっており、「どちらともいえない。」または「特に関心がない。」と回答した割合は低くなっている。

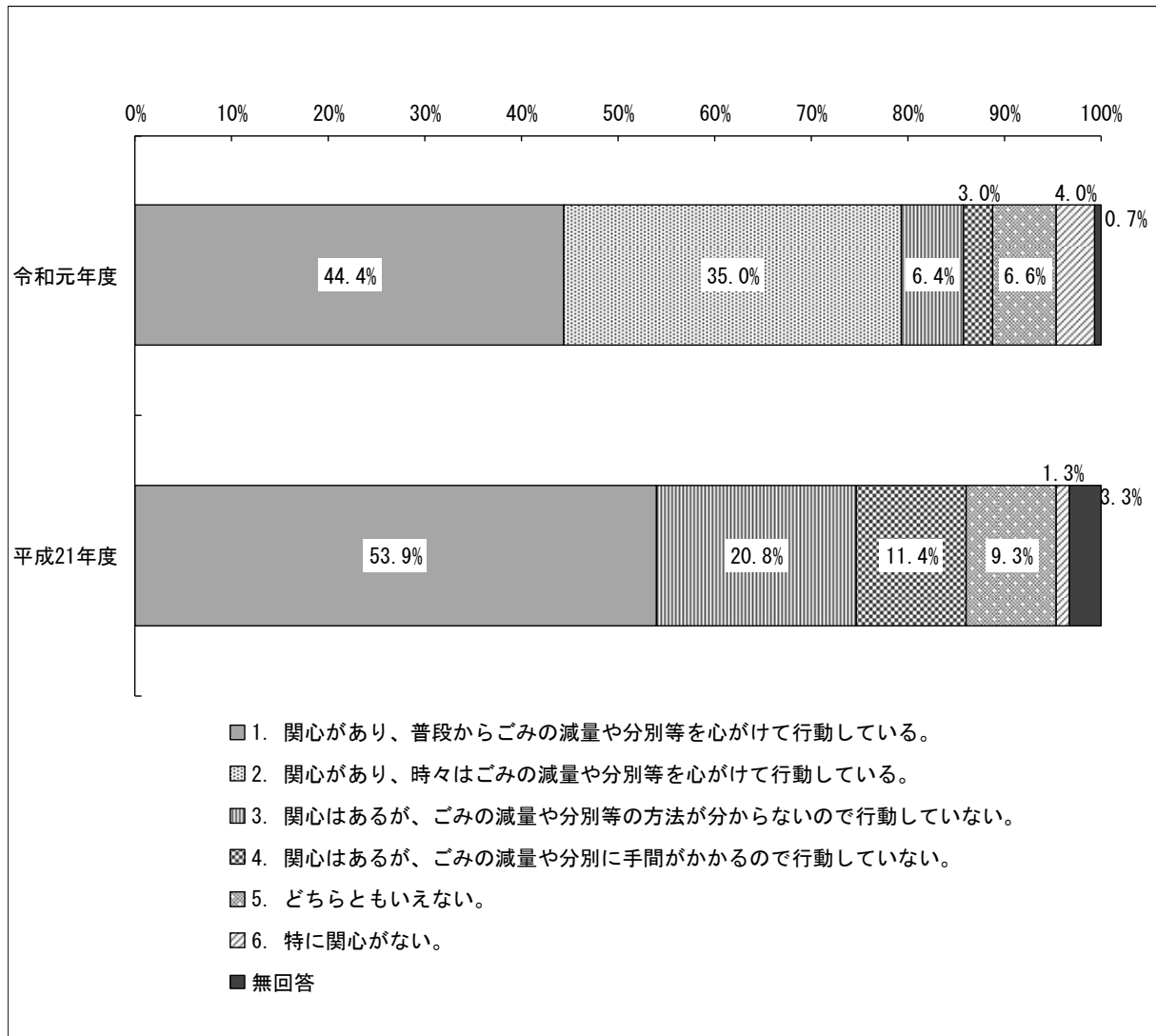


図 2.3.133 ごみへの関心についての経年変化

(2) ごみに関する行動

ごみに関する行動について経年変化をみると、平成17年度、平成21年度の調査時と質問内容及び回答の選択肢が多少変化しているが、「詰め替え商品の購入」、「買い物袋の持参」、「少量売り商品の購入」、「リサイクルショップやフリーマーケットの利用」の割合は高くなっている。

一方、「余分な購入を控える」、「過剰包装を断る」、「故障しても修理して使う」の割合は低くなっている。

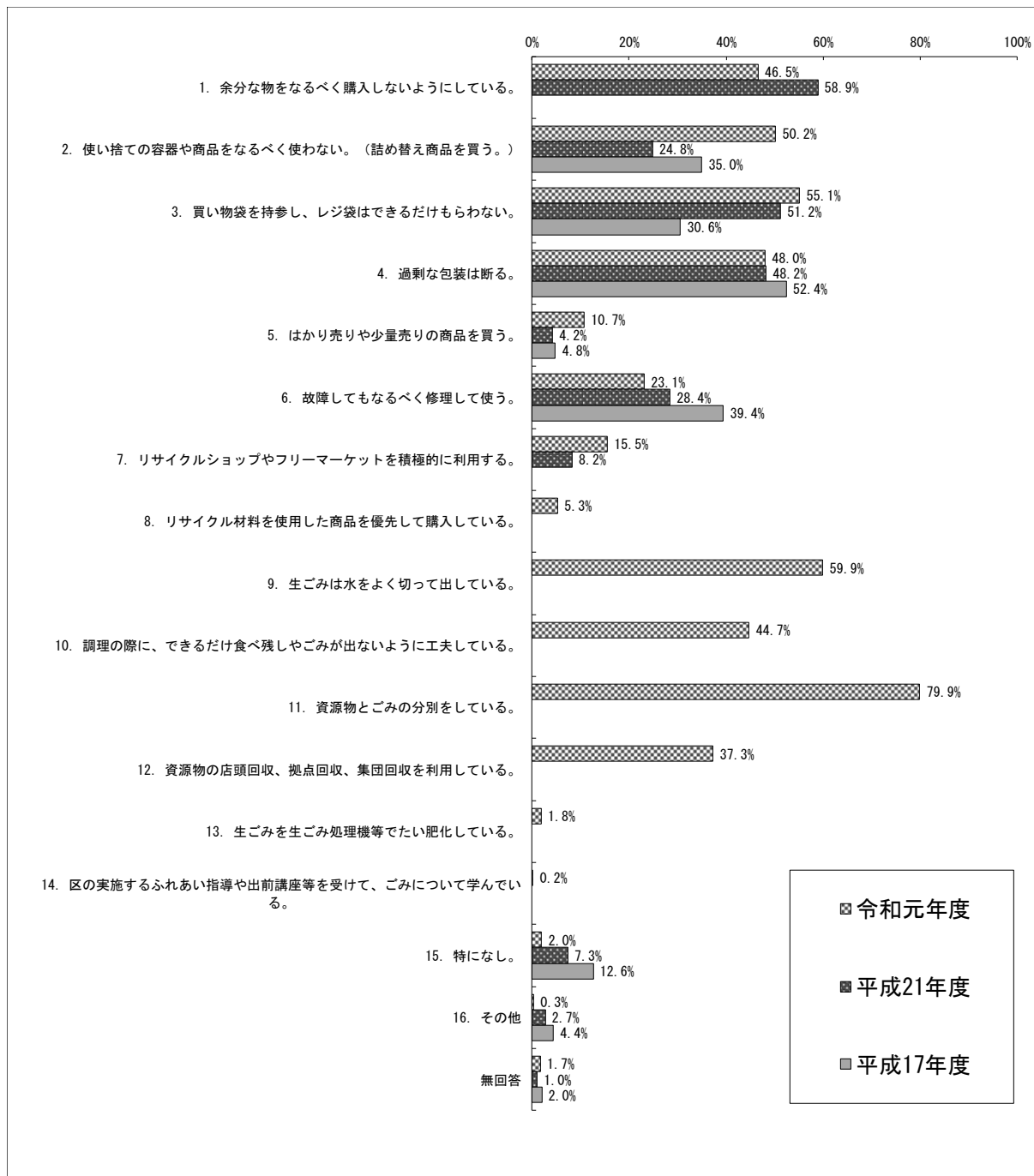
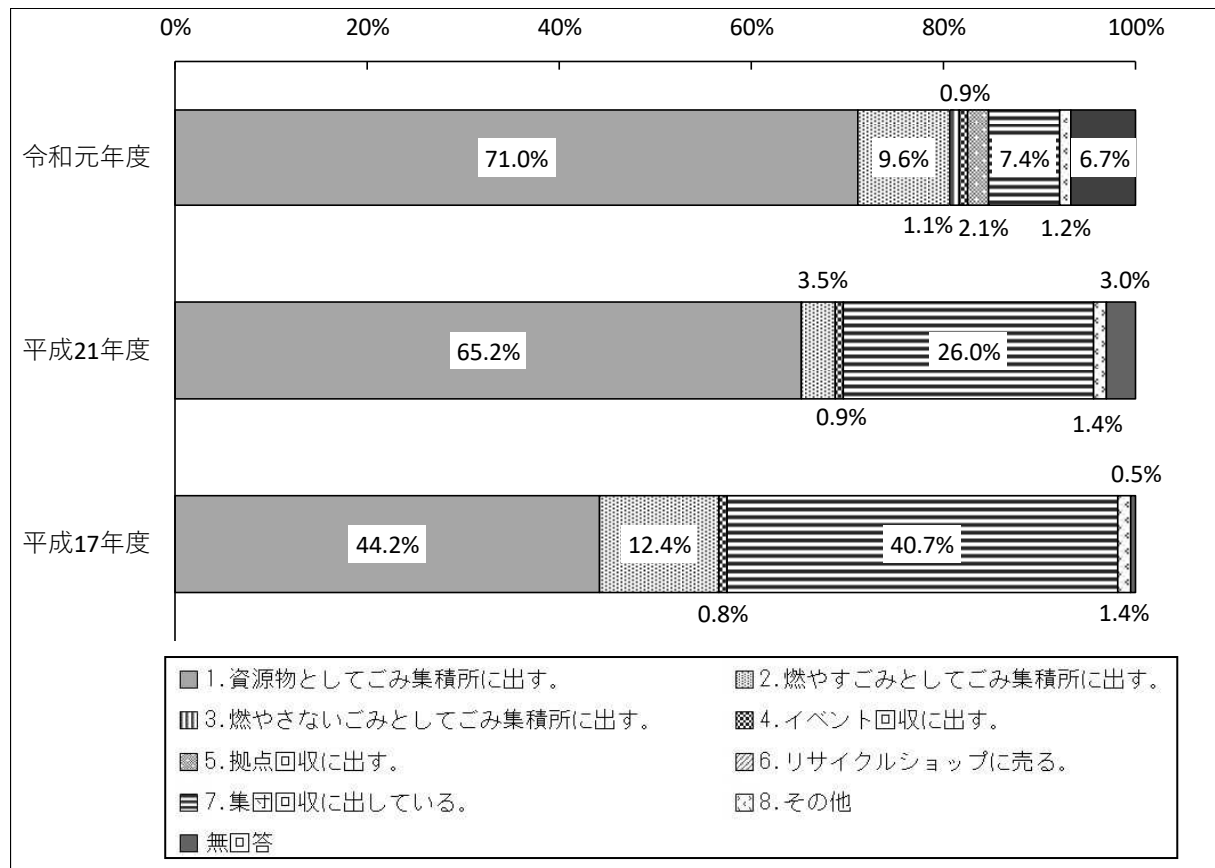


図 2.3.134 ごみに関する行動についての経年変化

(3) 資源物の排出方法

ア) 新聞・雑誌・段ボール等

新聞・雑誌・段ボール等の排出方法について経年変化をみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている一方で、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」の割合も高くなっている。また、「集団回収に出している。」の割合は低くなっている。

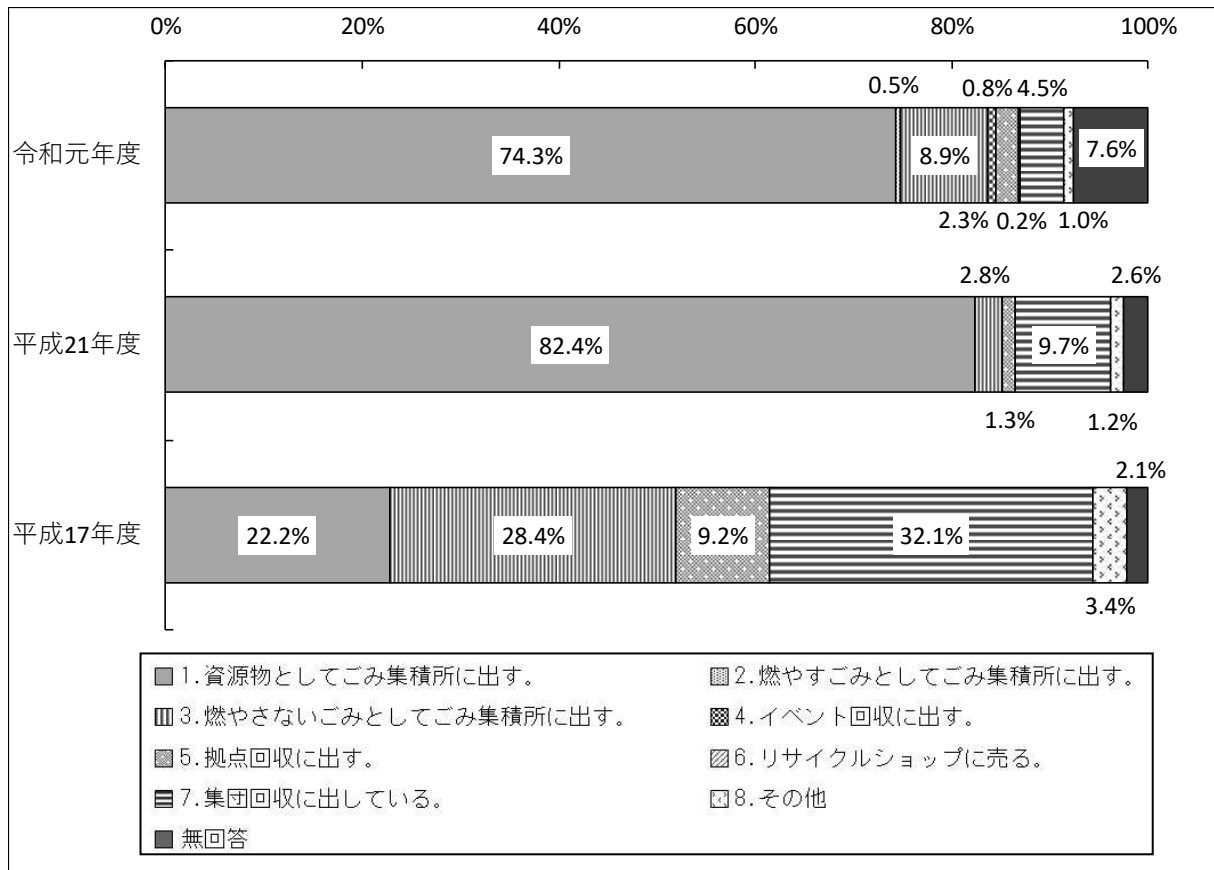


※前回調査の「古紙（新聞・雑誌・段ボール）」と、今回調査の「新聞・雑誌・段ボール・紙パック・雑がみ」で比較

図 2.3.135 新聞・雑誌・段ボール等の排出方法についての経年変化

イ) 缶

缶の排出方法について経年変化をみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」の割合が低くなり、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている。また、「集団回収に出している。」の割合は低くなっている。

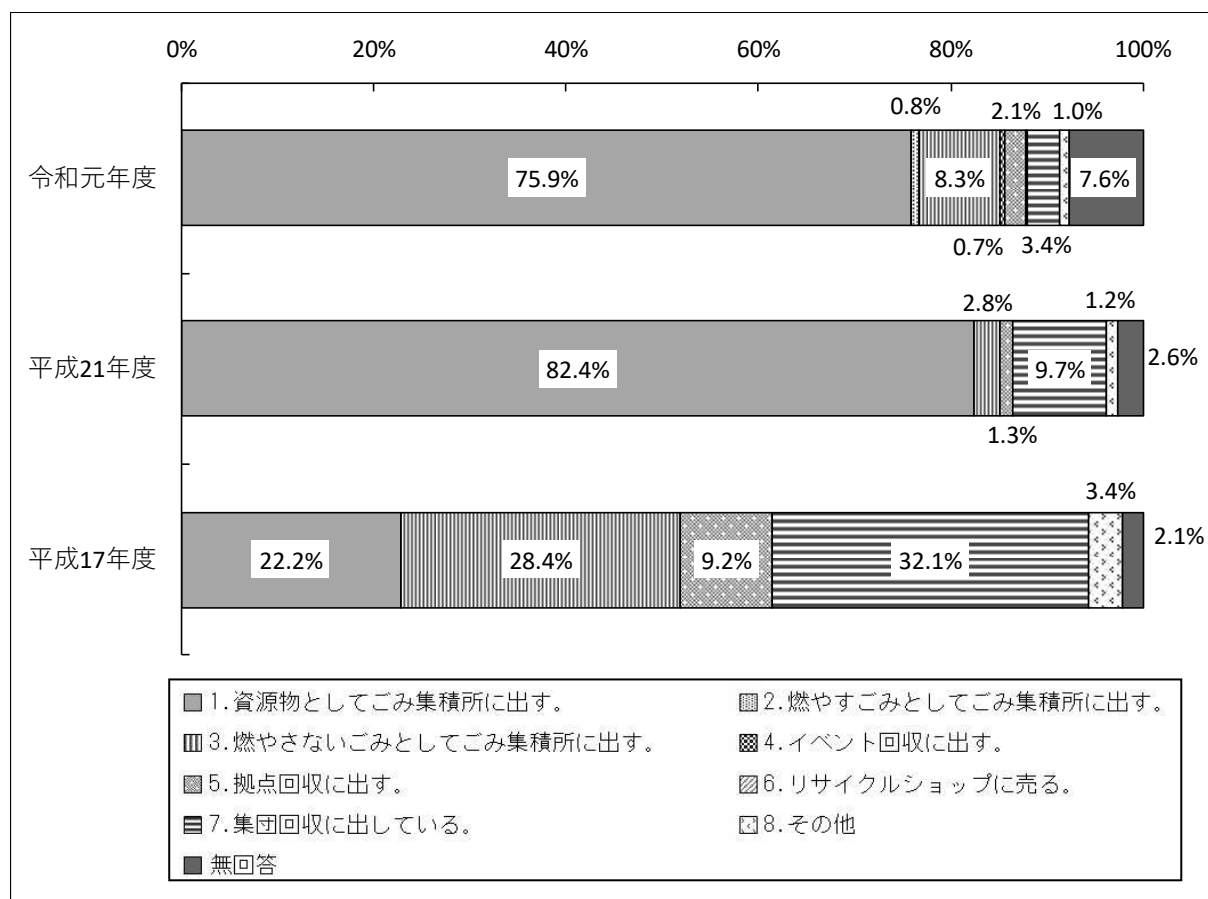


※前回調査の「びん・缶」と、今回調査の「缶」で比較

図 2.3.136 缶の排出方法についての経年変化

ウ) びん

びんの排出方法について経年変化をみると、前回調査と比較して「資源物としてごみ集積所に出す。」の割合が低くなり、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている。また、「集団回収に出している。」の割合は低くなっている。



※前回調査の「びん・缶」と、今回調査の「びん」で比較

図 2.3.137 びんの排出方法についての経年変化

エ) ペットボトル

ペットボトルの排出方法について経年変化をみると、今回の調査から「集団回収に出している。」の選択肢が追加されたが、割合は低くなっている。経年変化をみると、前回調査と比較して「資源物としてごみ集積所に出す。」の割合が低くなっている。

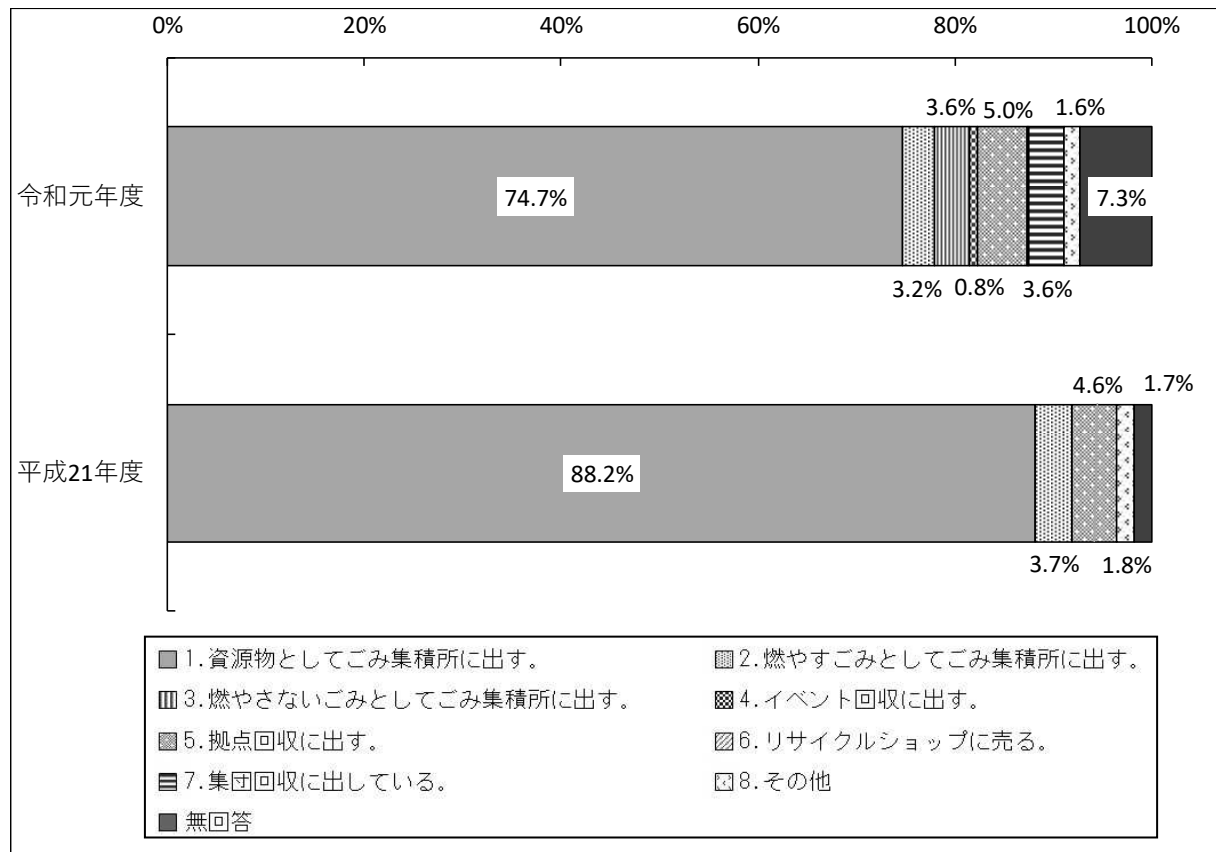


図 2.3.138 ペットボトルの排出方法についての経年変化

オ) 食品トレー

食品トレーの排出方法について経年変化をみると、今回の調査から「集団回収に出している。」の選択肢が追加されたが、割合は低くなっている。経年変化をみると、前回調査と比較して「資源物としてごみ集積所に出す。」「拠点回収に出す。」の割合が低くなり、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている。

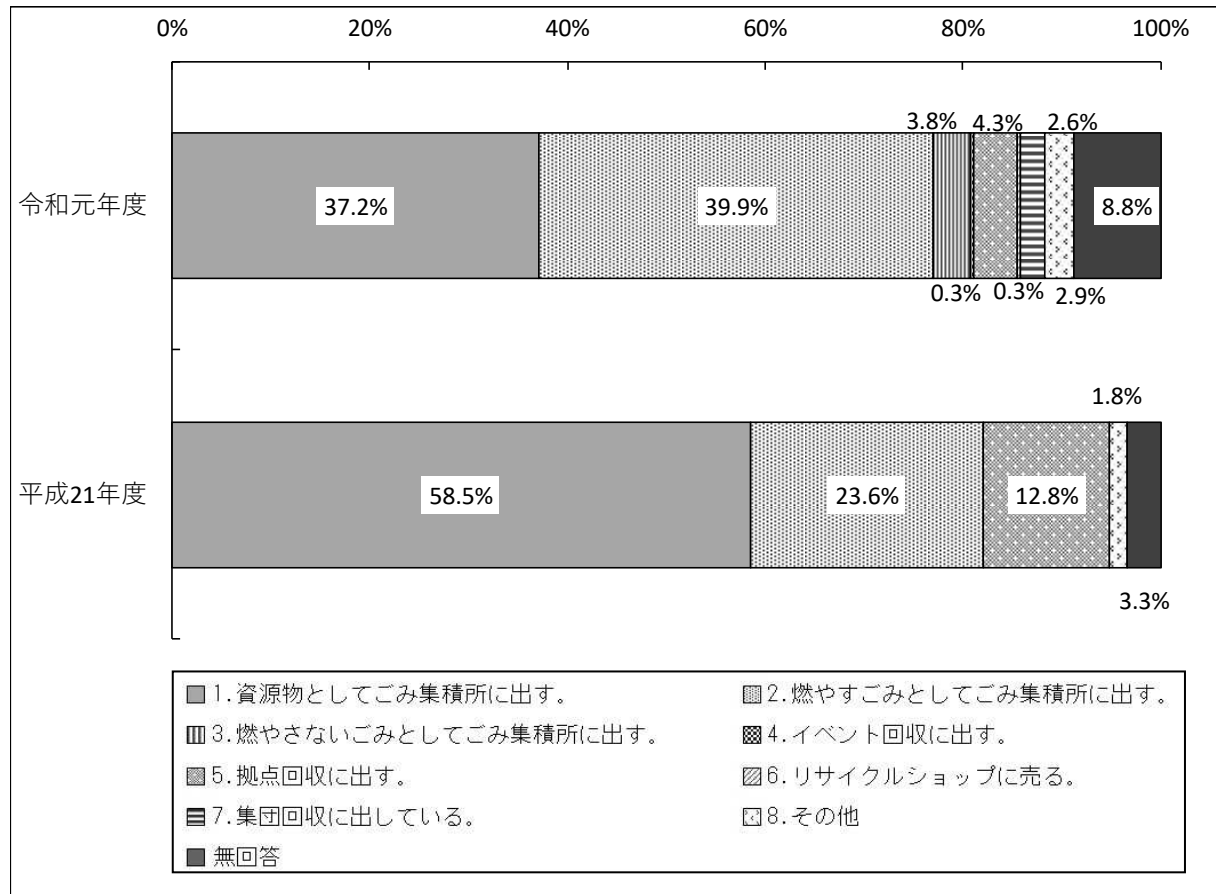


図 2.3.139 食品トレーの排出方法についての経年変化

カ) 古布、古着

古布、古着の排出方法について経年変化をみると、今回の調査から「資源物としてごみ集積所に出す。」、「イベント回収に出す。」の選択肢が追加されたが、割合は低くなっている。経年変化をみると、前回調査と比較して「リサイクルショップに売る。」の割合が高くなっており、「集団回収に出している。」の割合は低くなっている。

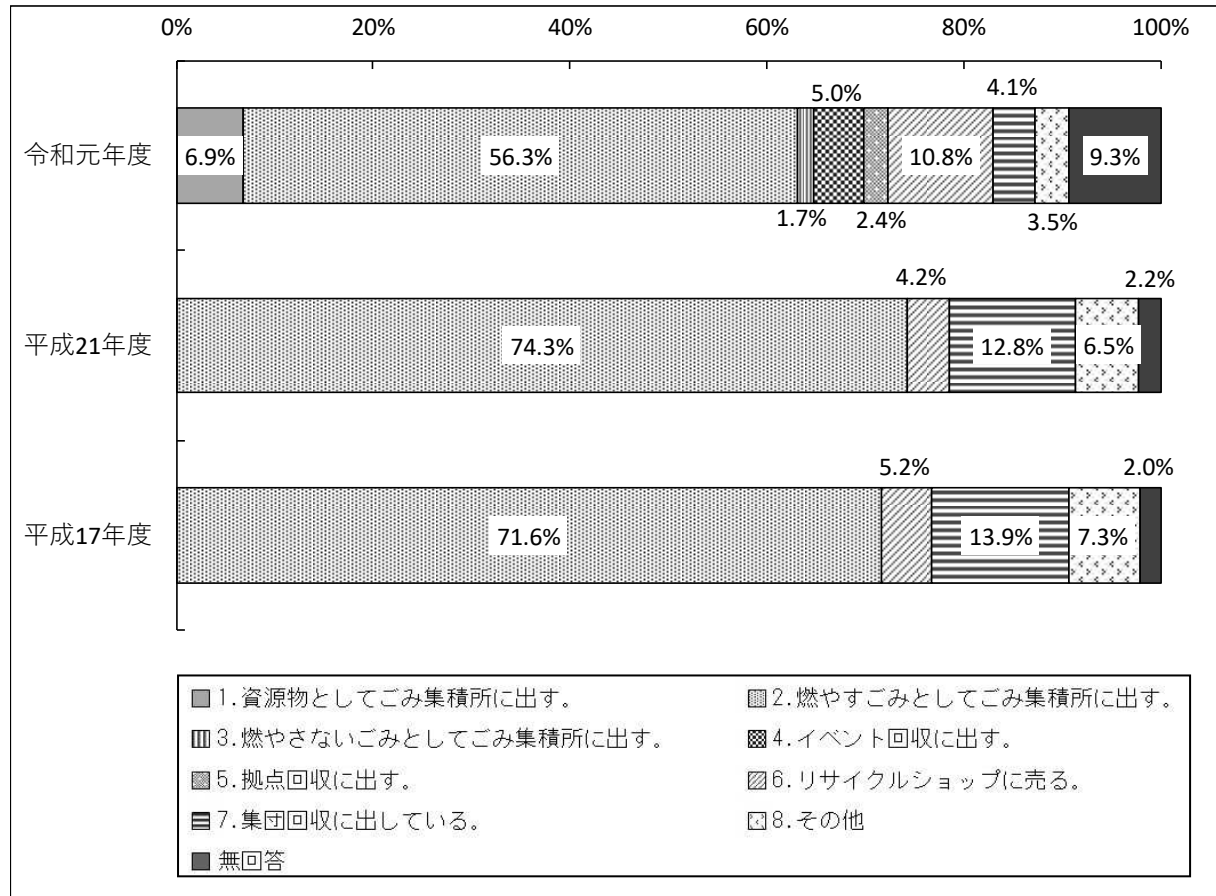


図 2.3.140 古布、古着の排出方法についての経年変化

キ) 乾電池

乾電池の排出方法について経年変化をみると、今回の調査から「集団回収に出している。」の選択肢が追加されたが、割合は低くなっている。経年変化をみると、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている。

なお、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」との回答が1.6%みられた。

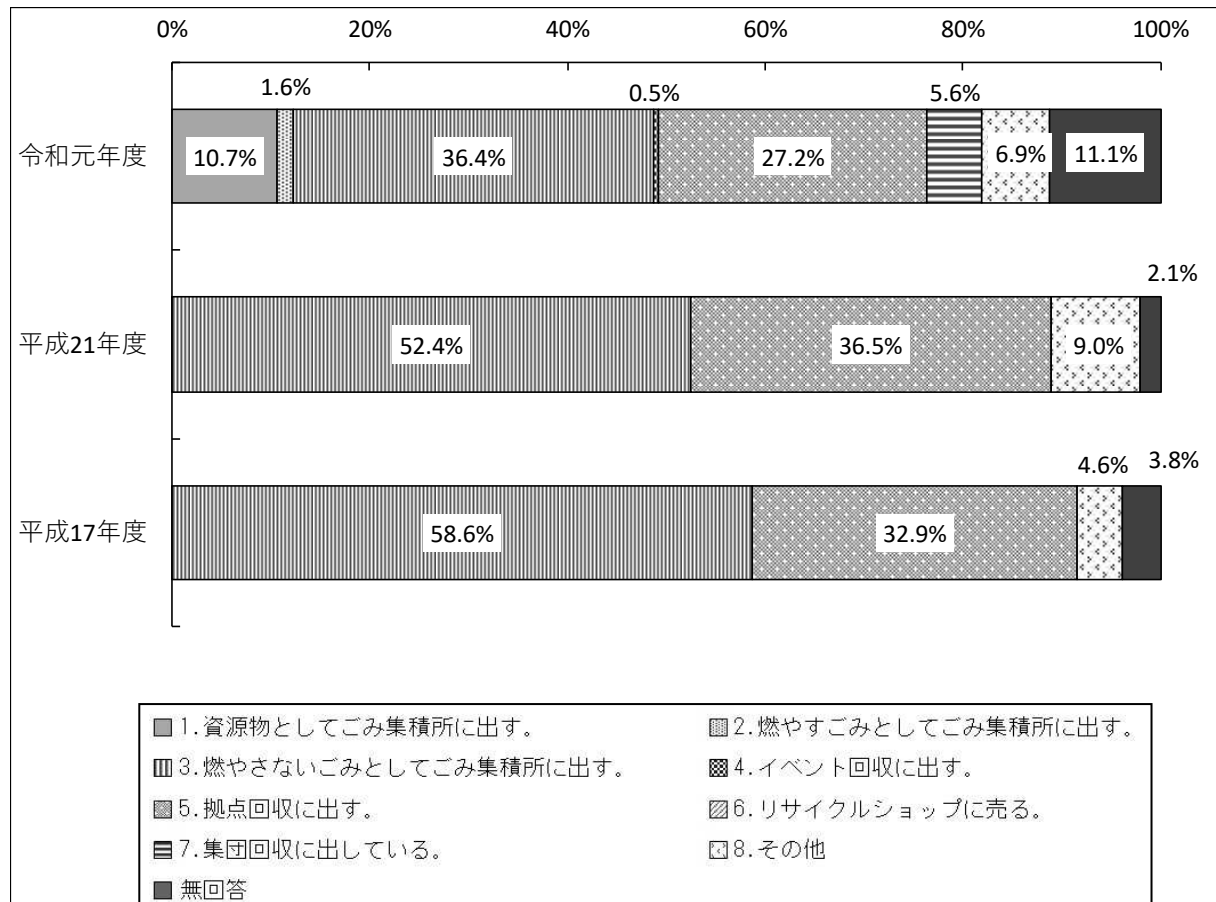


図 2.3.141 乾電池の排出方法についての経年変化

ク) 廃食油（天ぷら油等の食用油）

廃食油（天ぷら油等の食用油）の排出方法について経年変化をみると、今回の調査から「資源物としてごみ集積所に出す。」、「集団回収に出している。」の選択肢が追加されたが、割合は低くなっている。経年変化をみると、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」の割合は低くなっている。

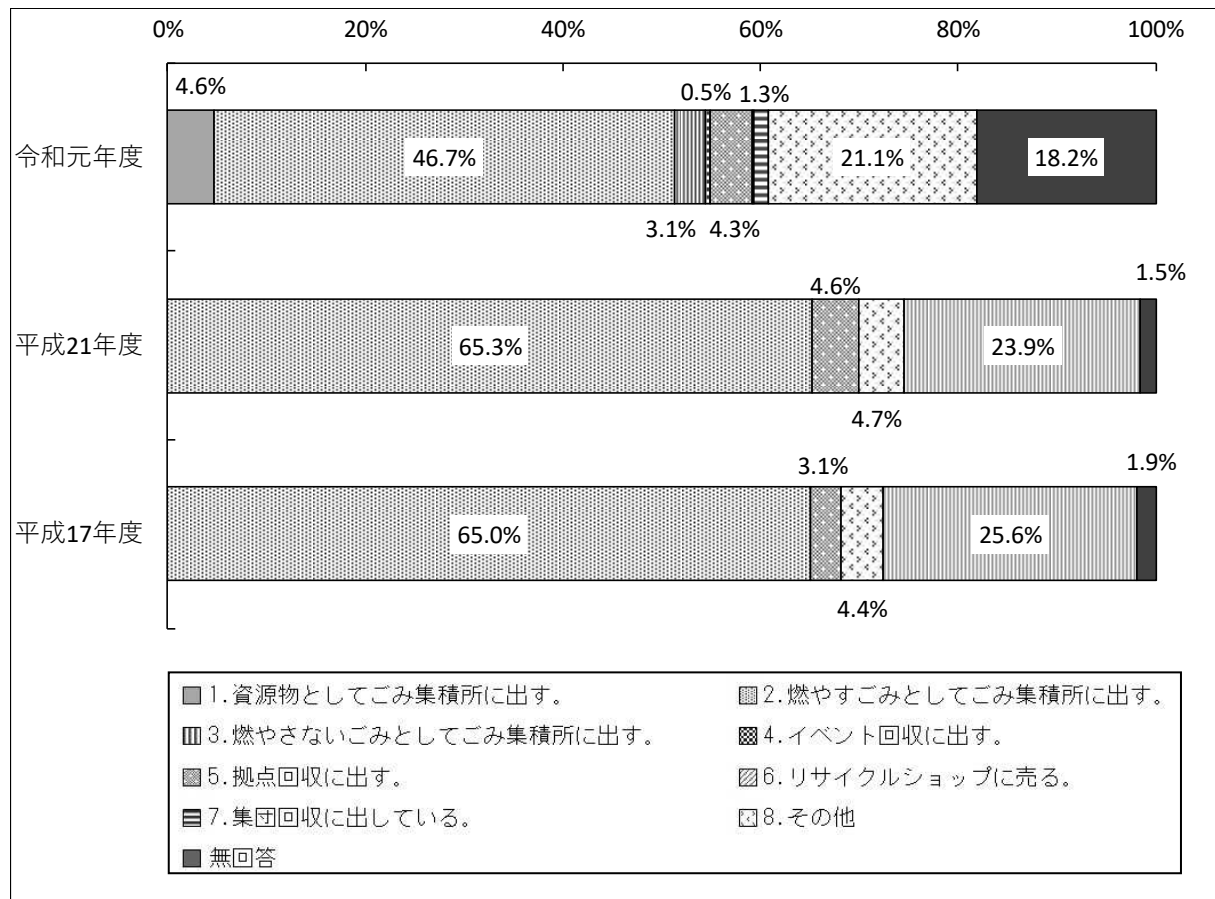


図 2.3.142 廃食油（天ぷら油等の食用油）の排出方法についての経年変化

2.3.18 まとめ

区民のごみ減量に対する意識調査結果の概要を表 2.3.57～表 2.3.59 に示す。また、特に重要と思われる結果について以下に整理し、調査結果から考えられる状況について考察する。

(1) 回答者の属性について

回答者の属性について経年変化をみると、「男性」の回答者の割合は増加しているが、過年度の調査結果同様、回答者の半数以上を「女性」が占めている。年代についてみると、「60代」の回答者の割合が低くなり、「20代」～「50代」の割合が高くなっている。また、世帯人数についてみると、「4人」以上の割合が低くなり、「1人」の割合が高くなっている。また、居住年数について、これまでは「20年以上」が半数以上を占めていたが、今回の調査では 35.0%と低くなっている。

(2) ごみに関する情報の入手先

ごみに関する情報の入手先についてみると、「資源物とごみの分け方・出し方パンフレット」が 47.5%、「墨田区のホームページ(資源・ごみ・リサイクル関連のページ)」が 43.4%、「資源物とごみの収集カレンダー」が 42.6%の順であった。年代が上がるほど「資源物とごみの分け方・出し方パンフレット」、「すみだ区報」で情報を入手している回答者が多くなっている。また、「墨田区のホームページ」で情報を入手しているのは 30代が最も多く、次いで 40代、20代の順となっているほか、「資源物とごみの収集カレンダー」で情報を入手しているのは 50代が最も多く、次いで 70代、60代の順となっている。なお、2018年7月から運用されている「墨田区のホームページ(チャットボット)」は 3.5%と低く、普及率を高めることが課題である。

また、区のごみ処理や情報公開に関する満足度についてみると、「どちらかといえばそう思う。」が 35.1%と、割合としては最も高かったが、次いで「分からない。」が 30.0%となっており、自由意見にも「区民への広報、周知の方法改善の要望・意見」の記載が 37件あることから、より効果的な区からの情報提供を検討していくことが、施策の認知度や情報公開に関する満足度を高めていくことに繋がるものと考えられる。

(3) 区の施策の認知度、満足度について

区の施策の認知度についてみると、「生ごみの水切り励行」、「拠点回収の実施」、「雑がみの資源物排出の協力強化」の順であった。なお、もっとも認知度が高かった「生ごみの水切り励行」でも認知度は 30%未満となっており、「20代」は総じて施策の認知度が低くなっている。

また、区の施策に関する満足度についてみると、「分からない。」の割合が 32.5%と、区のごみ処理や情報公開、清潔さに関する満足度を問う設問と比較して高くなっている。属性別にみると、年代が上がるほど「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の割合が高くなっているが、20代、30代では「分からない。」の割合が高くなっている。

以上のことから、特に30代以下に対しては、区の施策の普及が十分ではないことが伺えるため、上記「(2) ごみに関する情報の入手先」の結果も踏まえながら施策の普及方法を検討していく必要があると考えられる。

(4) 粗大ごみについて

収集に関する満足度について、燃やすごみ、燃やさないごみ、資源物の満足度については「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の合計が80%以上となっているが、粗大ごみの満足度については70%以下となっており、「そう思う。」の割合も49.8%と他の項目と比較して低くなっている。また、自由意見に「粗大ごみの処理方法改善の要望・意見」の記載が27件あることも、上記の結果を反映しているものと考えられる。

本報告書の「1. 家庭ごみ及び事業系ごみの排出実態調査」の結果より、粗大系ごみ・適正処理困難物が燃やさないごみとして不適正に排出されている状況がみられることから、上記の粗大ごみの収集方法への満足度の低さが燃やさないごみへの不適正排出に影響を与えていることが考えられる。

表 2.3.57 区民のごみ減量に対する意識調査結果の整理 (1)

項目	調査結果のまとめ
回答者の属性 (経年変化)	<ul style="list-style-type: none"> 性別について、経年変化で見ると男性の割合は増加しているが、回答者の割合は半数以上が女性となっている。 年代について、「60代」の回答者の割合が低くなり、「20代」～「50代」の割合が高くなっている。 世帯人数について、「4人」以上の割合が低くなり、「1人」の割合が高くなっている。 居住年数について、これまで半数以上を占めていた「20年以上」の割合が低くなっている。
燃やすごみ、燃やさないごみの排出量	<ul style="list-style-type: none"> 燃やすごみの排出量について、1回に出すごみの量は、レジ袋大(約15L)で、「約1袋～3袋」の回答者の割合が3/4以上を占める。 燃やさないごみの排出量について、1回に出すごみの量は、レジ袋大(約15L)で、「出さない～約1袋」の回答者の割合が80%以上を占める。
資源物の排出方法 (経年変化)	<ul style="list-style-type: none"> 廃食油以外の資源物について、「集団回収に出している。」の割合は低くなっている。 缶、びんの排出方法について、経年変化をみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」の割合が低くなり、「燃やさないごみとしてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている。 ペットボトル、食品トレーの排出方法について、経年変化をみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」の割合が低くなり、「燃やすごみとしてごみ集積所に出す。」の割合が高くなっている。 古布、古着の排出方法について、経年変化をみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」、「リサイクルショップに売る。」の割合が増加している。 廃食油の排出方法について、経年変化をみると、「資源物としてごみ集積所に出す。」、「集団回収に出している。」の選択肢が追加されたが、割合は低くなっている。
ごみに関する情報の入手先	<ul style="list-style-type: none"> 情報の入手先について、「資源物とごみの分け方・出し方パンフレット」、「墨田区のホームページ(資源物・リサイクル関連のページ)」、「資源物とごみの収集カレンダー」の順であった。 年代が上がるほど「資源物とごみの分け方・出し方パンフレット」、「すみだ区報」で情報を入手している回答者が多くなっている。 「墨田区のホームページ(資源物・リサイクル関連のページ)」で情報を入手しているのは30代が最も多く、次いで40代、20代の順となっている。 「資源物とごみの収集カレンダー」で情報を入手しているのは50代が最も多く、次いで60代、30代の順となっている。

表 2.3.58 区民のごみ減量に対する意識調査結果の整理 (2)

項目	調査結果のまとめ
区のごみ処理や情報公開に関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 区のごみ処理や情報公開に関する満足度について、「どちらかといえばそう思う。」、「分からない。」、「そう思う。」の順であった。 年代が上がるほど「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の割合が高くなる傾向がみられるが、30代は他の年代と比較して低くなっている。 世帯人数が「4人」、居住年数が「1年以上～3年未満」、居住形態が「寮、官舎、下宿等」の回答者の満足度が低くなっている。
ごみに関する関心度	<ul style="list-style-type: none"> ごみへの関心度について、「関心があり、普段からごみの減量や分別等を心がけて行動している。」、「関心があり、時々はごみの減量や分別等を心がけて行動している。」の2項目で約80%を占めている。 年代が上がるほど「関心があり、普段からごみの減量や分別等を心がけて行動している。」、「関心があり、時々はごみの減量や分別等を心がけて行動している。」の割合が高くなっている。 経年変化をみると、「行動している。」の割合は高くなっており、「どちらともいえない。」または「特に関心がない。」の割合は低くなっている。
ごみに関する行動	<ul style="list-style-type: none"> ごみに関する行動について、「資源物とごみの分別をしている。」、「生ごみは水をよく切って出している。」、「買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない。」の順となっている。 「資源物とごみの分別をしている。」はどの年代でも高い結果となっている。 年代が上がるほど「生ごみは水をよく切って出している。」の割合が高くなる傾向がみられるが、30代は20代よりも割合が低くなっている。 経年変化をみると、「詰め替え商品の購入」、「買い物袋の持参」、「少量売り商品の購入」、「リサイクルショップやフリーマーケットの利用」の割合は高くなっている一方、「余分な購入を控える」、「過剰包装を断る」、「故障しても修理して使う」の割合は低くなっている。
食品ロスに関する認知度、取り組み意欲	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの定義に関するクイズの正解率は48.7%であった。また、食品ロス発生量に関するクイズの正解率は90.9%であった。 食品ロスを減らすために取り組めることについて、「冷凍保存を活用する。」、「残さず食べるようにする。」、「賞味期限を過ぎてもすぐには捨てず、自分で食べられるかを判断する。」の順となっている。 年代が上がるほど「料理を作りすぎないようにする。」の割合が高くなっている。
容器包装プラスチック分別収集への協力度	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装プラスチック分別収集への協力について、「積極的に分別に協力したい。」、「できる範囲で協力したい。」の2項目で約90%となっている。 「積極的に分別に協力したい。」、「できる範囲で協力したい。」の合計が最も高いのは60代であり、30代は他の年代と比較して低くなっている。 「ごみ集積所のない集合住宅」の回答者は、「積極的に分別に協力したい。」、「できる範囲で協力したい。」の割合が低くなっている。
容器包装プラスチックの拠点回収への協力度	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装プラスチックの拠点回収への協力について、「できる範囲で協力したい。」、「積極的に分別に協力したい。」の2項目で80%以上となっている。 年代が高くなるほど「できる範囲で協力したい。」、「積極的に分別に協力したい。」の割合が高くなる傾向がみられ、60代が最も高くなっている。 「ごみ集積所のない集合住宅」の回答者は、「できる範囲で協力したい。」、「積極的に分別に協力したい。」の割合が低くなっている。
区の施策の認知度及び協力状況	<ul style="list-style-type: none"> 区の施策の認知度について、「生ごみの水切り励行」、「拠点回収の実施」、「雑がみの資源物排出の協力強化」の順であった。 施策への協力について、全体的に「無回答」の割合が高くなっている。 50代以上では「生ごみの水切り励行」の認知度が30%以上となっているが、40代以下では30%以下となっている。 「生ごみの水切り励行」、「拠点回収の実施」の認知度は50代が最も高い。一方、20代は総じて施策の認知度が低くなっている。

表 2.3.59 区民のごみ減量に対する意識調査結果の整理 (3)

項目	調査結果のまとめ
ごみの分別に関する問題	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題なく分別できる。」の割合が低い品目は、「食品トレー」、「古布、古着」、「廃食油」、「小型家電」、「家電リサイクル法対象品」であった。 ・「分別区分が分からない。」の割合が高い品目は、「燃やさないごみ」、「古紙（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）」、「食品トレー」、「古布、古着」、「金属製調理器具（鍋・やかん・フライパン）」、「乾電池」、「廃食油」、「小型家電」、「粗大ごみ」であった。 ・「分別して出すのに手間がかかる。」の割合が高い品目は、「燃やすごみ（生ごみ・プラスチック類を含む）」、「古紙（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）」、「缶」、「びん」、「ペットボトル」、「食品トレー」であった。 ・「複数の素材があるため、分別できない。」の割合が高い品目は、「燃やすごみ（生ごみ・プラスチック類を含む）」、「燃やさないごみ」であった。 ・「どこまで汚れを落とせばよいか分からない。」の割合が高い品目は、「缶」、「びん」であった。
区のごみ、資源物収集頻度に関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみ、燃やさないごみ、資源物の収集頻度に関する満足度について、「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の合計が80%以上となっているが、粗大ごみの収集に関する満足度は、70%以下となっており、「そう思う。」の割合も49.8%と低くなっている。
区の施策に関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・区の施策に関する満足度について、「どちらかといえばそう思う。」、「分からない。」、「そう思う。」の順であった。 ・年代が上がるほど「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の割合が高くなっているが、20代、30代では「分からない。」の割合が高くなっている。 ・世帯人数が「4人」、居住年数が「1年以上～3年未満」、居住形態が「ごみ集積所のない集合住宅」及び「寮、官舎、下宿等」に該当する回答者の満足度が低くなっている。
区の清潔さに関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・区の清潔さに関する満足度について、「どちらかといえばそう思う。」、「そう思う。」、「どちらかといえばそう思わない。」の順であった。 ・「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」の割合が最も高いのは「40代」であり、最も低いのは「50代」であった。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「区民への広報、周知の方法改善の要望・意見」(37件) ・「区のごみ、資源物の収集方法への要望・意見」(32件) ・「区民への啓発・指導（ごみ出しマナーが悪い人への指導を含む）の要望・意見」(31件) ・「粗大ごみの処理方法改善の要望・意見」(27件) ・「区のごみ、資源物の分別区分（プラスチックごみ回収の要望を含む）への要望・意見」(20件) <p>※件数は重複を含む。</p>